

私が見た未来 完全版

たつき諒

一夢日記一
夢の記録
1985年
RyoTatsuki
竜樹

1991年
8月20日に
見た夢
新島村
おたけい
富地

1995年
6月12日
回想
これ何と読む？
かみ？どういふ？

1995年1月2日に
見た夢
花れてヒビキ
大地
連水で、とある
5年たたら
おたけい

1994年
7月2日
99.8.2.
ノートの角に
印刷された
日付

大い害は
2011年3月

1992年
8月3日に
見た夢
おたけい
7月15日
おたけい
おたけい

DIANNA



飛鳥新社

私が見た未来

完全版 たつき諒



飛鳥新社

私が見た未来 完全版



たつき諒

飛鳥新社

「完全版」刊行にあたって

「1999年7月に人類滅亡の時が訪れる」と予言し、日本中に一大ブームを巻き起こしたノストラダムスの終末予言が何事もなく過ぎ去ろうとしていたころ、その漫画本は出版されました。

タイトルは『**私が見た未来**』。作者の名は、**たつき諒**。

表紙に「**大災害は2011年3月**」という予言を描いたこの作者は、この作品を最後に、ひっそりと漫画家を引退しました。

しかし、出版から12年後の2011年3月11日に東日本大震災が発生したことから、一躍注目を集めることになるのです。

この出来事は都市伝説ではなく、**紛れもない事実**です。

『私が見た未来』はすでに絶版となっており、その希少性からオークションでは10万円超で取引されるなど、まさに**“幻の予言漫画”**となったのです。

その話題はおさまるところかさらに膨れ上がり、作者になりました人物が雑誌のインタビュに答えたり、インフルエンサーらが予言に思い思いの解釈を加えたり、地上波のゴールデン番組でも紹介されるなど、日本中をざわつかせたことは、読者の皆さんの多くがご存知かと思えます。

そんななか、作者が22年の沈黙を破って、『私が見た未来』がこの度「完全版」として再び世に送り出されることになりました。

いったいどこが完全版なのか。

『私が見た未来』は、作者が自身の夢を記録していた「夢日記」を元に描かれた漫画で、すべての予知夢が紹介されているわけではありませんでした。

では、「夢日記」にはいったい何が書かれているのか。

その内容を、本書で初公開します。

さらに、たつき先生の「新たなる予言」が収録されています。

その予言とは、「**本当の大災難は2025年7月にやってくる**」ということ。

たつき先生には、「大災害は2011年3月」のビジョンが見えた時と同じように、2025年7月という日付がはっきりと見えていたのです。

はたしてその内容とは――。

備えるか、備えないかはあなた次第です！

飛鳥新社編集部

CONTENTS

「完全版」刊行にあたって 3

第一部 予知夢編 10

夢のメッセージ (初出95年スコラ「恐怖体験」VOL.9) 11

私が見た未来 (初出96年朝日ソノラマ「ほんとにあった怖い話」9月号) 23

「夢日記」解説 49

なぜ夢日記を書き始めたのか	52
夢日記には何が書かれている？	53
表紙に描いた予知夢の真相① 「大災害は2011年3月」と描いた理由	54
表紙に描いた予知夢の真相② ギイアナ妃の死	56
表紙に描いた予知夢の真相③ 富士山大噴火	58
表紙に描いた予知夢の真相④ 荒れてヒビの入った大地	60
表紙に描いた予知夢の真相⑤ 私の葬儀は白っぽい服だとよい	62
漫画家時代の話	64
幼少期の不思議体験	67
漫画家を辞めた理由	69
インド旅行が大きな転換点になった	70
漫画の中で描いた大津波は2011年3月のことではない	74
2025年7月に起こること	82
大津波の後に訪れる新たな世界	87

第II部 ミステリー漫画編

縁の先	(初出97年朝日ソノラマ「ほんとにあった怖い話」11月号)	93
ちいさなカラの中	(初出83年東京三世社「SFマンガ競作大全集」17)	115
浮遊霊	(初出95年スコラ「恐怖体験」VOL.12)	139
地下街	(初出92年講談社「月刊少女フレンド特別編集」9月号増刊)	151
冥界の壁	(初出95年スコラ「恐怖体験」VOL.19)	163
もうひとりの自分	(初出95年スコラ「恐怖体験」VOL.14)	175
闇の中へ…	(初出95年スコラ「恐怖体験」VOL.5)	187

そんな馬鹿な

(初出89年マガジンボックス「月刊バンドラ」7月号)

199

雨月物語

(初出89年マガジンボックス「月刊バンドラ」8月号)

207

作者あとがき

214

第 I 部

予知夢編

22年前に刊行された『私が見た未来』。「幻の漫画」として、その内容について、様々な憶測や誤解が生まれています。

表題作の「私が見た未来」（初出'96年）は、一話完結26ページの読み切り漫画で、この漫画にすべての予言が描かれているわけではありません。

第 I 部では、たつき先生の予知夢について描いた漫画「夢のメッセージ」（初出'95年）、「私が見た未来」の2本を掲載するとともに、漫画には描かれなかった予知夢も含め、たつき先生自身が「夢日記」について解説します。

「夢日記」解説では、本書の出版時点ではまだ起きていない、数年先の“予知”についても触れています。その中身を知ったとき、「私が見た未来」に描かれた大津波の、本当の意味を知ることになるのです。

夢のメッセージ

ある日私は夢に興味を持ちはじめました――

そして数年前から夢日記をつけるようになったんです――



1976年の11月
こんな夢を見ました

大好きだった
QUEENのボーカル
フレディが

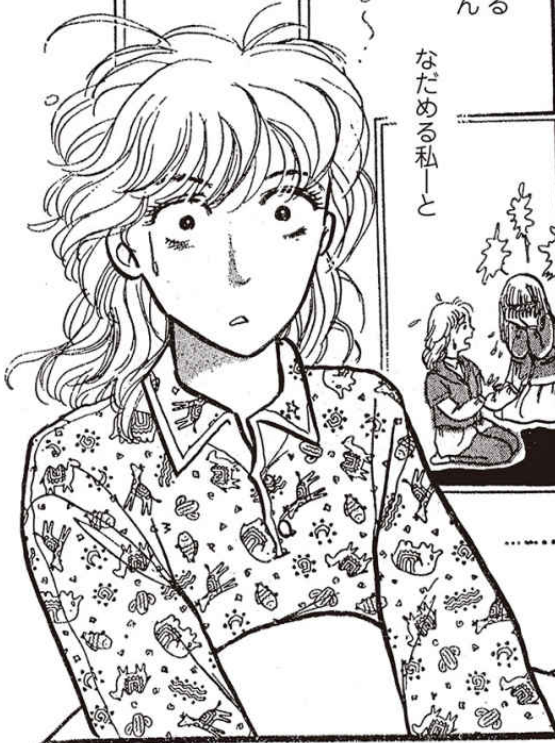
泣きじゃくる
友人のYさん

なだめる私と

えー
死んじゃったの!!

やだあ

そこで
目が覚めて



なんとも言えない
不快感でー

私はその夢を
忘れないうちに
ノートにメモして

さっそく
友人知人と
片っ端から
話してまわったんです

Yさんは「夢でも
フレディが死ぬなんて嫌だ!」と
泣いちゃいました



夢は
人に話すと実現
しなくなる
というので

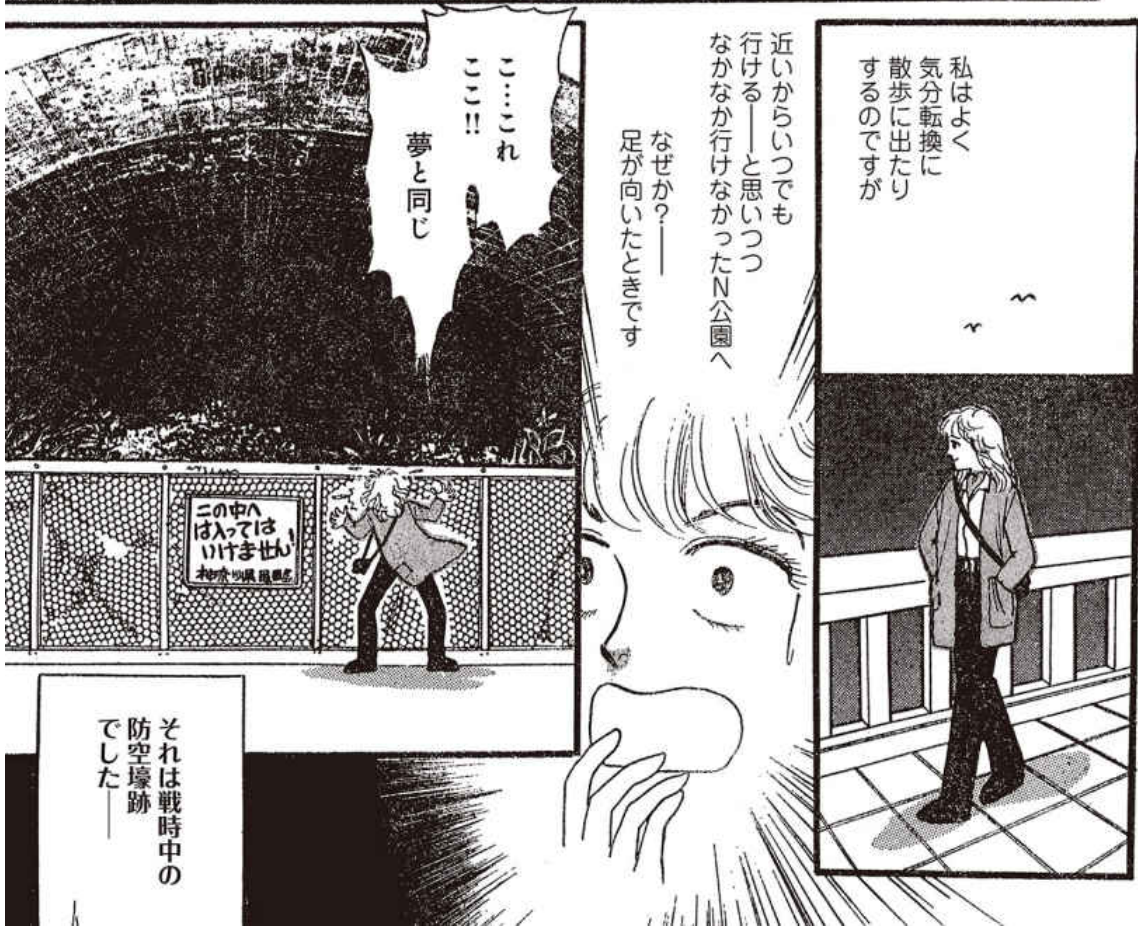




シチユエーションは
違うんだけど

同じ場所の夢を
何回か見たことが
ありました

それは
地底か山にでも空いた
大きな空洞で
深い色をした海：
顔はどんなだったか
とにかく傍らに
女の子が座っている
——そんな夢



私はよく
気分転換に
散歩に出たり
するのですが

近いからいつでも
行ける——と思いつつ
なかなか行けなかったN公園へ
なぜか？——
足が向いたときです

こ…これ
ここ!!
夢と同じ

それは戦時中の
防空壕跡
でした——

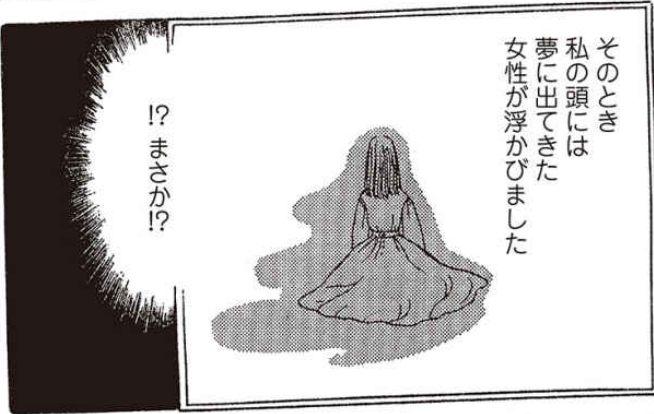


それから
さらにビックリしたのは
翌週のニュース!!

……N公園で
女性の頭と胴体が
発見されました

バラバラ
殺人事件

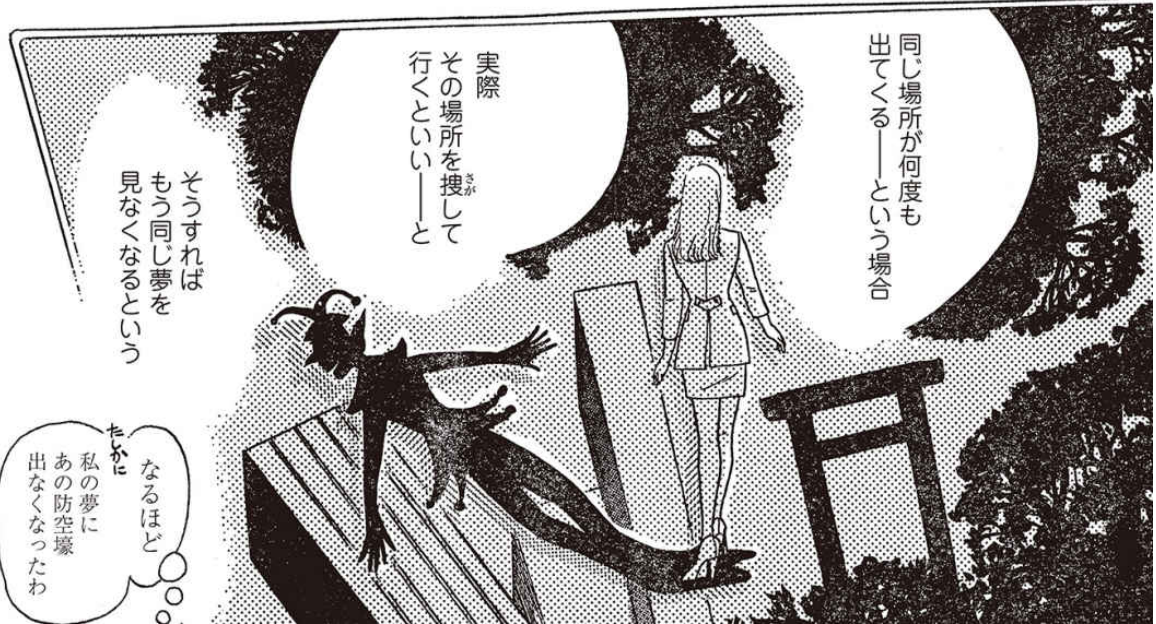
女...女の人の!



そのとき
私の頭には
夢に出てきた
女性が浮かびました

!?まさか!?

夢についての本には
こう書かれていました

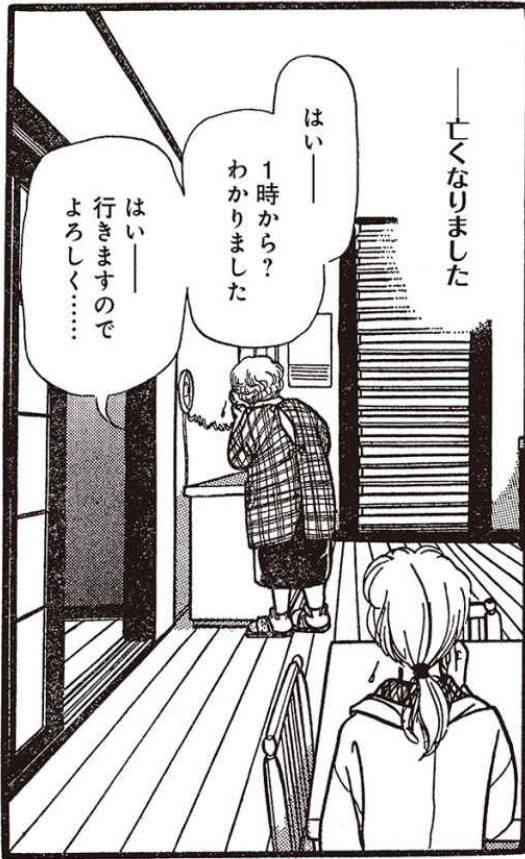


同じ場所が何度も
出てくる——という場合

実際
その場所をさがして
行くといい——と

そうすれば
もう同じ夢を
見なくなるという

なるほど
私の夢に
あの防空壕
出なくなったわ



亡くなりました

はい——
1時から?
わかりました

はい——
行きますので
よろしく……

それから

——これは
つい最近のことですが

夏ころから
危機状態が
続いていた母の兄
つまり伯父が



朝方4時から
ノンストップで
高速を飛ばせば
昼には着くだろう
からと——
田舎へ急ぎました

なんという
タイミングなんだろう
——私はそのとき
原稿がちょうど仕上がった
ところだったんです



締め切り前だったら
お葬式にはきつと
行けなかった——



両親の田舎へ行くのは
ひさしぶりでした

行くと必ず
お世話になる伯父には
いつか会いに行かなきゃと
思っていたのですが

それがまさか
こんな形で会うことに
なってしまうとは...



幸い夢日記を
つけていた私は
すぐに思い出しました

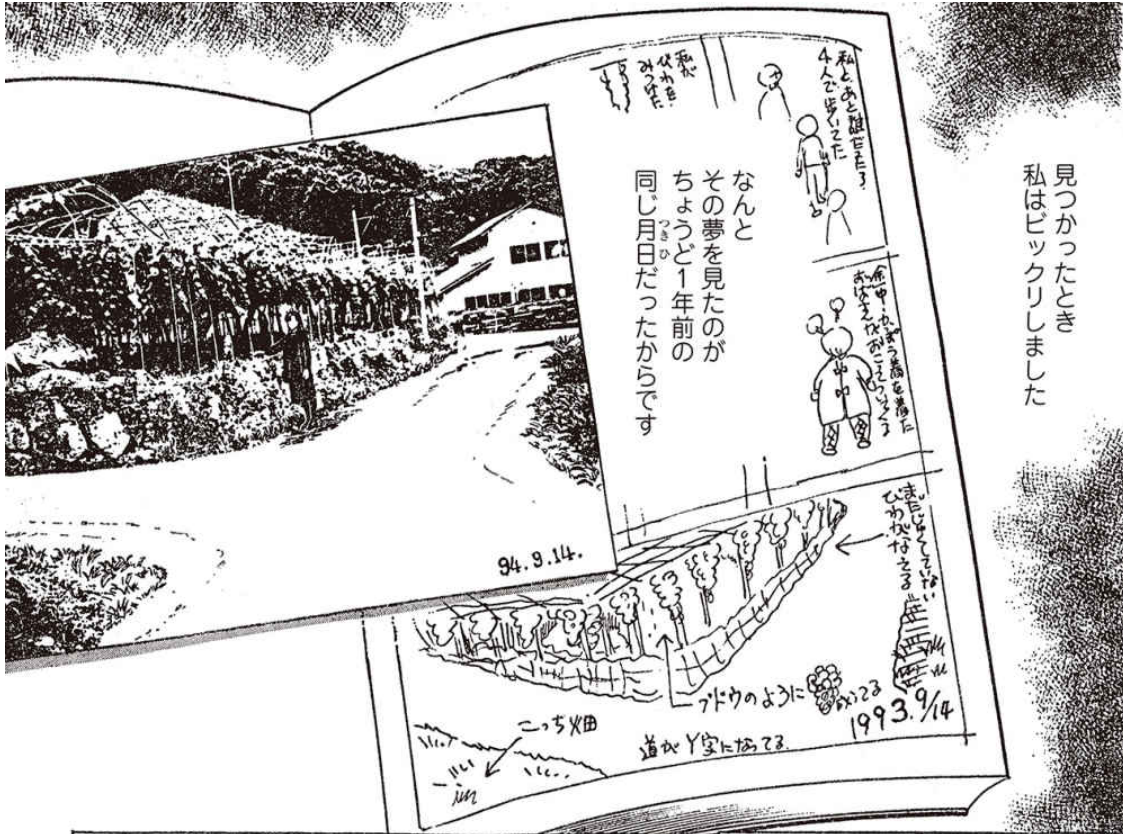
そして
それがいつ見た夢
だったかを
帰ってから
調べることに
したんです



そしてそれは
ちょうどお葬式の
帰り道での
ことでした

デジャブです

「これと同じことを
前にも見た」
ってやつ



見つかったとき
私はビックリしました





話は戻りますが
夢を他人に話すと
実現しないというのは
嘘だ!!

なぜなら

きやあ
フレデイが
ほんとーに
死んでしまった!!

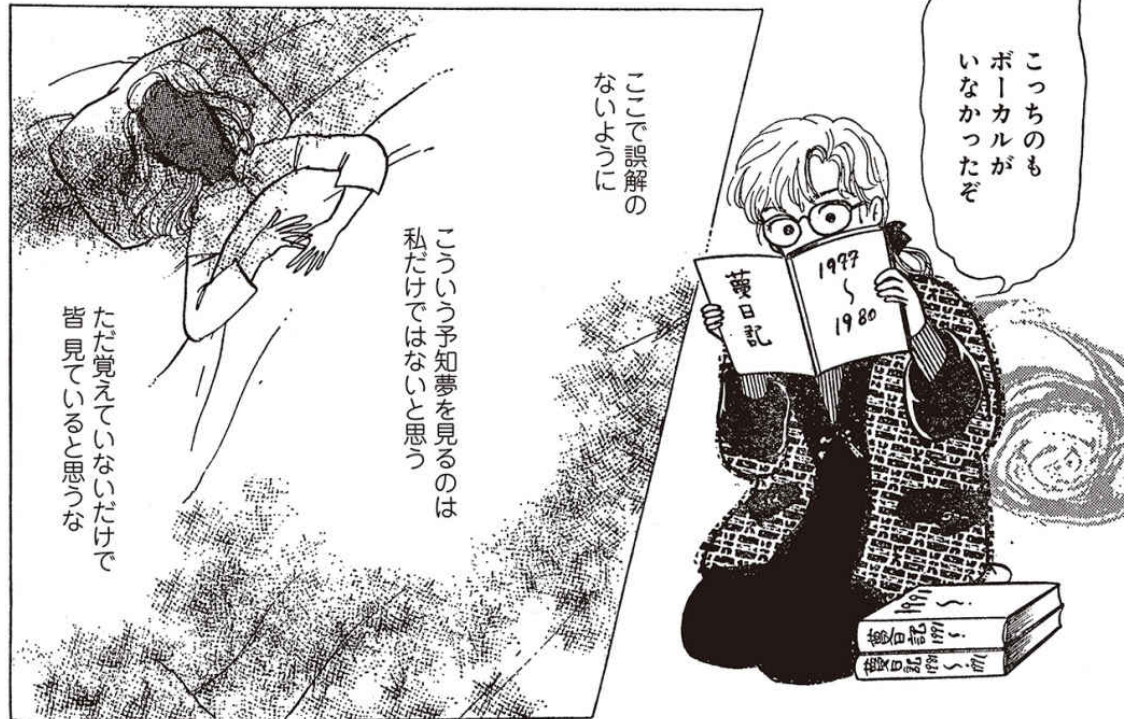
ああれ
あの夢!!まさか
また同じ……



調べたら
フレデイが
亡くなったのと
その夢を見た
日付が同じ

それも
調べたら2回も
そのグループの
夢を……

見ていました



こっちのも
ポーカーが
いなかったぞ

ここで誤解の
ないように

こついつ予知夢を見るのは
私だけではないと思う

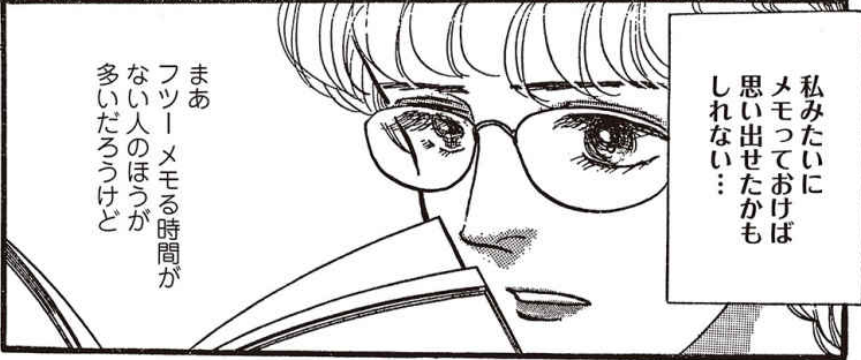
ただ覚えていないだけで
皆見ていると思うな



だけど
それがいつだったか
思いだせないとか！

あれこんなこと
前にもあったぞ？
とか

初めてのはずなのに
前にも見た記憶が
ある――



私みたいに
メモっておけば
思い出せたかも
しれない！

まあ
フツーメモる時間
がない人のほうが
多いだろうけど



もちろん
夢が予知夢とは
限らないよ

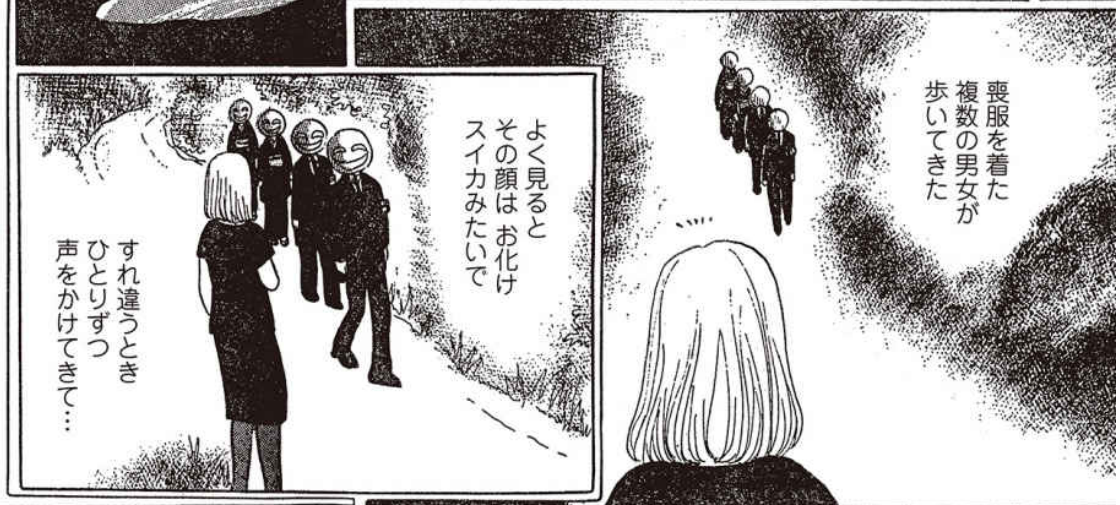
たいていは日常の
延長的なことが
体調や精神状態の影響で
変形させられたものを
見ていると思うけど――



私の知人に
こんな夢を見た
人がいました

それは
彼女の母親が
亡くなった翌日に
見たそうです

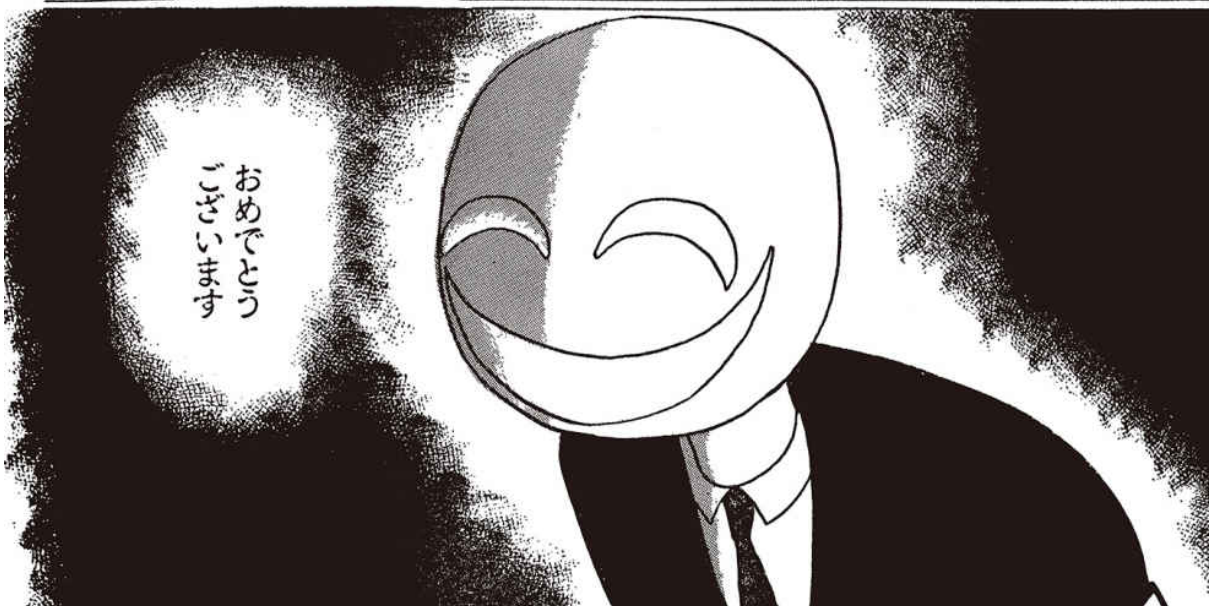
お葬式の帰り
真っ暗な道を
トボトボ歩いていると



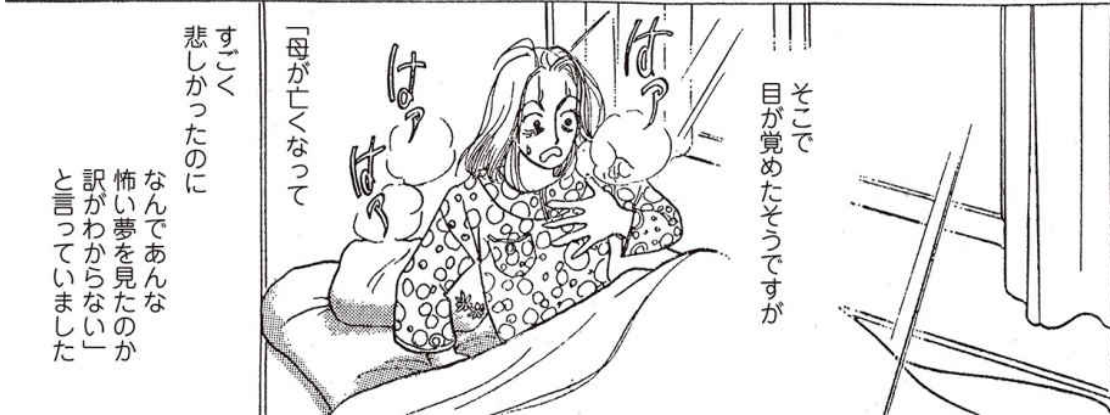
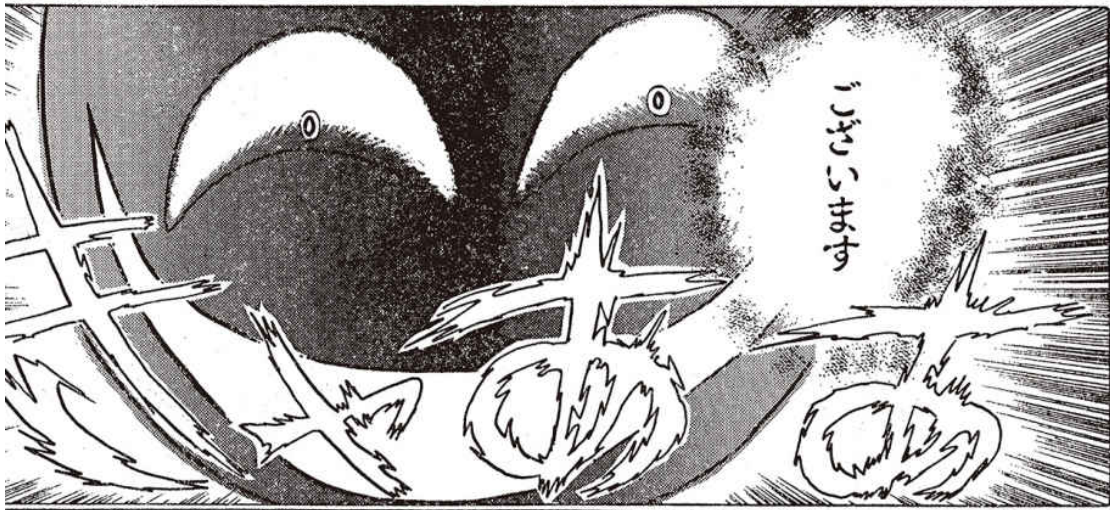
喪服を着た
複数の男女が
歩いてきた

よく見ると
その顔はお化け
スイカみたいで

すれ違うとき
ひとりずつ
声をかけてきて…



おめでとう
ございます



すこく
悲しかったのに
なんであんな
怖い夢を見たのか
訳がわからない
と言っていました

「母が」になって

そこで
目が覚めたようですが



海。あなたの状態をあらわしています

ほかにも
私はたくさんの
夢の記録と体験を
持っています

あなたも
気になる夢を
見たときはぜひ
メモをしておいては？

自由の雫。しからがらの解をあらわ

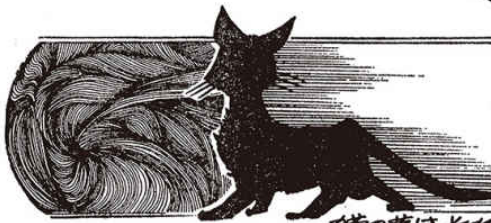
能く前は可塑性...
飛ぶところは飛ぶのは自信のたまごのあら

夢は不思議で

ちょっと怖いこともあるけど……

悩みや迷いを感しているとき

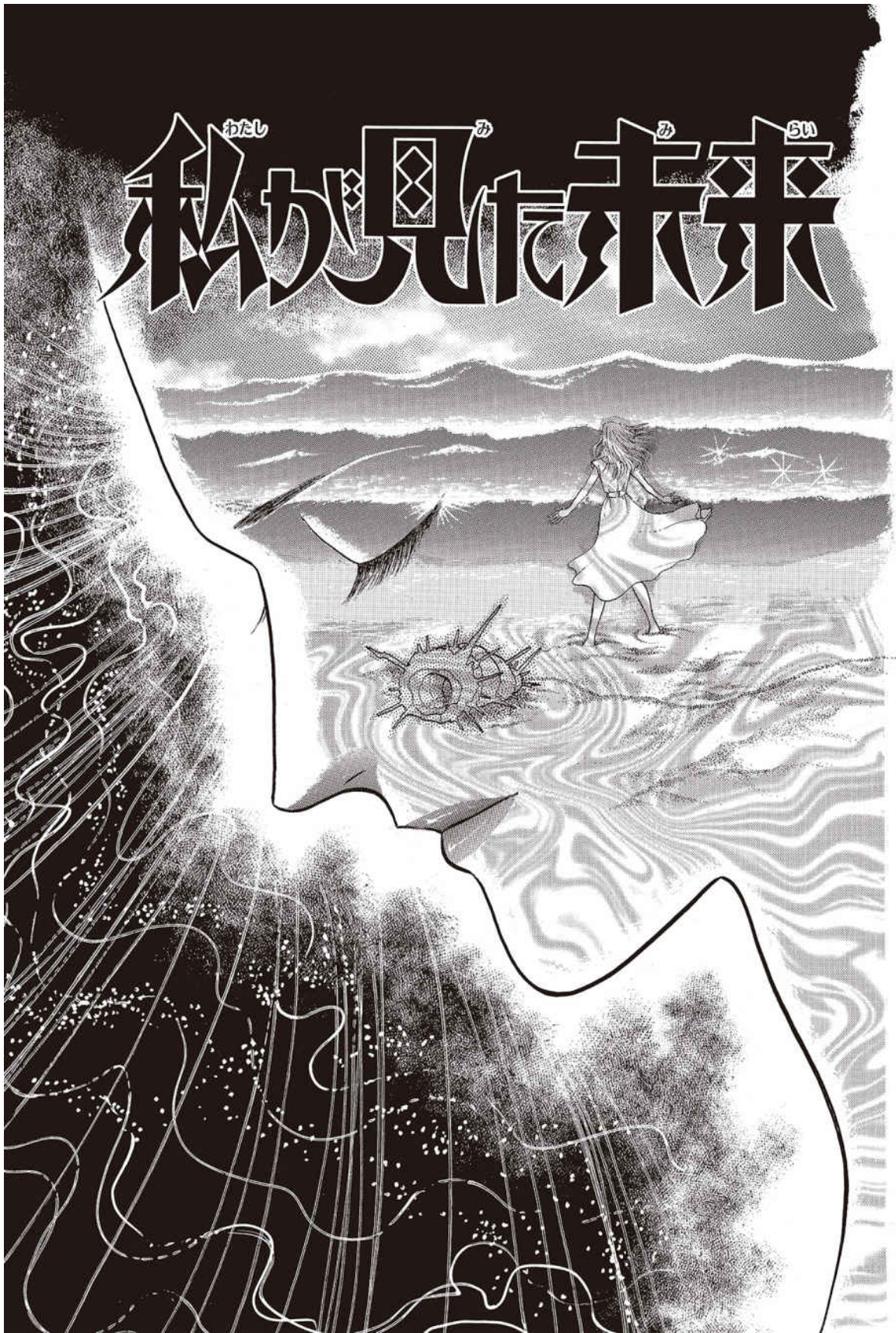
夢を分析すると——ときにそれは

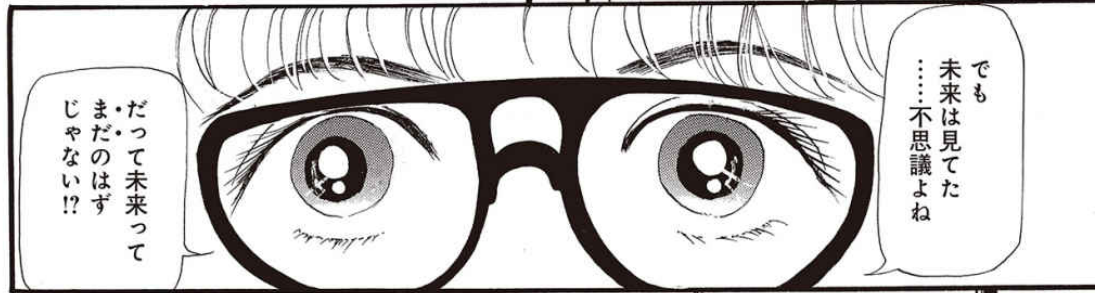


アドバイスやメッセージを
伝えていることも
あります

猫の夢はそれだけ女性を意味しておリ。トラブル。ねたみ。シツの警告をしている
夢のメッセージ ●おわり

私^{わたし}が見^みた^み未来^{未来}







私 夢日記
つけてるんですよ

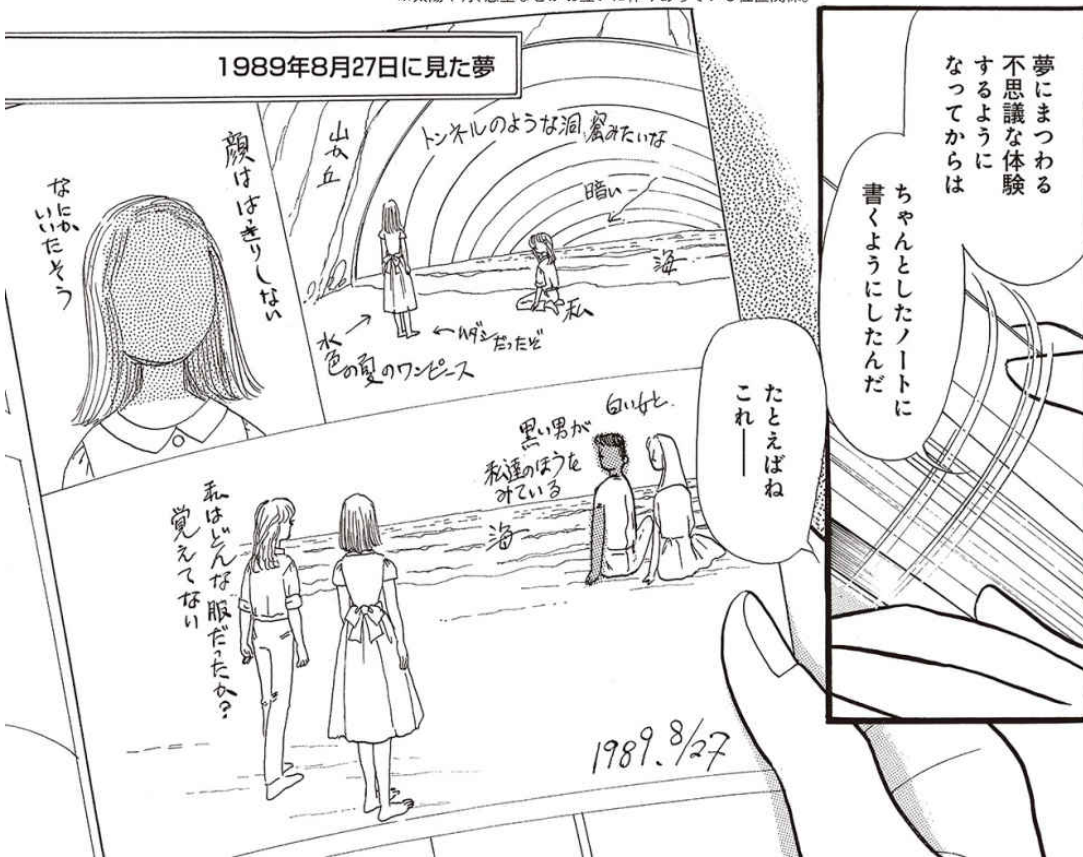
夢日記
1985~1992年.

ホロスコープで
星座相が
月と海王星の人が
見るらしいって
聞いたけど... こんで...

アスペクトが
月と海王星らしい

寝起きに書くから
昔はそのへんの紙に
メモってたりしてたん
だけども

※太陽や月、惑星などがお互いに作りあっている位置関係。



1989年8月27日に見た夢

顔はけきりしなる
山女
トンネルのような洞窟みたい
暗い
海
私
水色の夏のワンピース
白い女
黒い男が 松蓮のほうを みてる
浴
私ほんんぽ服だったから
覚えてない
たえばね
これ

夢にまつわる
不思議な体験
するようになる
なるからには
ちゃんとしたノートに
書くようにしたんだ

1989.8/27



この洞窟どうくつのような
大きな穴

それから
顔がはっきり
しない……この

見知らぬ女性



顔かほはぼきりぼきりは
ないないたたぞぞう

何か言いたそうに
してるんだけど
波の音のせい
か聞こえないんだ

その夢は
それで終わって
しまった……

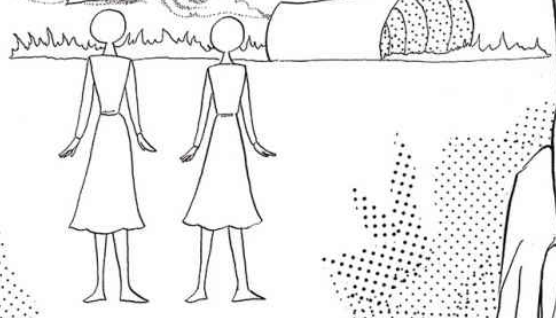


でも
目が覚めてからも
映像が
頭に焼きついて
はなれなくて

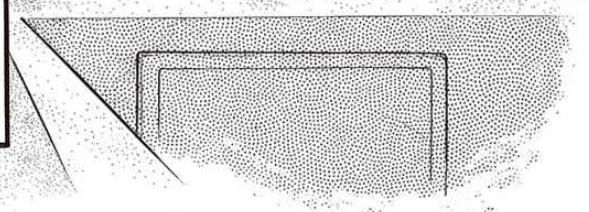
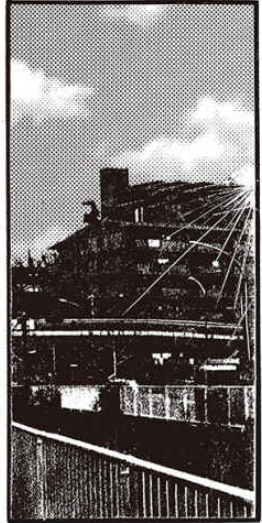
気になるんで
夢分析ゆめぶんしとかは
してみたんだよね
だけど

洞窟は霊界との
つながりを意味する
——または無意識を
意味する、とか

見知らぬ人物は
自分の影の意味
だとか









ここ……の……これ！

金網張ってある
なんだろう？
ここ……



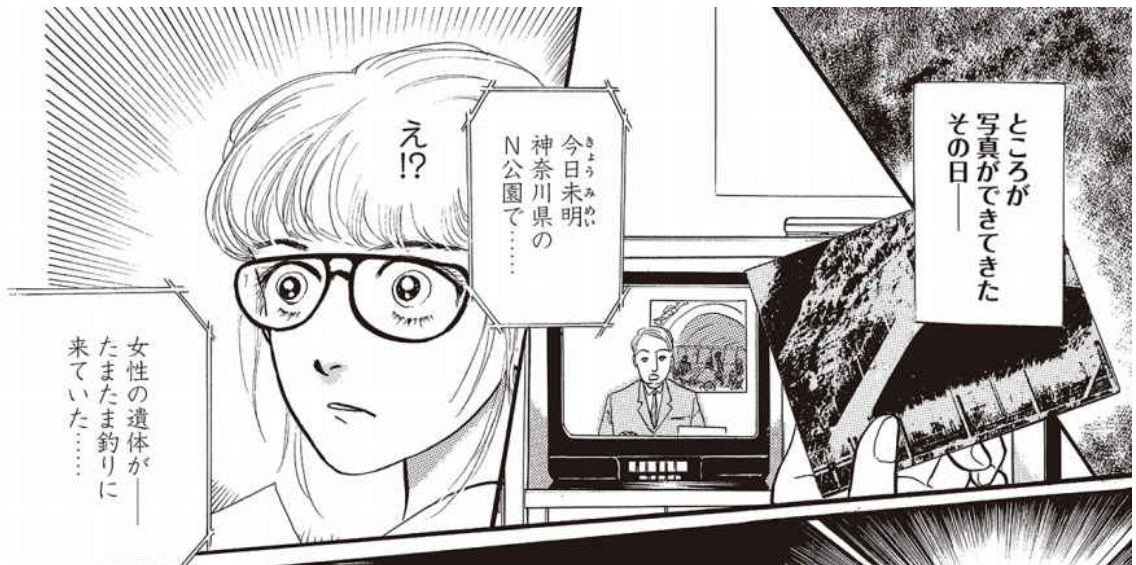
それは
夢で見たものと
まったく同じ形の洞窟
だったので



なんでこれを夢に
見たのかな？
ここは初めてなのにさ

その時は
とりあえず

「あとで夢日記に
はさんでおこう」と
写真をうつして
おきました

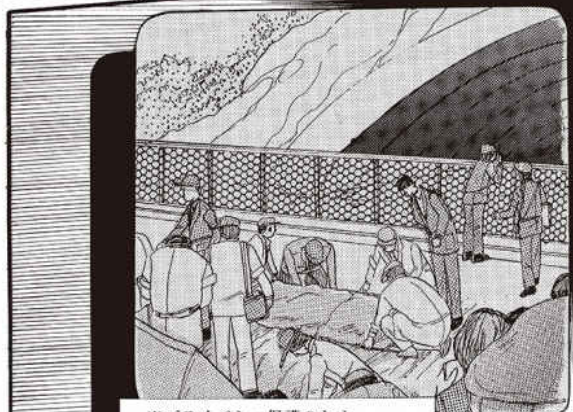


ところが写真ができてきたその日

きょうみめ 神奈川県のN公園で……

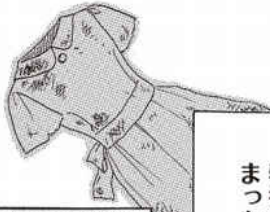
え!?

女性の遺体がたまたま釣りに来ていた……



※プライバシー保護のためこの事件は一部事実と異なります

公開された衣服



しかも亡くなった女性の衣服や特徴が夢の中の女性とまったく同じだったんです

あの場所で!?

殺人!?





これだけでは
ありません

予知夢だった
という体験

なんで!?

あの夢が
この事件と関連が
あったっていうこと!!
どーしてよ!!

1976年11月に見た夢



これも



うそお

QUEENの
ボーカルのフレディが
流行病で亡くなった
というニュースでした

テレビの前には
私と友人のYさん
ニユースが
流れてきて

やだあ
フレディー

フレディの大ファンの
Yさんは泣きだして

流行病って何だ?
麻薬とか覚醒剤
じゃないわけね?

———などと考えたり
していた私



そこで目が
覚めました

妙な不快感と
強烈に残る
夢の印象で

……フレディ
— 死んだ



皆に話したんです

ねえ……私
QUEENの
夢見ちゃった

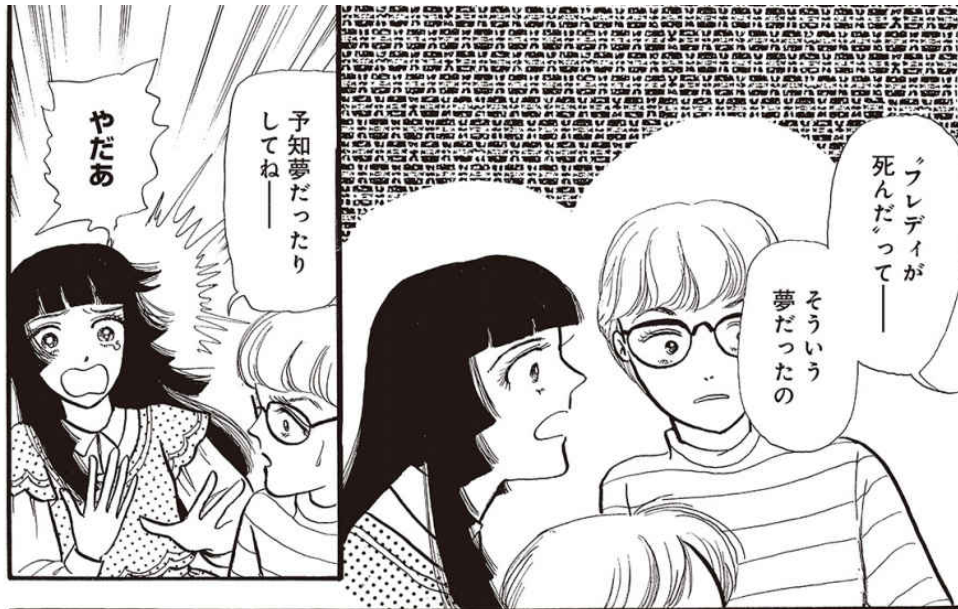
えー
ラッキーじゃん

私とねYさんが
テレビ見てたんだ

わあ
私もでたの？

わあ
どんな？
どんな？
聞かせて!!

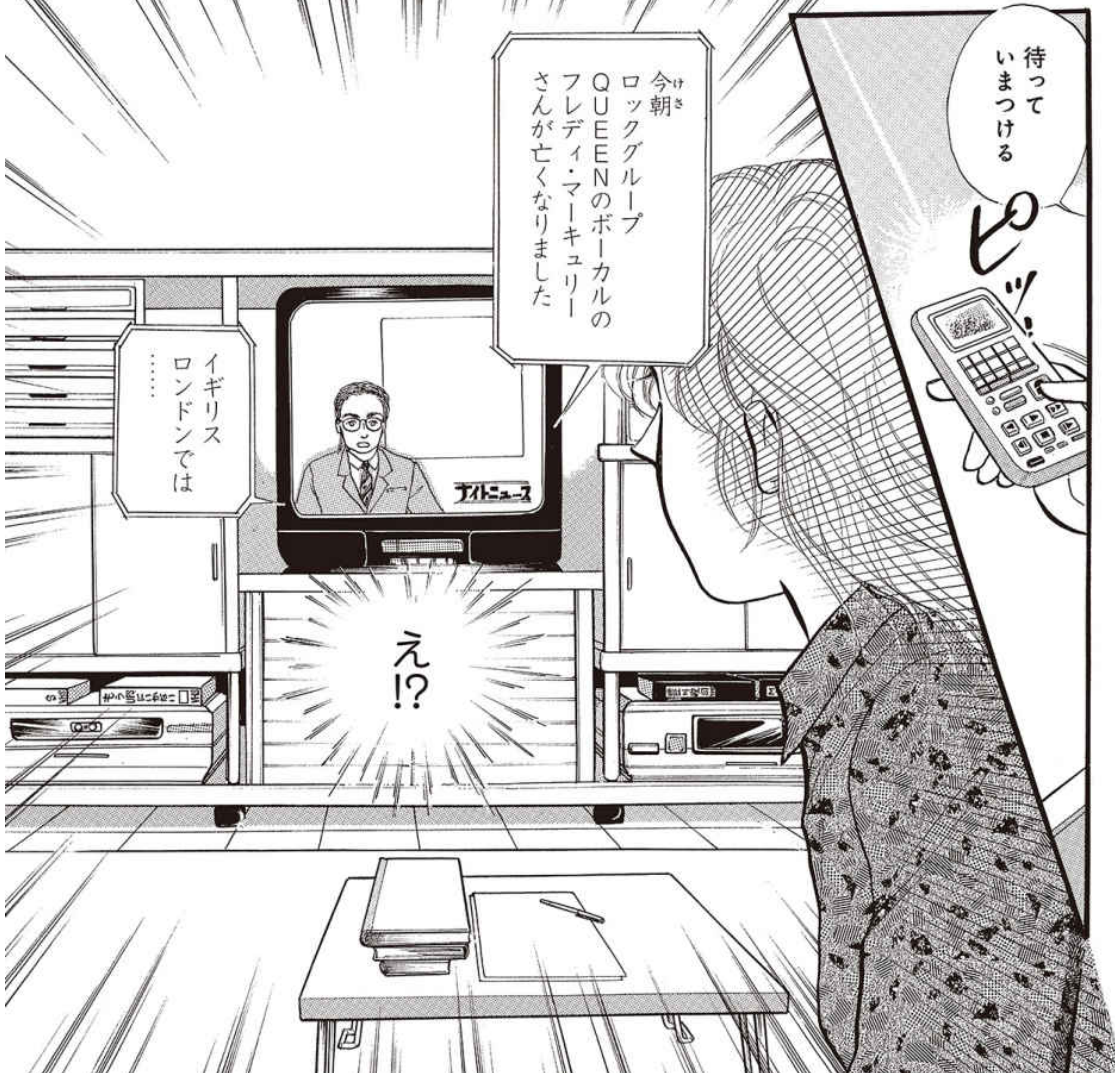
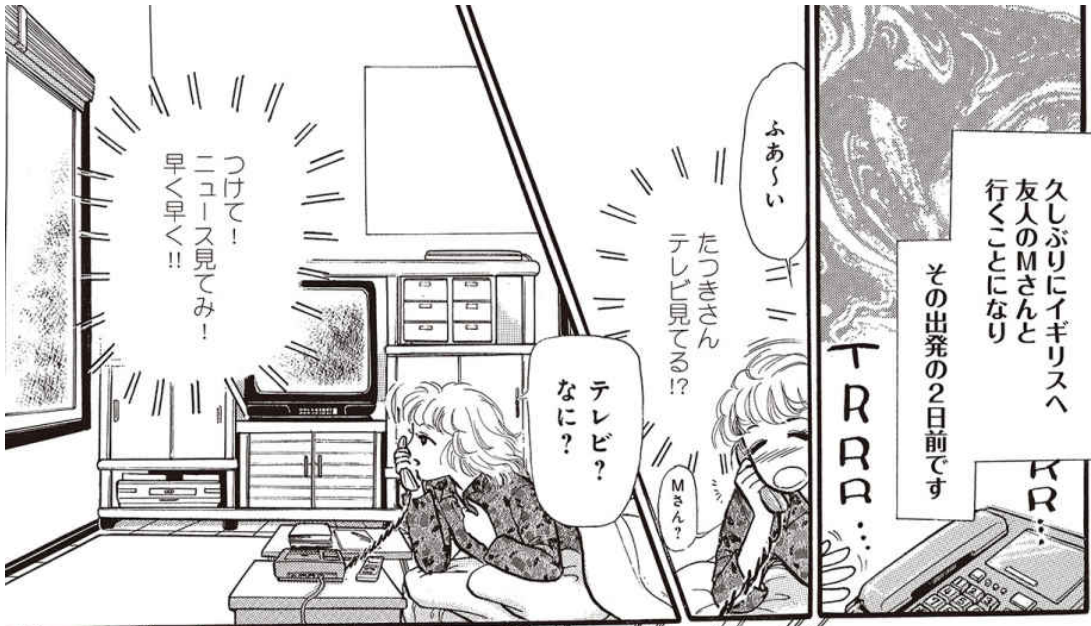
テレビでQUEENの
ニュースやって……さ

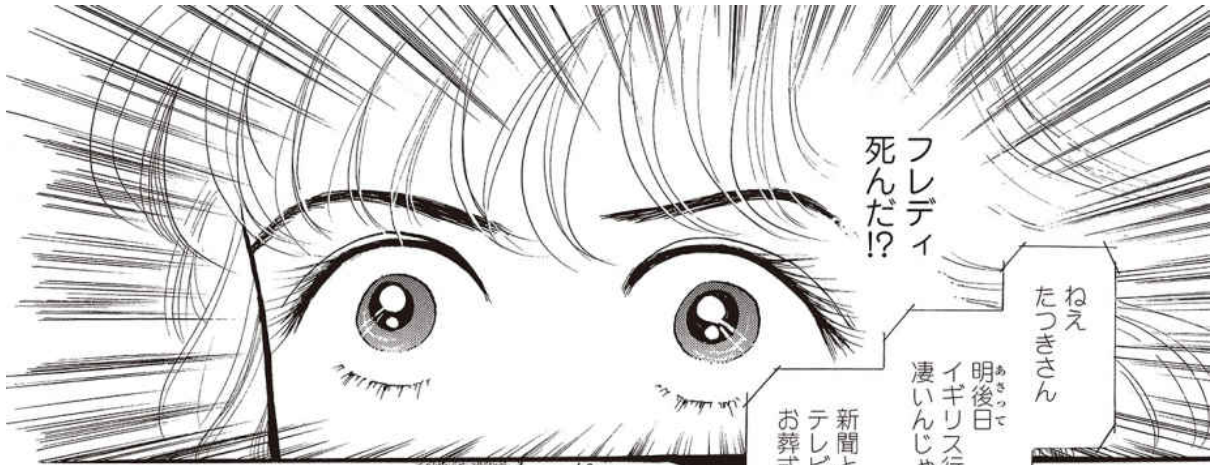


1986年11月28日に見た夢







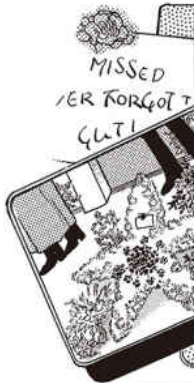


フレディ
死んだ!?

ねえ
たつきさん

明後日
イギリス行ったら
凄いいんじゃない?

新聞とか
テレビとかで
お葬式の……



イギリスでは—連日
お葬式の様子を
繰返し何度も流して
いました—

1991年11月28日
「エイズ」の噂がマス
コミで取り扱われてい
たが、亡くなる二十四時
間前、事務所を通じて「エ
イズ検査で陽性と判定され
た」と発表された。ペルシ
ヤの厳格な
スター教の家庭に生
まれたエイズは、十
八〇年代を通じて英ロ
ック界のスーパースター

フレディ・マーキュリー
「エイズ」
そして
「エイズ」
「フレディ・マーキュリーさん死去」

日本でも人気の高い英国
ロックバンド「クイーン」
のリードシンガーフレ
ディ・マーキュリーさん
(45)が二十四日夜、エイ
ズによる肺炎のため
ロンドンで死去した。ま
た、生前に「ボヘミアン・ラ
ンサーズ」などの名曲を
残した。フレディの死は、ま
は先年のチャリティ・コンサ
ートの収益が、エイズ患者の
治療に活用された。フレ
ディの死は、まは先年の
チャリティ・コンサートの
収益が、エイズ患者の
治療に活用された。フレ
ディの死は、まは先年の
チャリティ・コンサートの
収益が、エイズ患者の
治療に活用された。

ダイジェスト [週]

英国 ニュースダイジェスト

日本へ帰ってから
Mさんと写真の
交換をしていた時に
気づいたんです

たつきさん
どうしたの?



1991年11月28日 英国ニュースダイジェスト [週刊]

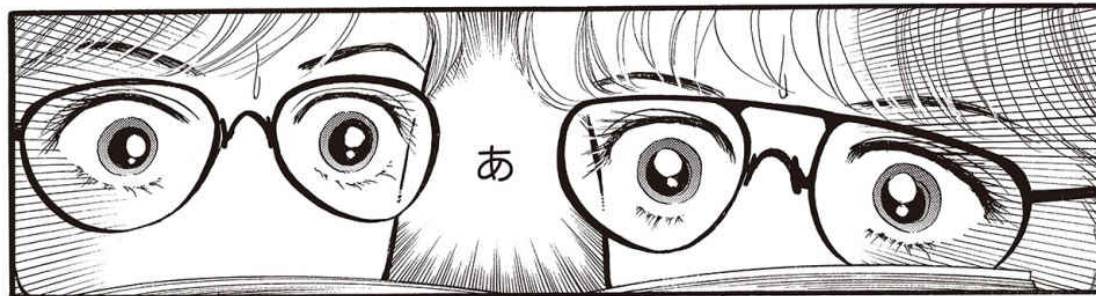
英国 ニュースダイジェスト

日本でも人気の高い英国
ロックバンド「クイーン」
のリードシンガーフレ
ディ・マーキュリーさん
(45)が二十四日夜、エイ
ズによる肺炎のため
ロンドンで死去した。ま
た、生前に「ボヘミアン・ラ
ンサーズ」などの名曲を
残した。フレディの死は、ま
は先年のチャリティ・コンサ
ートの収益が、エイズ患者の
治療に活用された。フレ
ディの死は、まは先年の
チャリティ・コンサートの
収益が、エイズ患者の
治療に活用された。

ISSUE
No 310

※「イギリスの日本人向け新聞」です。





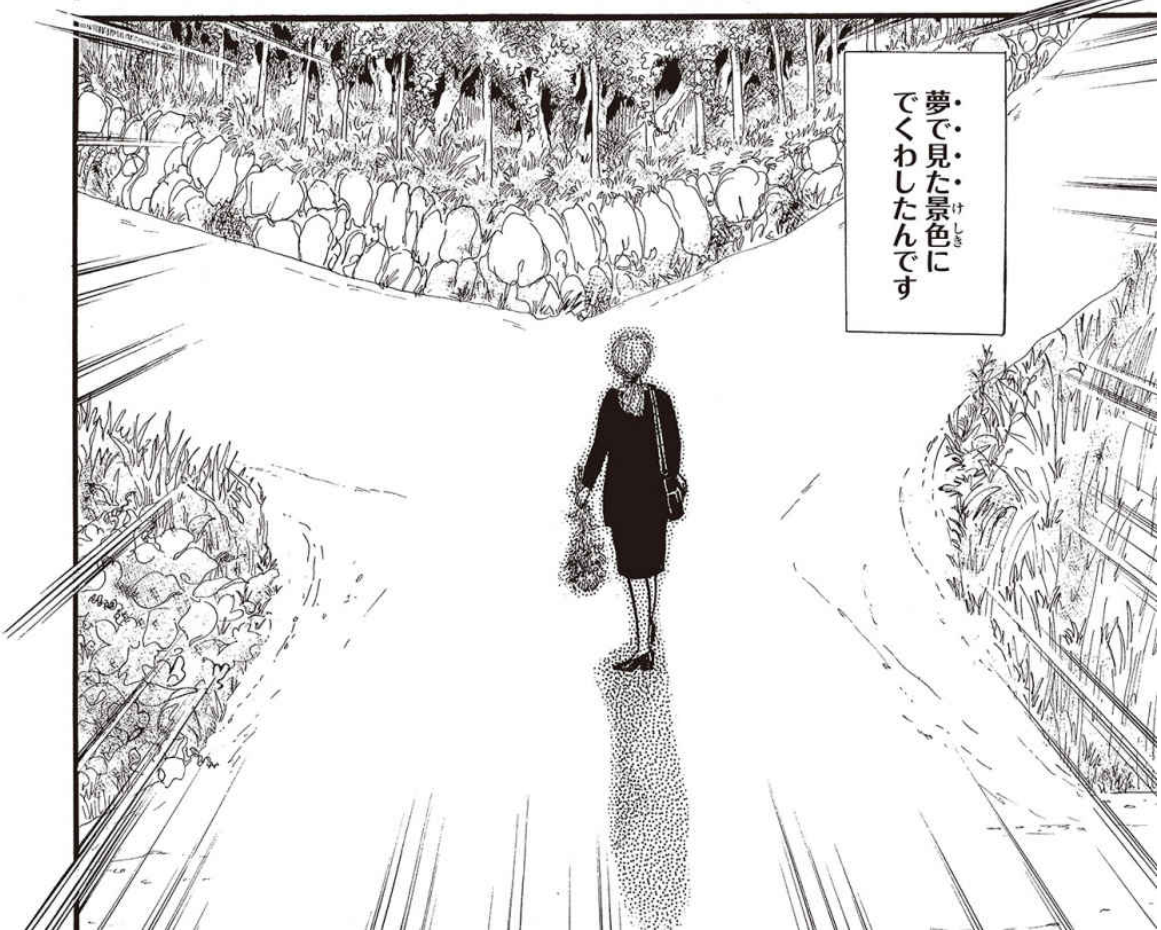




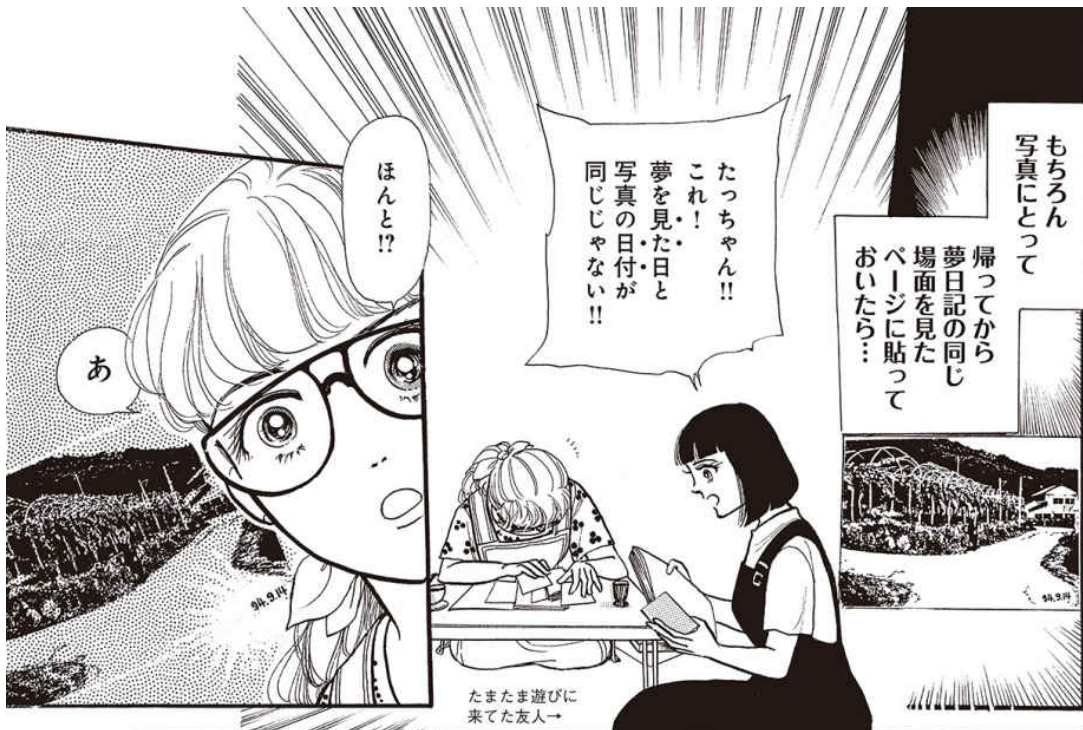
夜明け前に
車を飛ばして

お葬式には
何とか間に合う
時間に着いて

それは
伯父の家へ向かう
途中のことでした



夢で見た景色に
でくわしたんです



もちろん
写真にとつて

帰ってから
夢日記の同じ
場面を見た
ページに貼って
おいたら：

たっちゃん!!
これ!
夢を見た日と
写真の日付が
同じじゃない!!

ほんと!?

あ

たまたま遊びに
来てた友人→



日付が同じ?

そういえば
QUEENの時は
新聞の日付と同じだ

だから死んだ日の
予知じゃなくて

この日に体験するって
いうか：現実を知るよって
いう予知なんじゃない?



なるほど
私が—ね

その予知か
ごもぎせ私

あら?

新聞の切りぬき?
なんでこんなの
はさんであるの?



あっこの子だ！って

目のぼろちした赤ちゃん
たかかわり
赤ちゃん
1~2才
1995.10

郵便局に刃物を持った
男が「押入り」100万円を奪
1995年12月
「殺人事件に
関係する」

うん 同じ顔だったもん
見たらすぐわかった

この事件の時の
赤ちゃんだったの？

その人質事件の
赤ちゃんの顔も
夢で見たのよ

夢はそれだけで
終わったのですが
その翌月

「彼女」
嫌いなじゃないけど
恋愛感情は
もてない」と
話す男

私

「彼女って誰？」と
考えてた私

ぜーんぜん
会ったことない
男の人がさ

あ……
面白い予知も
あつたよ

ほんとだわ
似てるー!!

あー
この顔!!

Mさんに夢の
話をしたら
後日—彼の
写真を見せて
くれました

長いこと
会ってなかった
友人のMさんから
電話がありました

「嫌いなじゃないけど
恋愛感情もてない!!」って
言われて失恋した!!

ええ!!

平泉は公表できませんが
とにかく同じでした
←赤茶の
二ん仔髪型

シズメ系
高川學



そんなにたくさん
じゃないけどさ

予知夢も見てた
——って思うと
これがちよつと
気になるんだ

なに？



すごいじゃない！
たっちゃん!!

私だけじゃ
ないって!!



あっこんな場面
前に見たことある
って体験ない!?

ああ……
まあ……



ただ
私みたいにメモに
書いてないから

そうか？

忘れちゃったり
覚えてない
だけだよ



これも
予知夢なの？

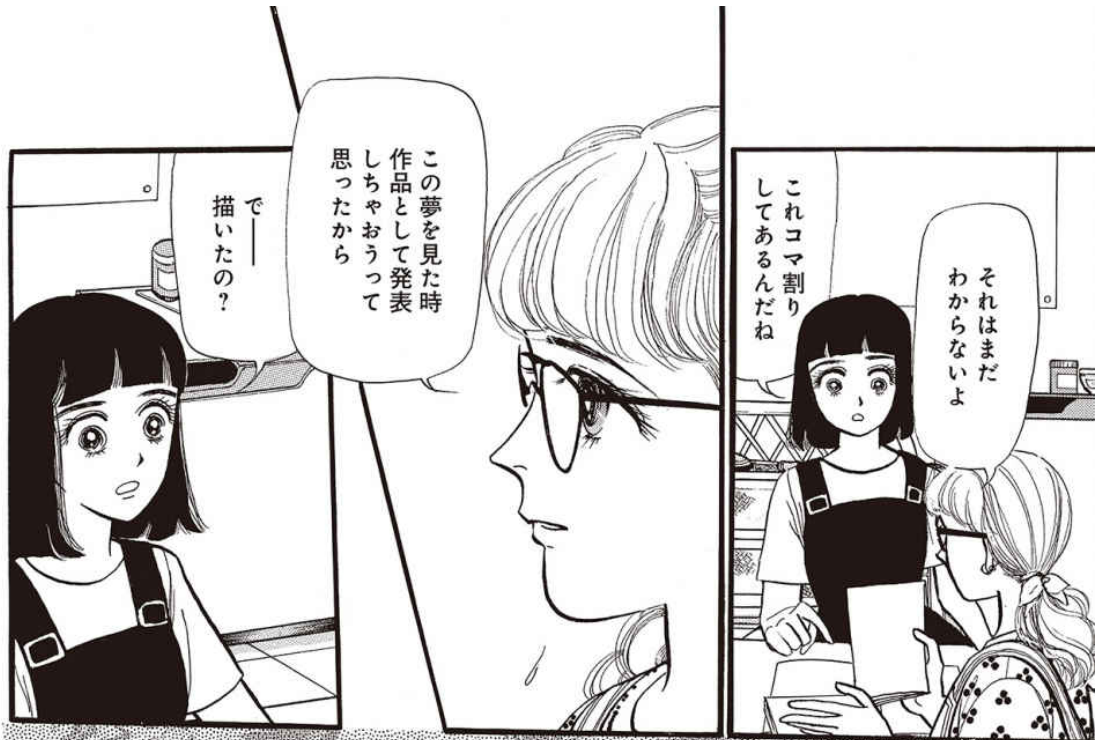
その夢を見たのは
もう15年前のこと
なんだけどね……



え

96年？
今年じゃない!?

※雑誌での掲載は1996年でした。



で——
描いたの？

この夢を見た時
作品として発表
しちゃおうって
思ったから

これコマ割り
してあるんだね

それはまだ
わからないよ



なに？

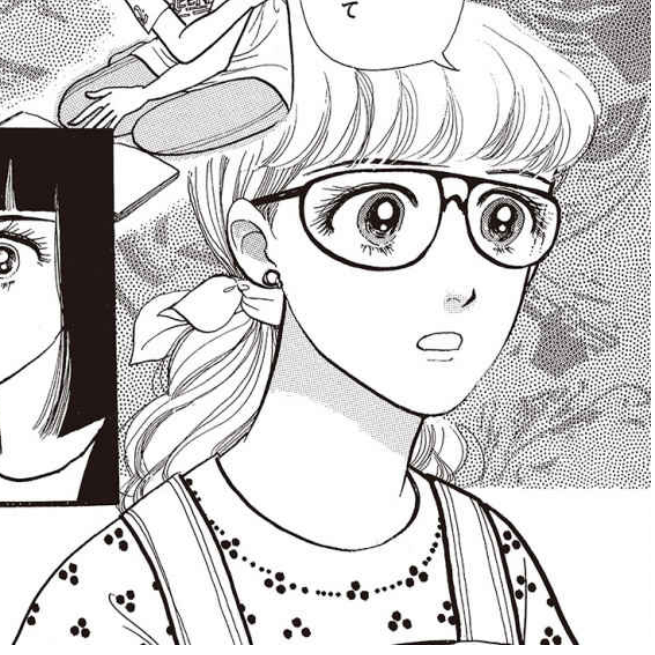
描くなつて……

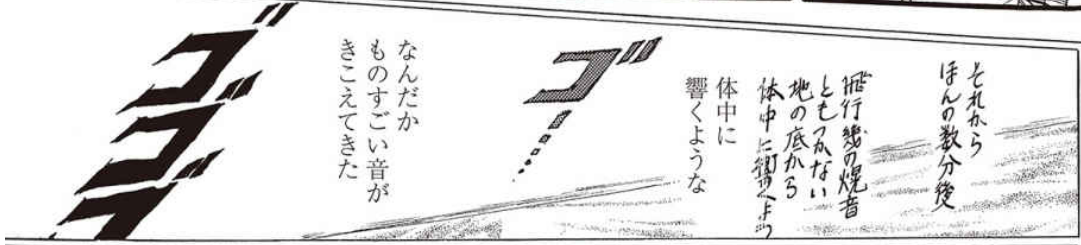
結局
中断しちゃったんだ
寒気と吐きけに
おそわれて……

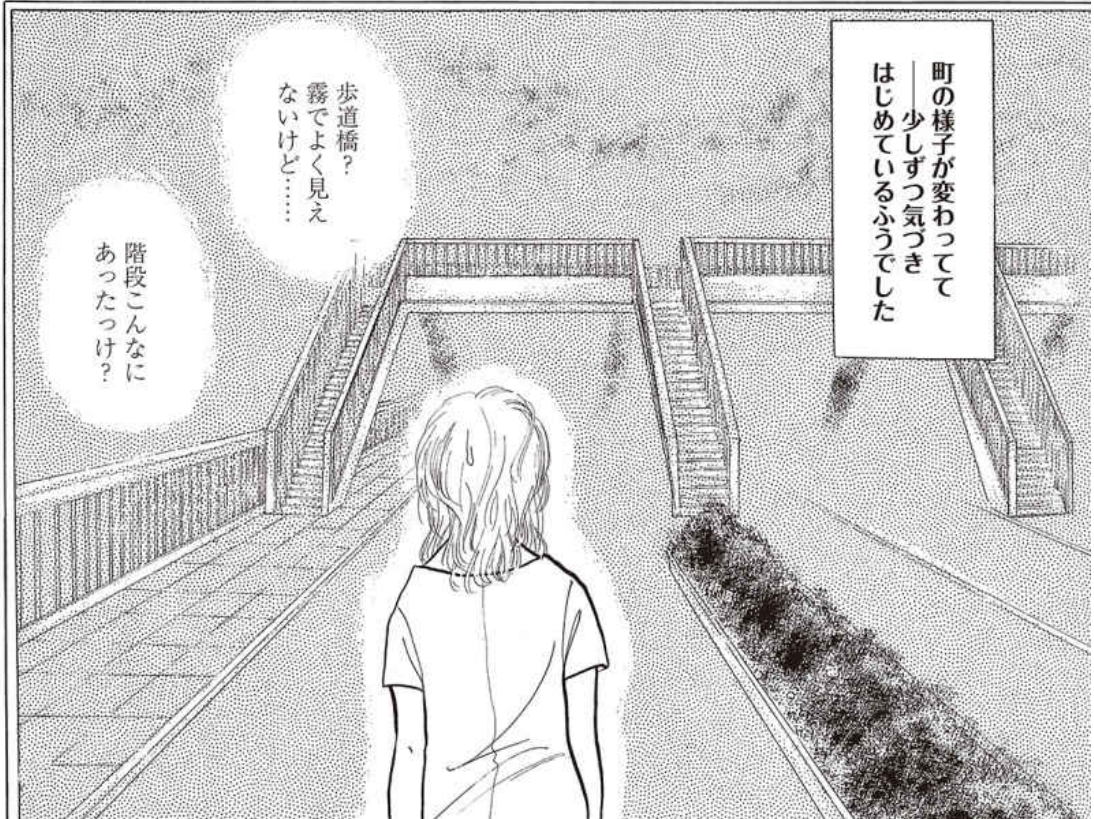
だめだった
ネームにしたら
描いてるうちに
鳥肌がたつてきて

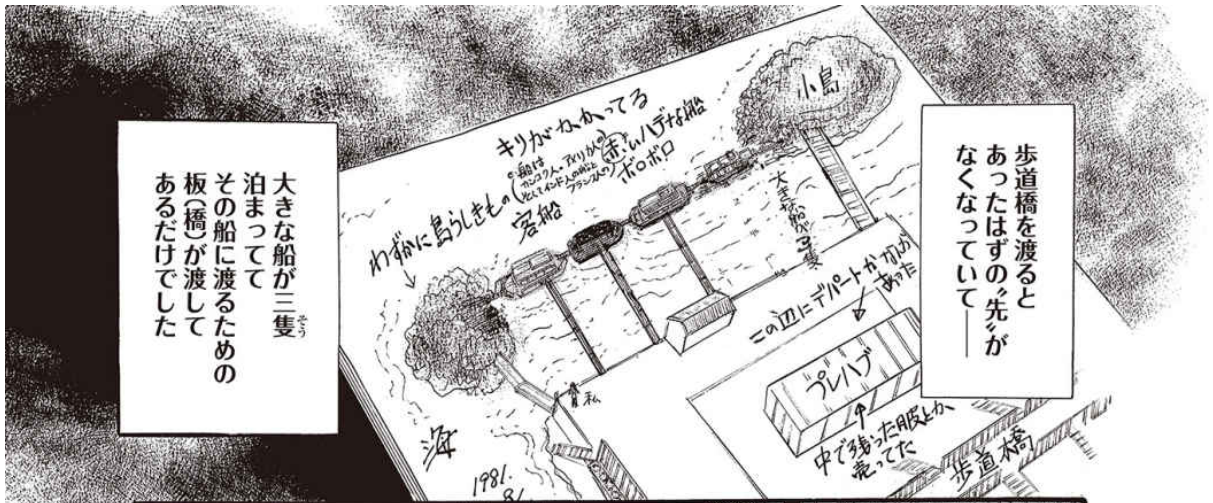


……
んで……？
今は大丈夫
なわけ？……









大きな船が三隻
泊まって
その船に渡るための
板(橋)が渡して
あるだけでした

歩道橋を渡ると
あつたはずの先が
なくなっていて



ああこれ?
—がなに?

夢はここで
終わってんだけど
……この
歩道橋……



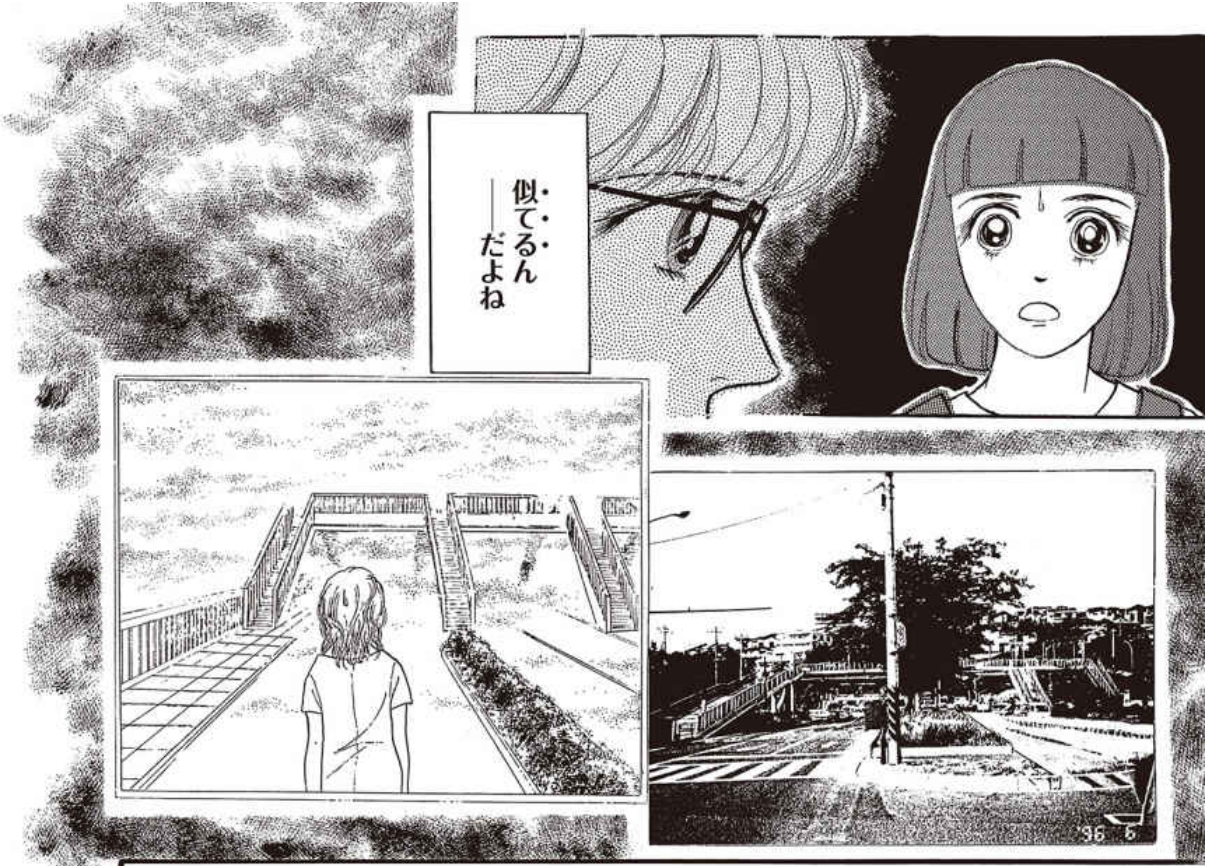
あれ—なの!?



——こんな歩道橋
心当たりなかった
んだけどね……
ほらここ……
駅前新しく
歩道橋できた
じゃない?



わかんない……
けど
ちよつと
似てる……



似・て・る・ん
— だ・よ・ね

津波の原因は
私にはわかりません

津波に
襲われた町が
どこなのか？

単なる夢で終わるのか？
予知なのか？は

— もうすぐ
わかるから……

私が見た未来○おわり

「夢日記」解説

『私が見た未来』の
元ネタにもなっている
自身の夢を書きためた
「夢日記」——

漫画に描かれたもの
描かれなかったもの——
「夢日記」を元に
予知夢の詳細を解説

なぜ表紙に
「大災害は2011年3月」と
描いたのか？

そして、
3.11を超える、
新たな予言とは——

解説・たつき諒

／構成・中村友紀



「夢日記」解説



夢日記

日記帳のかたちで残っているのはこの2冊です。夢で見た内容と同じ場面に現実に遭遇したときは、写真や新聞記事などもはさんでスクラップしているので、こんなに分厚くなってしまいました。2004年8月以降の夢は、日記帳ではありませんがメモ書きとして残しています。

なぜ夢日記を書き始めたのか

夢は誰でも見ますが、起きたあとで忘れてしまうことがほとんどだと思います。

私の場合、ものすごく印象的な夢を見ると、目が覚めても忘れない。むしろはっきりと記憶に残っていたものがいくつあつて、もしかするとそこに何か意味があるのかもしれない、**未来の自分に何か関係があるかもしれない**ということ、少しずつメモを取るようになったのがきっかけです。

それは漫画家としてデビューしたころ、1976年くらいから始めていました。でも、メモだとバラバラで、いつ見た夢かもわからなくなります。

そんなとき、病院で働いていた母が、ある印刷会社の患者さんから**束見本**と呼ばれる、表紙周りだけでできていて、中身が真っ白の本の見本をいただきました。

「使う？」といって母はそれを私にくれて、じゃあ夢日記に使おう、と。ちゃんと記録するようになったのは、1985年からです。

そのときの、**分厚くなった夢日記が2冊**。古くなって見た目はボロボロですが、まだ保存してあります。

夢日記には何が書かれている？

夢日記は基本的に、枕元に置いていました。

漫画家になってから、アイデアが浮かんだときにすぐにメモができるように、筆記用具を手許てもとに置いておく癖くせがついていて、それが私にとって当たり前になっていました。

夢日記に書いたことが、すべて予知夢というわけではありません。

ひとことで夢といっても、精神的な影響やストレスで見た夢も多くて、ほとんど個人的なものです。メ切めきが近いのにアイデアがでない、どうしようとあせっているときに担当から催促さいそくの電話がかかってきて……「あ！ 夢だった」とか――。

漫画「夢のメッセージ」内でも描いていますが（19ページ）、もしかするとそういう精神的なストレスも、夢を見ることで発散しているのかもしれない。精神医学的にもそういうことはあるようですから。

予知夢かどうかは、結果として「現実になった」かどうか、でしか判断ができません。

ただ私の場合、予知夢は「自分に関係する」事件や事故に限られている気がします。大人になればなるほど世間との関わりも増えるため、予知夢の回数も増えたのでしょうか。

表紙に描いた予知夢の真相①

「大災害は2011年3月」と描いた理由

本当は「1999年の災害は小規模に、そして大災害は2011年3月に」と書くつもりでした。この具体的な日付である「2011年3月」という年号は、『私が見た未来』の単行本の裏切の日に「夢」で見ました。

この日付が漫画に描いた大津波の夢と関係があるのかどうか、そのときにはわかりません。でも、これはとても重要な日付だと思い、急遽、年月だけを付け加えたのです。

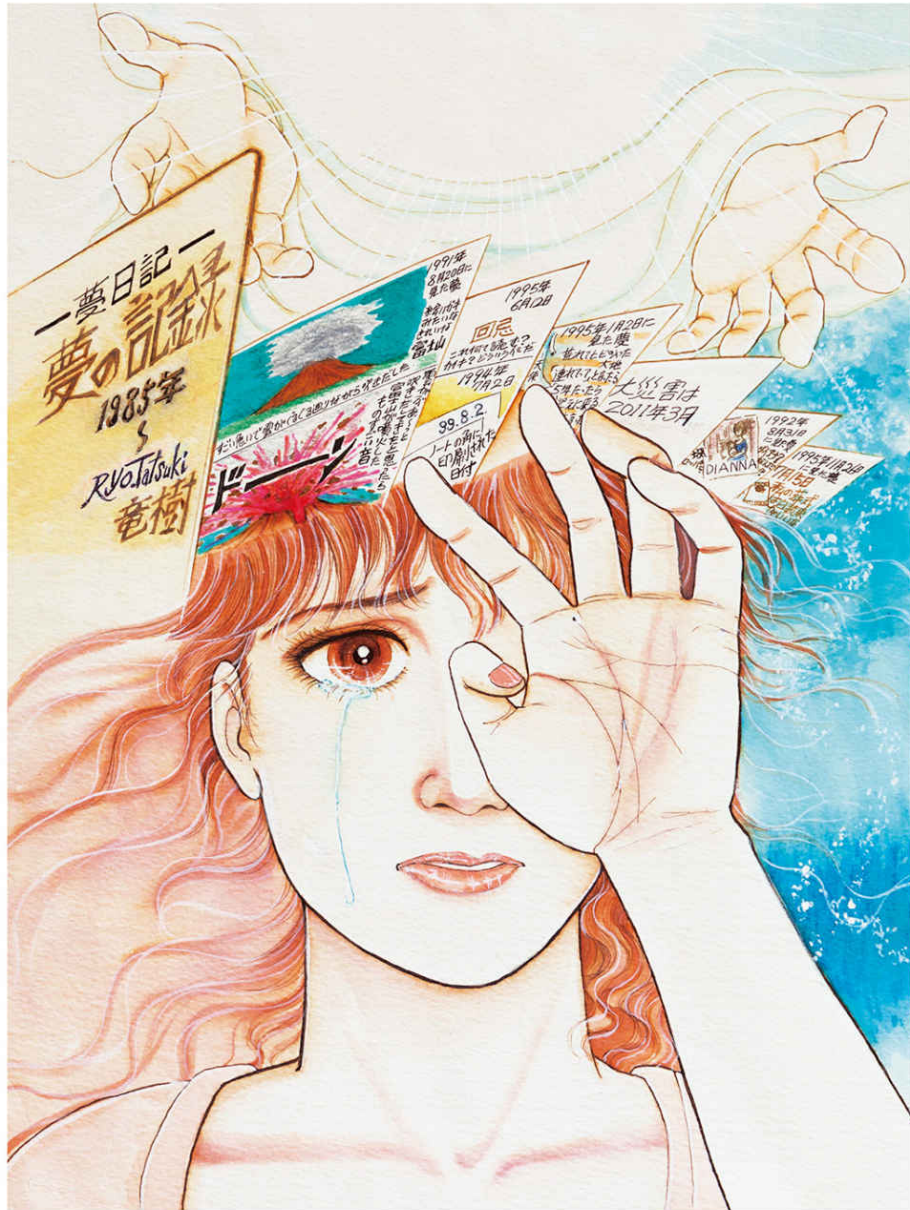
このとき、世間はノストラダムスの終末予言の話題で盛り上がっていました。ここで警告することで、ひとりでも多くの人が気づいてくれれば大災害も避けられる、と思いました。ですが、この日付だけでは、信じた人もいなかったらと思う。実際、発売時には大して話題になることもありませんでした。

56ページからは、表紙に描いた夢のいくつかについて、どういう内容でその後どうなったのかを解説したいと思います。

※ノストラダムスの終末予言

16世紀のフランスの医師・占星術師、ノストラダムスの予言集を解釈し、「1999年7の月」に「人類滅亡の日」が訪れるというもの。1973年に刊行された『ノストラダムスの大予言』（五島勉／祥伝社）は250万部超の大ベストセラーとなった。

「夢日記」解説



旧版の表紙イラスト

『私が見た未来』の表紙に描いた夢は、いずれも漫画の中には登場しません。なぜ漫画に描かなかったのかというと、ただ夢を見たというだけで、漫画として成り立つ要素がなかったから。ただ唯一、「大災害は2011年3月」というビジョンだけははっきりと見えていました。

表紙に描いた予知夢の真相②

ダイアナ妃の死

イギリスのダイアナ妃[※]が交通事故で亡くなったのは、1997年8月31日のことでした。皆さんもよくご存じのように、パパラッチと呼ばれるマスコミの追跡から逃れようとして、悲惨な事故に遭われたわけです。

正直なところ、この事故と私がどういう関係があるのかわかりません。いえ、むしろまったくないのではないかと思っています。この絵は、夢の中で見たものをそのままスケッチしました。ですから、ダイアナ「妃」だということもよくわかっていませんでした。

絵を描いた紙（スケッチ）が夢に出てきて、「ダイアナ」と呼ぶ年配の女性の声（エリザベス女王の声に似ていた）と名前のスペル「DIANNA」。この絵は私の自画像とともに赤ちゃんを抱いた「ダイアナ」という女性の写真が出てきた——そういう夢です。

メモは1992年のもので、ダイアナ妃が亡くなったのは1997年。日付も一緒でちようど5年のずれがあります。けれども夢の感じでは、彼女が亡くなるというイメージはまったくありませんでした。ですからこれは、あとになって読者の皆さんによって「意味付け」されたものといえるかもしれません。

※ダイアナ・フランセス

イギリスの第1位王位継承権者・ウェールズ公チャールズの最初の妃。1996年に離婚。1997年にパリで交通事故による不慮の死を遂げた。

「夢日記」解説



夢を見た日：1992年8月31日

夢の中では、お城の中で赤ちゃんを抱いた女性と「DIANNA」という文字が見えました。この夢の前年に私はイギリスへ旅行し、王室の宮殿も見学したことはありますが、この夢がダイアナ妃と関係があるのかどうかは今もわかりません。

表紙に描いた予知夢の真相 ③

富士山大噴火

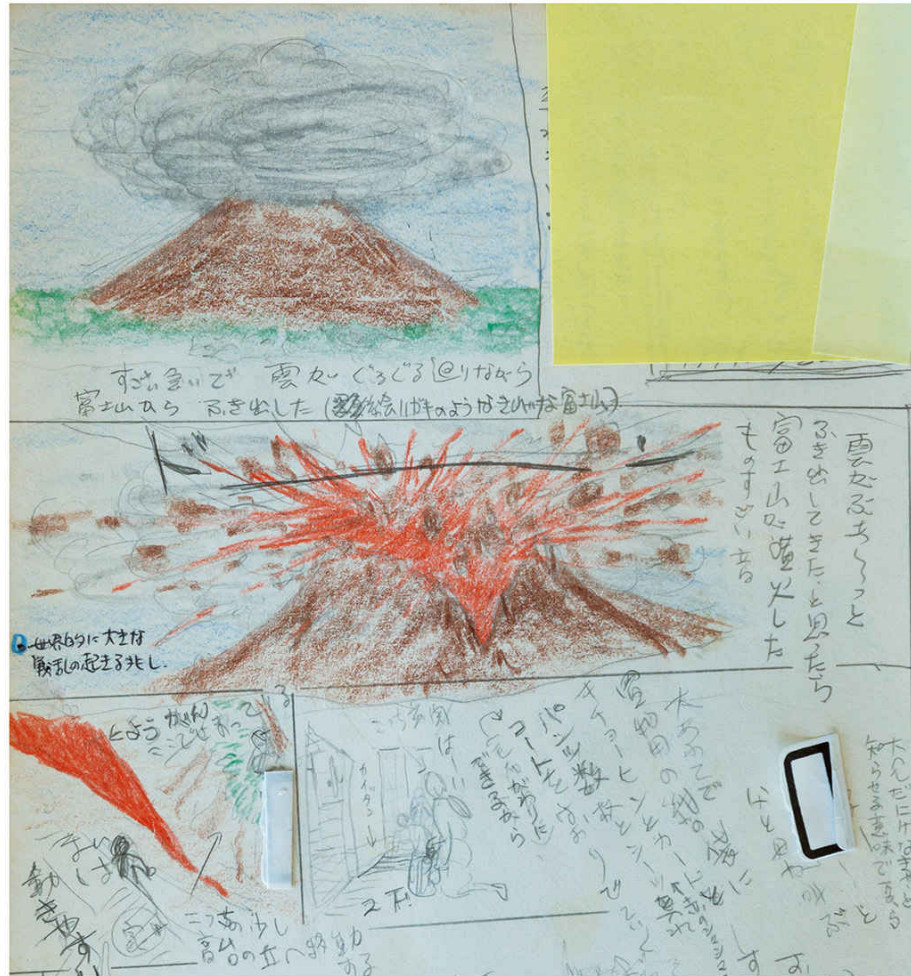
夢では噴火していましたが、それは象徴的なもので、大規模な災害は起こらないと思っています。夢診断によると、「噴火⇨世界恐慌やパンデミックなどでパニックになる」ということのようにです。ですから富士山は大噴火しません。それは大丈夫です。ただ、あくまでも皆さんがイメージするような大噴火はない、という意味です。

噴火したとしても、脇から少し溶岩が漏れるとか、そういう感じなのだと思います。決して東京が壊滅するような大噴火にはならないはずですよ。というのも、富士山についての夢は、実は1999年に本が出たあとも含めて3回見えています。

最初は1991年のこの左の絵で、2回目は2002年。このときはきれいな梅畑がある場所にホームステイをしていて、そこから富士山が見えていました。噴火の夢ではありませんでした。

3回目の夢は2005年で、セスナ機に乗って富士山の火口を真上から見ると、「きれいな死火山だな」と思った夢でした。そのあとでたまたま友達が、「富士山の噴火口を飛行機から見たよ」といって写真を見せてくれたのですが、夢で見たものと同じでした。

「夢日記」解説



夢を見た日：1991年8月20日 1回目の夢は富士山が大噴火するシーン。大慌てで逃げている私。



夢を見た日：2002年5月27日
梅畑から遠方に望む富士山。



夢を見た日：2005年6月11日
セスナ機から見た富士山の噴火口。

表紙に描いた予知夢の真相④

荒れてヒビの入った大地

1995年1月2日に見た夢です。

赤い大地に2か所、大きなヒビ、亀裂が走っています。天上の人（女性）がいて、「連れて行って」といったら、「まだ、今はだめよ。5年後ね、5年たったら迎えに来るわ」という返事がありました。

とても気になって、夢診断などでいろいろと調べました。ヒビが私の手相の結婚線に似ていたので結婚の予知夢かと考えたり、あるいは私の寿命が尽きる日かと思ったり……。いつからの5年後なのか？ ドキドキしながら過ごしていました。

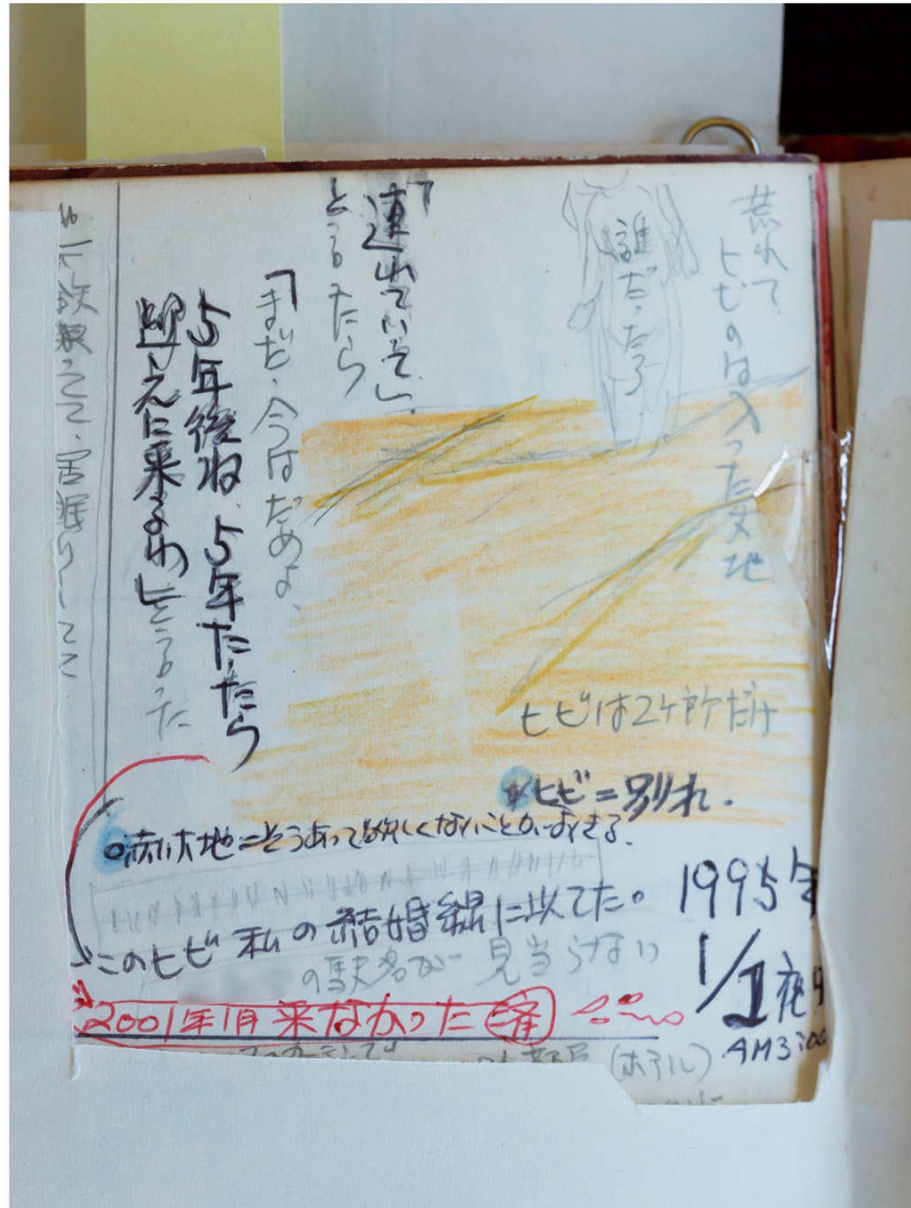
でも今では、なんとなく答えがわかっています。

それは「私の役割が終わる日」です。

詳しくはこの原稿の最後で書きますが、私には2025年に日本列島を襲う、地球規模の大災難が見えました。

その日に備えて人々に警鐘を鳴らすのが私の役割だとしたら、それが終わるのは2025年ということになります。

「夢日記」解説



夢を見た日：1995年1月2日

「5年たったら迎えに来る」の言葉がとても印象的な夢でした。「私が死ぬ日」ではないかと怯えていたのですが、ようやく今になって、これは2025年に「私の役目が終わる日」のことではないかと思うようになりました。

表紙に描いた予知夢の真相⑤

私の葬儀は白っぽい服だとよい

夢を見たのは1995年11月26日でした。

昔の日本では喪服は「白」でしたが、今は「黒」になってしまったせいかな、夢の中で「私の葬儀では」黒い喪服よりも白っぽい服を着てくれたらいいな。皆、白っぽい服を着て来てくれるかな」と遺言に書いておいたら、皆が白っぽい服で来てくれた——そんな夢だったのです。

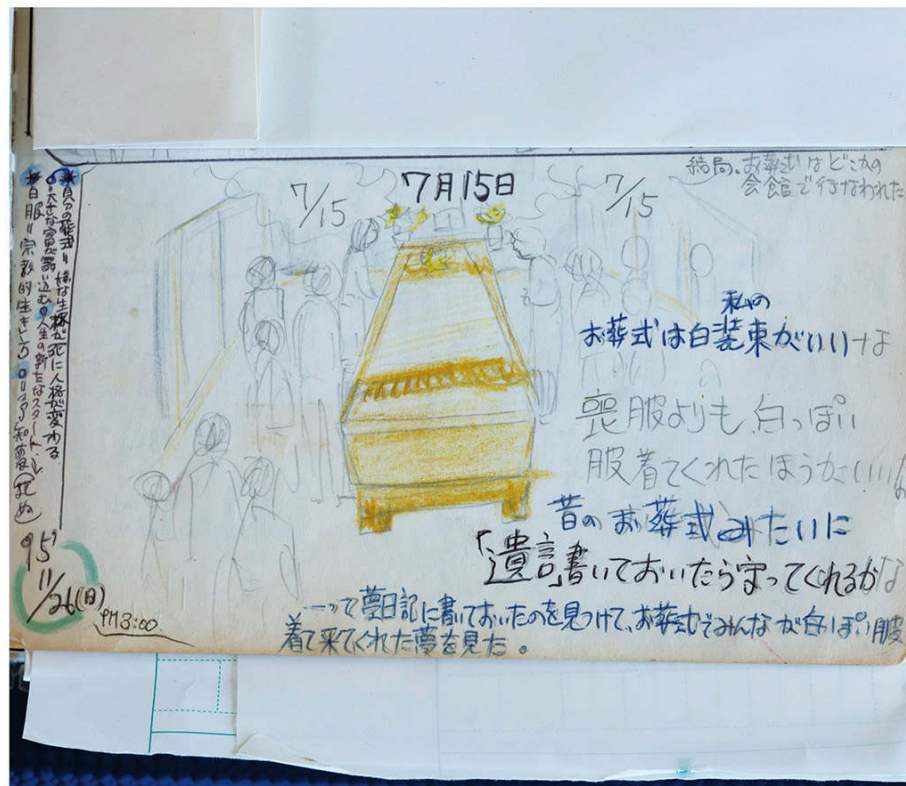
夢を見たのは11月なのに、夢には日付がはっきり「7月15日」と見えていました。

その後、実は2007年5月14日には「5月25日私が死ぬ」という夢も見えています。同月だったので、25日はドキドキしながら周りを警戒して過ごした事もありました。

夢診断によると、自分の葬式というのは、「嫌な性格が死に人格が変わる」「大きな富が舞い込む」「人生の新たなスタート」といった意味があるとか。そして、白い服は「宗教的な生き方」という意味もあるようです。

この夢が何を意味しているか、今はまだわかりませんが。良い意味である事を願うしかありません。

「夢日記」解説



夢を見た日：1995年11月26日

場所は町内会館で、私の棺が真ん中に置かれていて、その棺の周りを皆が囲んでいました。

漫画家時代の話

もともと漫画家になるつもりはありませんでした。けれど17歳のとき、交通事故に遭ったことをきっかけに、高校を卒業したあと、家でできて、生きた証を残せるもの、しかも顔を出さずにすむ仕事はないか——と考えたとき、本棚に兄が買った石ノ森章太郎先生の『マンガ家人門』が目に残り、「これだ!」と思って読んで。道具を揃えて漫画を描いて……ペン慣れしてなくてシロート丸出しで、見るもムザンでしたが……それを出版社に持っていきました。

とくにストーリー作りが苦手。指摘されるたびに直して、ペン慣れするために100枚も落書きしたり。それを1年、繰り返ししました。

その間、プロの漫画家さんのアシスタントもやっていたので、先生の原稿の待ち時間に自分の原稿を描いていました。そのとき、秋田書店の編集者から、声をかけられたのです。「あなたみたいなハデな絵柄がほしかったのよ。ウチでデビューしない?」と。

白泉社の『花とゆめ』で賞は決まっていたのですが、デビューできる保証はないし、いつになるかもわからない。悩んだ末に、創刊まもなく漫画家不足だった『月刊プリンセス』

でのデビューを決めてしまいました。

ただ、ストーリー作りが苦手なことは編集者もわかっていたので、デビュー作は原作付きです。それが『月刊プリンセス』1975年7月号に掲載された「郷ひろみ物語」です。そういえば、こんな不思議なこともありました。

当時の漫画家には、「缶詰かんづめ」というのがある、メ切が迫ってくるとアシスタントも含めて全員がホテルにつめられて、原稿が仕上がるまで外出できないのです。食事も出前か差し入れのみ。これを私たちは「缶詰」と呼んでいました。

みんなで編集部近くの旅館で缶詰になっていたときのことです。そこは、幽霊がよく出るというので有名な旅館でした。

深夜、目覚ましがわりに怪談話をしていたときです。編集長が来るといので皆キンチョーして原稿に集中していました。いきなりドアがバタンと開いた音、隙間から編集長がこちらを覗いているのです。チリチリ頭の編集長を、その場にいた全員が見たのです。

私たちはさらに原稿に集中し、編集長のことはすっかり忘れていました。

朝方、誰とはなしに、「あれ？ 編集長、入ってこなかったね」と。

けれど、あとでよく考えると、部屋の鍵は閉まっていたはずなのです。

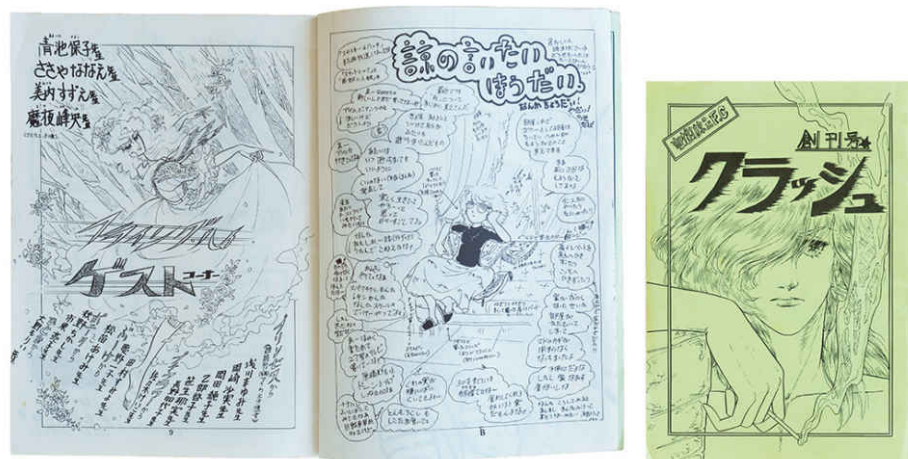
結局、その日に編集長は旅館には来なかったそうでした。

そんな不思議な出来事は、一度や二度ではありません。怖いけど、面白いでしょ。



少女漫画家時代の私

上の写真は、少女漫画雑誌『プリンセス』（秋田書店）に掲載の漫画をまとめた単行本『宝石物語』（1983年）での著者近影（当時20代）。少女漫画としての単行本は他に『人形物語』（1980年）、『時の中の少女』（1982年）、『タージ・マハル廟のある町』（1982年）、『水色の航空書簡』（1983年）などがあります。



竜樹諒公式ファンクラブ会報誌「クラッシュ」創刊号

ファンクラブ発足は1982年。この創刊号には、青池保子先生、ささやななえ先生、美内すずえ先生、魔夜峰央先生など総勢17名の錚々たる漫画家さんがお祝いのコメントとイラストを寄せてくださいました。

幼少期の不思議体験

私が覚えている初めての不思議体験は、9歳のときにさかのぼります。

9歳のとき、3回目の引越をしました。転校生がめずらしいのか、誰も話しかけてこないのです。学校に行くのがつらくて、時々不登校、神社や公園で時間をつぶして過ごすこともしばし。そんなある日、風邪をこじらせて寝込んでしまったとき、初めていろいろなことを考えました。

「なぜ、私は私なのだろう?」

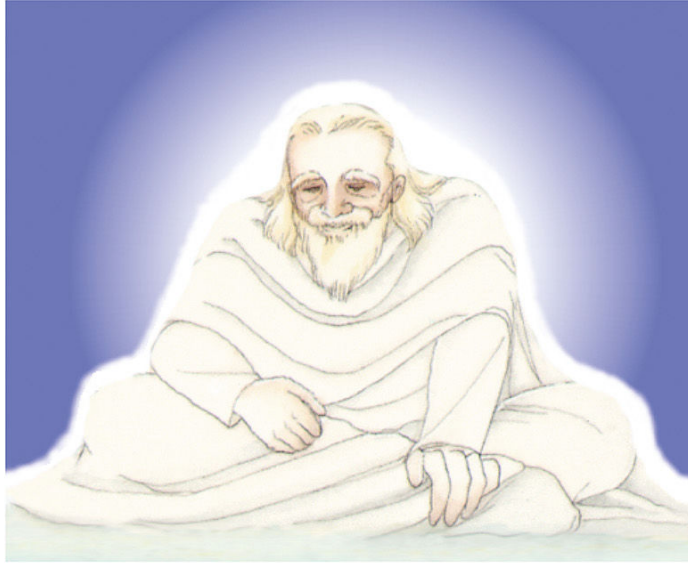
「なぜこの地球に生まれて、この体でなければならなかったのだろう?」

このとき、意識を宇宙に飛ばして、空から自分を見ることをイメージしたのです。

私の住む家の屋根、その家の中に、横になって休んでいる私……。

すると自分の考えや悩みがとても小さく思えてきました。そして次の瞬間、私は「宇宙からの視線」を感じたのです。

空を見ると、ひとりの老人が座って私を見ていました。白髪、白くて長いひげ。身にまとっている布も真っ白なその人は、笑顔でした。



小4（9歳）のときに見えた「創造主」

私の目に映った宇宙は、サンタのような風貌で、白く長いひげに白髪頭の、真っ白な布をまとった笑顔の老人だったのです。「神様がいたらこんな感じの人かも」そのときはそう思いました。後に人間がつけた呼び名で「創造主」と解釈しました。

「もしも神様がいるとしたら、こんな感じの人かも……」
そう思った瞬間、「懐かしい」という感情があふれてきて、「親元へ帰りたいたい」という思
いとともには涙があふれてきました。

漫画家を辞めた理由

話は漫画家時代に戻ります。少女漫画家としてデビューした私ですが、1990年代になると、怪談やミステリー作品を中心に描いていました。面白かったし、楽しかったのですが、ストーリー作りが苦手だったので、どんどんキツくなっていきました。

そして、'98年9月に発表した『白い手』という漫画を最後に、「充電期間」と称して漫画を描かなくなったのです。いや、「描かなく」なったではなくて、「描けなく」なったというべきでしょうか。

アイデアだけではなく、漫画家には体力がいります。描いているときはずっと前屈みまえかがですから、背中も首も肩も痛むし……限界でした。

絵は好きなのでコンピューターグラフィック、母の影響で医療事務、他には福祉住環境コーディネーター、建築関係など、興味があった研修を次々に受講し、ずっと経験や研修を活かした仕事を楽しんでいました。そのほとんどが1年契約でしたが。

気づけば、漫画家を引退してから22年が経っていました。

インド旅行が大きな転換点になった

ターニングポイント

漫画家として最後になった1998年にインドへ行ったことは、私自身にとって大きな転換期になりました。大げさにいえば覚醒かくせいしたというか……時代はちょうど世紀末を迎え、ノストラダムスの予言で大騒ぎしていたころです。「大災害は2011年3月」という日付が見えたのも、このインド旅行から帰ってきてまもなくの出来事でした。

インドに行った目的のひとつには、サイババ※という聖者との「再会」がありました。当時は日本でサイババがブームになっていて、テレビ番組でも紹介されていました。その顔を見たとき、「私の夢に出てきた人だ」「どうしてこの人が、私の夢に出てきたのか？」——と不思議に思っていた私。これは漫画のネタになるかもしれない、行けば何かあるかもしれない、もしも何もなければそれでもいい、とにかく行ってみようと思いました。

ちなみに、サイババの手をアップにした写真があります。手相を見ると運命線が私と同じなのです。どうしてもそれが気になったということも、インド旅行の動機のひとつでした。インドに行ってわかったのは、私が前世でサイババの娘だったということでした。ダルシヤンという、サイババのもとに人々が集まる場に行ったときのことです。

※サティヤ・サイ・ババ

インドの聖者。宝石や時計、指輪などいろいろな小物を空中から自在に取り出してみせる超能力で世界の注目を集めた。世界中から多くの信者を獲得し、その献金を元に慈善事業を展開、社会福祉事業家としても活躍した。

私はサイババから「声をかけられ」ました。

「I know」——「知っているよ」とはつきり聞こえたのです（だいぶあとになってから、ツアーガイドの人に「サイババ様は声を出しましたか？」といわれ、声だと思っていたからハテナマーク（？）が羅列しましたが、声に出していたら周りの人も気づくはずと考えて、「もしかして声じゃなかったかも」と思いました）。

明日は日本に帰るという日に、気功をやっているという日本人女性から声をかけられて、「サイババがあなたに、『ちょっと残ってくれ』といっている」といわれました。本当なのかどうか、座って待っていたのですが、サイババは現れません。

静かで穏やかな時間が過ぎて、私は睡魔に襲われました。

こんなところで寝たら不謹慎かな、と思い、シヨールを被^{かぶ}って顔を隠して居眠りをしてしまいました。すると風が吹いてきて、シヨールがめくれてしまうのです。ふと見ると、横に座っていた女性も隣でシヨールを被^{かぶ}っていますが、彼女のシヨールはめくれています。

あとで彼女は、こういいました。

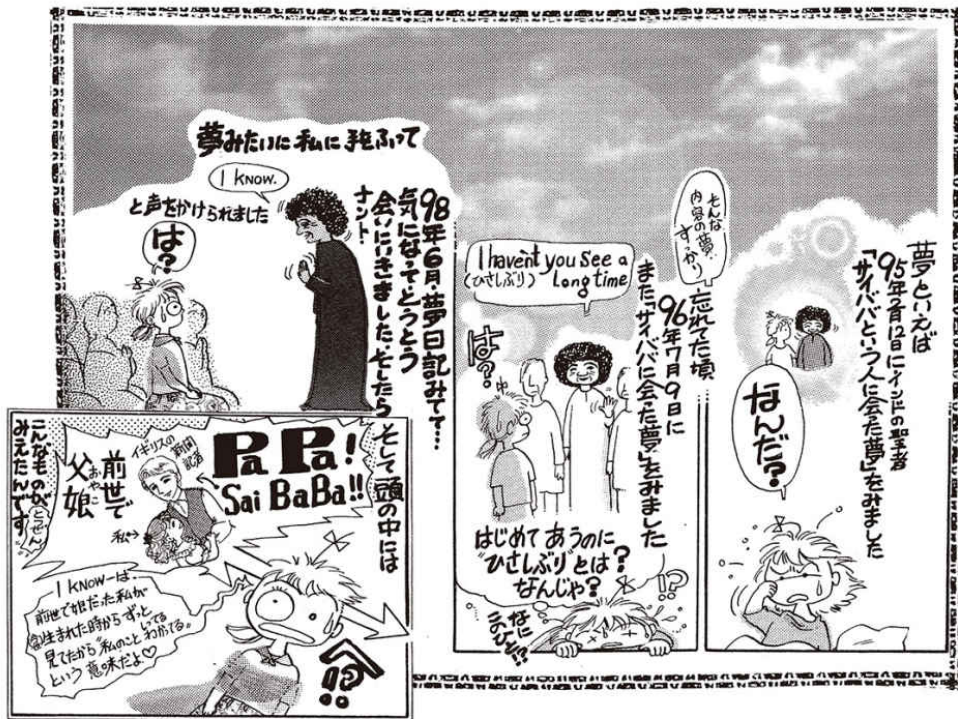
「顔が見えないといって、あなたのシヨールだけサイババが風を吹かせて剥^はがしたのよ。私のも落ちるかと思ったけど、私のはそのまま、風も吹かなかったわ」と。

これはおそらく、前世で娘だった私の元気な姿をよく見たかった、ということだったら

サイババとの「再会」

サイババの手相（右手）。運命線が私（左手）と同じだった。（写真はインドで購入したプロマイド〔著者私物〕）

下のイラストは、1999年刊行の単行本『私が見た未来』のあとがきとして掲載しました。サイババについての話は漫画では一切描いていなかったので、読者の皆さんには唐突だったかもしれません。



しいのです。現実的にサイババが来てどうこうしたわけではありませんし、偶然といえはそれまでなのですが、その女性はそう解釈していました。

サイババのインタビュールームの前に座らされたときには、記憶喪失の人が過去を思いだすような、とても不思議な感覚を覚えました。なぜ自分は死んだのか、なぜ父親と別れたのか、前世の記憶がぱっと見えたのです。泣いているサイババの姿もありました。

前世で私の父だったサイババは、イギリスの新聞記者でした。名前と生年月日も見えたので、メモしてあります。本当にそういう人がいたのかどうか、調べることができれば面白いと思いました。

時代は1800年代。家族で取材先のクウェートに転勤になり移住したのですが、娘の私は12歳でマラリアに罹^かつて死んでしまったのです。クリスマスの前日^{イッ}のことでした。

父親は、目の前で娘が死んでいくのに何もできず、泣くしかなかったのです。

娘はどうなったのだろうかということは、生まれ変わってサイババになってからもずっと気になっていたようです。それが、インドでの再会につながったのでしよう。

この他にも、インドではたくさんの不思議な体験をしました。自分のメガネが手の中でぐにやりと半回転したり、幽体離脱の一步手前までいったり、魂や心の奇跡、気づきの意味を知ったり……とてもここでは書ききれないのですが、この旅がその後の私にとって、とても大きな転換期になったことは間違いありません。

漫画の中で描いた大津波は 2011年3月のことではない

私は津波の夢を、10代のころにすでに見ていたのですが、ものすごく衝撃でした。

大きな波に驚いて、夢から覚めてもまるで映画のシーンのように印象深く、忘れることができませんでした。ですから、とにかく覚えていた間に描いておこうと思いました。

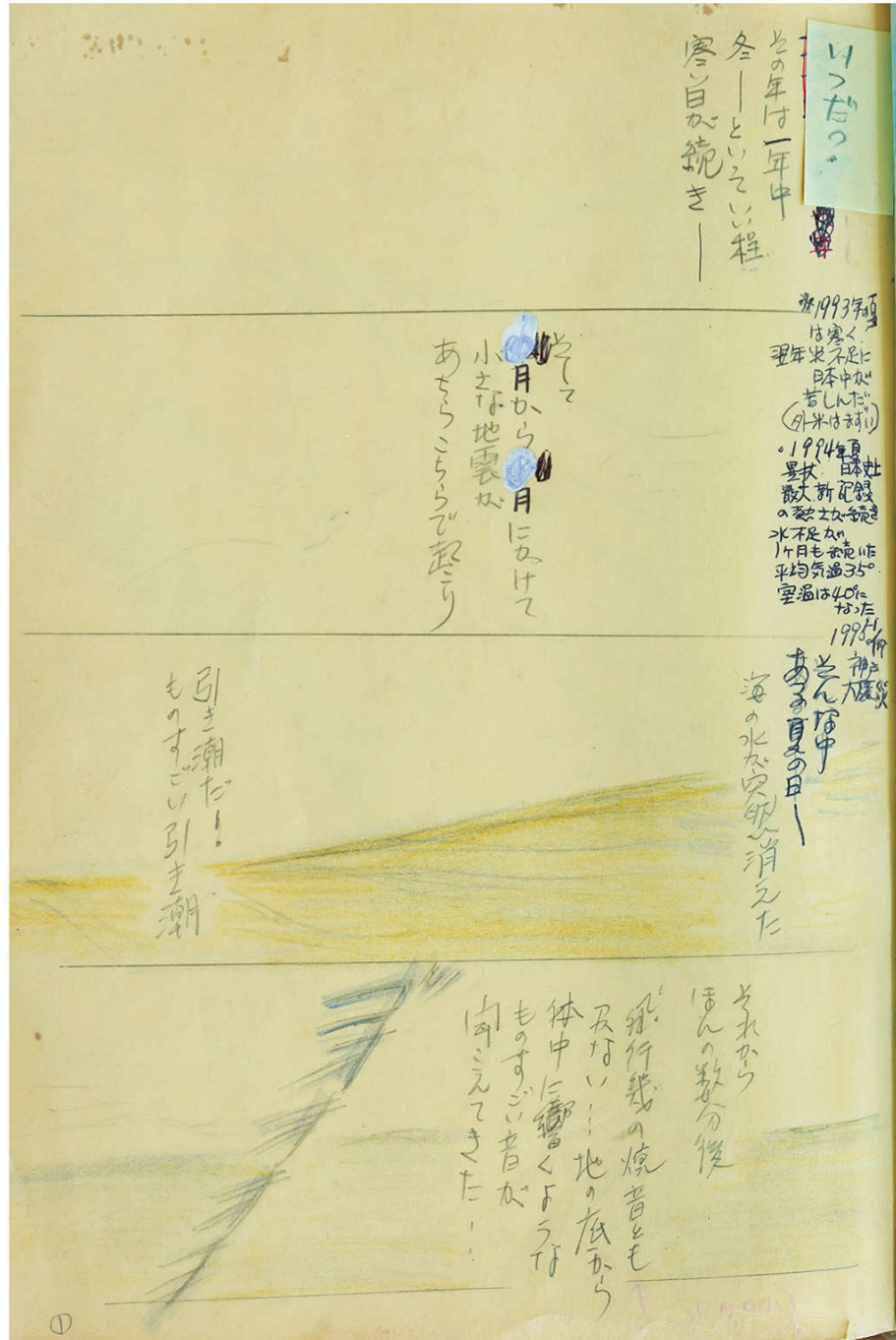
左ページに掲載したネーム（漫画の原案）は、『私が見た未来』として発表するよりもさらに15年以上前、1981年に描いたものです。

この夢が東日本大震災の津波の予知夢だったのかどうか、私にはわかりません。それはあくまでも皆さんがあとで解釈してくださいだったことであって、少なくとも私自身には、そういう自覚はありませんでした。

東日本大震災は冬でしたが、夢の中の私は半袖姿の夏服です。そして、夢で見た津波の高さは、東日本大震災のそれよりも、もっと巨大でした。

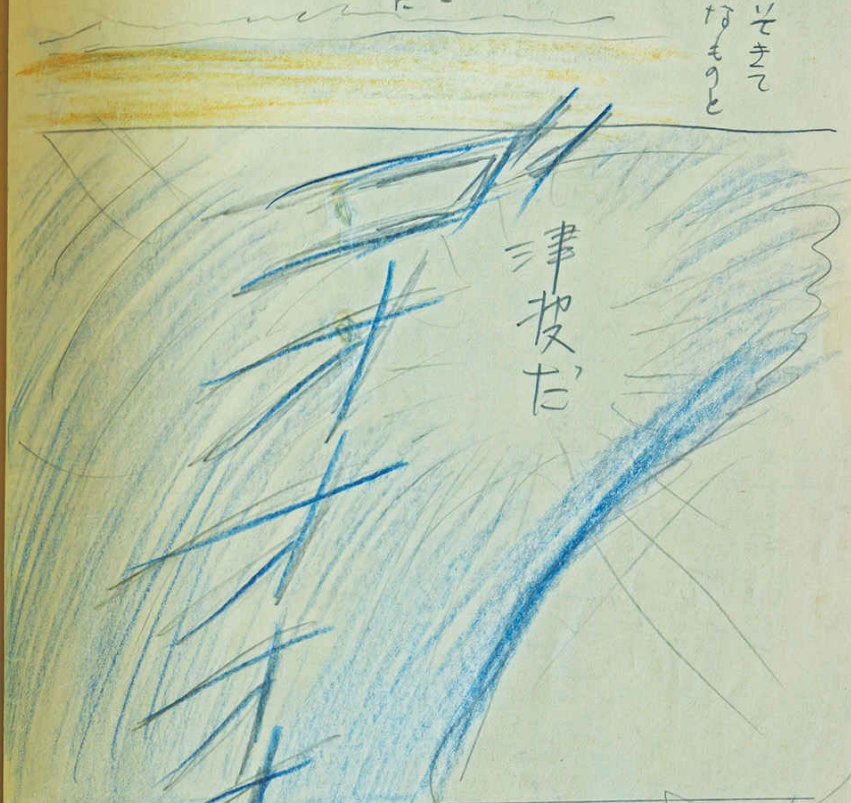
ですから、この夢は、このあとに見た『2025年7月』に関わる予知夢だったのではないかと今になって思います。

「夢日記」解説

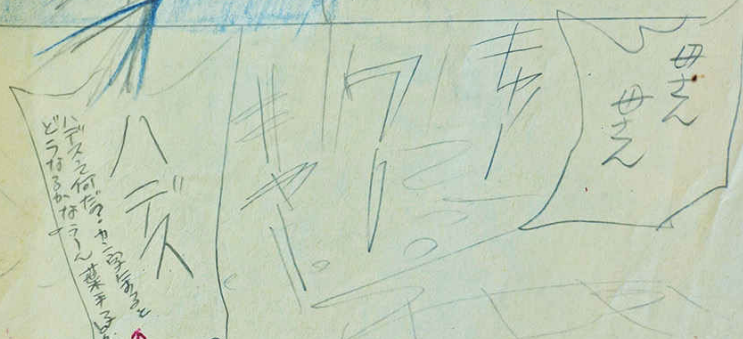


どの音は
陰々に近アソきて
より確かなものと
なる

うれけ事を
現わした



津波だ

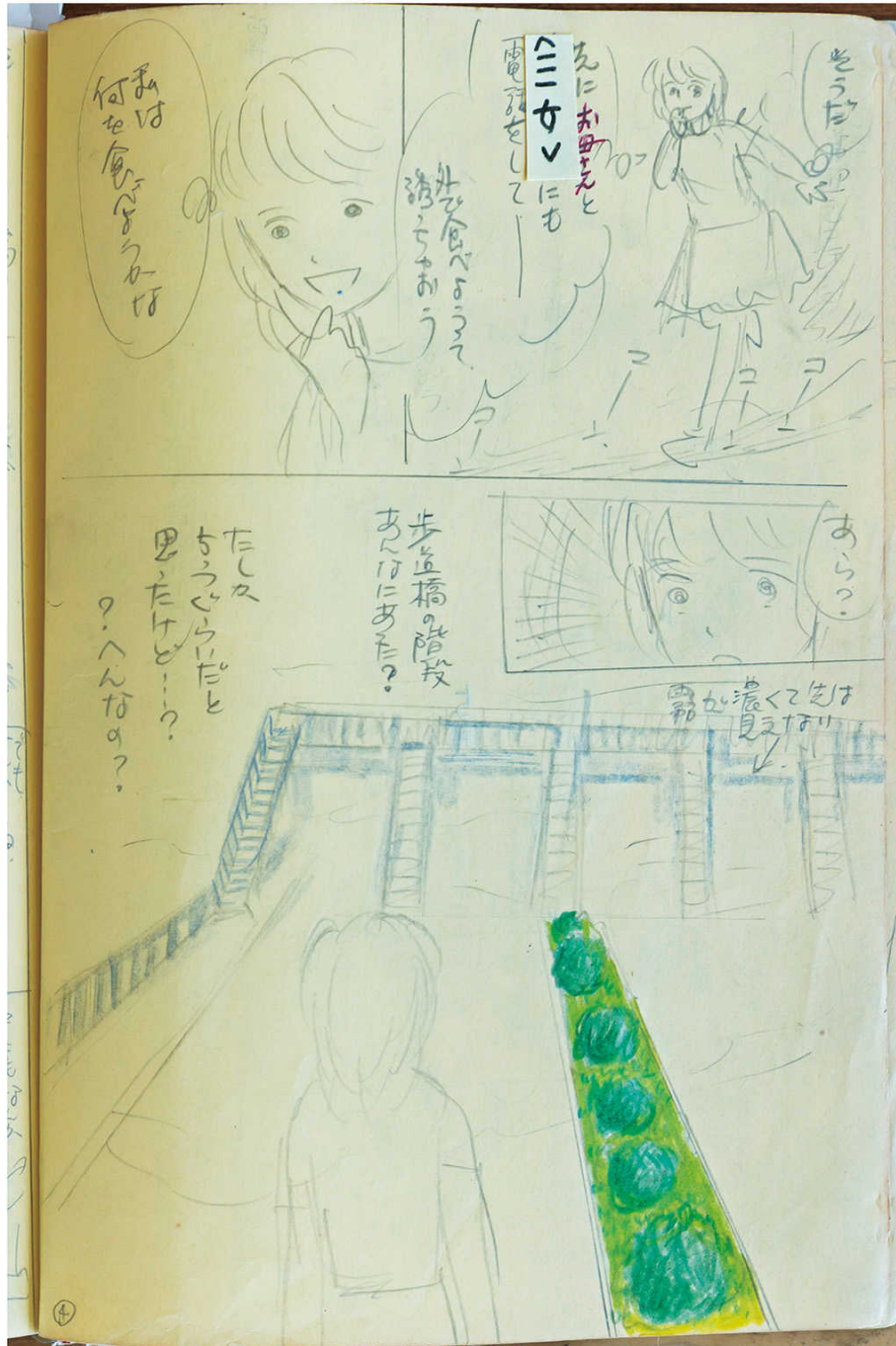


②

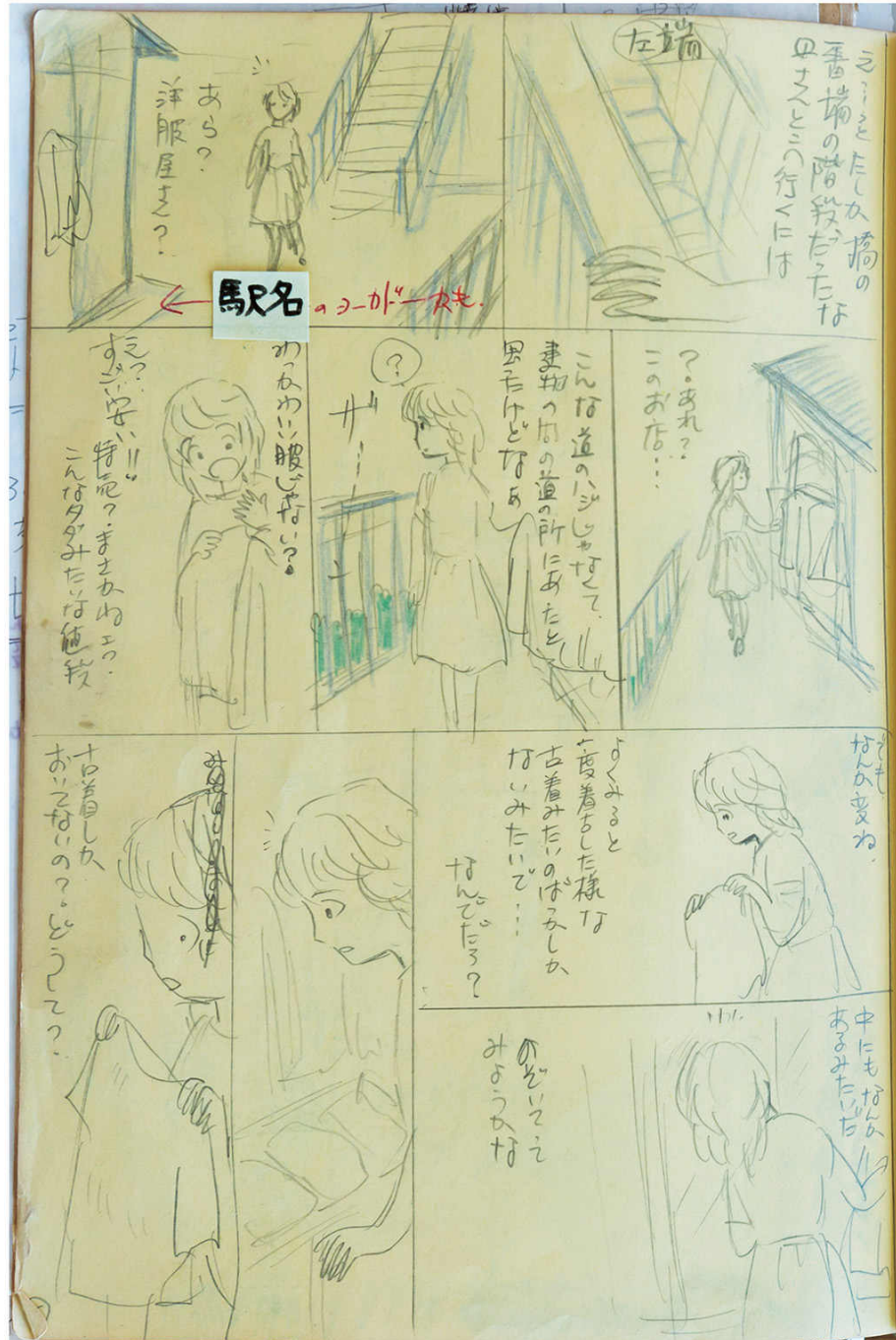
1998.11.20 *ハリス=黄泉の国のことだ。

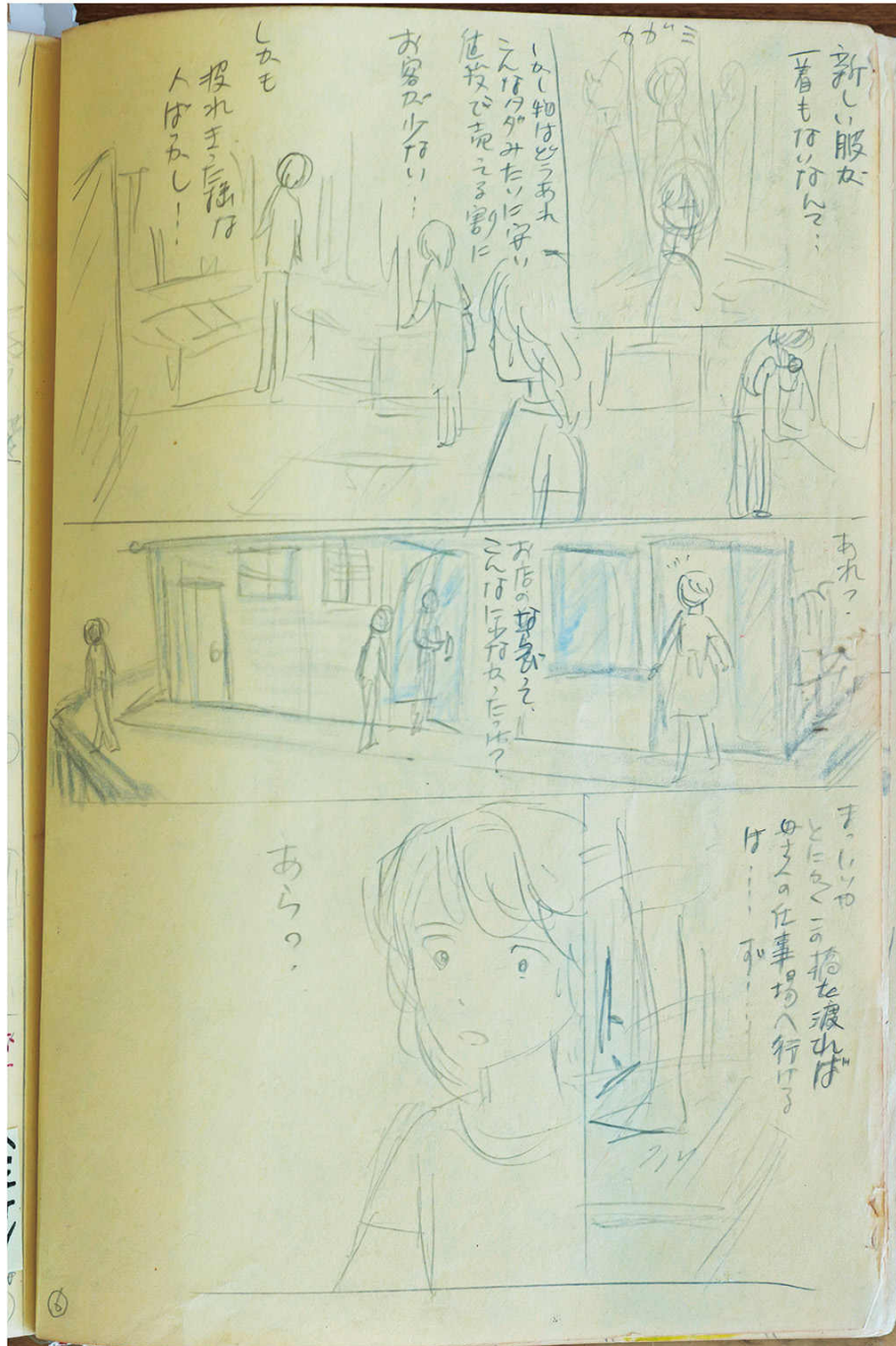
「夢日記」解説



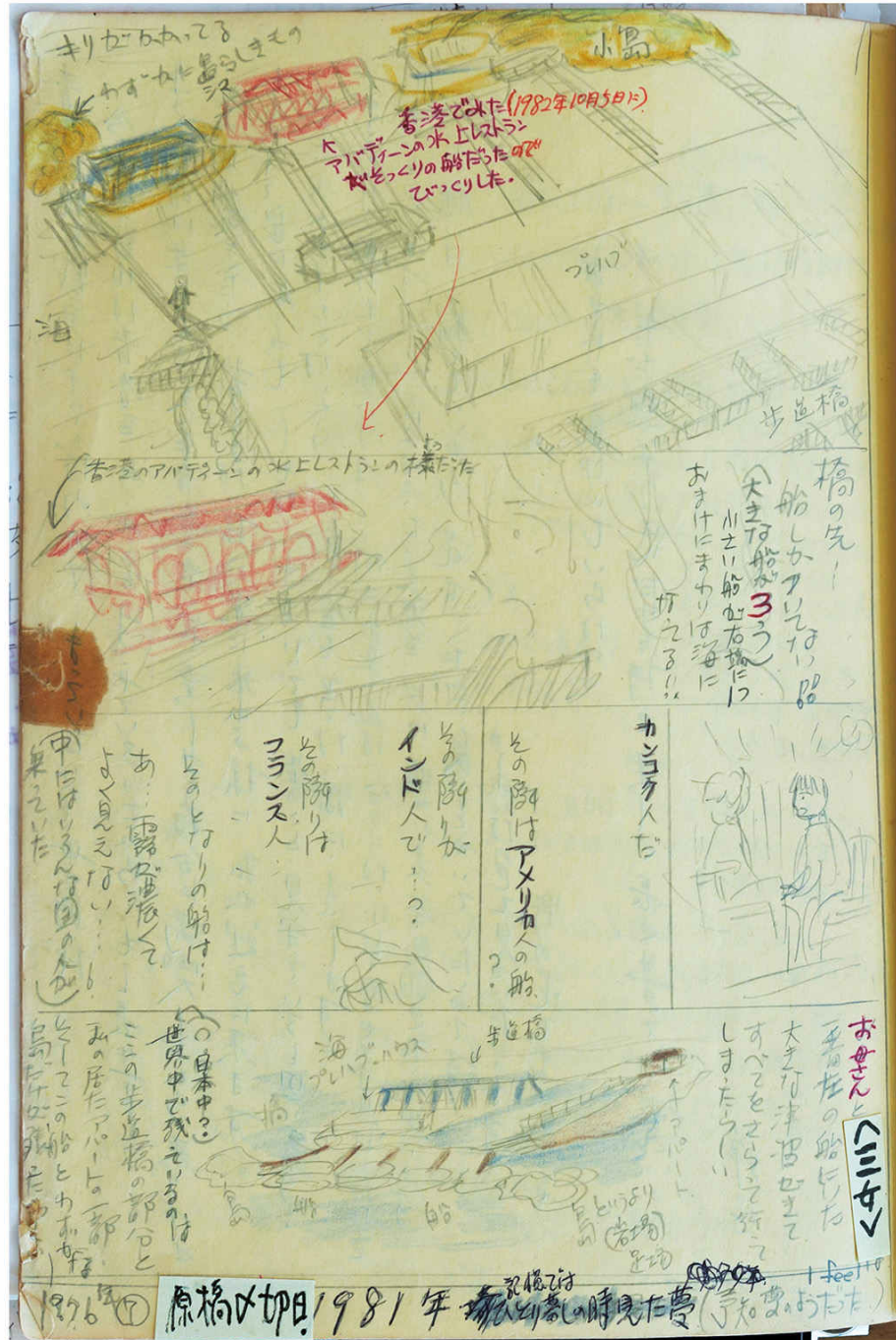


「夢日記」解説





「夢日記」解説



2025年7月に起こること

インドに行っているときに、これから起こる大災難の夢を見ました。

たとえるなら、ドロドロのスープが煮えたつたとき、ボコンとなるように、日本列島の南に位置する太平洋の水が盛り上がる——そんなビジョンが見えたのです。海底火山なのか、爆弾なのか、そこまではわかりませんが。そのとき宿で一緒にいた女性にも話していました。

そしてつい最近、また同じ夢を見ました。今度は日付もしっかりと。

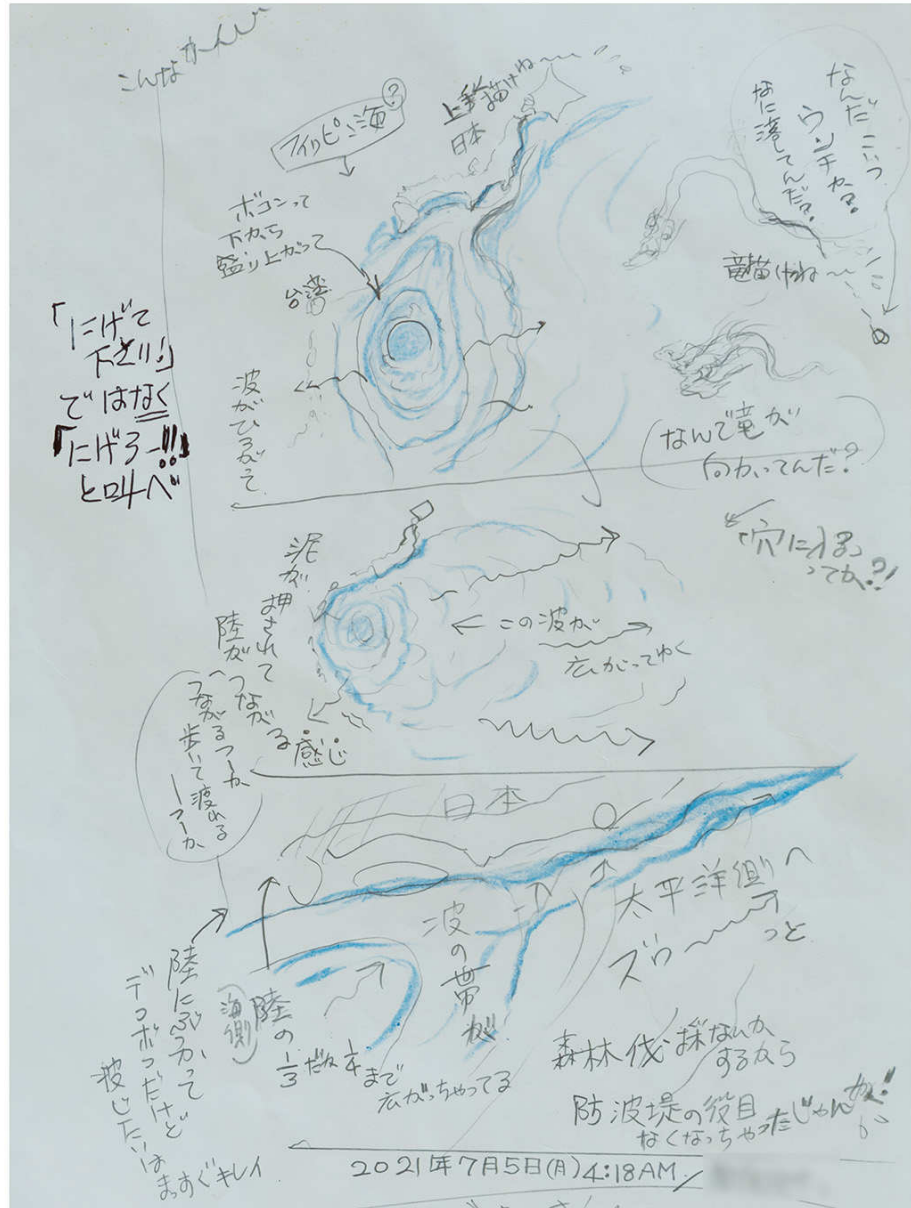
その災難が起こるのは、2025年7月です。

私は空からの目線で地球を見ていて、Google Earthと同じといえばわかりやすいかと思えます。突然、日本とフィリピンの中間あたりの海底がボコンと破裂（噴火）したのです。

その結果、海面では大きな波が四方八方に広がって、太平洋周辺の国に大津波が押し寄せました。その津波の高さは、東日本大震災の3倍はあろうかというほどの巨大な波です。

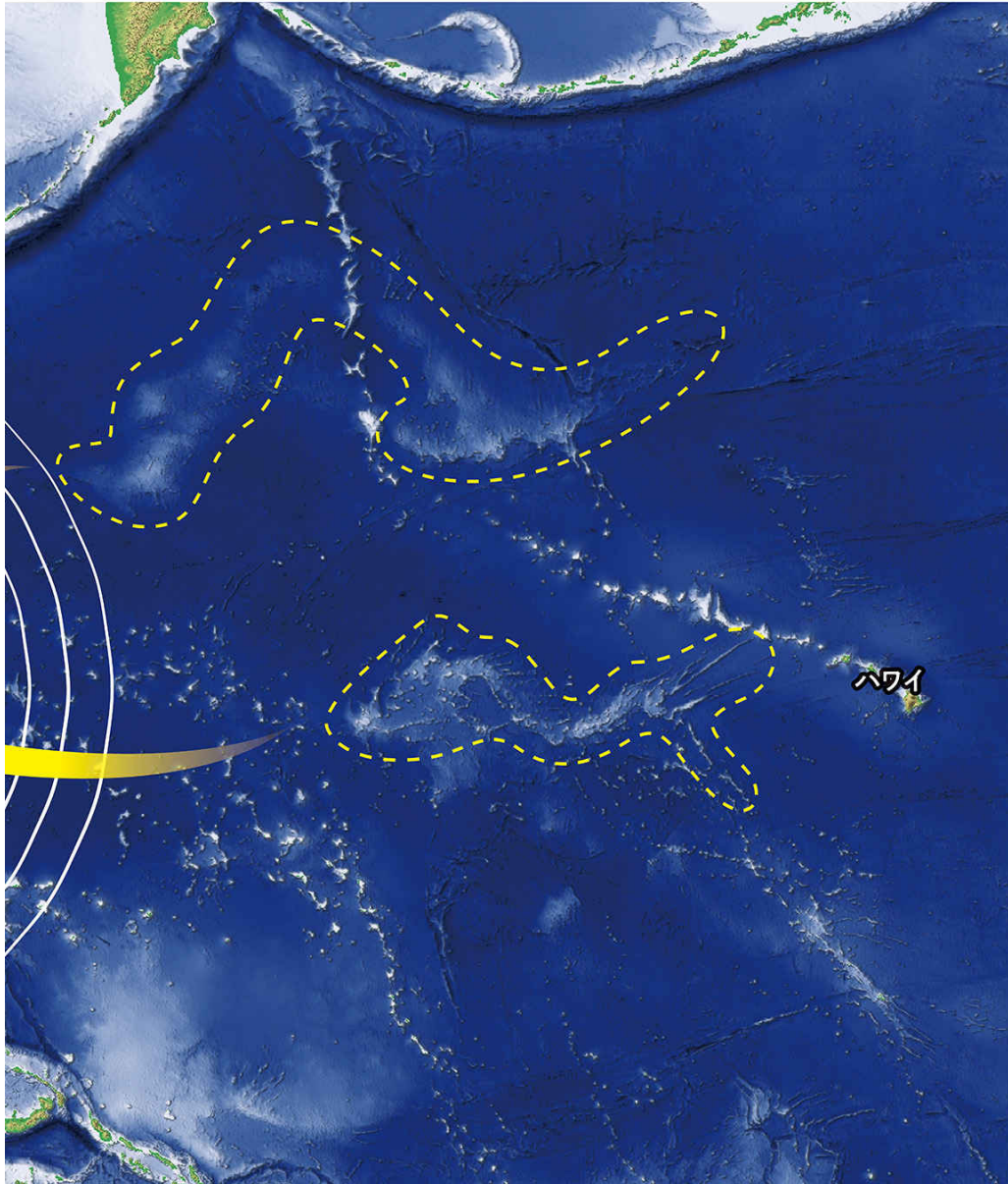
その波の衝撃で陸が押されて盛り上がって、香港から台湾、そしてフィリピンまでが地続きになるような感じに見えたのです。

「夢日記」解説

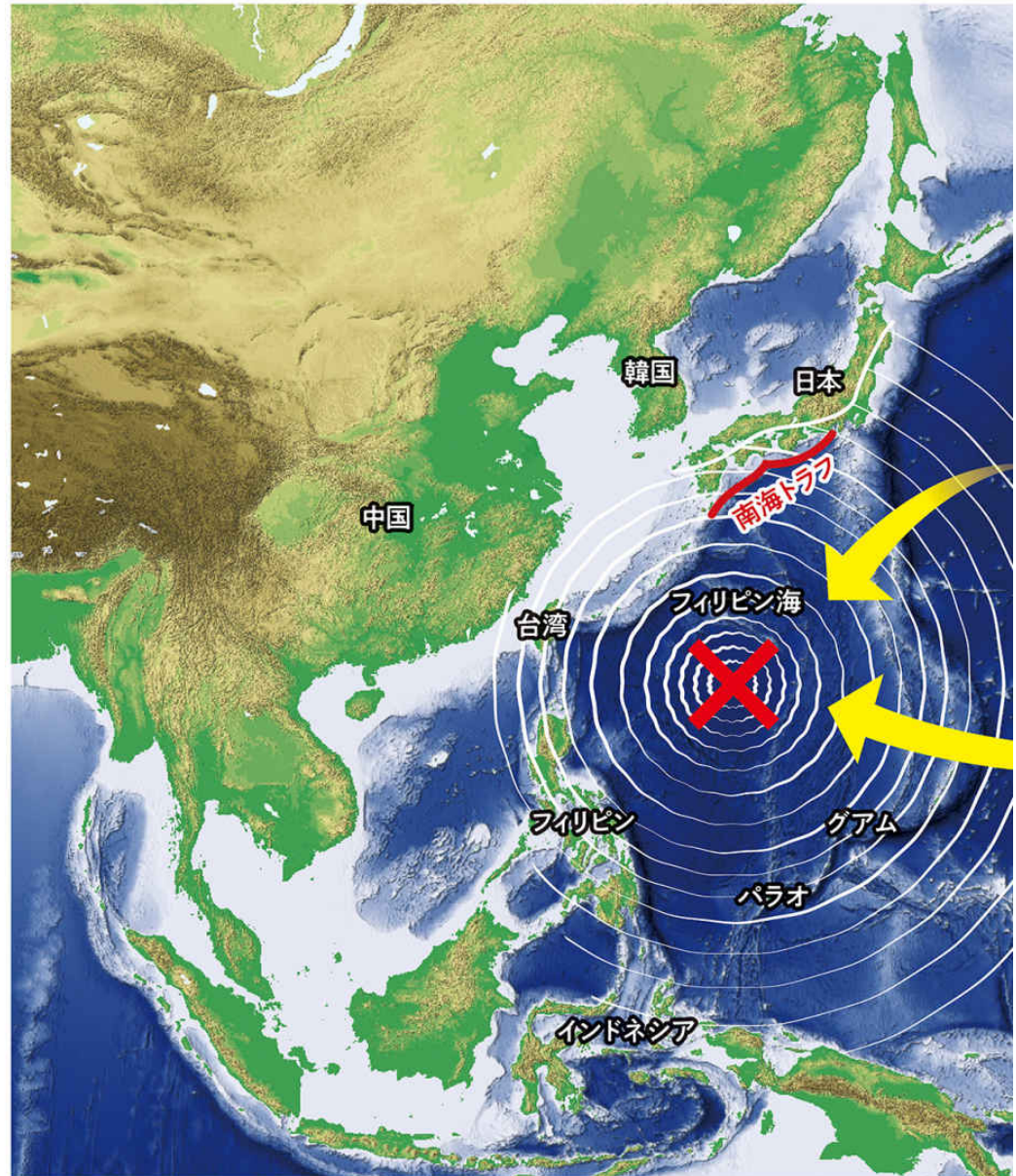


夢を見た日：2021年7月5日4:18AM (1枚目)

南海トラフの南側にあるフィリピン海がポコンと下から盛り上がり、巨大な津波となって周辺の国々に広がっていくのです。日本列島の太平洋側、3分の1から4分の1が大津波に飲み込まれています。震源地に向かって、なぜか2匹の竜が向かっていく映像も見えました。



「夢日記」解説



地図上で見た「2025年7月に起こること」の夢

海底の地形がわかる Google Earth で見るとわかりやすいのですが、震源地として見えたのは、北は日本・西は台湾・南はインドネシアのモロタイ島・東は北マリアナ諸島を結ぶひし形を中心です。その震源地のはるか東、日付変更線付近からハワイ諸島にかけての海底に、夢で見た2匹の竜のようなシルエットが見えるのです。(元地図は ©ROOTS/Heibonsha.C.P.C)

* 高齢者や障害者
 * 車椅子用の
 ③ 車やバスを
 ④ 学校や避難場所
 ⑤ 食料や水
 ⑥ 津波の怖い着替
 ⑦ 荷物は少なくて波はすぐくから
 ⑧ 津波後 家に戻るとの復讐の準備も
 ⑨ 田舎も
 ⑩ 準備と訓練を

① 自身で動く困難人は
 国や県・自治体などで車やバス
 を用意して安全な場所へ
 ひきよけておくように

余波で波が
 太平洋側
 予想をはるかに越える
 壊滅的波が
 南海トラフと違ってはいい
 高台に避難
 準備と訓練を

2021年7月5日(月) 4:18AM 着いて

夢を見た日: 2021年7月5日 4:18AM (2枚目)

夢を見た直後の速記です。南海トラフ地震の想定をはるかに超える壊滅的な大津波が日本の太平洋側を襲う映像が見えました。ですが、事前に準備しておいたことで多くの命が助かり、速やかに復興に向かって人々が生き生きと暮らしている、明るい未来像も同時に見えたのです。

大津波の後に訪れる新たな世界

漫画に描いた津波の夢が2011年の予知だったとすれば、そのときは残念ながら間に合いませんでした。間に合わなかったというのは、たくさんの人々の意識にそれが届かなかったということです。

けれども今回は、私の漫画や言葉を、多くの人が注目してくれています。今度の大災難は、ちゃんと日付も見えているし、その日に向けて人々の意識が変わっていけば、逃げる——より正確に言えば対策を立てること——ができると思います。

何も知らない、わからない状態であると、どうしても準備を怠^{おこた}ったり、逃げ遅れたりする人が出てきてしまいます。でも、日付まではつきり知らせることで、みんなが同じゴールに向かっていくことができるのではないのでしょうか。

大切なのは、準備すること。災難の後の生き方を考えて、今から準備・行動しておくことの重要性を改めて認識してほしいのです。

たとえば今回のコロナ禍では、リモート勤務で地方でも仕事ができるようになって、居住地の選択肢が増えました。また、ビルの地下にある酒場にはあまり人が集まらなくなっ

ているのは、危険の事前回避ということでしょう。ここに予言が加わることで、新しい生活、災害から身を守る生活がやりやすくなっていると思うのです。

もっと大きなことを書いてしまうと、今回のこの本はそういう役割を持って生まれてきたものという気がしています。

そうなる気になるのは、2025年7月に起こる大津波の後の世界についてですが、私には、**ものすごく輝かしい未来**が見えています。

大地震による災害は、とても悲惨でつらいものです。でも、地球自体がマグマという熱エネルギーを抱えて生きているわけですから、どうしても避けられないものなのでしょう。それを覚悟した上でみんなが協力し合えれば、必ず生きていくことができます。

しかもそれは、明るくてきれいな未来です。

悪いことのアトにはいいことが、いいことのアトには悪いことが起こるといいますが、この大災難が起こることによって、世界の状況は大きく変わっていきます。

無責任なようですが、正直なところ、私にもあまり具体的なイメージは見えていません。ですが、未来が光り輝いていることは間違いありません。**地球全体で、すべての人々の状態が明るく輝き、生き活きと暮らしている**——そういうイメージを感じるのです。

それは大災難が起こったからといって落ちこんでいるのではなく、これからみんなで頑張ろうという強い意志です。

「夢日記」解説



生きることや幸せを願って
前向きに努力してきた人には
『光り輝く未来と愛』が待っている



夢を見た日：2001年1月1日

夢で見た「大災難後の明るい未来」。ちなみに、「2011年3月」と見えたときは「大災害」という言葉と一緒に見えたが、「2025年7月」は「大災難」と見えました。「災害」と「災難」の違い——もしかして、原因が人為的なものによる「災難」なのかな?とも思いました。

太陽が輝いていて、その光の中で誰もが一所懸命に働いたり、家族で仲良く食事を摂っていたり……普通といえ普通の光景ですが、「平和」とは、安心できること、とブータンの人たちがいつているように、「安心」こそが幸せだと思える社会なのだと思います。

日本には「結」という言葉があります。「結」とは、労働力を提供し助け合う仲間たち。農作業などのとき、隣近所みんなで協働で助け合うのは当たり前のことでした。

準備ができていれば被害は少なくてすむとはいえ、それなりの被害は避けられません。でも、そのとき仮に地球の人口が激減したとしても、残った人たちの心は決して暗くならないでしょう。

心の時代の到来、つまり心と魂の進化が起こるからです。

以前、靈感があると自称するアシスタントさんが、メ切の最中にこんな言葉を口にしていました。

「やがて心の時代がやってくる」——と。

それがいつになるのかはわからないけれど、将来は心の時代になるのだといわれても、当時の私は「ふーん……」と聞き流していたのですが、あれはこういうことだったのかと今では思っています。

2025年7月の大災難が去ったあとには、心の時代がくると信じています。みんなが助け合い、協力し合って、あらゆるものがプラスの方向に進んでいく世界。 **本当の奇**

跡とは、心が変わることです。

大切なのは、自分自身が生きのびることです。

この原稿の「荒れてヒビの入った大地」（60ページ）で書きましたが、もしかしたらこの単行本が発売されたことで、表紙に書いた「あと5年たったら迎えに来る」というメッセージの意味になるのかもしれない。

心の時代がくれば、私が夢で未来を見て警鐘を鳴らす必要もなくなります。私は今、これで「やっと終わる」という感じがしています。

第Ⅱ部

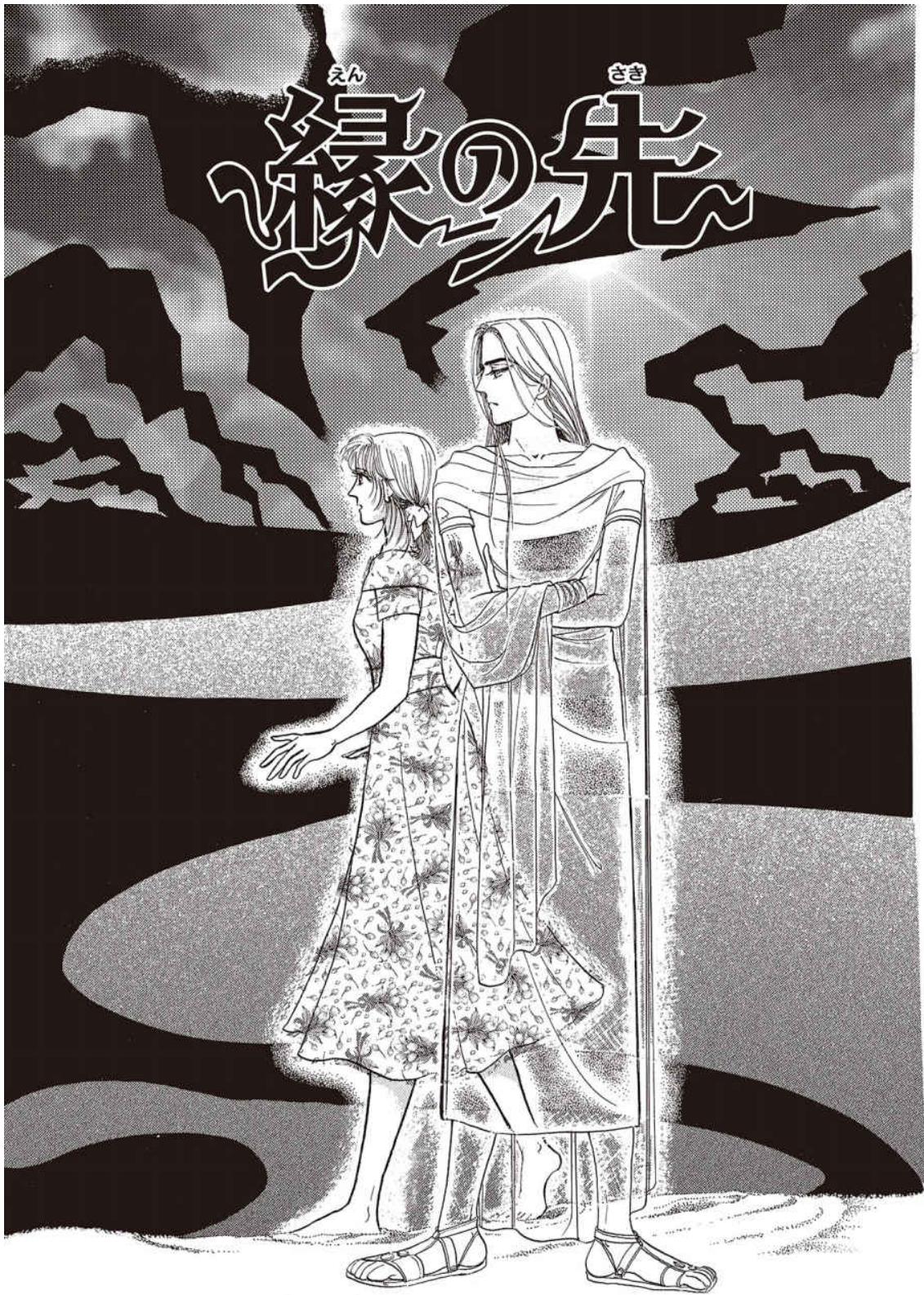
ミステリー漫画編

東日本大震災を的中させた漫画家として注目を浴びた、たつき諒先生。

しかし、たつき先生の歩みを振り返ると、予言者としての顔はぜんぜんなく、ラブコメディやメルヘンな少女漫画の他、ホラー・ミステリー系の作品を描く漫画家として活躍されていました。1975年から98年までに発表した漫画作品は99本のほります。

第Ⅱ部では、たつき先生の人物像を垣間^{かいま}見ることができる作品「縁の先」、そして、単行本未収録のミステリー漫画8本をあわせてご紹介します。

えん さき
縁の先





こんにちは
たつきです

昔私がデビューしたころ
それまで縁がなかった
「靈感の強い人達」と

← 100%
美化

やたら縁がつづいた
時期があったので

そのころの
不思議体験を
書きます



最初は
靈感が強いという
タロット占いをする
アシストのNさんから
はじまって

え!?

たつきさん
人間じゃない?

これは雄おすでも
雌めすでもない
でも……



そのころの私は
まだ若かったので
興味本位で占って
もらったのです

あなた
天使の生まれ変わり
ですよ



どちらかと
いえば男です

しいていえば
—ですよ
天使ですから

犠牲に
なっちゃうの!!

あーあ



あ……
そういう経験
あるから
わかるわ



小学生の時
底なし沼で溺れてた
男の子を救い出し
ただけ

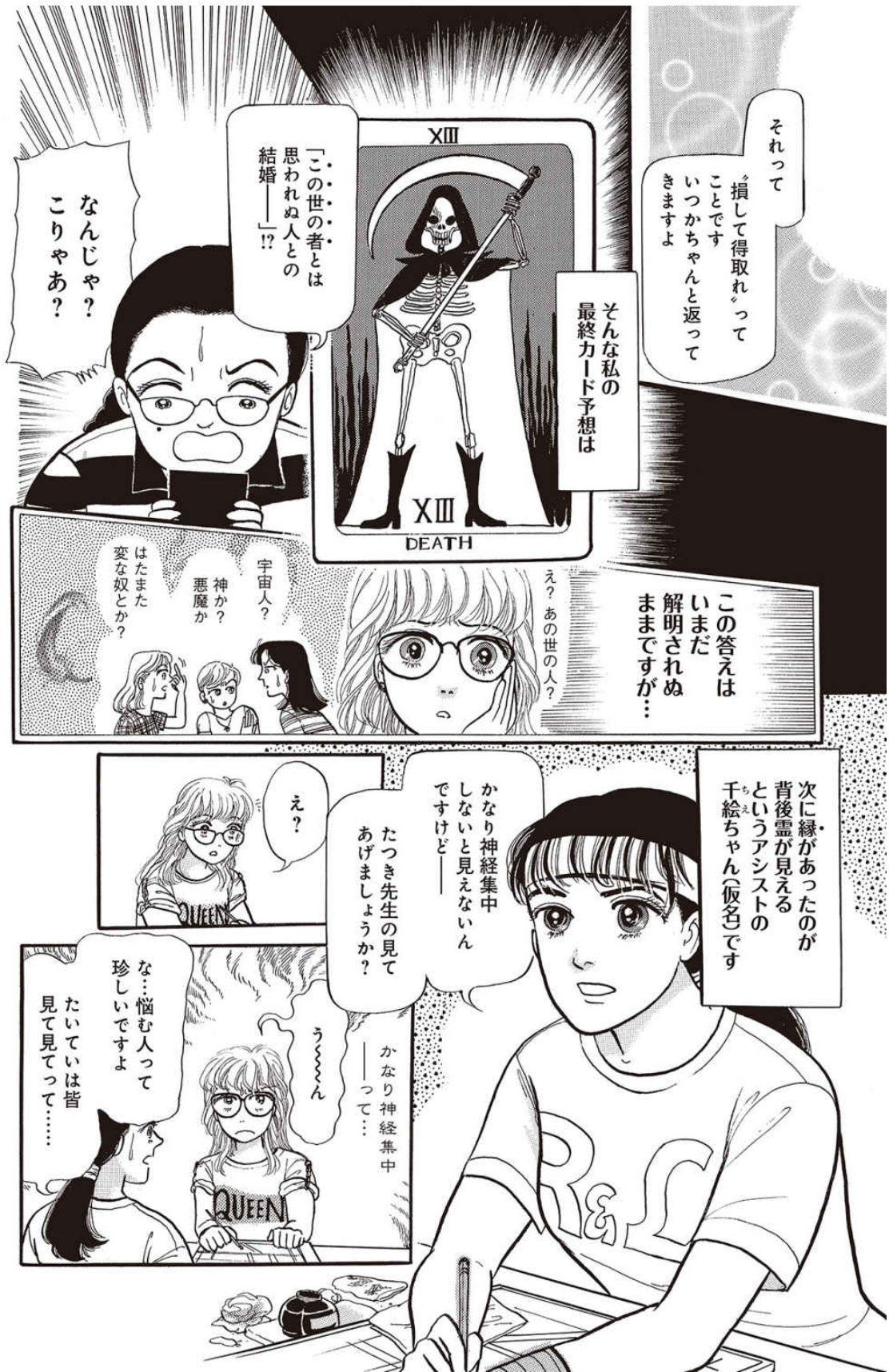
その後で
私が死にかけたこと
あったんだ

あの時は
自分が死ぬかもより
その子助けなきゃって
ことしか頭になくて



こわい子だね
あーた

わー!! 私
沈む!!
このあと
なんとか
自力で脱出



それって

損して得取れって
ことです
いつかちゃんと返って
きますよ

そんな私の
最終カード予想は

「この世の者とは
思われぬ人との
結婚——」!?

なんじゃ?
こりゃあ?

この答えは
いまだ
解明されぬ
ままですが…

え? あの世の人?

宇宙人?

神か?
悪魔か?

はたまた
変な奴とか?

次に縁があったのが
背後霊が見える
というアシストの
千絵ちゃん(仮名)です

かなり神経集中
しないと見えないん
ですけど——

たつき先生の見て
あげましようか?

え?

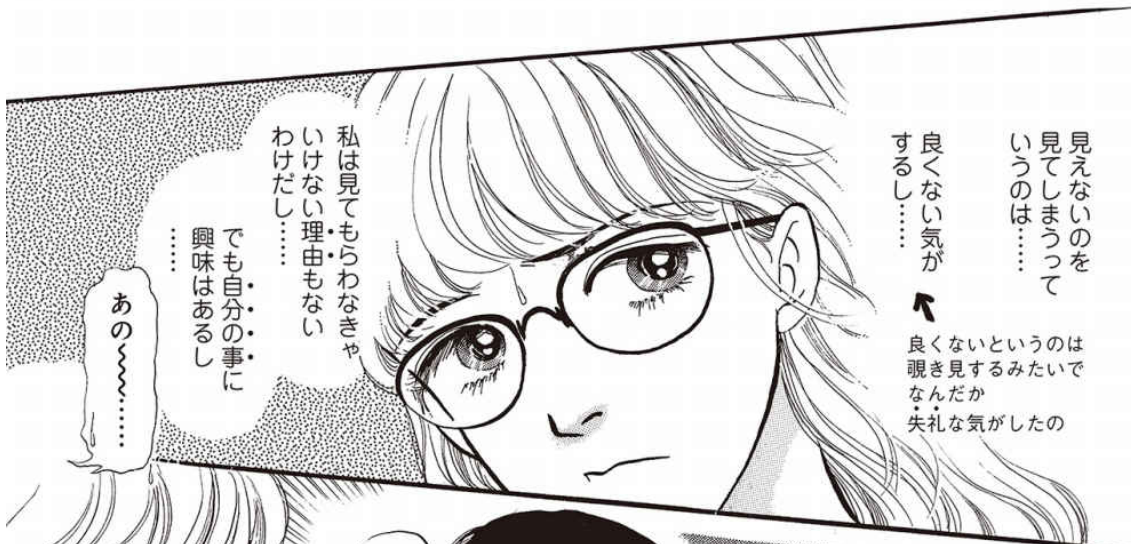
かなり神経集中
——って…

う~~~~ん

な…悩む人って
珍しいですよ

たいていは皆
見て見て…





見えないのを
見てしまっ
て
いうのは……

良くない気が
するし……

↑
良くないというのは
覗き見するみたいで
なんだか
失礼な気がしたの

私は見てもらわなきゃ
いけない理由もない
わけだし……

でも自分の事に
興味はあるし……

あの……



で

結局は
見てもらっ
て
しまったわけ
です……が

あ

なに？



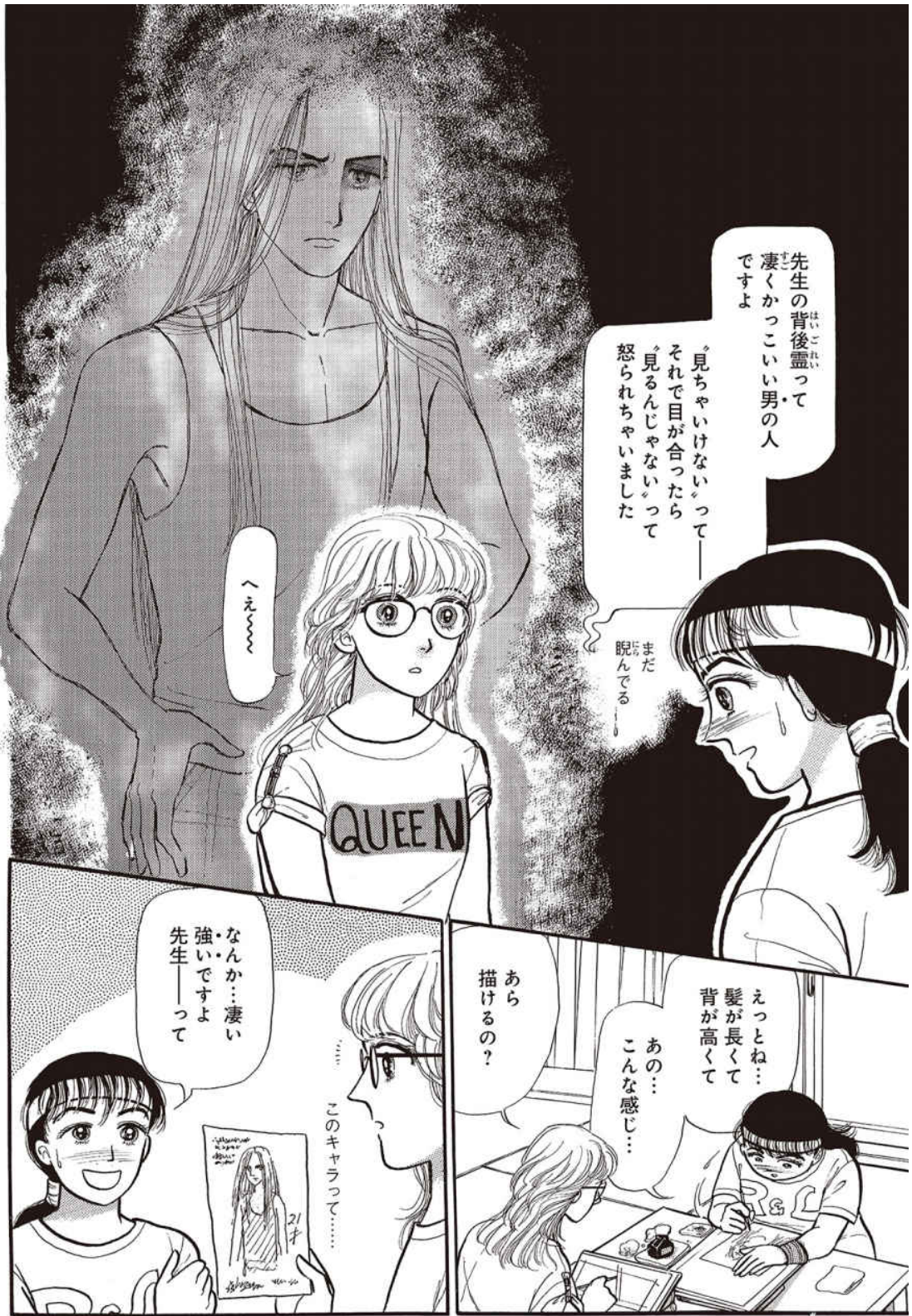
すみません!!

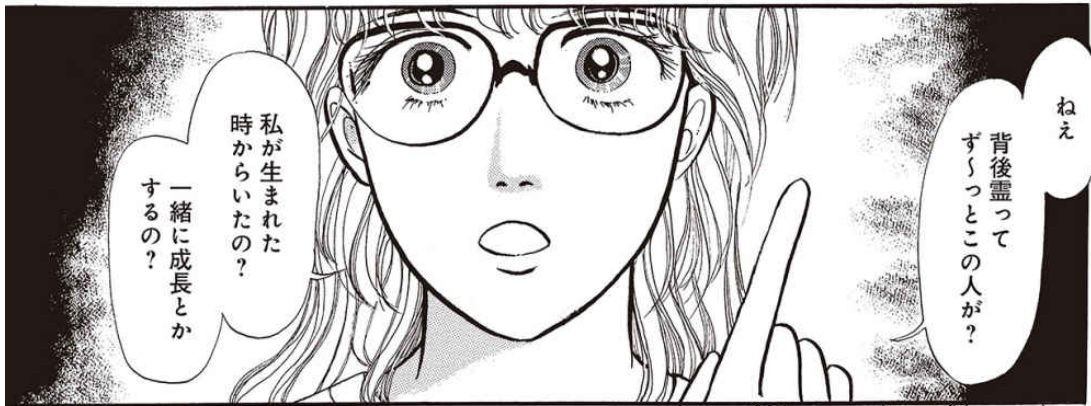
ごめんなさい!!

え？

なにによ!!

どうしたの
千絵ちゃん!!







白く光る——って？

私ってド近眼のせいかな
時々物が白く
だぶって光って見え
たりすることが
あるんだけど……

まあ普通に……
ふろ……お……

ねえ
霊が見えるって
いうことはオーラも
見えるの？



たつき先生……
オーラが見えてるん
じゃないですか？

オーラってのは
どんなふう……



頭の中がまっ白になって
他人から見ると
ぼくっとしてる
状態になることが
あります

一点見つめたまま

なにも耳に
入らなくなる

私は子供のころの
事故にあったショック
の後遺症(?)で——

以来
精神が疲れてくると
自己防衛本能が
働いて

頭の中が
まっ白になるのは
無我の境地に入る
っていうんですよ

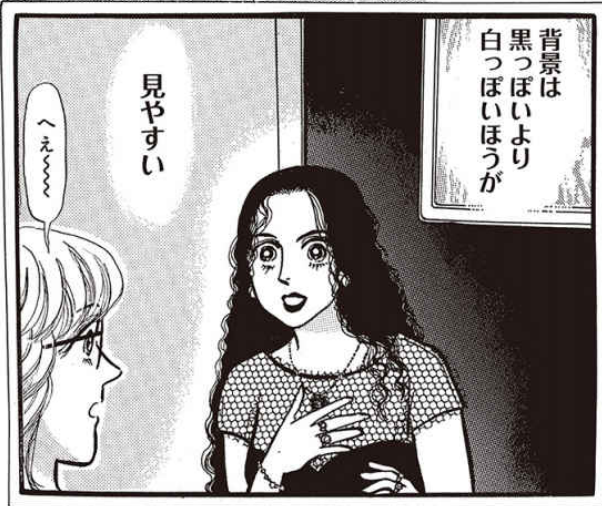
スッ……

それ以外にも
話してる人がだんだん
一生懸命になってきて
話が熱くなってくると

その人の体から
熱が見えてきたり

連鎖反応で(?)
まわりの物までが
白く光って見えて
きたりすることが
ありました

それが
オーラだったとは



見やすい

へえ〜

(注)いまは見えませんが私

背景は
黒っぽいより
白っぽいほうが
見やすい

千絵ちゃん——

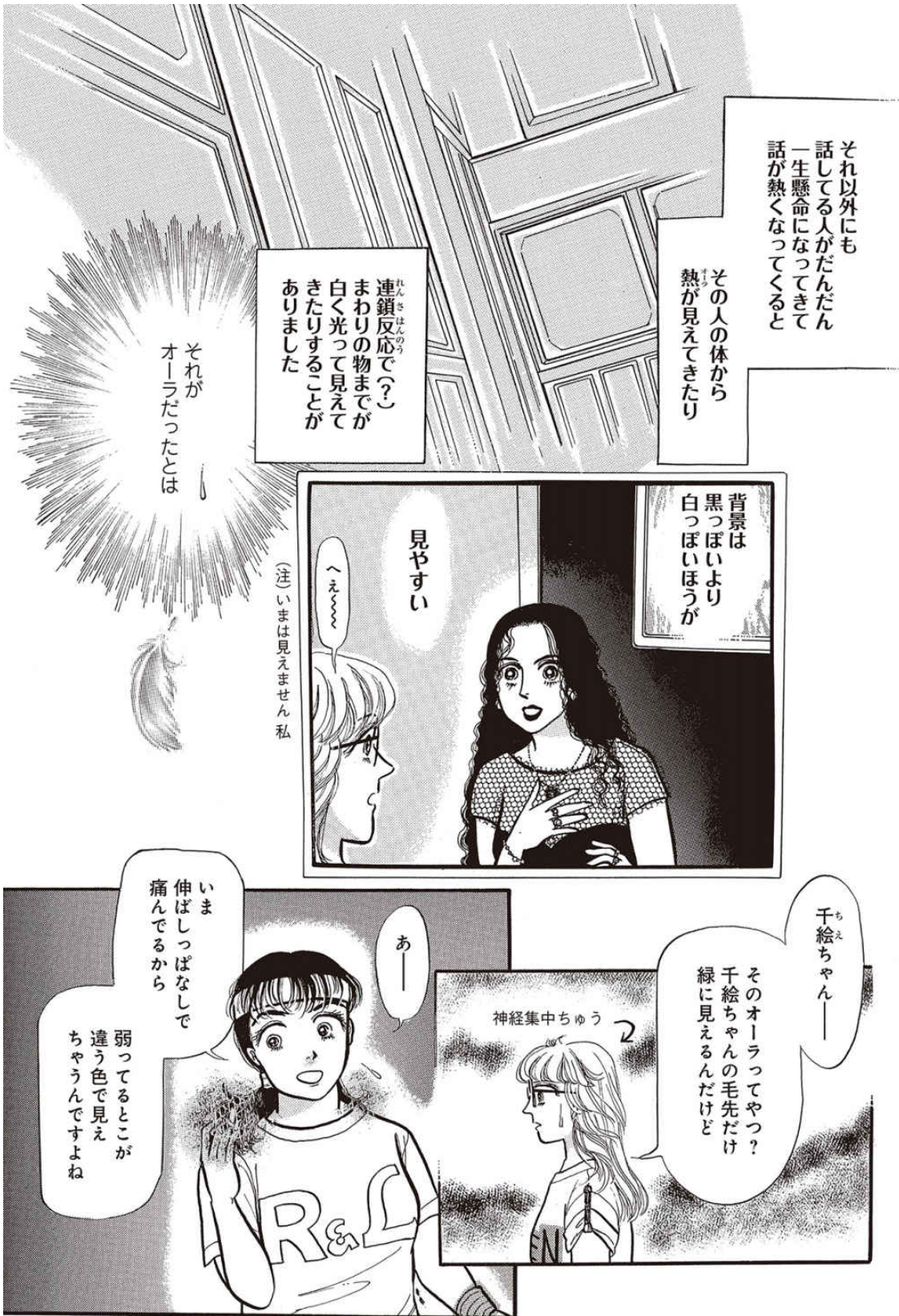
そのオーラってやつ?
千絵ちゃんの毛先だけ
緑に見えるんだけど

神経集中ちゅう

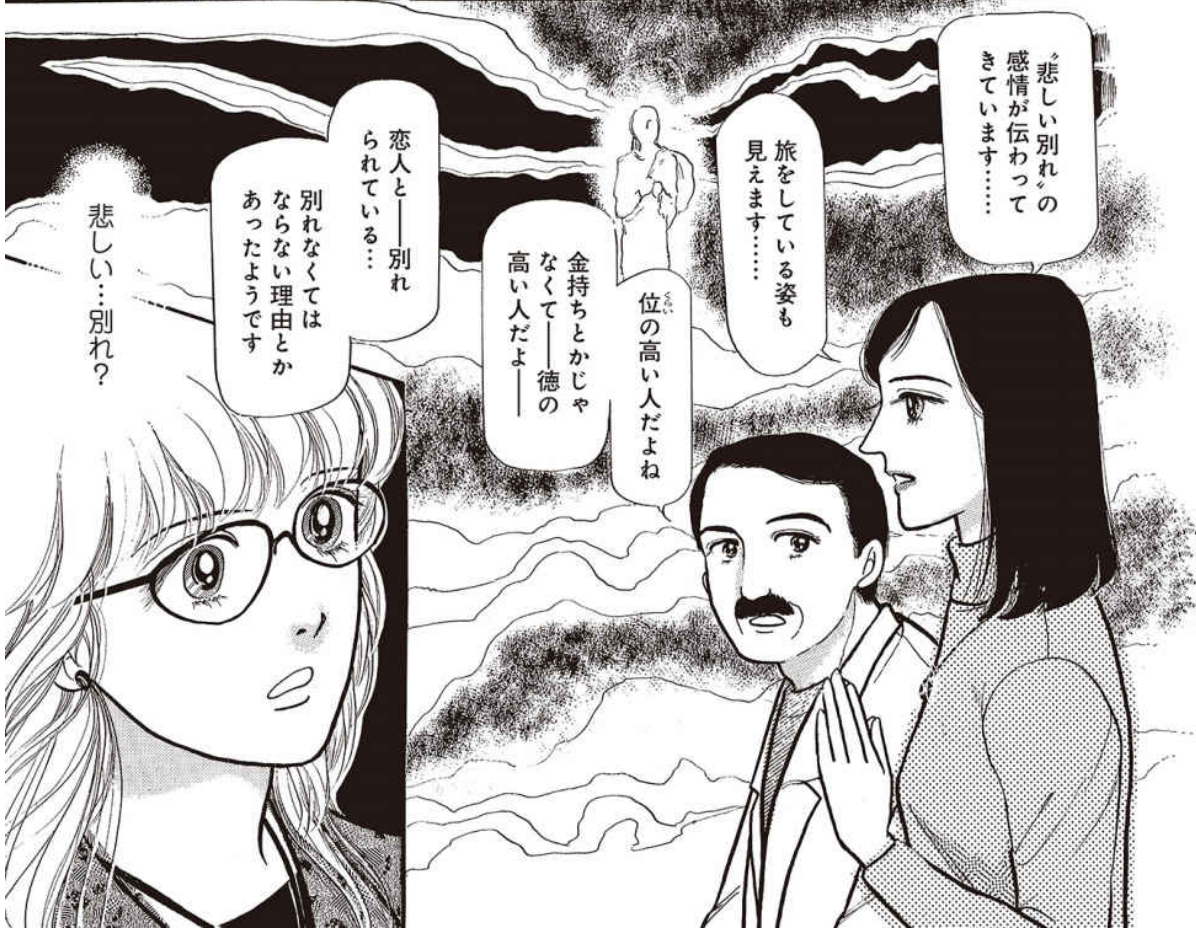
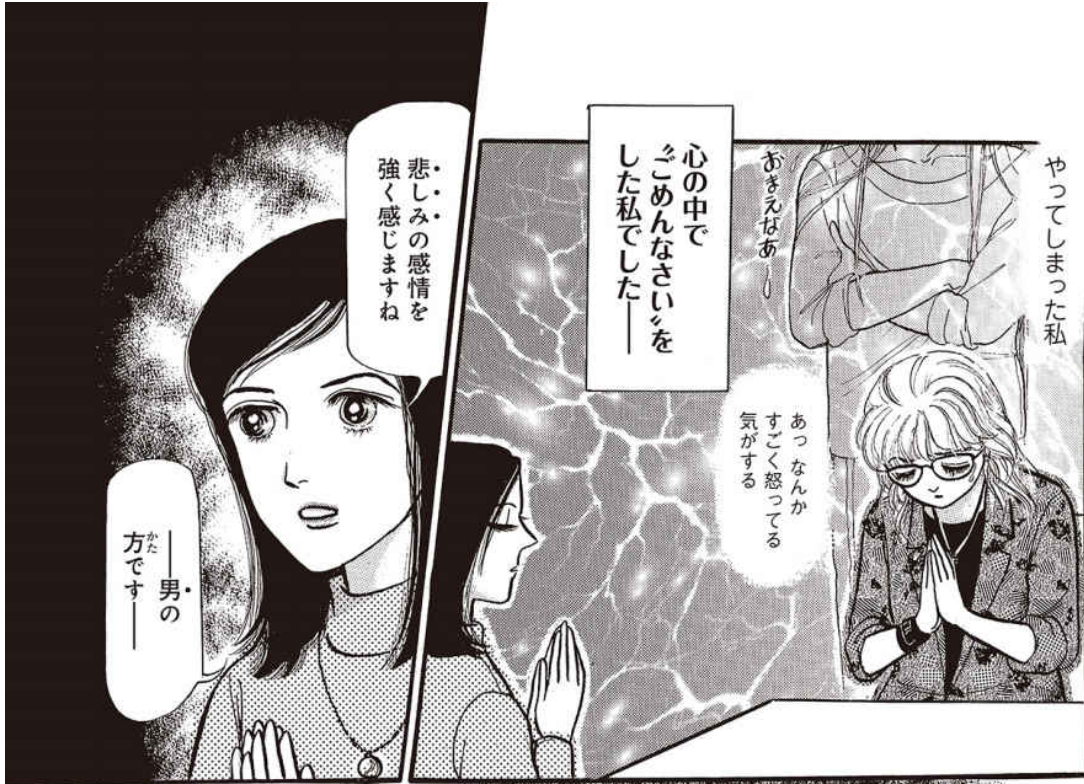
あ——

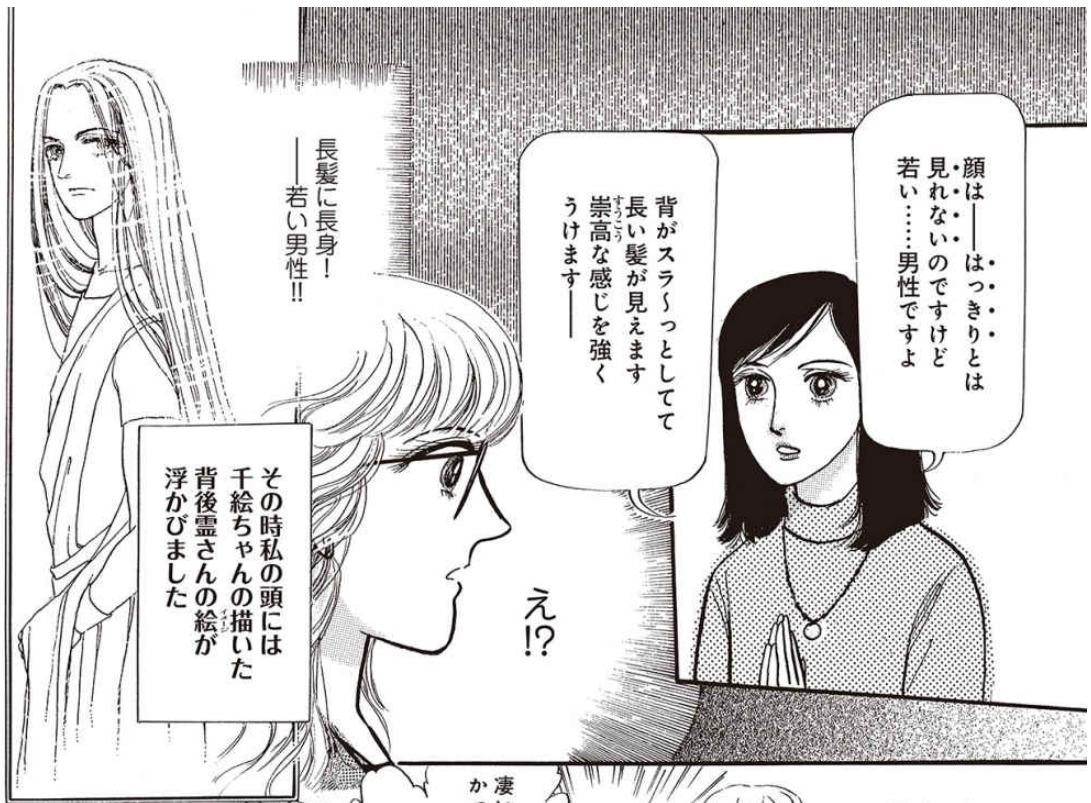
いま
伸ばしっぱなしで
痛んでるから

弱ってるところが
違う色で見え
ちゃうんですね









顔は……はつきりとは見れないんですけど若い……男性ですよ

背がスラ〜つとしてて長い髪が見えます崇高な感じを強くうけますー

長髪に長身！
——若い男性!!

その時私の頭には千絵ちゃんの描いた背後霊さんの絵が浮かびました

え!?



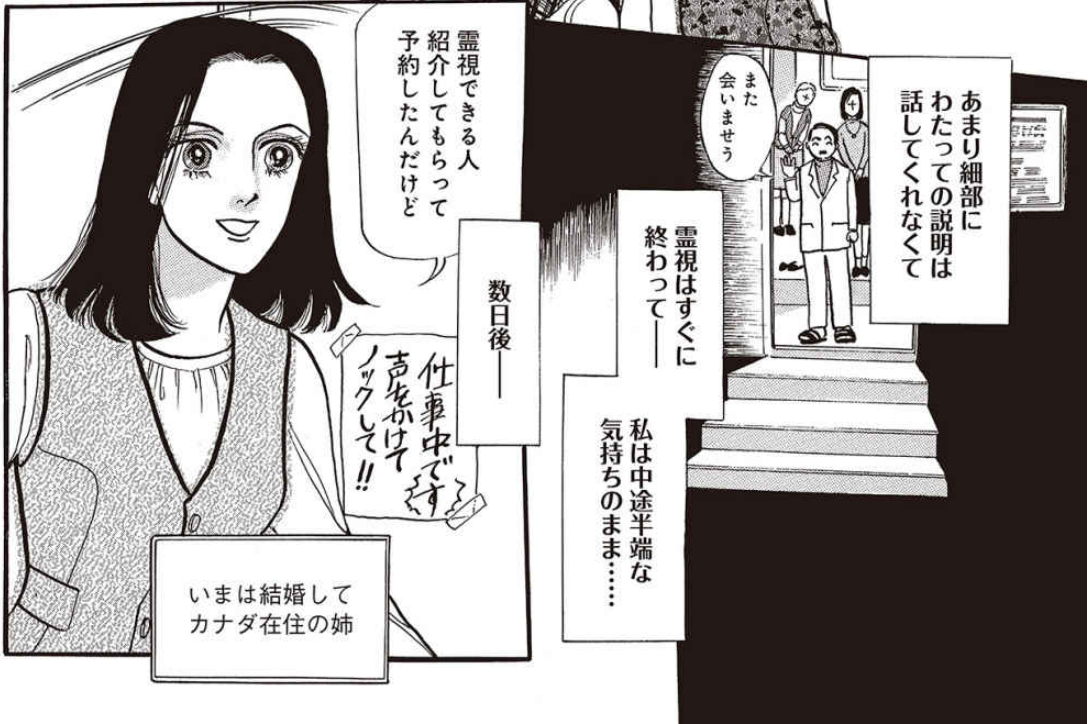
千絵ちゃんと同じ男が見えたのかな?

凄い!
かっこいいじゃん!!

たつきさん
うらやましい

だから結婚できないんじゃない!?

意味がわからん



あまり細部にわたっての説明は話してくれなくて

また
会います

霊視はすぐに終わってー

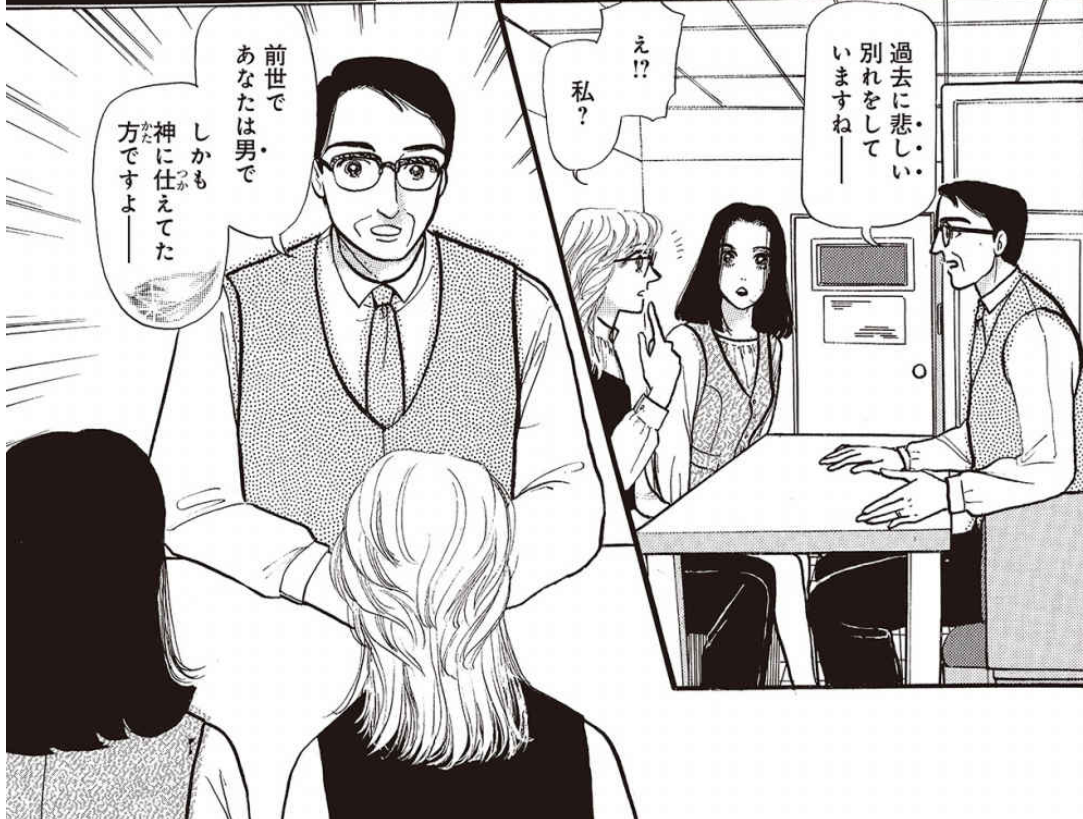
私は中途半端な気持ちのまま……

霊視できる人紹介してもらって予約したんだけど

数日後ー

仕事中です
声をかけて
ノックして!!

いまは結婚してカナダ在住の姉





アジア系の背の高い
ハンサムな人です
髪が長いね

長身で
ハンサムで
ロング……

また？

え!?

殉教——みたいな
そういう旅をして
……それで……
恋人と別れた
ようですよ



エジプトからインド
……中国……ヨーロッパ
やアメリカ……
オセアニアにも
行ってますね

エジプト……は
でも他は全部
行ってる……

旅行とか
ハイキング
大好きだもん

自然や動物を
愛するやさしい
人ですよ

自然とか
動物も好きだよ

だけど……



南極を通った時

足をすべらせて
氷に落ちた時に
右足のひざ下と

冷たい水につかって
腰を痛めてるなあ

南極には行った
ことない——
けど足は……

歩かなくても
食べていけて
——好きで
続けていける
仕事——って？

交通事故で痛めた
(デビューのきっかけとなった)
右足



腰は
椎間板ヘルニアで
入院したことが
ある……

でも……

その旅先で
出逢った人達とは
今世でも縁があつて
逢わされてるん
ですよ

たつきさんは……
巫女だったことも
ありますね——



巫女の姿をした
あなたが見える
んですよ

この人達……

その時私は

見えていたのは
前世とか背後霊とか
ではなく——

私の記憶の中の
イメージ(残像?)が
見えていたのでは
ないだろうか?
と思いました



なぜなら

私は十代のころに
結婚式場で巫女の
仕事を一年程やっていた
ことがあります

それから

千絵ちゃん達の言う
私に見える霊と
いうのも――

私が一番好きで
シリーズで描いてた
作中のキャラに似てる
気がしたんだ

思い入れの強い
キャラだったから――
私の中の彼の映像が
見えたんじゃないか？
と思っただけ……



足とか腰はオーラが
見えたんじゃないかなあ
？と思えるし……

どれが正しいなんて
私にはわからない
――けど……でも

あの人達には確かに
霊視できてたと
思います――

ただ……解釈が
違ってる気が……
するんですけどね

悲しい恋という
心当たりはないなあ

しいていえば

それまで友達
だった男の子に
16になった年に
プロポーズされた
時—?



よく人に相談されたり
しましたが—私が
答えられる言葉は
いつもこれだけでした

自分だけが
不幸だなんて
思わないで

思いやりの心だけは
失くさないで—

良い事も悪い事も
自分のした事が
返ってくるのよ



そんなんざれたら
友達でいられなく
なる—って……

悲しい意味が
違うよね

徳が高いとは？
関係があったのか
？わかんないけど



ところで

丁社長が言ったた
南極だけは
足腰悪いから
縁はないぞ！と
思ってたんだけどね

毎日新聞社から
絶滅の危機に瀕してる
南極ペンギンの基金
AIDのカードイラスト
の依頼がありました

依頼も南極も
びっくりです

どこで縁と
出逢うか
わからない
ものです



でも

1997年1月



え!?

へ……

はい！
よろこんで





こういう出逢いには
何かメッセージが
含まれてる気がする——

そして——いまは
そういう人達との
縁はなくなつて
かれこれ10年近く
たちましたが

それは……つまり
いままでのメッセージ
の中から

自分なりに
答えのさせる時期が
きたからじゃない
かしら？と考えて
いるんです

でも

これ描いてたら
10年前の男の人は
今どうなったのか？
知りたくなつて

もう別の人と
交代しちゃった？

まだ
ついてる？

興味がわいた私は
初めて自分から
そういう縁のある所
へ足を運びました



あなたの前世は
ロンドンで新聞
記者をしていた
男の方です



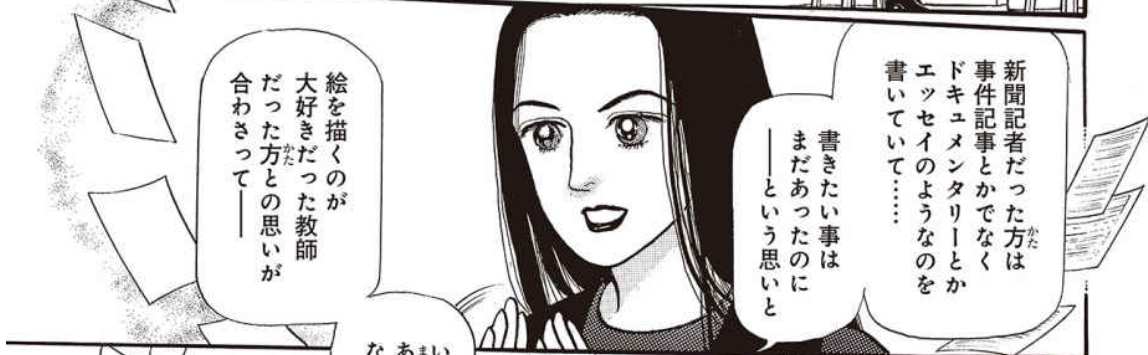
でも…若くして
火事で焼死して
います—

凄く悲しい感情が
伝わってきています

その前…は女性です
北欧のほうで教師を
していました

生徒達の信望が
厚い先生でしたよ

絵を描くのが趣味
で風景を描くのが
好きでしたね



新聞記者だった方は
事件記事とかでなく
ドキュメンタリーとか
エッセイのようなのを
書いていて…

書きたい事は
まだあったのに
—という思いと

絵を描くのが
好きだった教師
だった方^{かた}の思いが
合わさって—



いまの
あなたがいるのじゃ
ないかしら—

へえ—

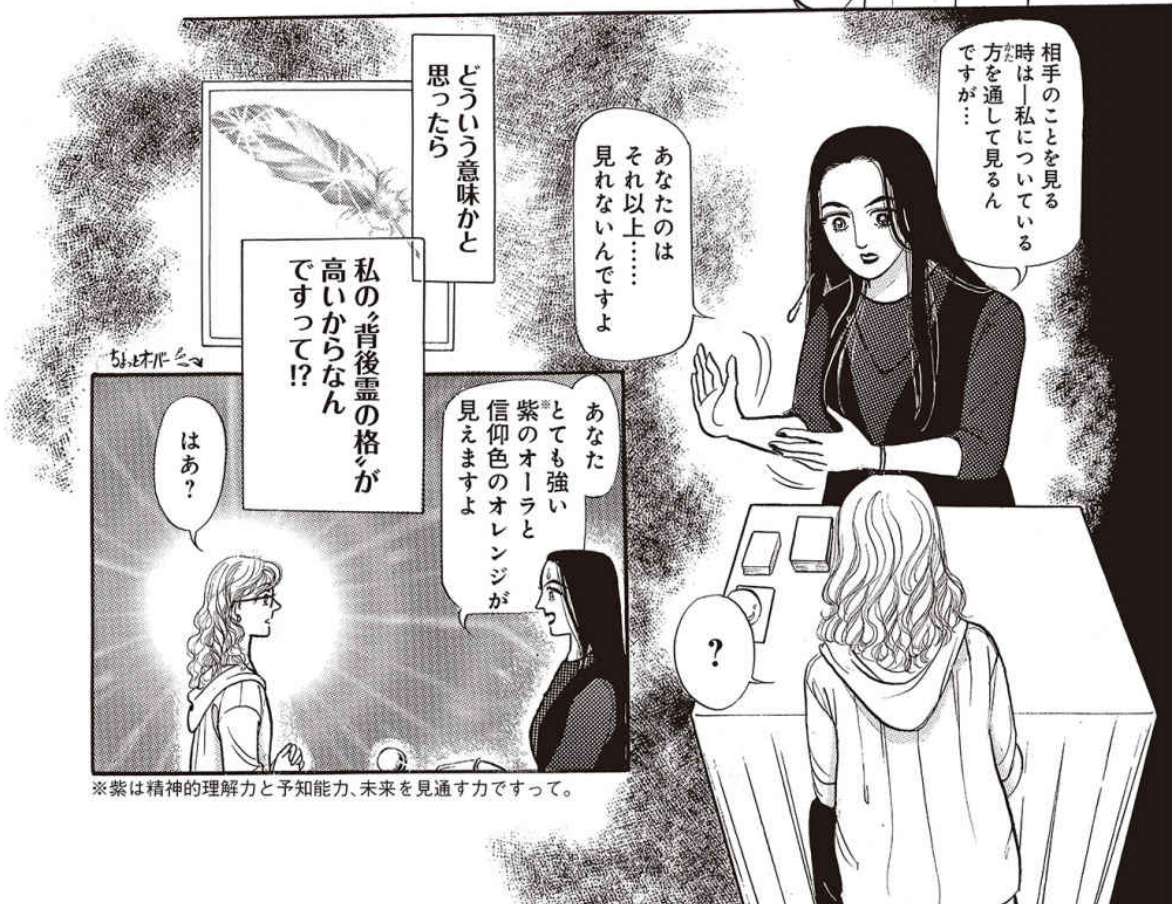
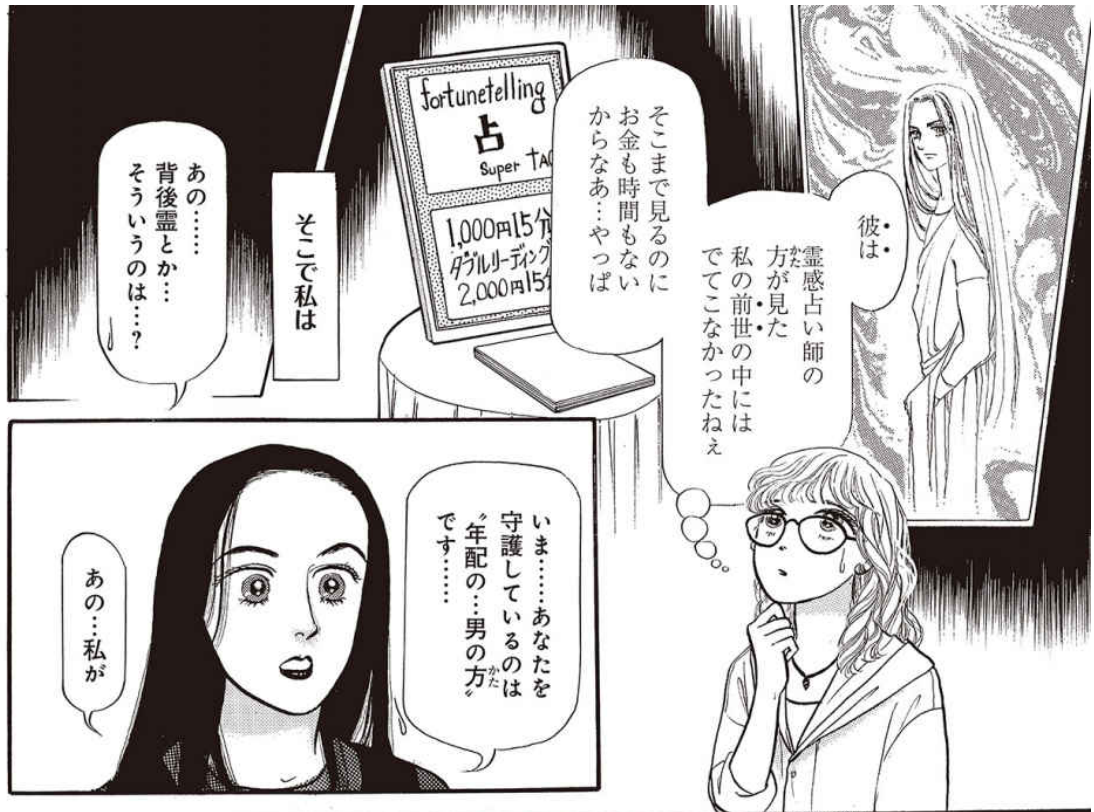
少年漫画
描いてるんだ？

少女漫画
でしたよ

うそ!!
少年漫画の
はずよ!

きせあ

そう…
言われても



※紫は精神的理解力と予知能力、未来を見通す力ですって。



さらに

靈感占い師の方が言うには――

私には…生身の天使が見えるんだとか

もしも私が出産するとしたら生まれる赤ちゃんかもしれない？ だって

相手の男性はかなり年下で――かたい絆で結ばれていたそうです

私って既婚者だとよく誤解されるんだけどまだ独身なの

指が太くて指輪が薬指にしか入らなくて

前世の女性教師は「独身が長かったけど晩年に結婚した」って

だから来世――つまり現在でも出逢うべくして生まれ変わっているという……が

←年いってます



外国人に転生してるから

歩く時に外国人をチェックして歩くといんじゃない

ははは

今世で必ず会えるとは限らないけどバツタリ出逢うってことだってあるかもしれないわよね？

だって

べつに

そこまでして捜したかあ
ないよお



天使のインビツ立て

キュービー人形 (赤ちゃん)

あのひとまさか

この人形達を透視してたってことは？…ないか

トキオとスマップのビデオ (年下の男)

うーん 私にはわからん

元新聞記者

私昔幼稚園の先生もやってたことあるから

それが見えたってことはないかな？

八雲会
会員名簿
主権樹様

三小泉八雲
二小泉八雲
一小泉八雲
八雲
小泉八雲
小泉八雲

SMAP
SMAP
SMAP

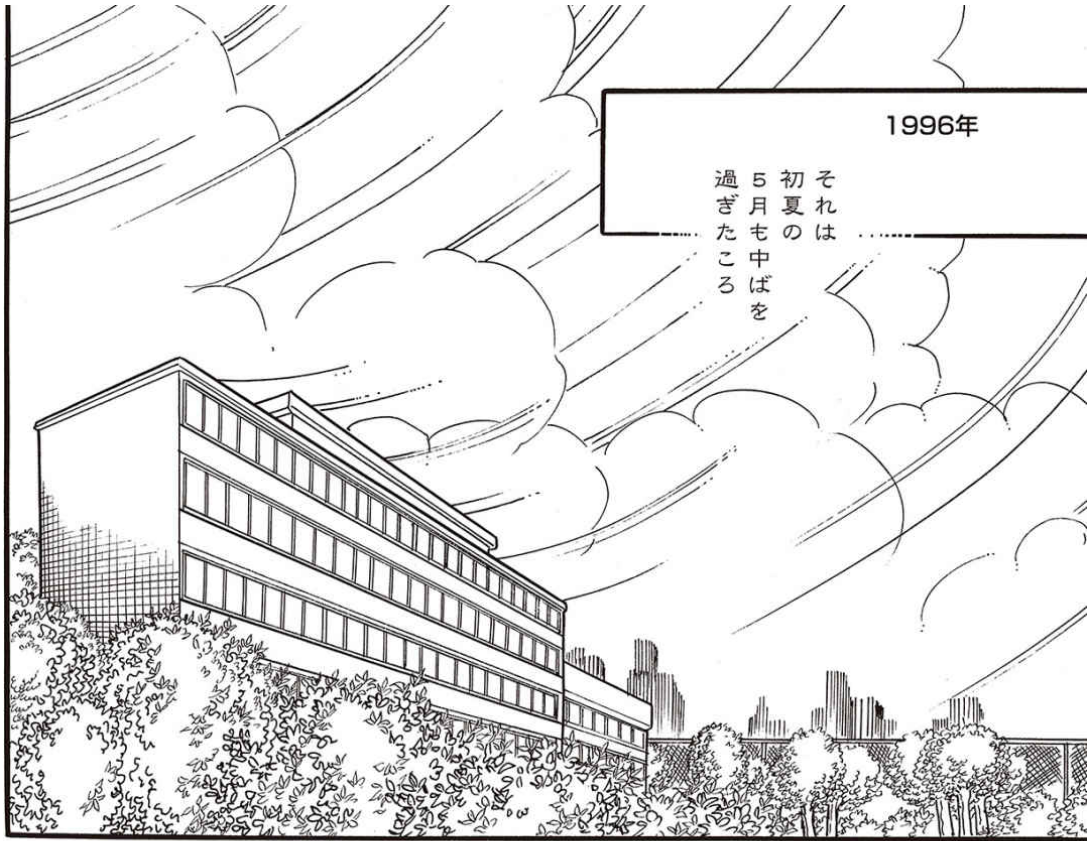


ちいさなカラの中



1996年

それは
初夏の
5月中ばを
過ぎたころ



自分だけの
世界を持つて

いつも
いつも
自分のカラに
閉じこもって

私は
出雲真澄17才
ドジでグズで
頼まれるとイヤ
とは言えない
意志薄弱な
女

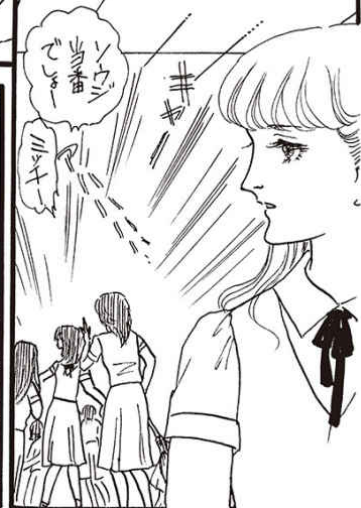
だから
いまだ友達
ひとりもない

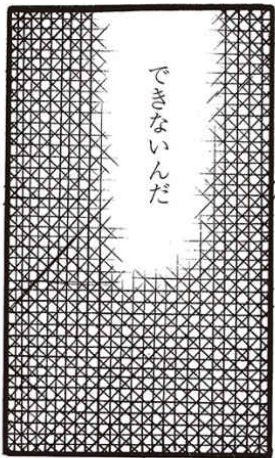
えええ

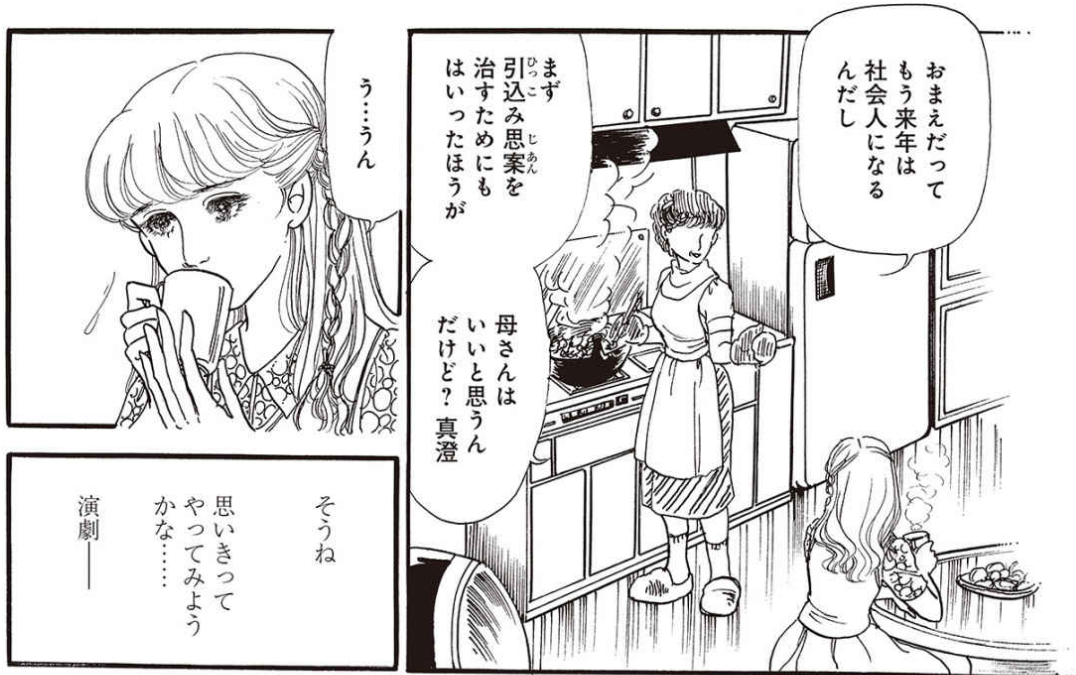
いいわねえ
私も帰り
たいなあ

出雲さん
帰るの!?

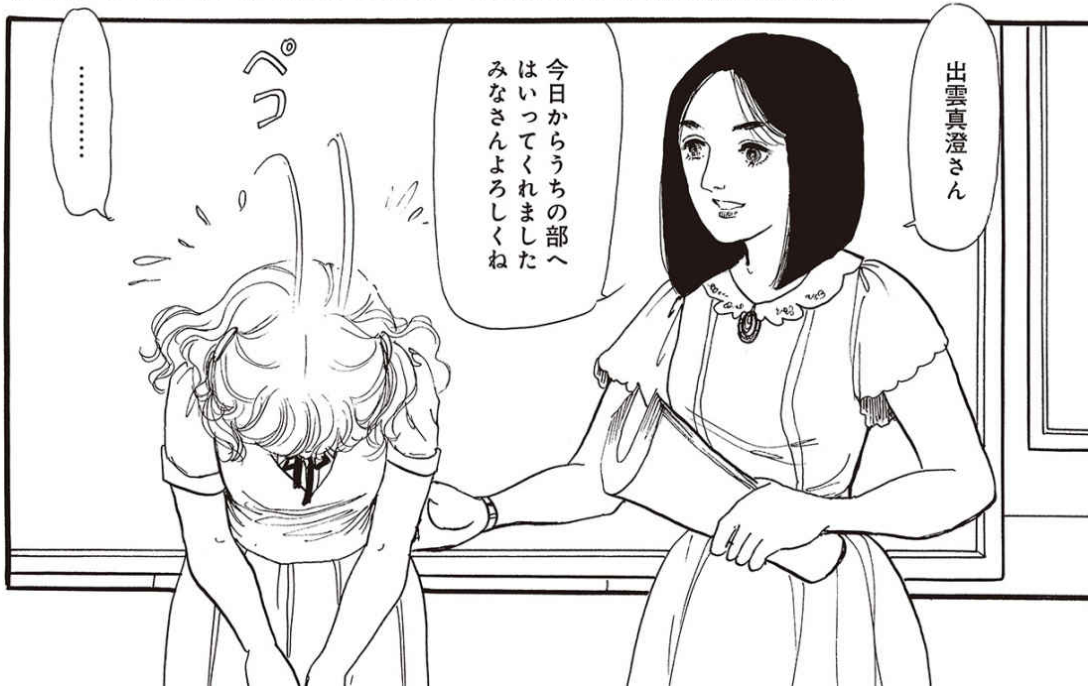
決して人を受けいれ
ようとしない

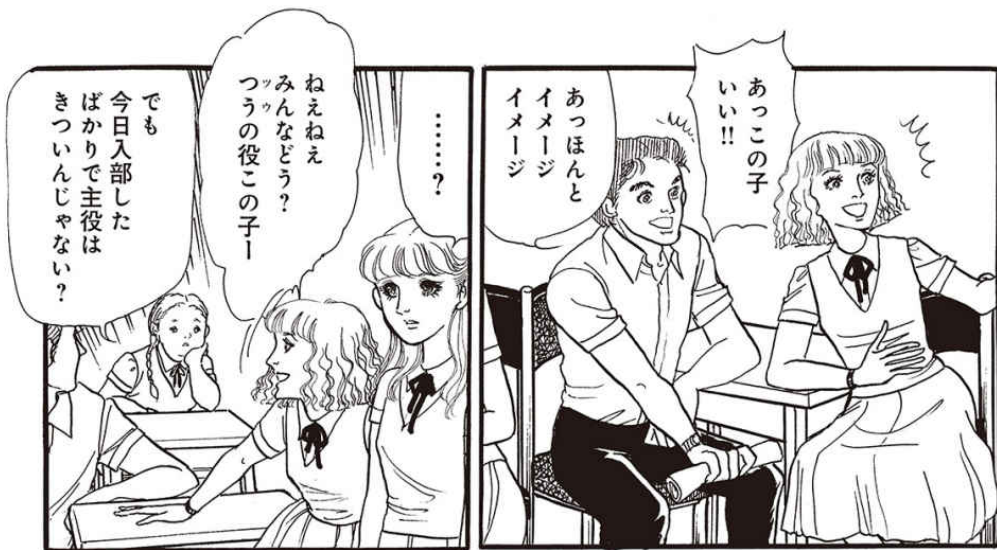






演劇部





でも
今日入部した
ばかりで主役は
きついんじゃない？

ねえねえ
みんなどう？
つうの役この子！

……？

あっほんと
イメージ
イメージ

あっこの子
いい！！



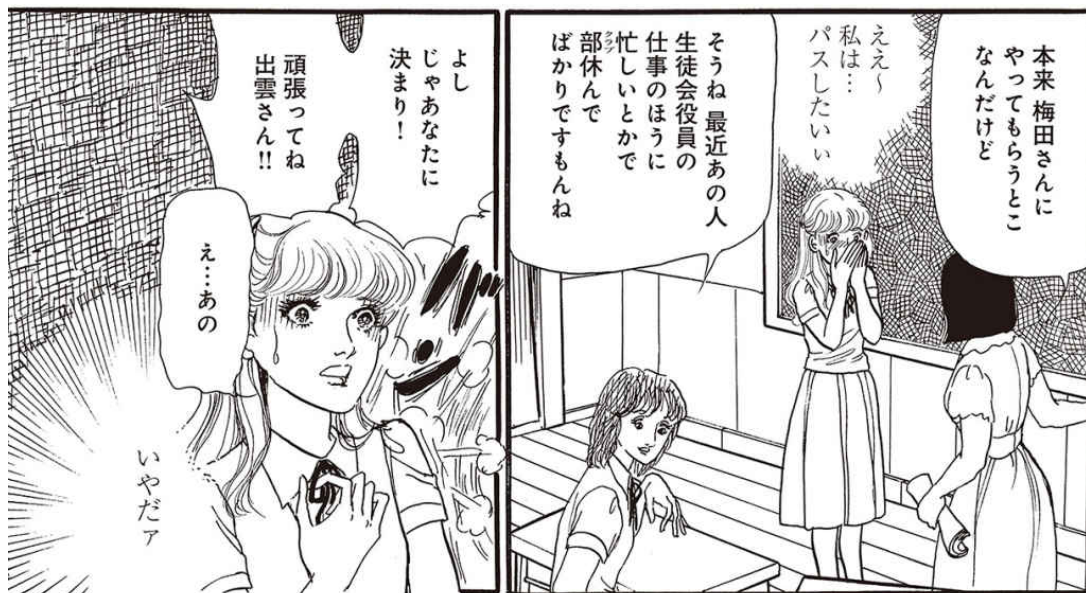
し……
主役……！！

え!!?

うそ！
やだ
やめて!!

だつてつうの
イメージにびつたし
だと思わない？

色が白くて
きゃしゃな感じで



本来梅田さんに
やってもらうとこ
なんだけど

ええ
私は……
パスしたい

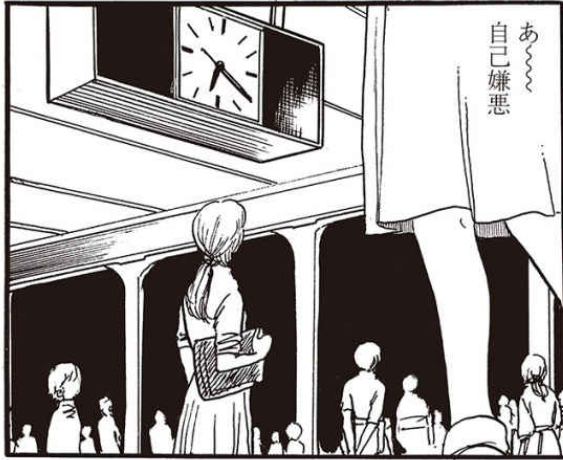
そうね最近あの人
生徒会役員の
仕事のほうに
忙しいとかで
部休んで
ばかりですもんね

よし
じゃあなたに
決まり！

頑張つてね
出雲さん!!

え……あの

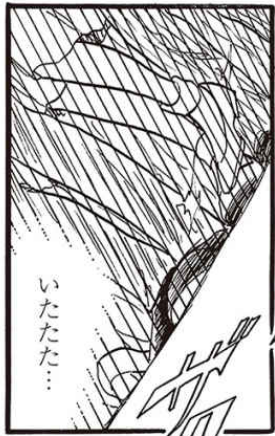
いやだア



あゝゝゝ
自己嫌悪



とうとう
言えなかった



いたたた...



うわ

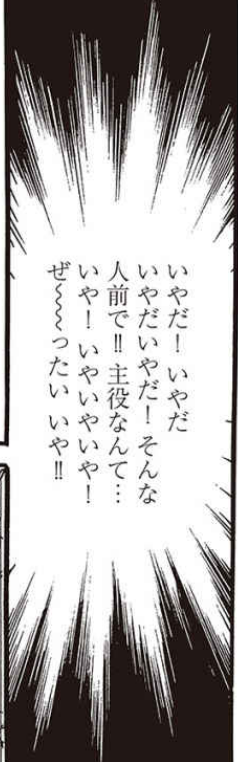


明日からは
少し時間ずらして
帰るようにしよ



そうか
丁度ラッシュに
ぶつかっちゃうんだ

部活が終わってから
帰ると



いやだ！いやだ
いやだいやだ！そんな
人前で！！主役なんて...
いや！いやいやいや！
ぜくくつたいいや！！

.....
つ



声が小さい！
もっと大きな
声を出して

時期は
なんなく
過ぎて...

よ...
よひょう...



あ...あの...
けつしてハタを
ヲるところを...みはいて
くだ...さい...

何度も
とちったり
ドジったり
しながらも

あの
なんてのは
台本にないわよ
出雲さん

よー
よー
ガンバレ



まだ
声が小さいなあ
出雲さん

私はなんとか
人前で話すことが
出来るように
なったー

ドンマイ
ドンマイ

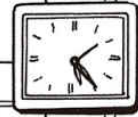


初めは
死ぬほどいやでいやで
たまらなかつたこの
つうという役も

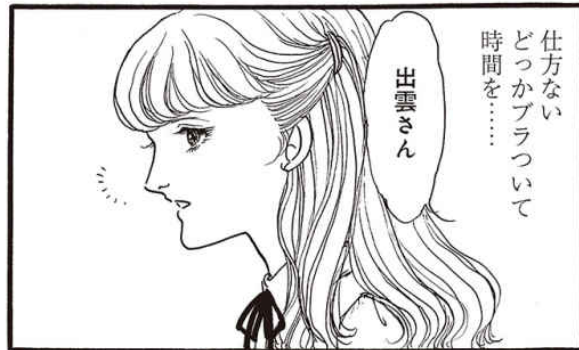
さよなら
与ひょう

今でははやく
みんなの前で
演じたいという
気にさえなつていた
(それにはまだ少しの
勇気と度胸が必要
ではあつたが...)

5時25分
部活終了

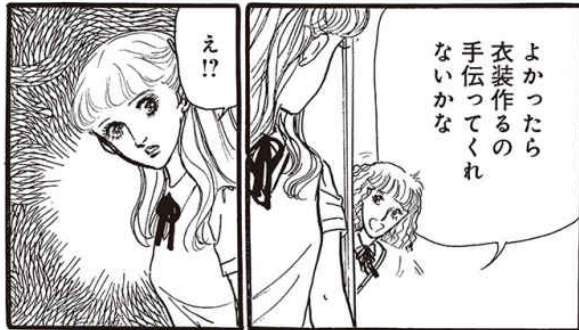


今地下鉄に乗ると
夕方のラッシュユに
ぶつかっちゃう



仕方ない
どっかブラついて
時間を……

出雲さん



よかったら
衣装作るのが
手伝ってくれ
ないかな

え!?



自分のカラから
ぬけ出せそう……



ペチャクチャ
おしゃべり

話に加われなくて
ごめんなさい!
でもこういうの
好きなんだ……

人が話してる
のを聞いて
いるの……って



ラッシュユは
まぬがれそう

悪いわね

いいえ

助かるウ

わあ出雲さん
手伝ってくれるの



うんごめん
いまから帰りますから

そう部活で
食事？
うんみんな
で
そうじゃね

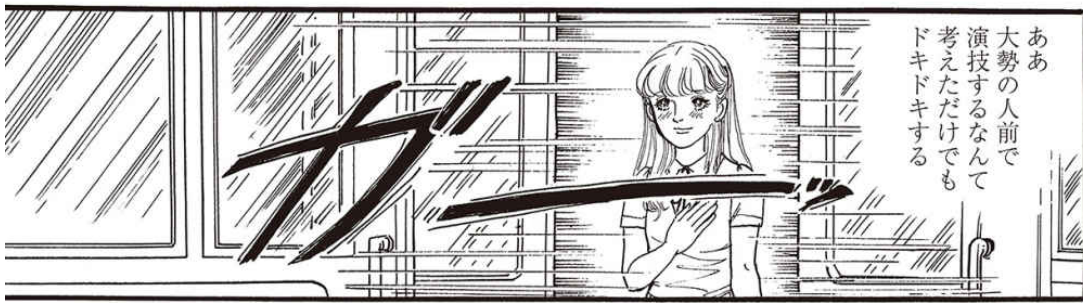
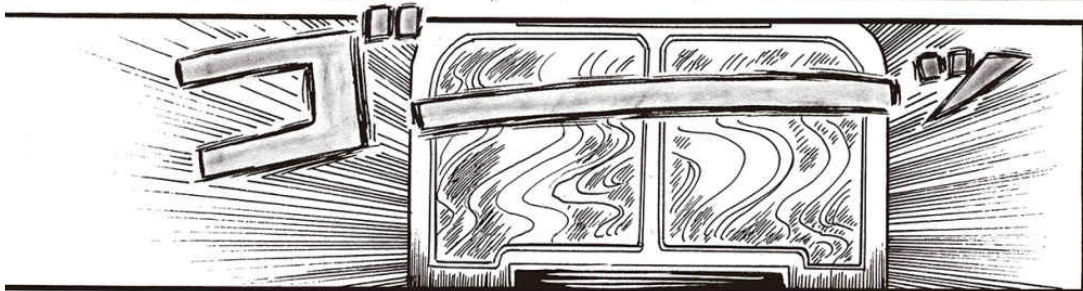
あの…えっと
ちよっと
なんて言っ
逃げてた
ものね



あつ
もしもし
お母さん



以前だったら
あんなふう
に手伝って
言われたら



ああ
大勢の人前で
演技するなんて
考えただけでも
ドキドキする



うわあ
ガラガラ
じゃない

いつもより
1時間ずれた
だけで
この変わりよう



大学へ無事
進学できたら
運動部へも
入部してみよう
かな――



これからは
少しずつ
自分を変えて
いこう……



そうよ
いつまでも
自分のカラの中に
閉じこもっていては
いけないのよね



間もなく
発車致します



え!?

そうよね
大学だったら
知らない人達
ばかり……



照れくさくて
出来ないけど

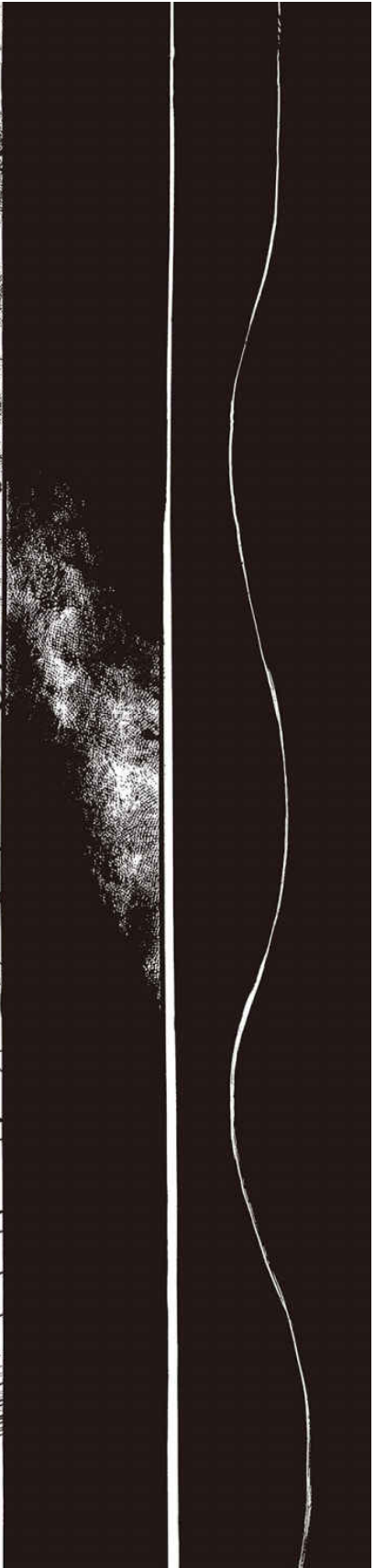
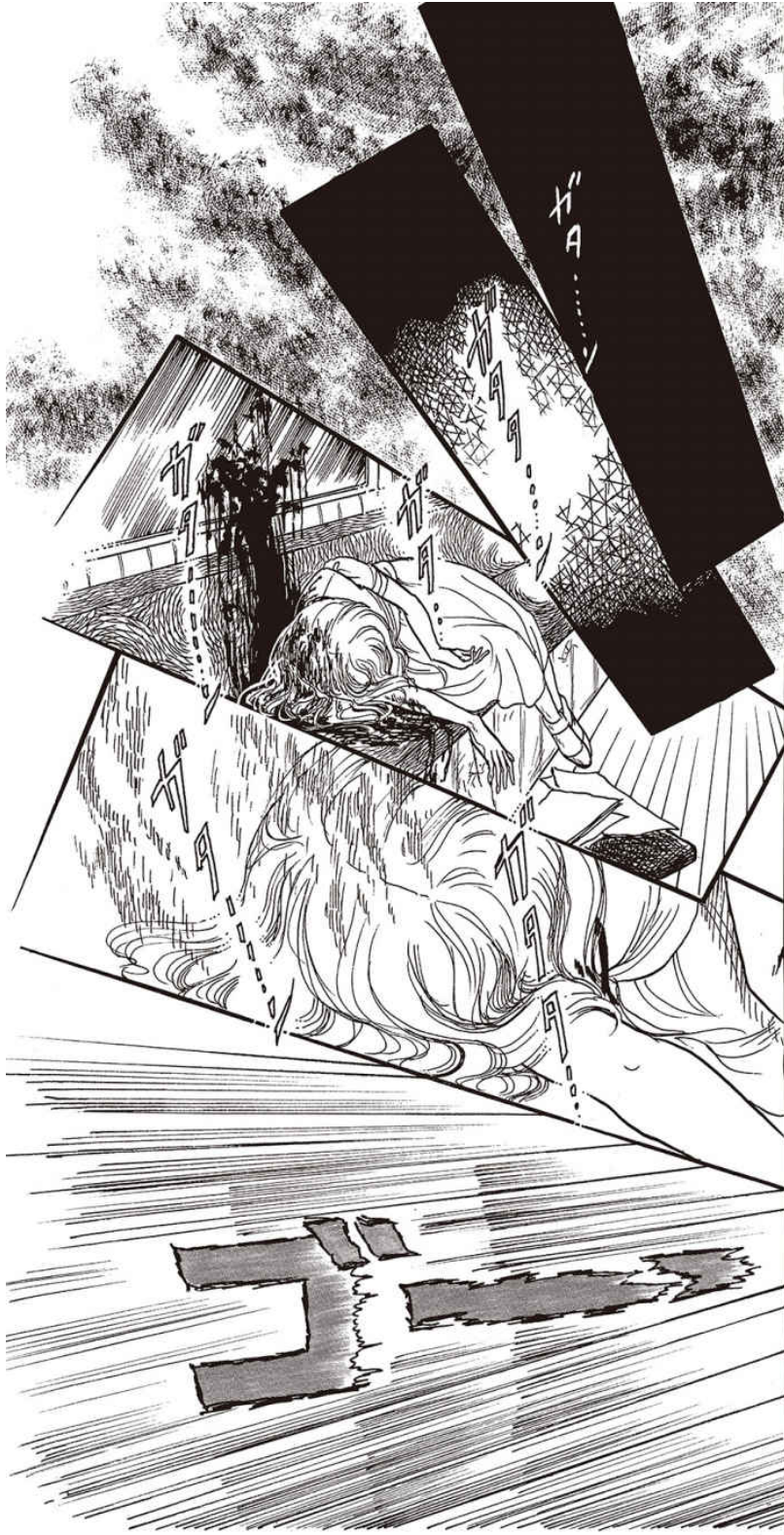
今は以前の
私を知ってる人が
大勢いるから





え!?

なに!?
なんなの!?





まっくらだ

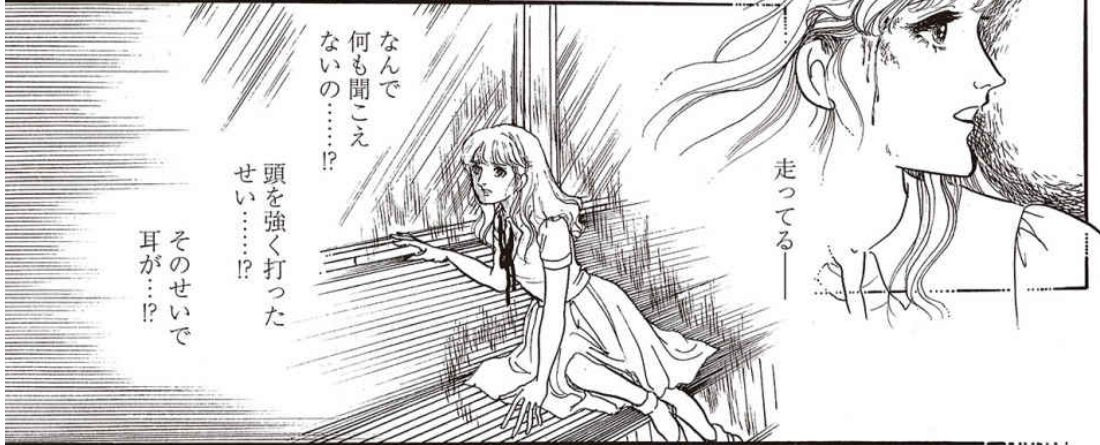
なんにも
見えない

なんにも
聞こえない



電車は...!?

音は
しないけど
振動が伝わって
くる—



走ってる—

なんで
何も聞こえ
ないの...!?

頭を強く打った
せい...!?

そのせいで
耳が...!?



ザッ

ジュジュジュジュ

ジュジュ...

まっ暗だわ

誰もいない!

私ひとりだ



いやだ

怖い



あ...

ホームだわ
ホームが
見える!!

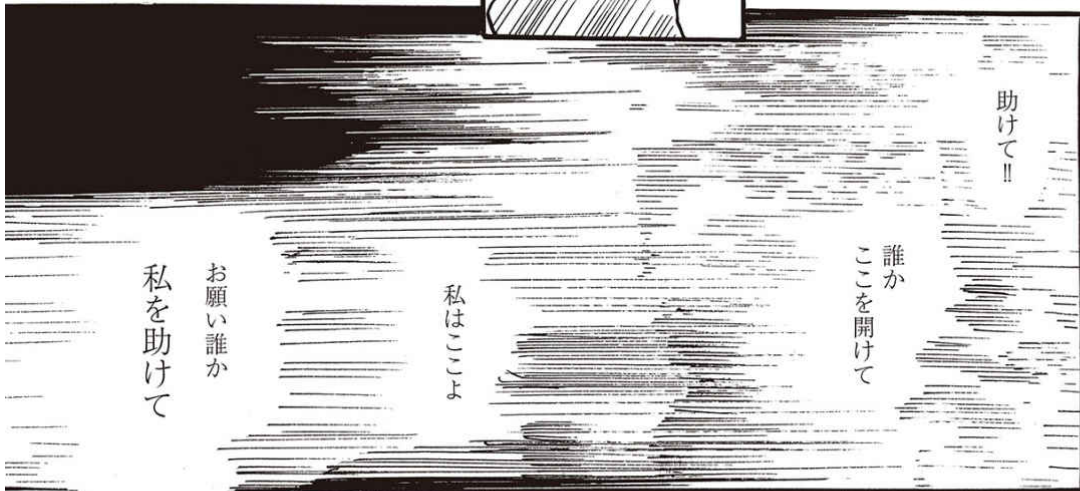


お母さん
お父さん

ここから
出して



開けて

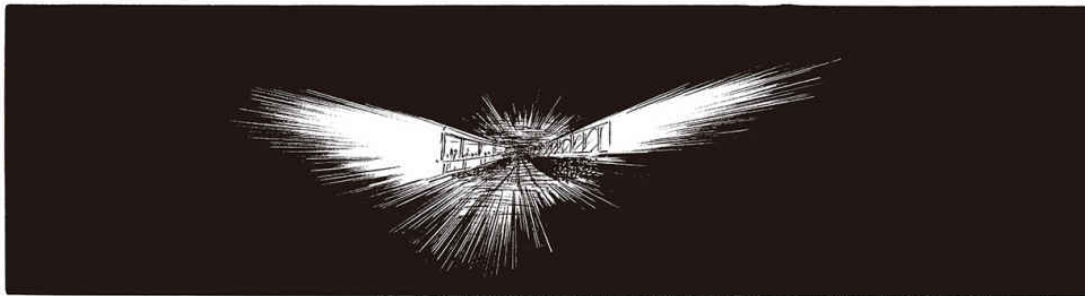
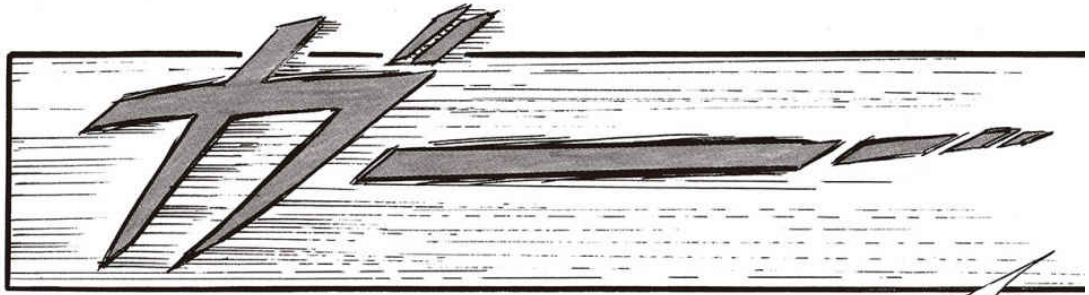


助けて!!

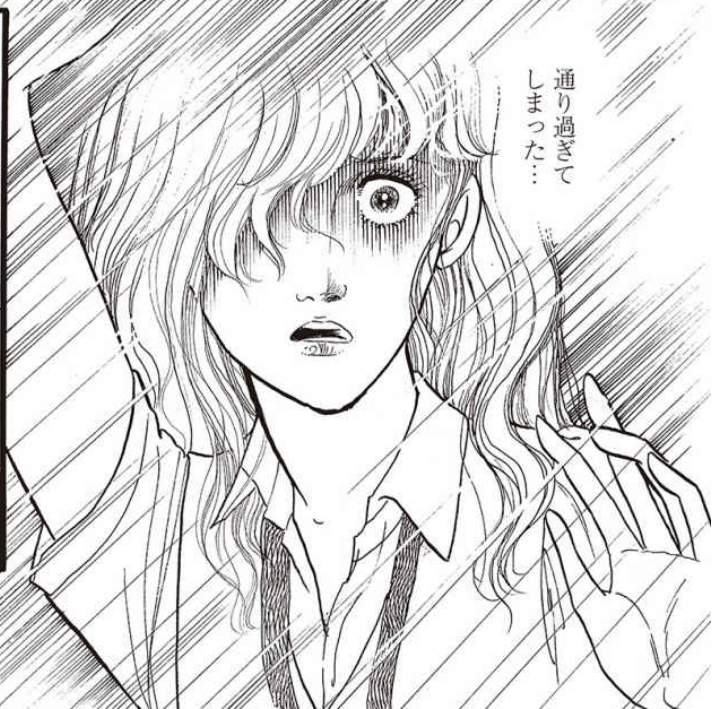
誰か
ここを開けて

私はここよ

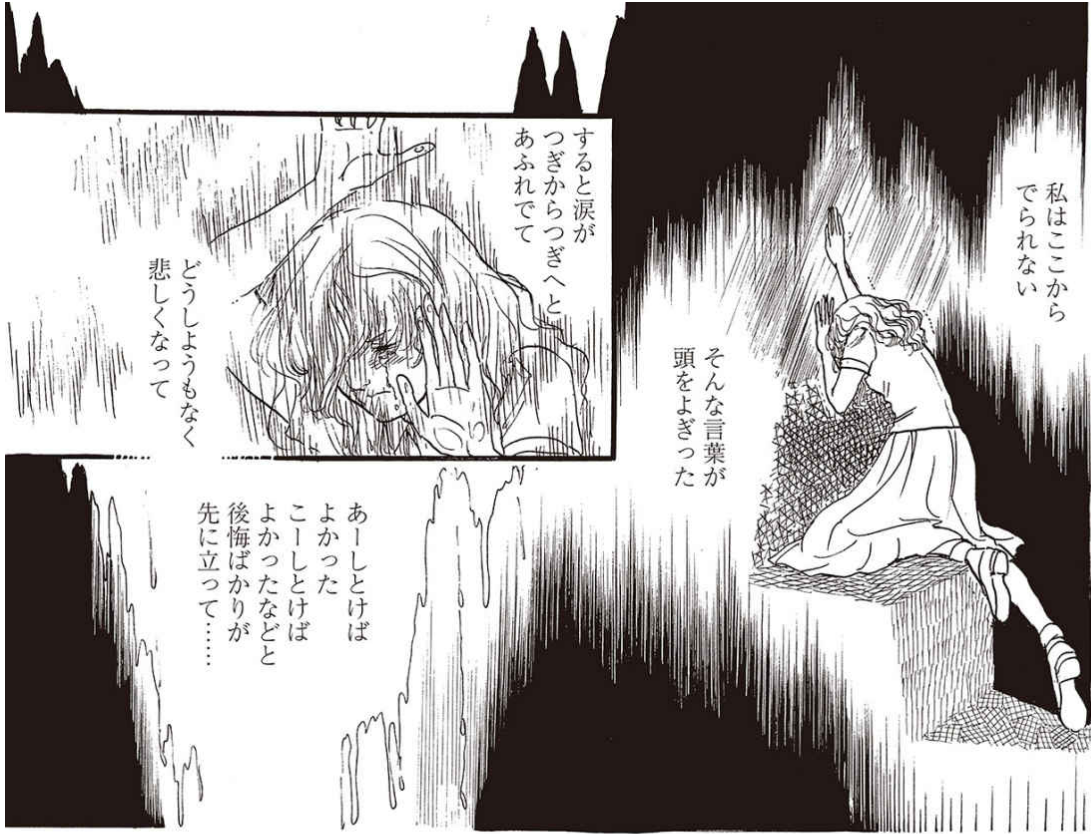
お願い誰か
私を助けて



いやだ…私
こんなところに
いたくない――



通り過ぎて
しまった…



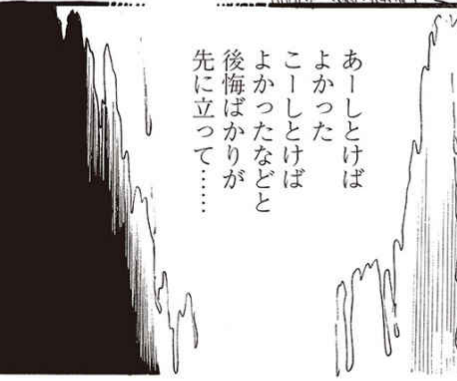
私はここから
でられない

そんな言葉が
頭をよぎった



すると涙が
つきからつきへと
あふれでて

どうしようもなく
悲しくなつて



あーしとけば
よかつた
こーしとけば
よかつたなどと
後悔ばかりが
先に立つて……



ここは
寒くて

暗くて

怖い……

だれか
助けてよオ

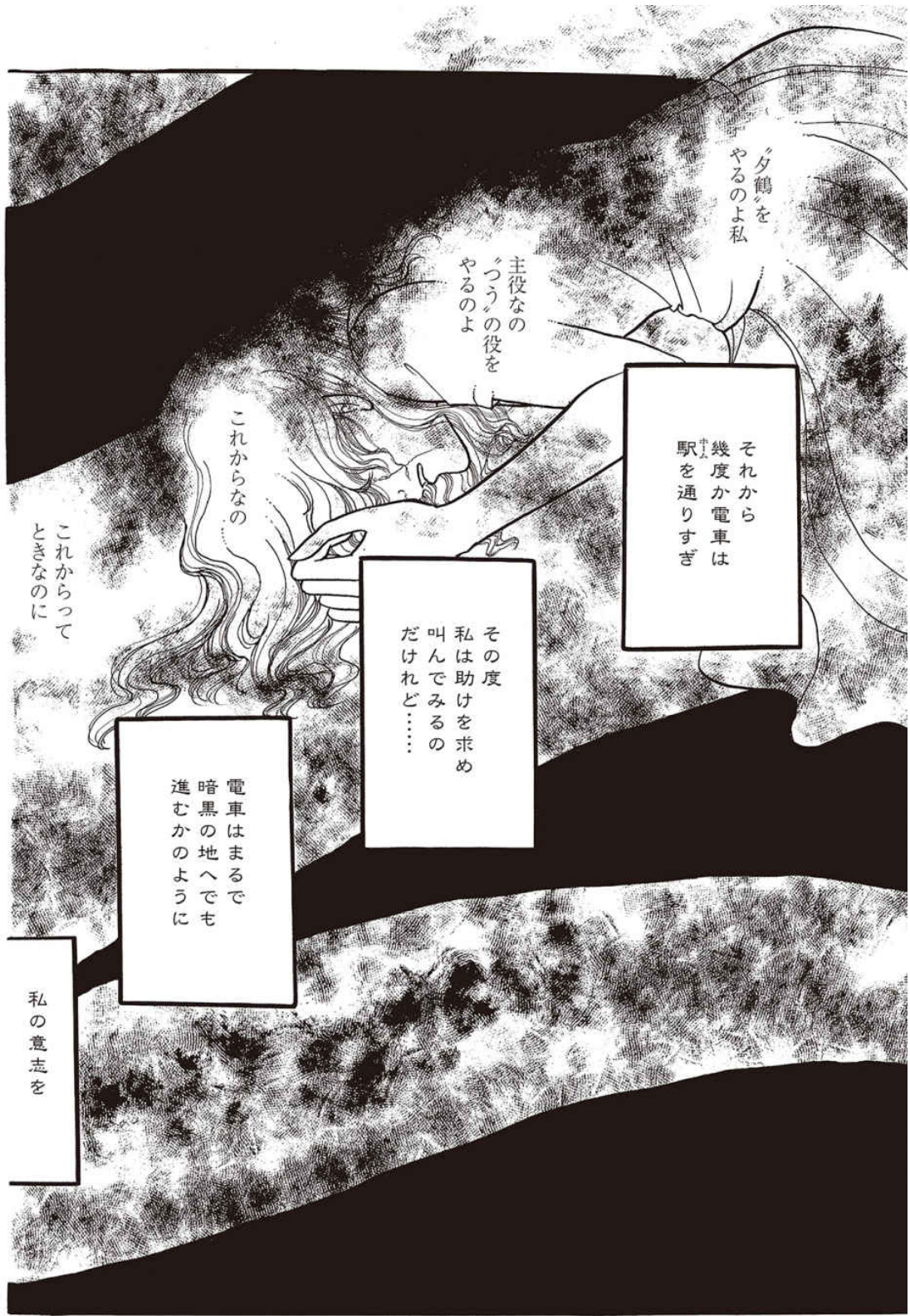


これから
ぬけ出られる
はずだった
のに……



私は……

やっと自分の
カラからぬけ
出たのに……



夕鶴を
やるのよ私

主役なの
つつの役を
やるのよ

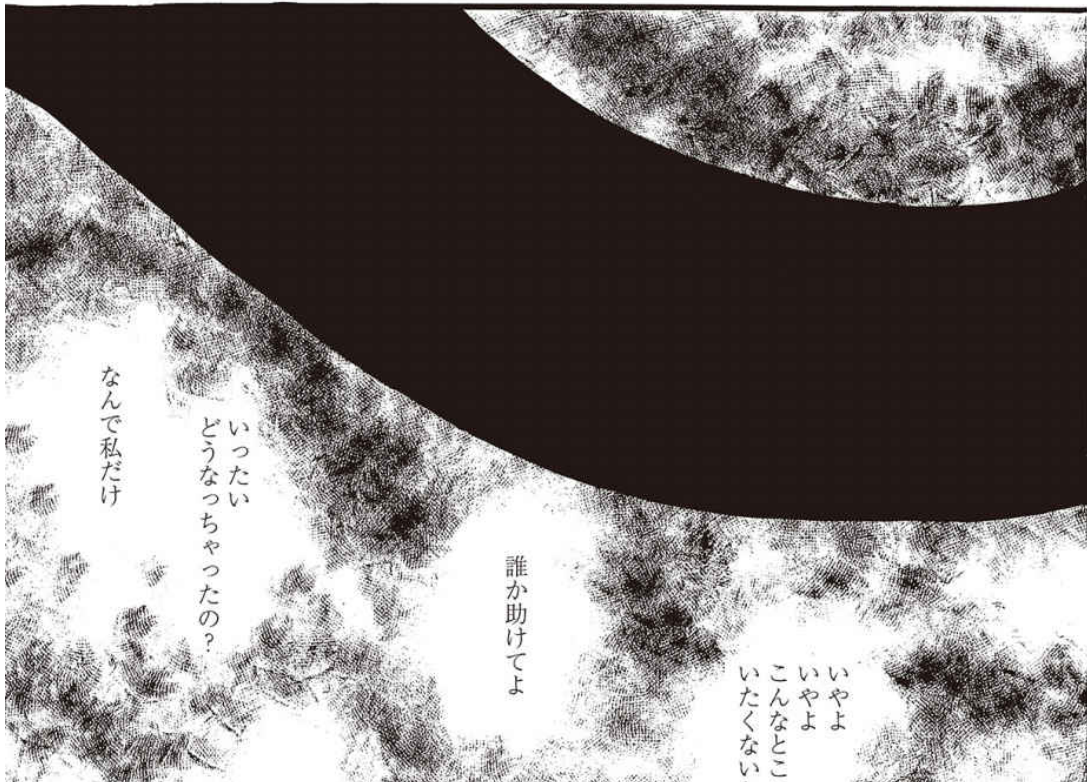
それから
幾度か電車は
駅を通りすぎ

その度
私は助けを求め
叫んでみるの
だけれど……

電車はまるで
暗黒の地へでも
進むかのように

これから
ついでに

私の意志を



なんで私だけ

いったい
どうなっちゃったの？

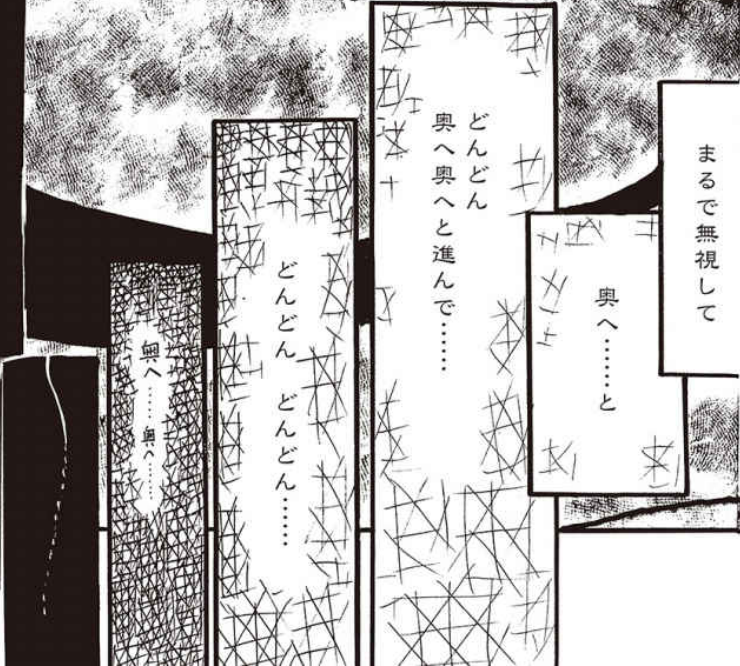
誰か助けてよ

いやよ
いやよ
こんなとこに
いたくないわ



こわいわ

まるでもう
この世にいなくなっ
てしまったみたいで……



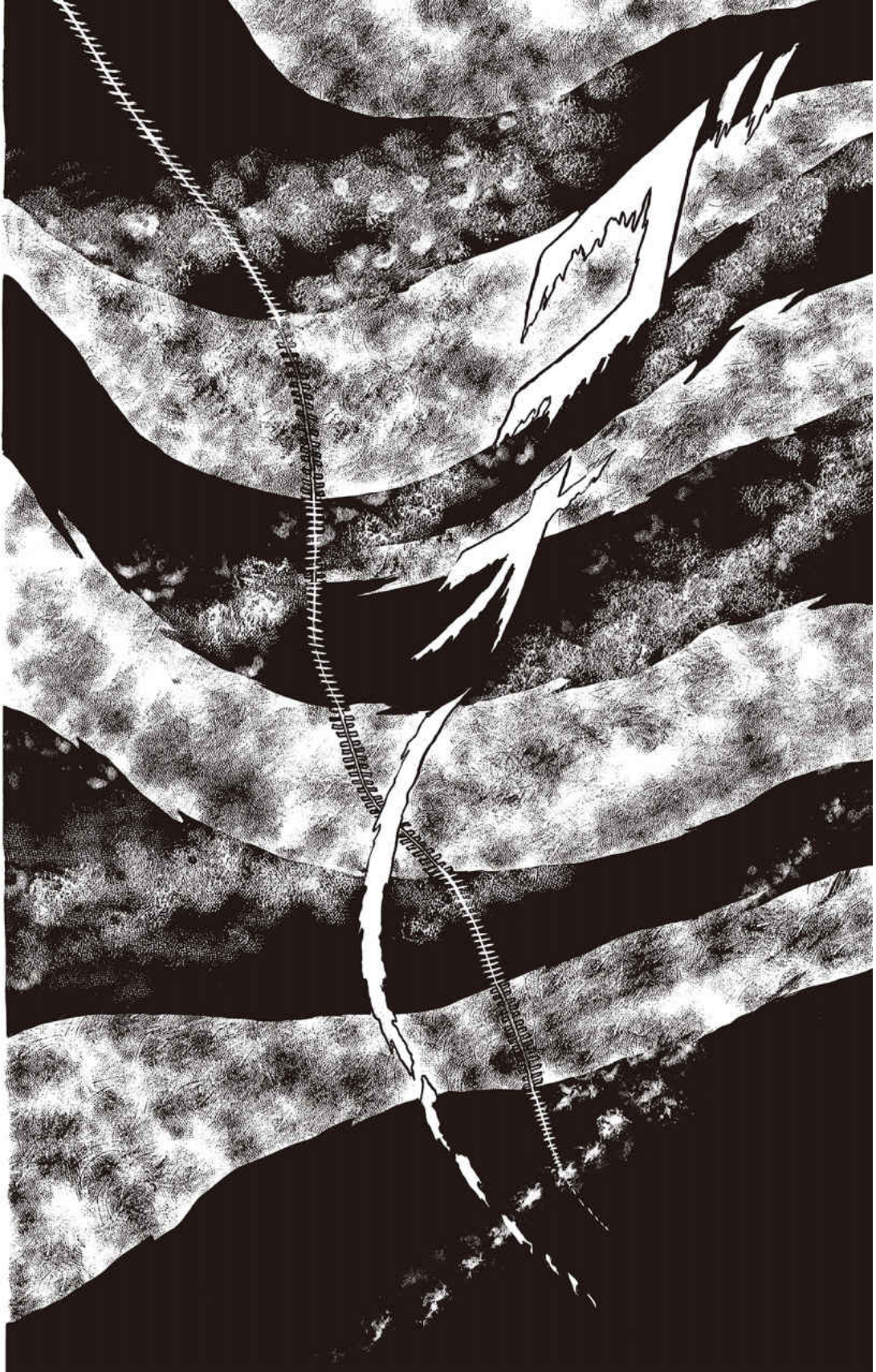
まるで無視して

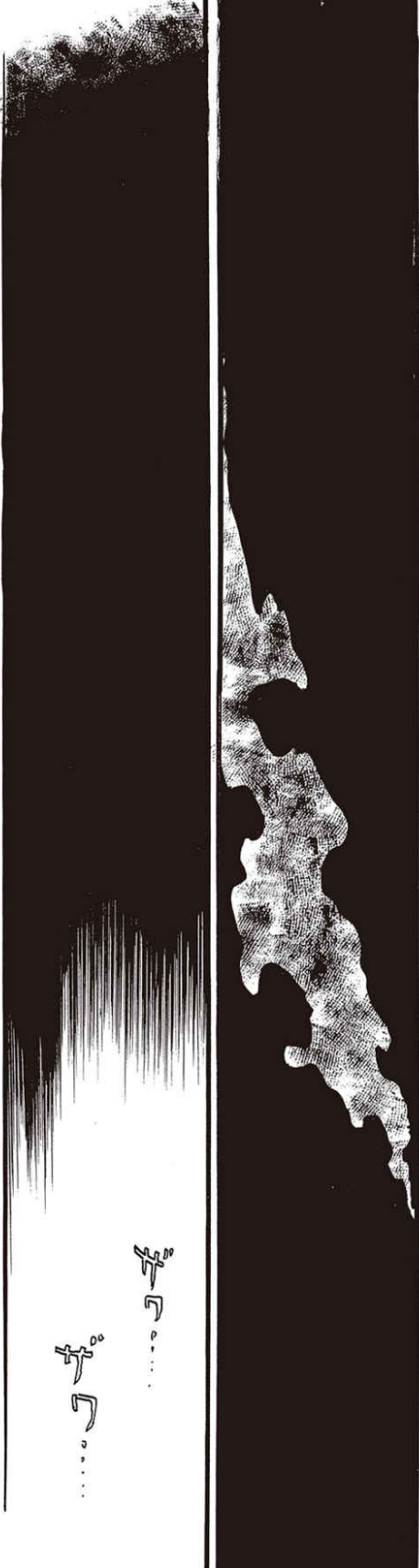
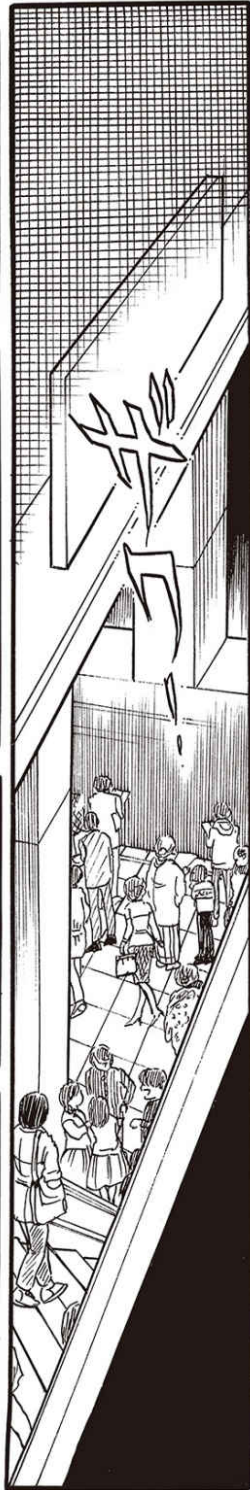
奥へ……と

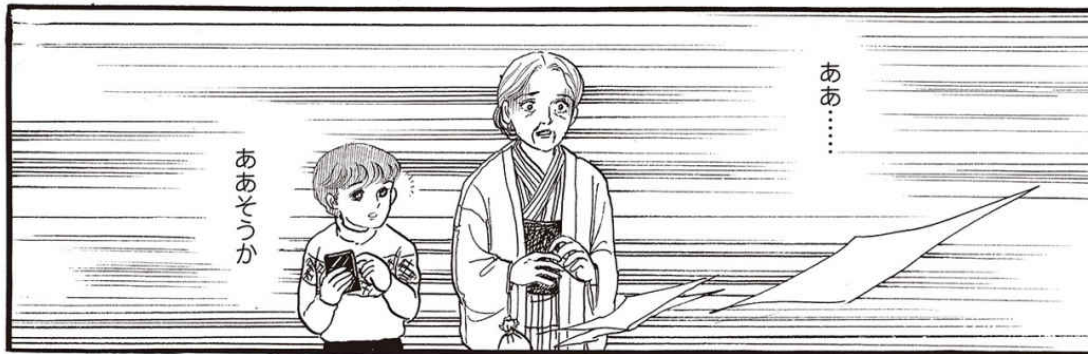
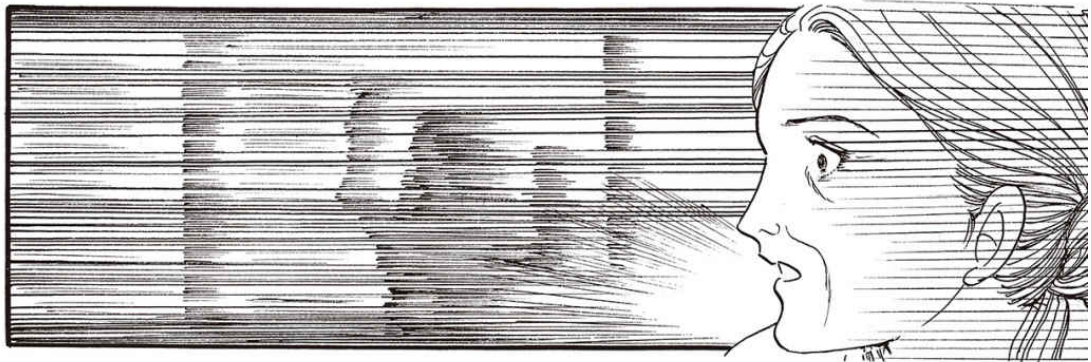
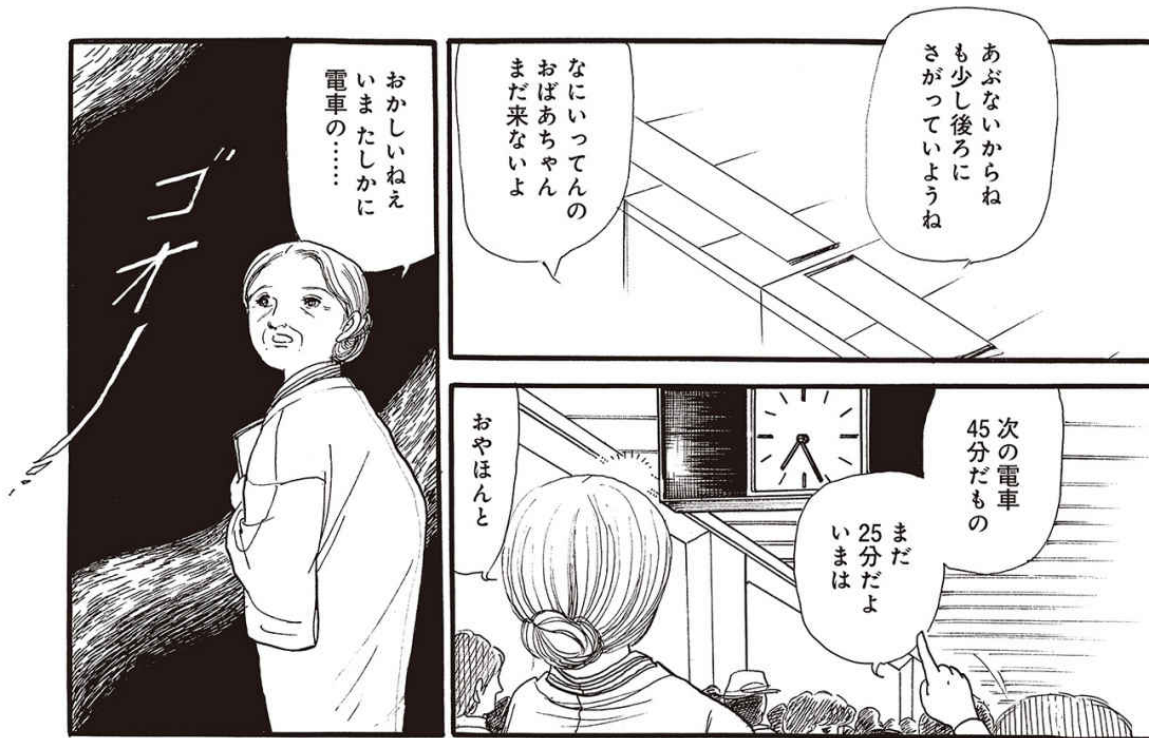
奥へ奥へと進んで……

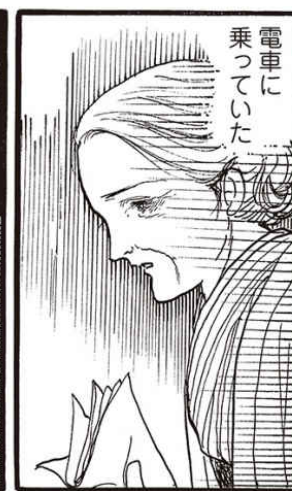
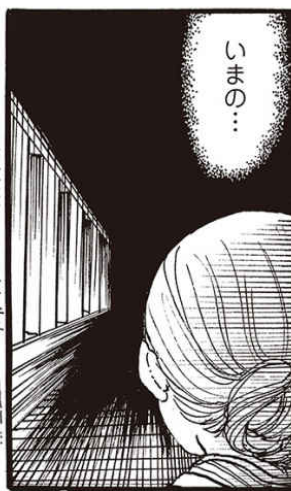
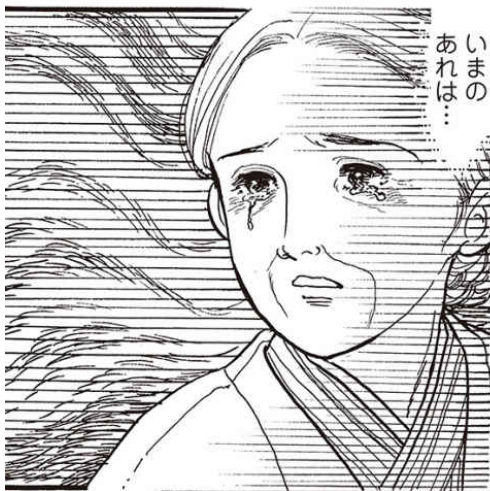
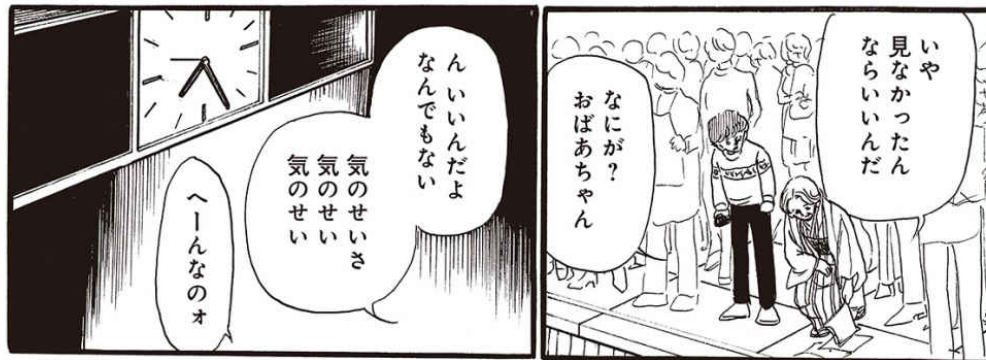
奥へ……奥へ……

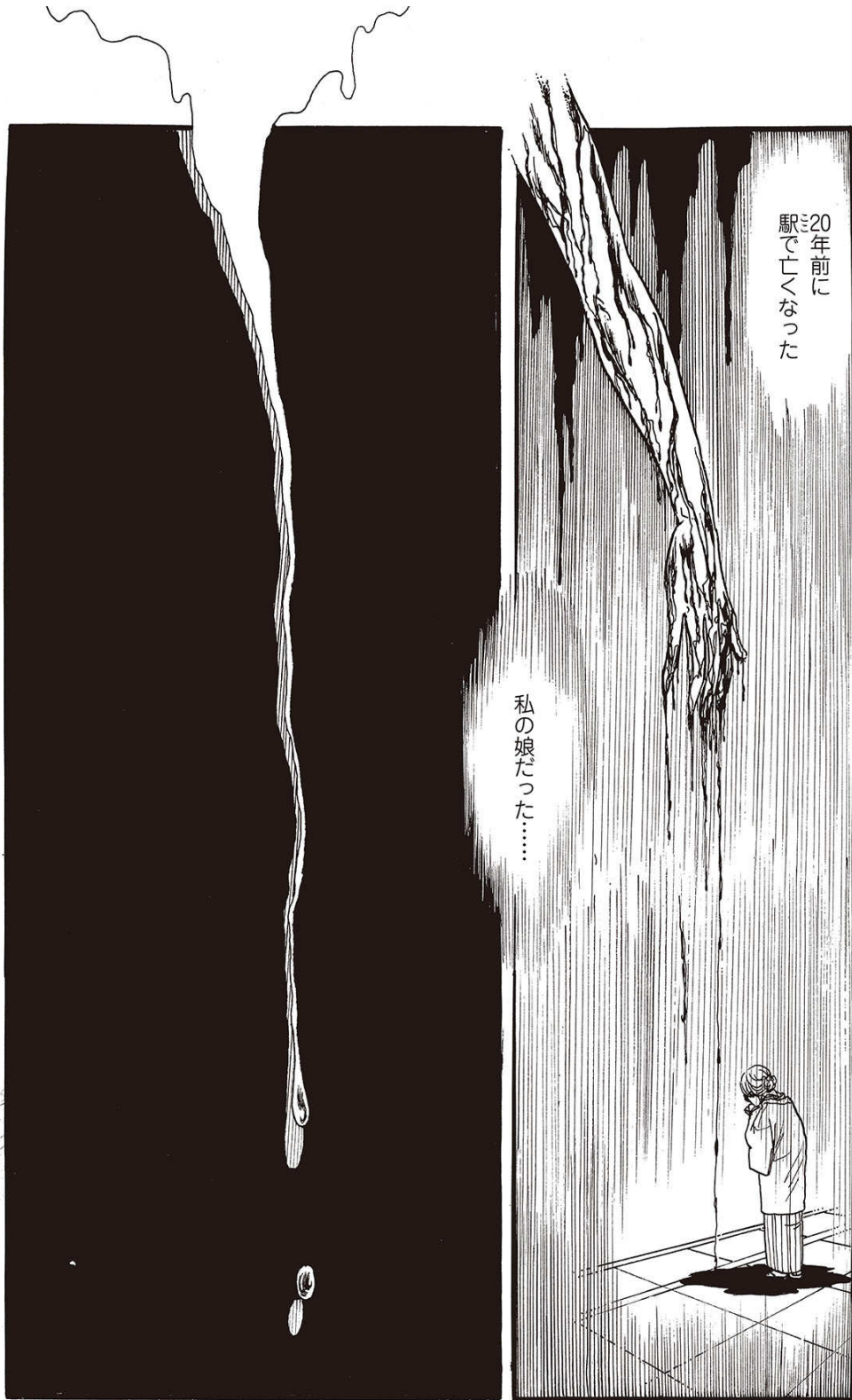
奥へ……奥へ……











20年前に
駅で亡くなった

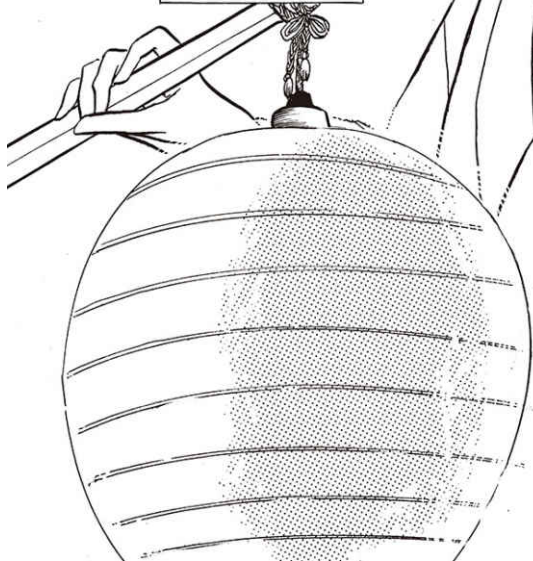
私の娘だった……

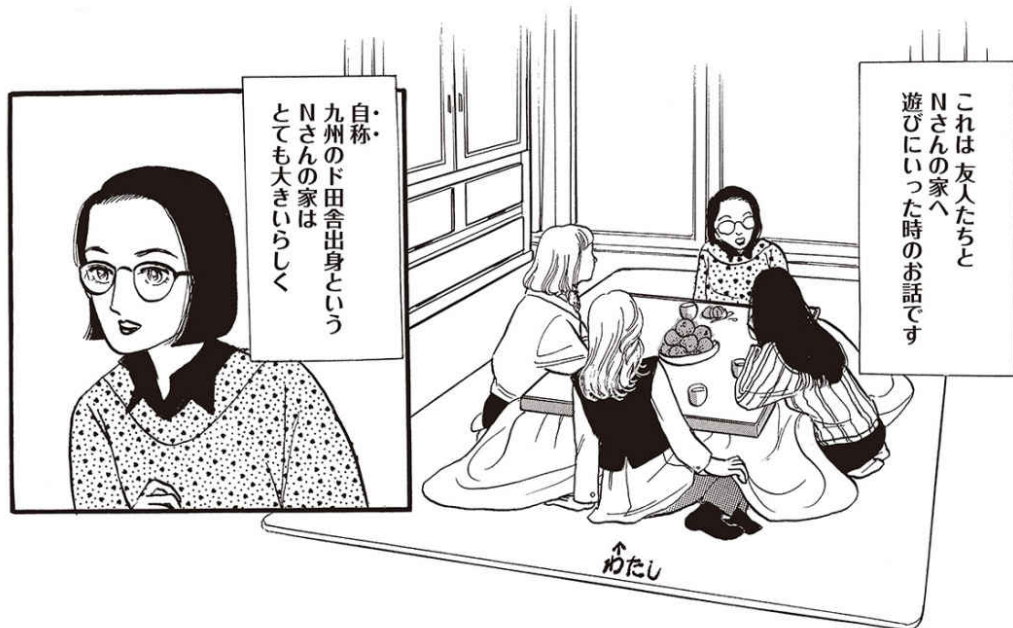
ふ ゆう れい
浮遊霊

浮かばれない霊たちは
ふらふらふらふらと

そこかしこに
いるらしい

そして
そういうのを
浮遊霊——と
いうんだそうです

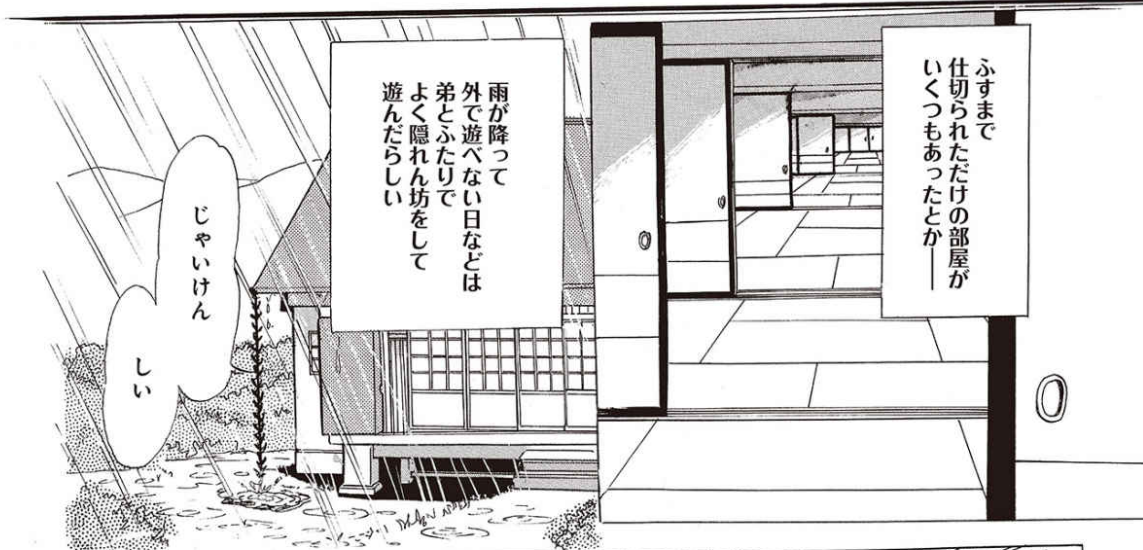




自・称・
九州の下田舎出身という
Nさんの家は
とても大きいらしく

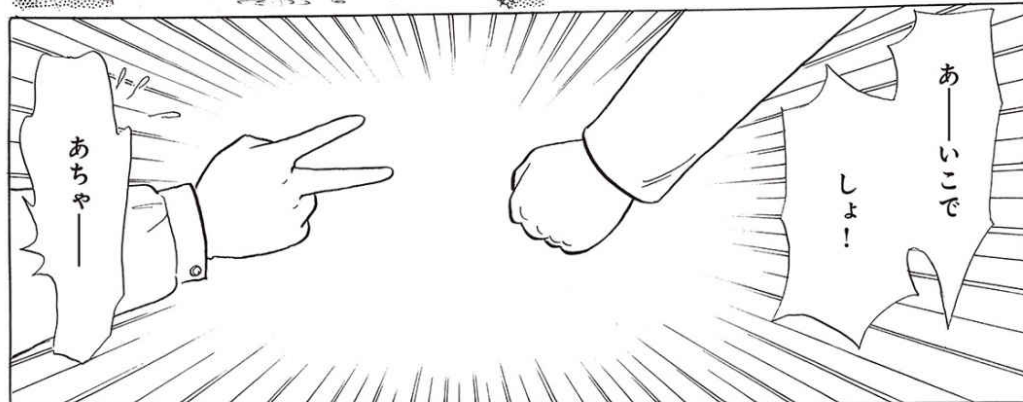
これは友人たちと
Nさんの家へ
遊びに行った時のお話です

↑
わたし



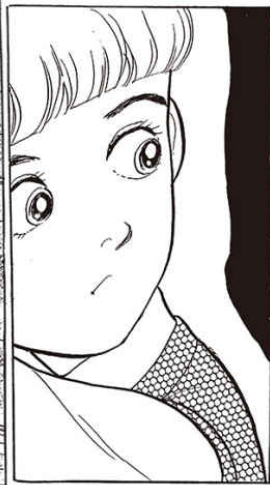
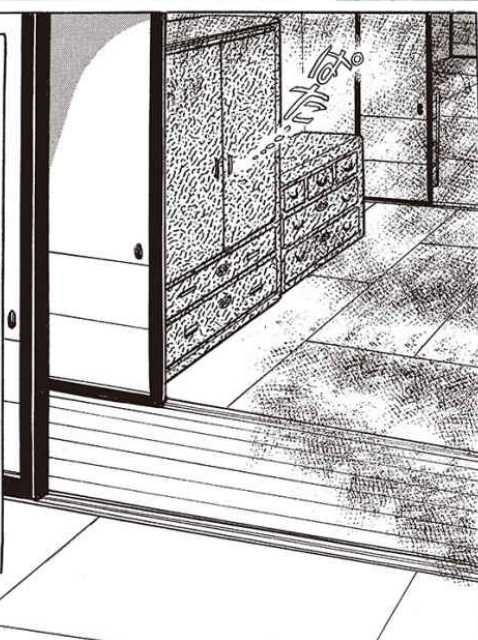
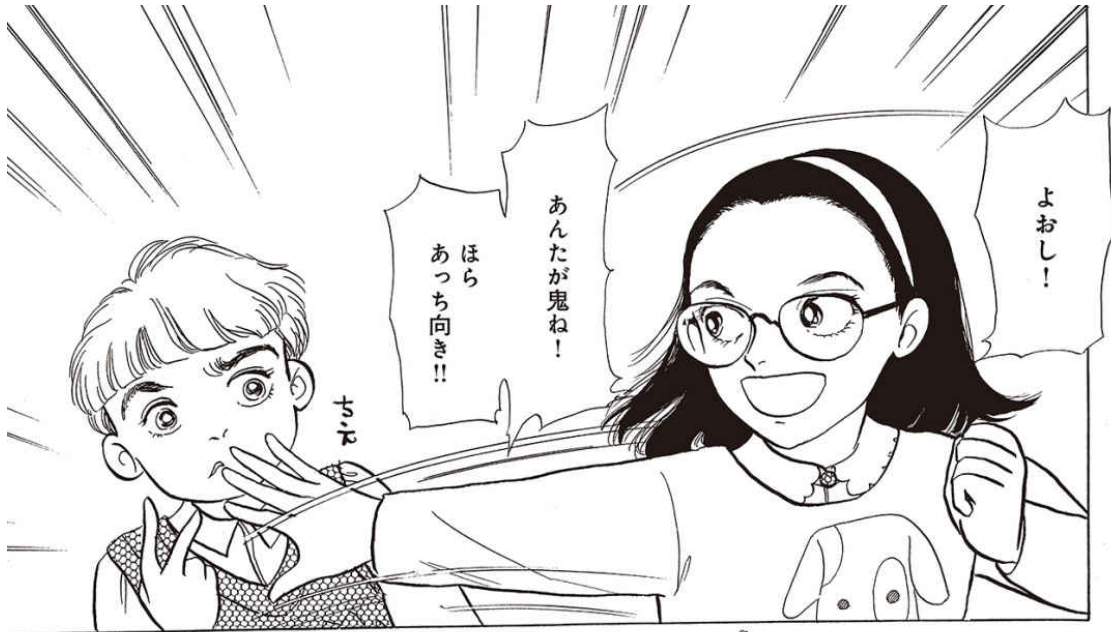
雨が降って
外で遊べない日などは
弟とふたりで
よく隠れん坊をして
遊んだらしい

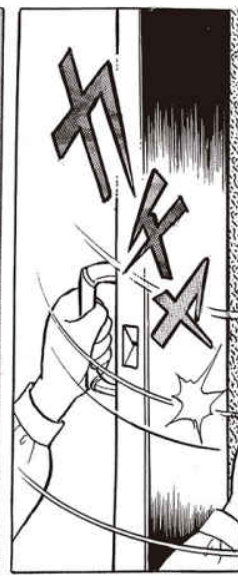
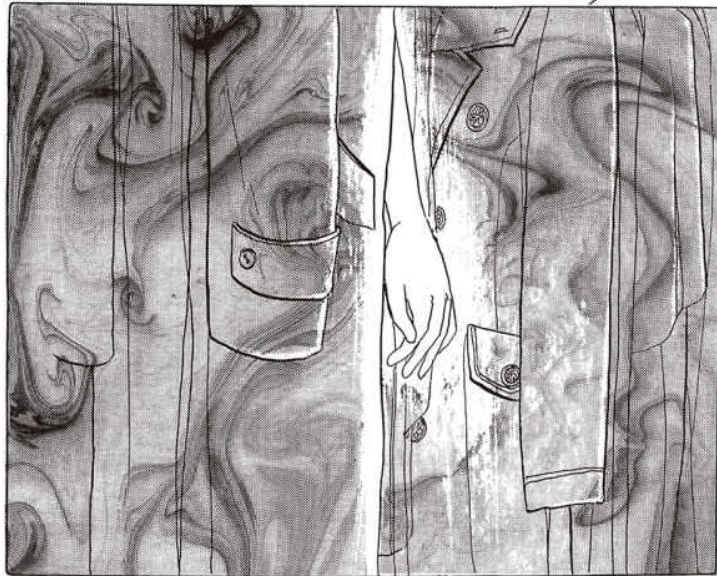
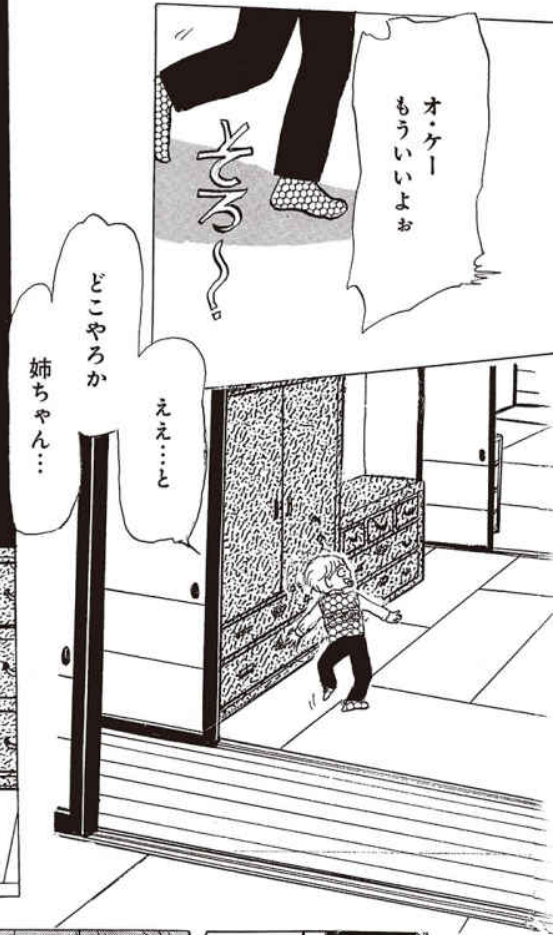
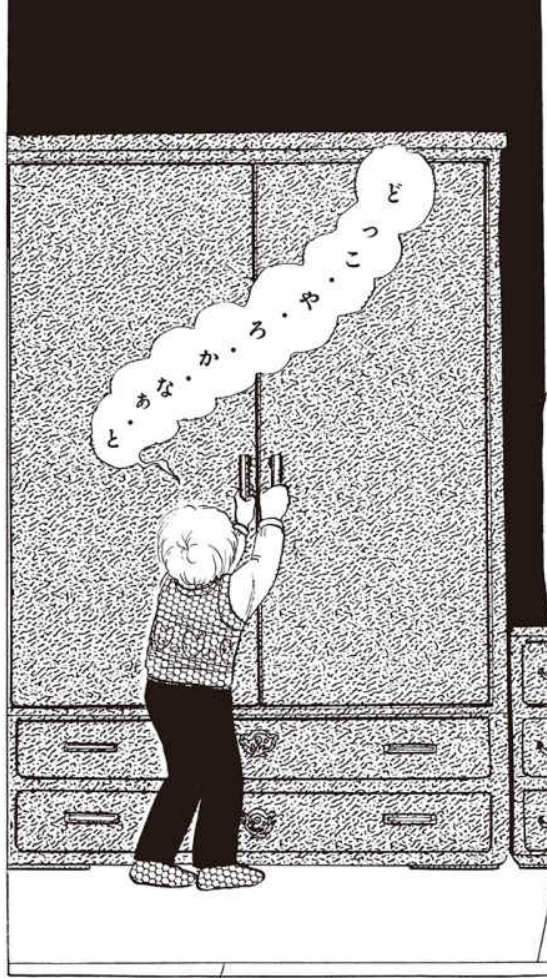
ふすまで
仕切られただけの部屋が
いくつもあつたとか



あちゃー

あーいこで
しょ!







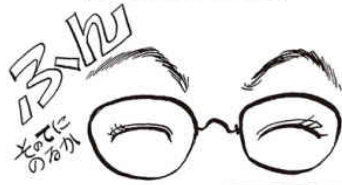
その時彼女は

これは弟の手口で
見つけたと
嘘をついて



何言ってるの私はここよ
と出ていったところで
見つけたという作戦に
違いはないと思

そのまま
本当に見つかるまで
隠れていようと
じっとしてたらしい



ところが

姉ちゃん
出てき!!

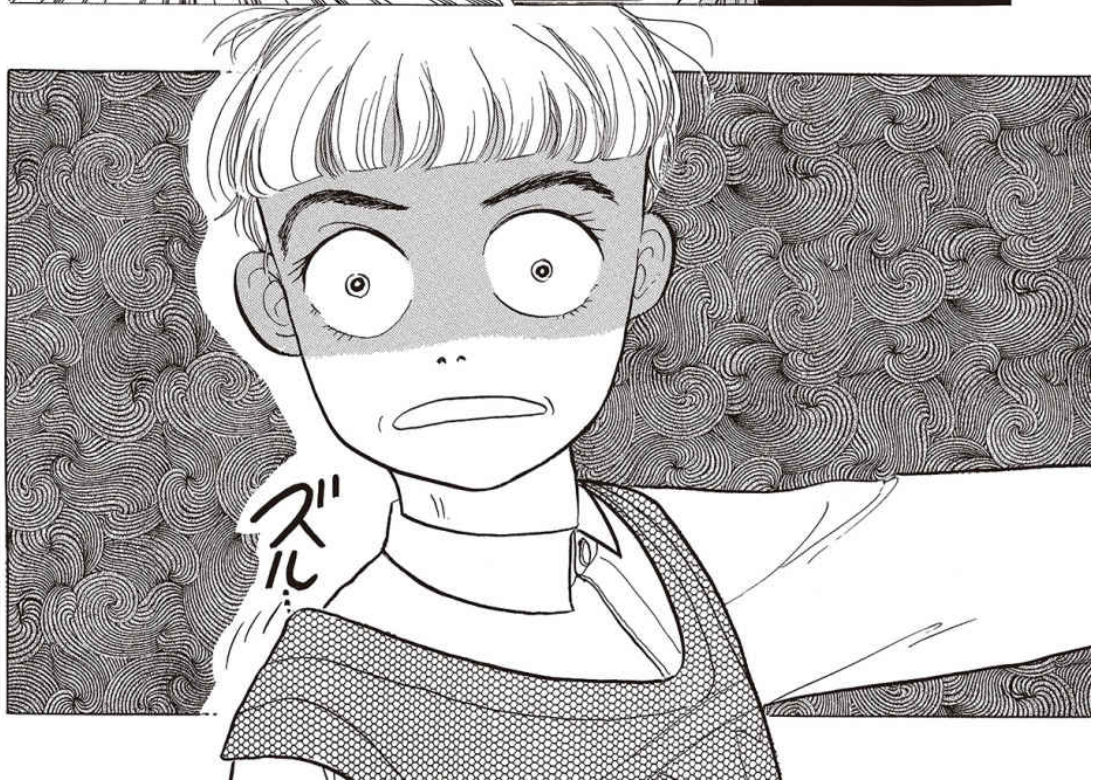
何しよるん

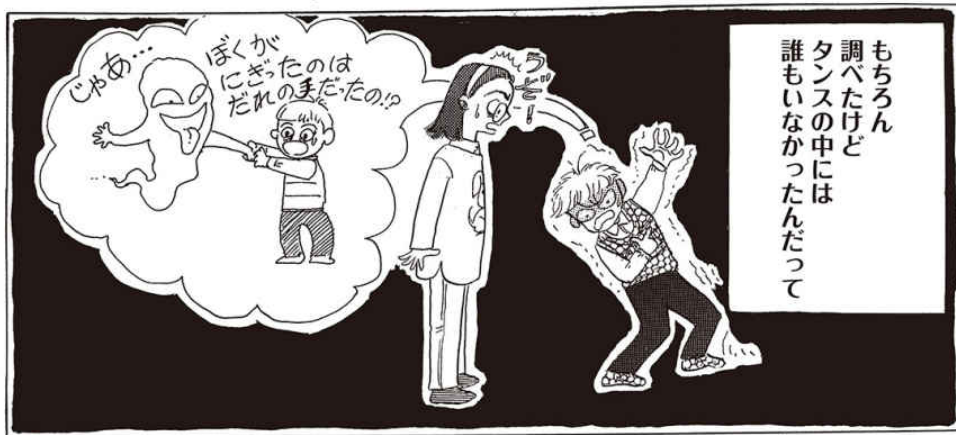
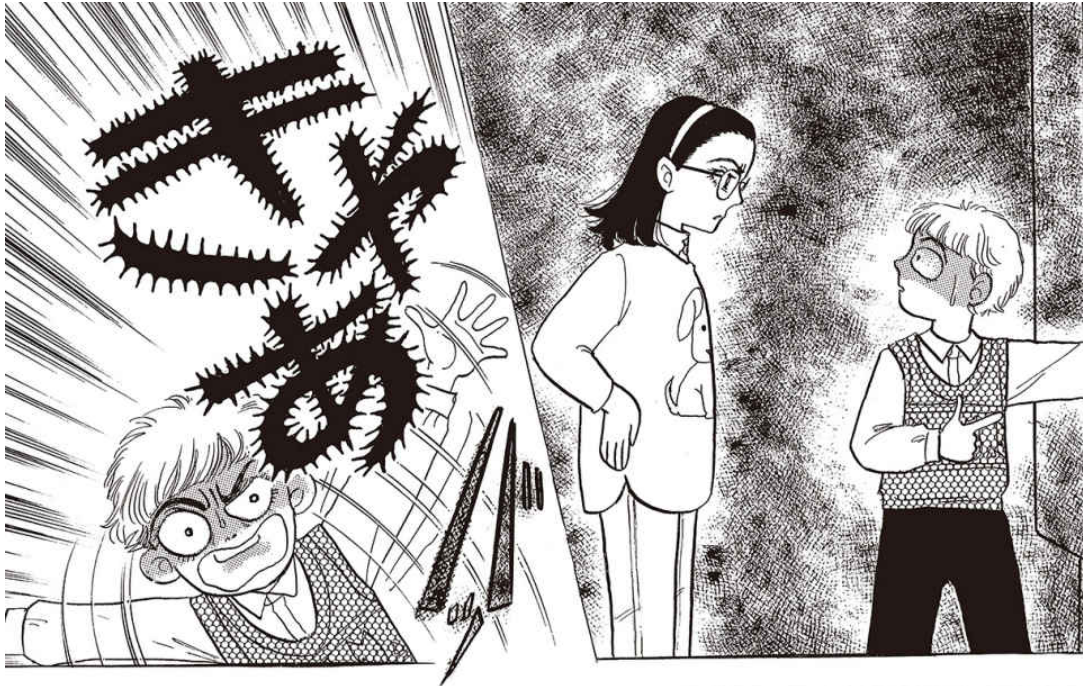


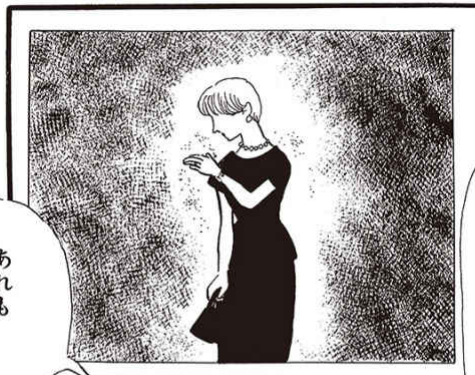
今度は
僕が
隠れるけんね

いつまでたっても
叫けぶのをやめない
弟に——しまいには
業を煮やし

ちよつと
いい加減!
ひっこかね
おまえは

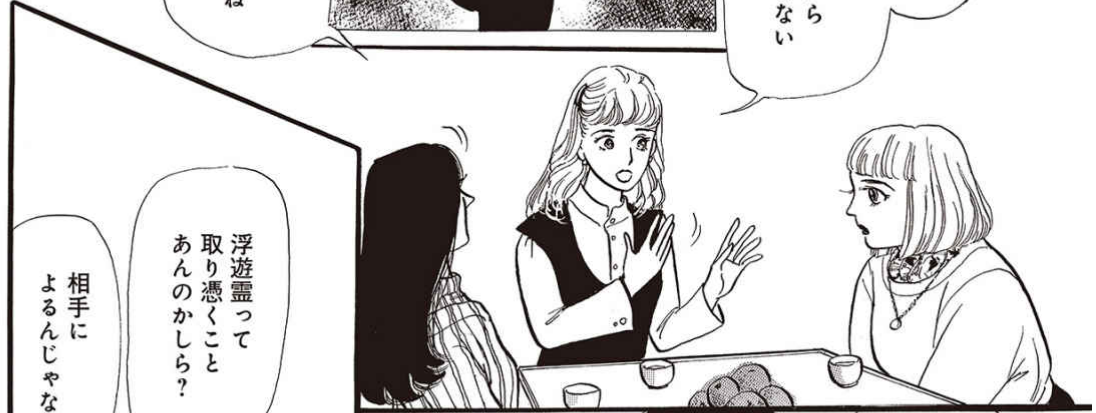






あれも
そうよね

そうそう
ほらお葬式なんか
行った時
塩で祓はらってから
家に入るじゃない



浮遊霊って
取り憑くこと
あんのかしら？

相手に
よるんじゃない



取り憑かれ
たりしてね

特に霊と
波長の合う人なんか
いたりした日にゃ

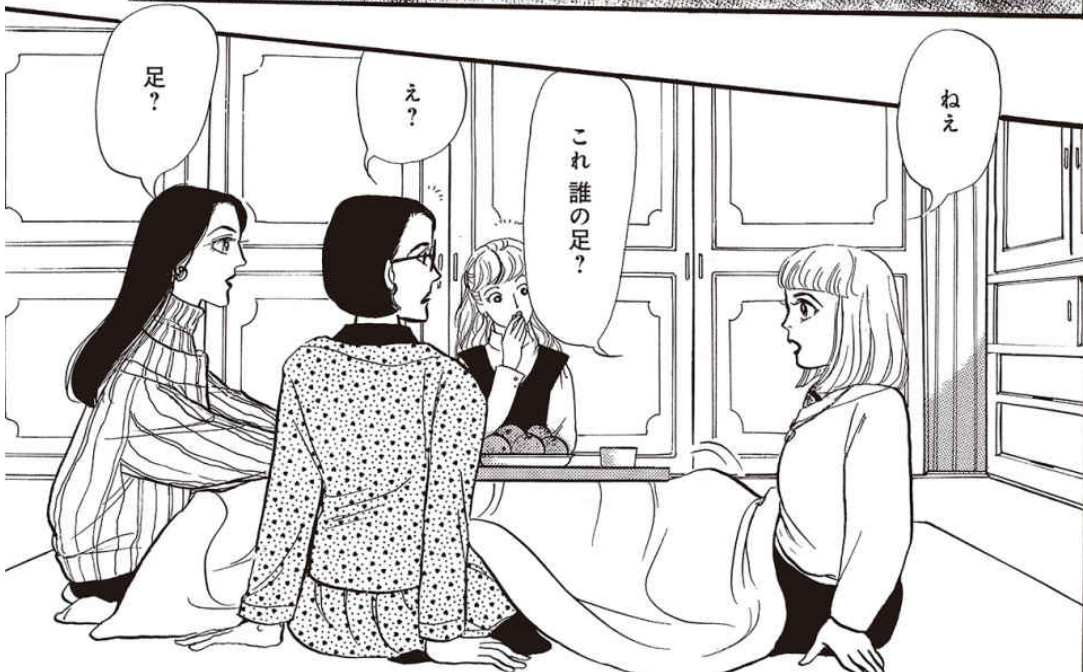
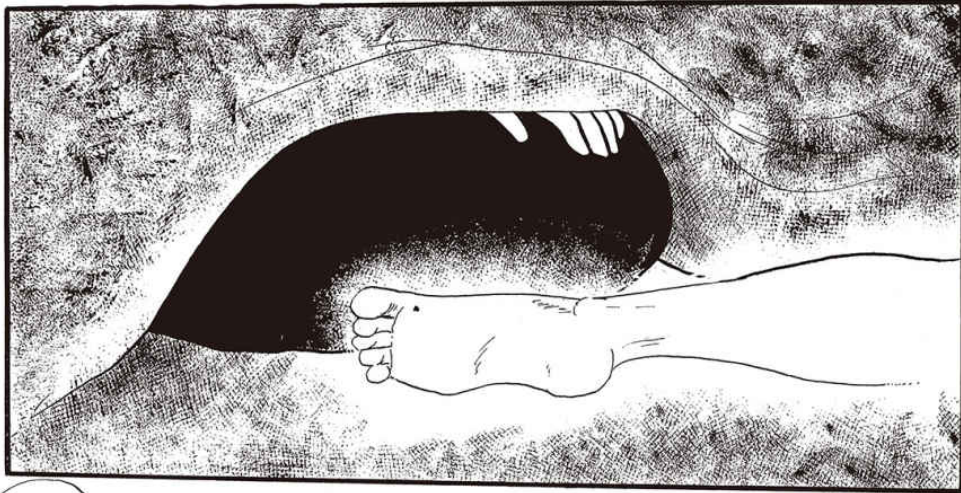
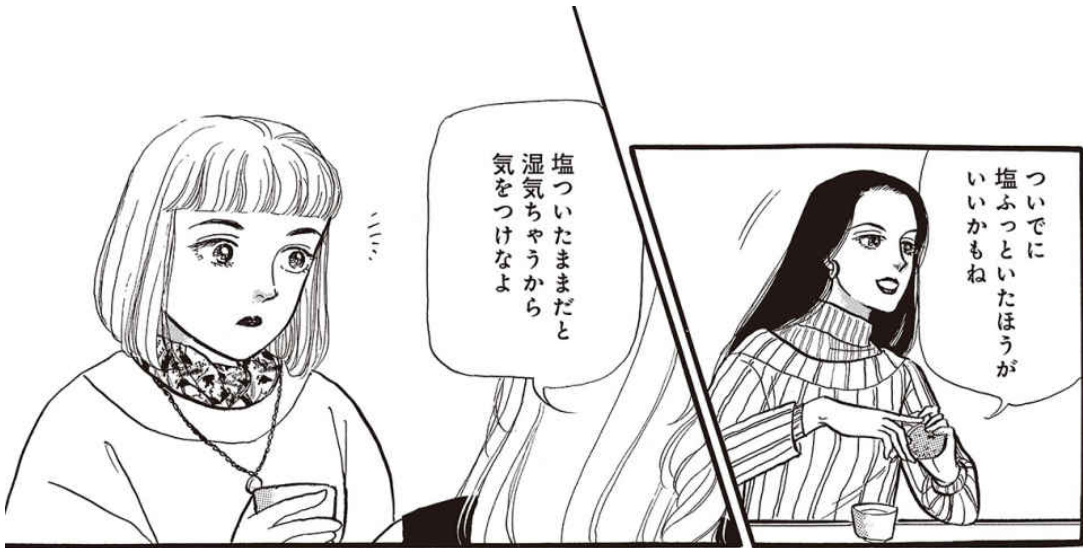


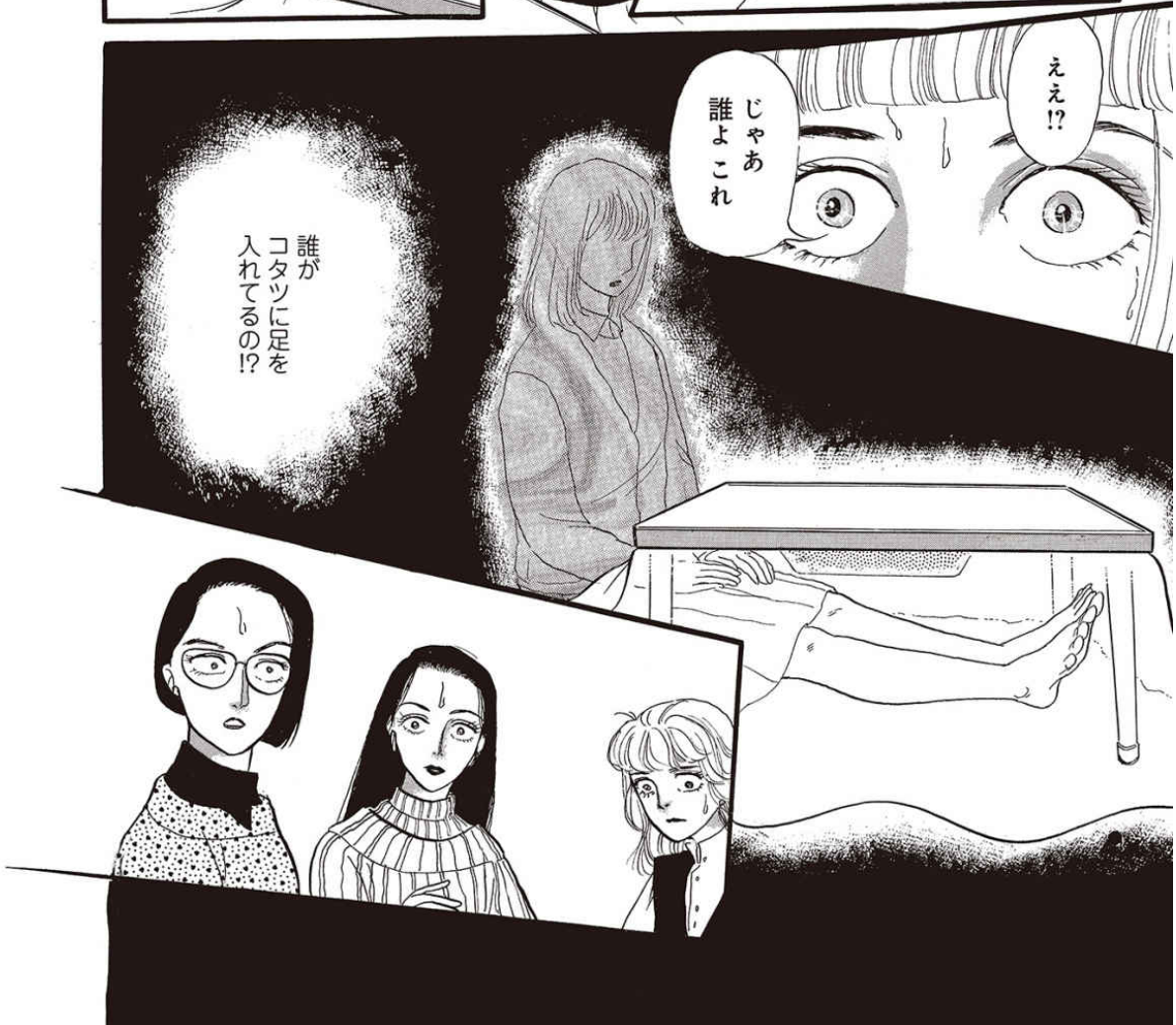
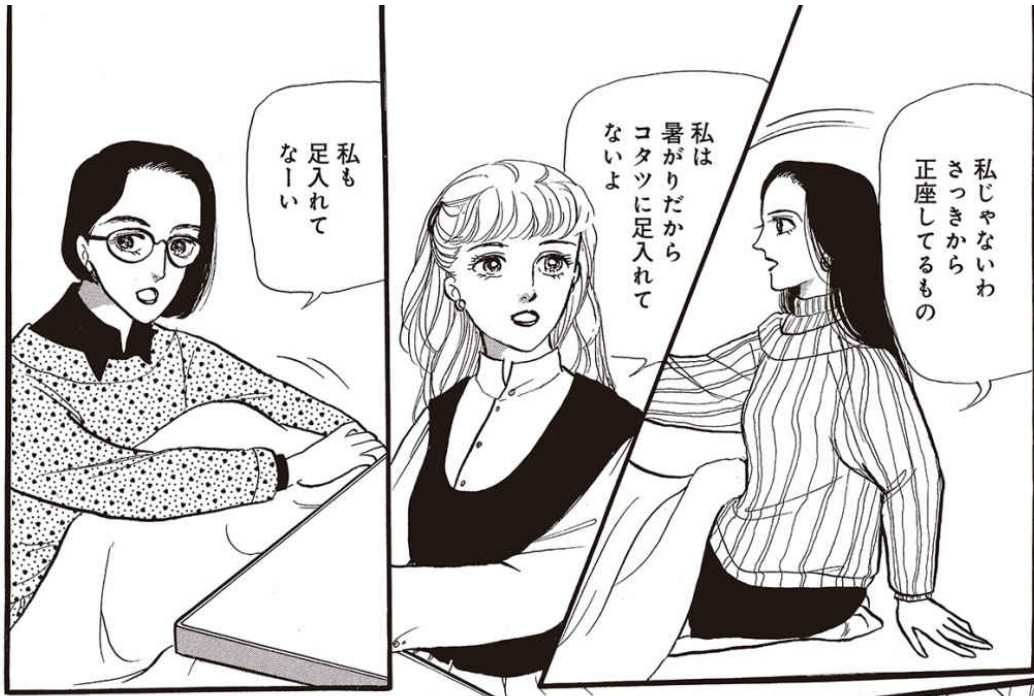
私洋服とかって
外から帰ったら
洗濯しちゃうか

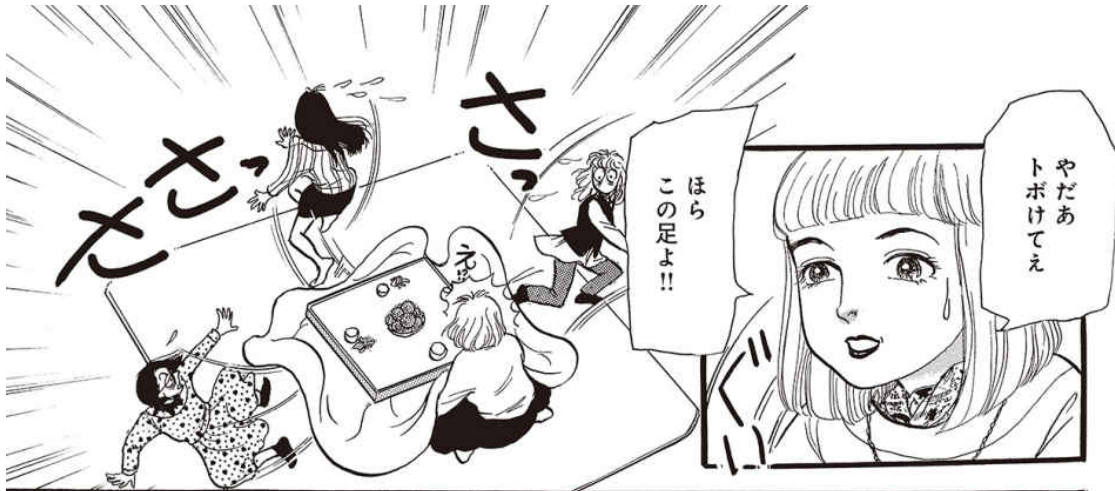
上着なんかだと
ブラッシングして
ちよつと日に当てたり
してから
仕舞うように
してるよ

私の場合
ホコリ払って
虫よけのつもり

←若者
わたし



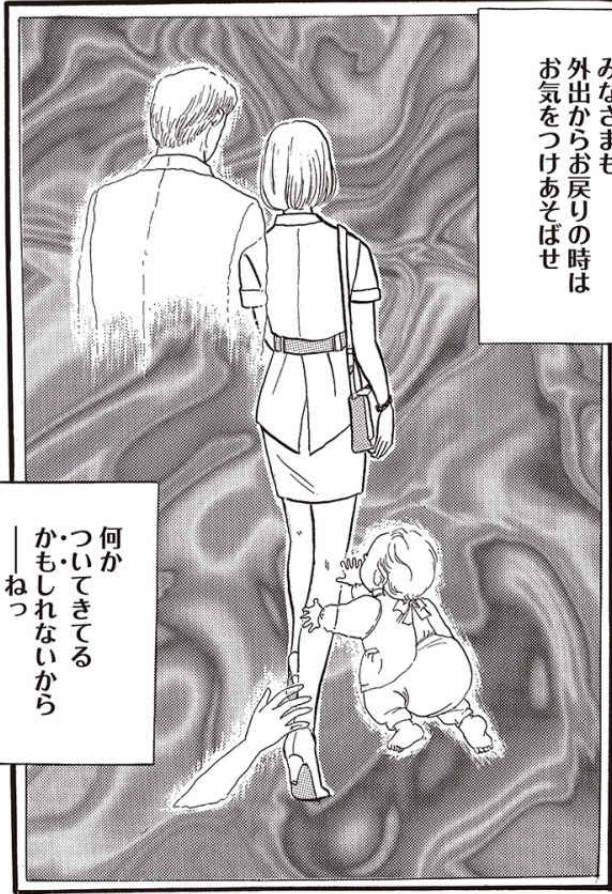






Nさんは
こんなことは
初めてだと
言った――

その日
その中の誰かに
ついて来てしまった
浮遊霊だったの
かもしれない



みなさまも
外出からお戻りの時は
お気をつけあそばせ

何か
ついてきてる
かもしれないから
――ねっ

ちかがい 地下街

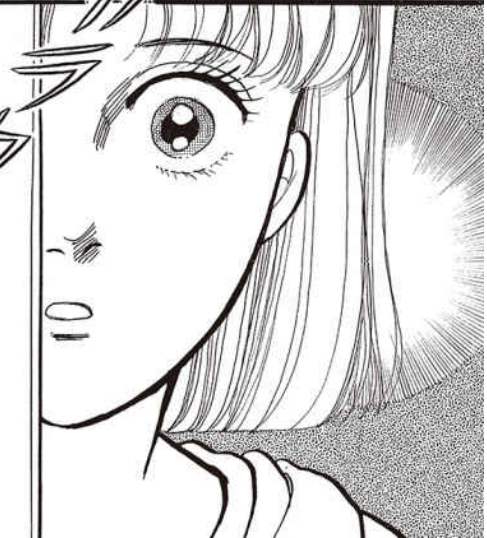
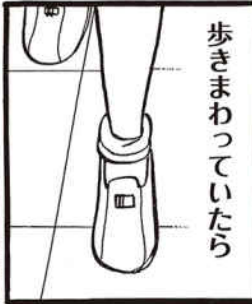
禁煙
NO SMOKING

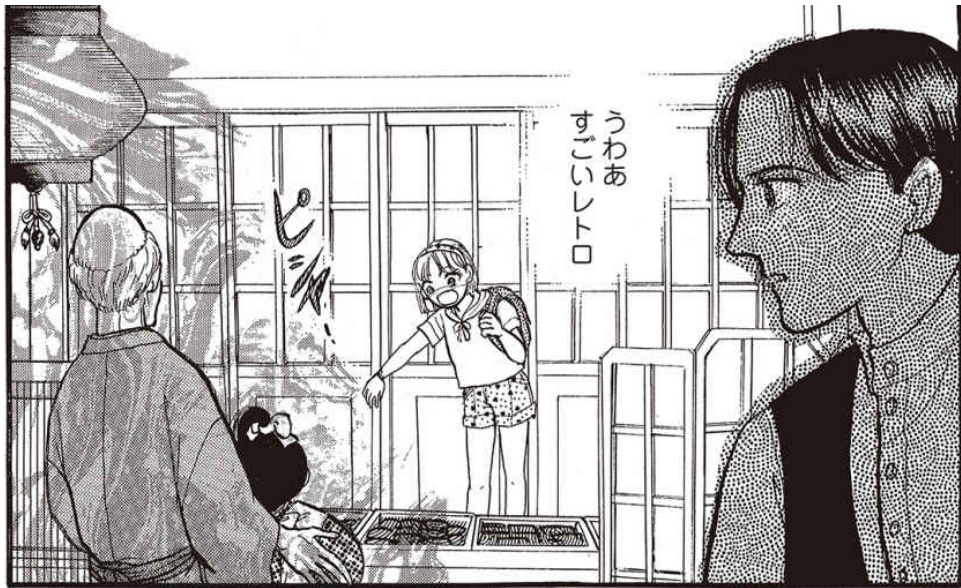
暑さからのがれようと

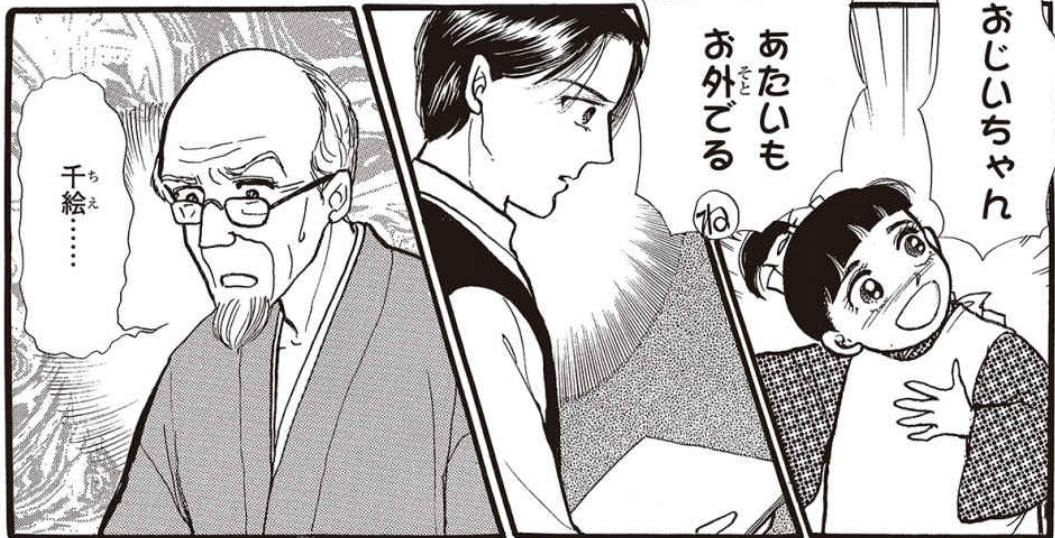
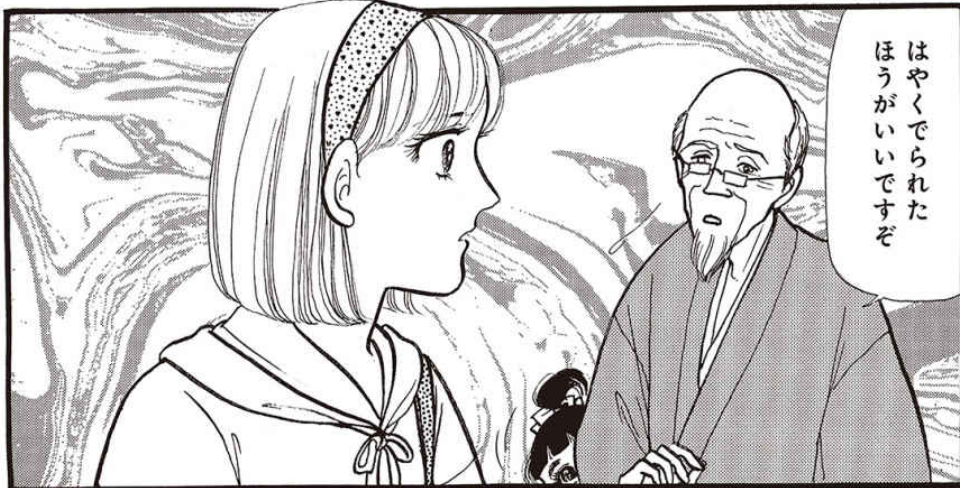
地下街へもぐったのが

——まちがいだった……

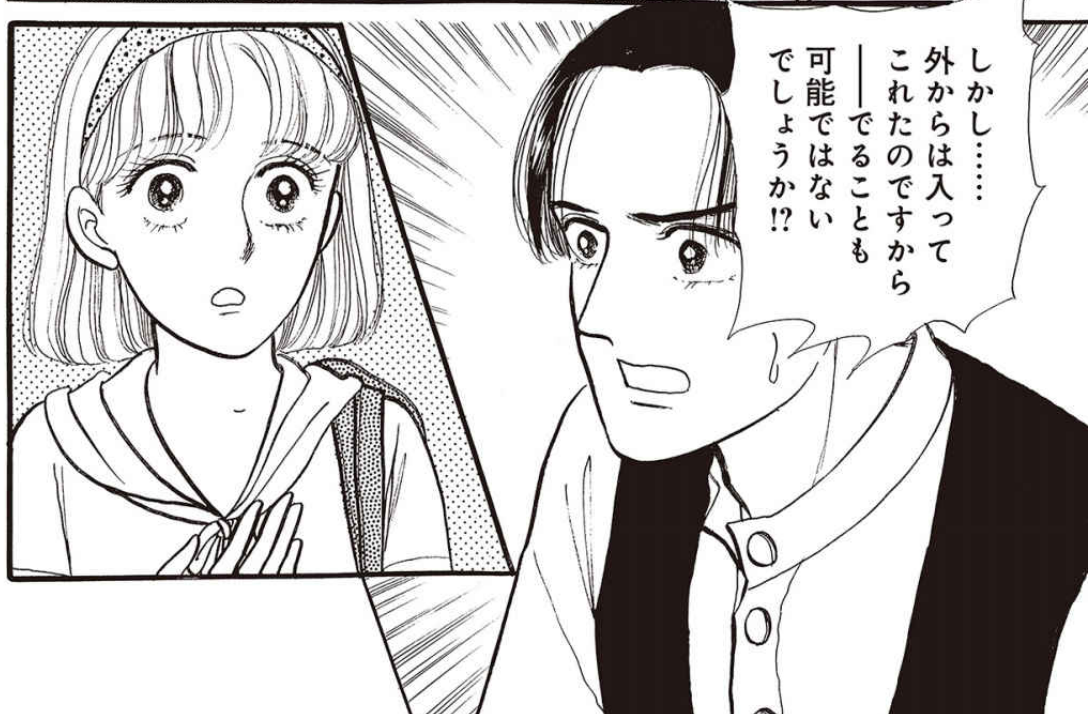
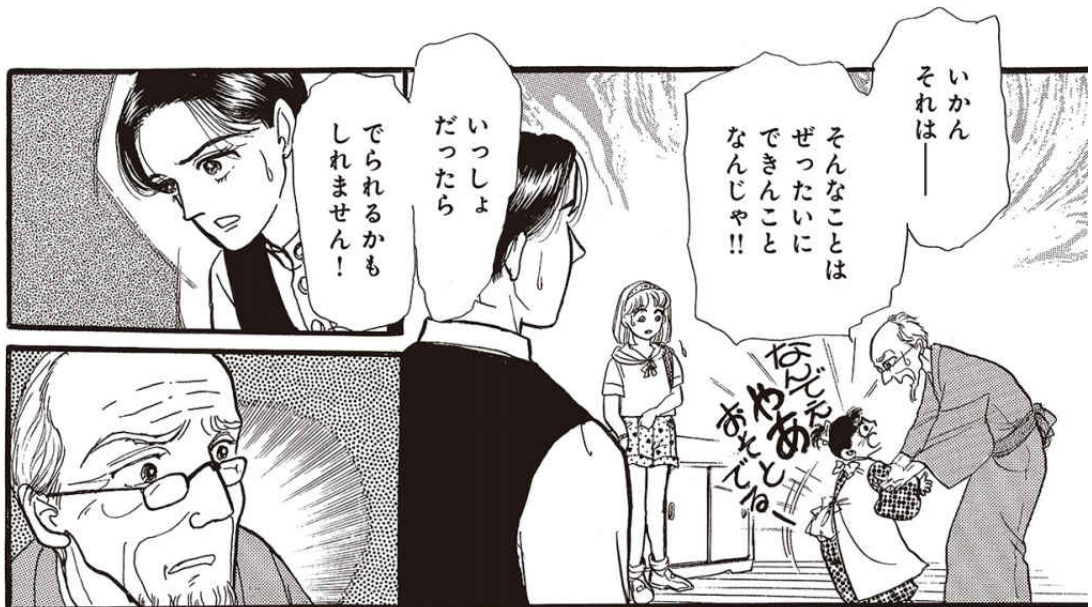


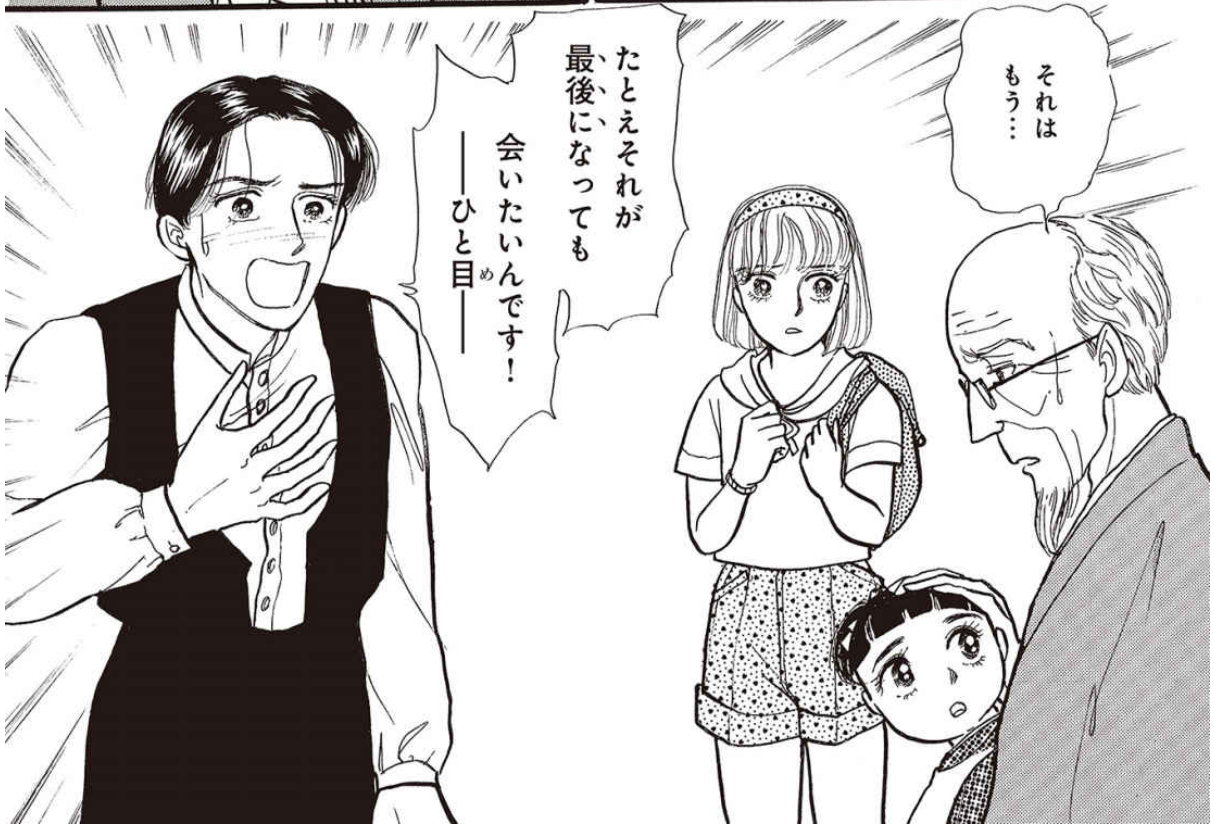
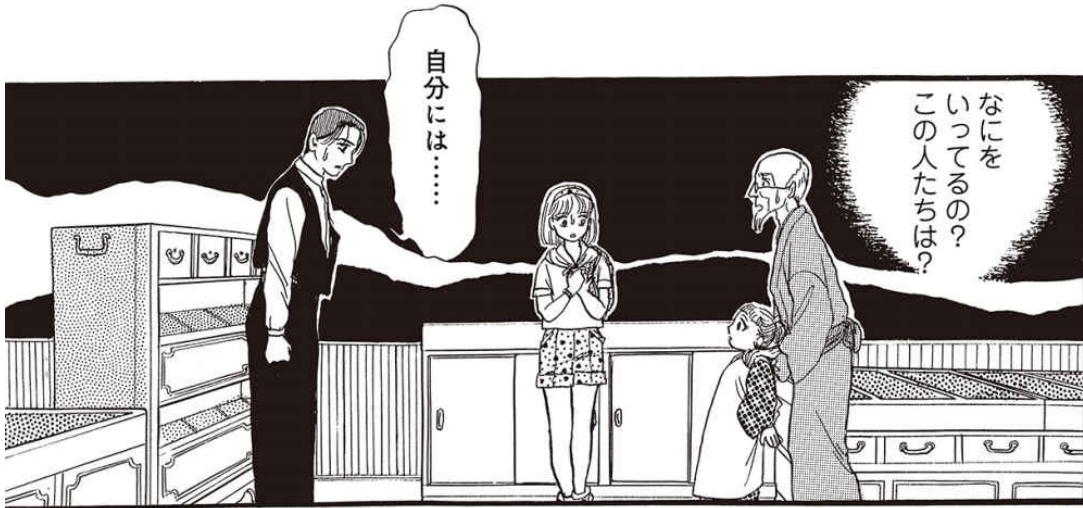














ひと目だけでも
会えたら…!

なんかへんだわ

—ここも……
この人たちも



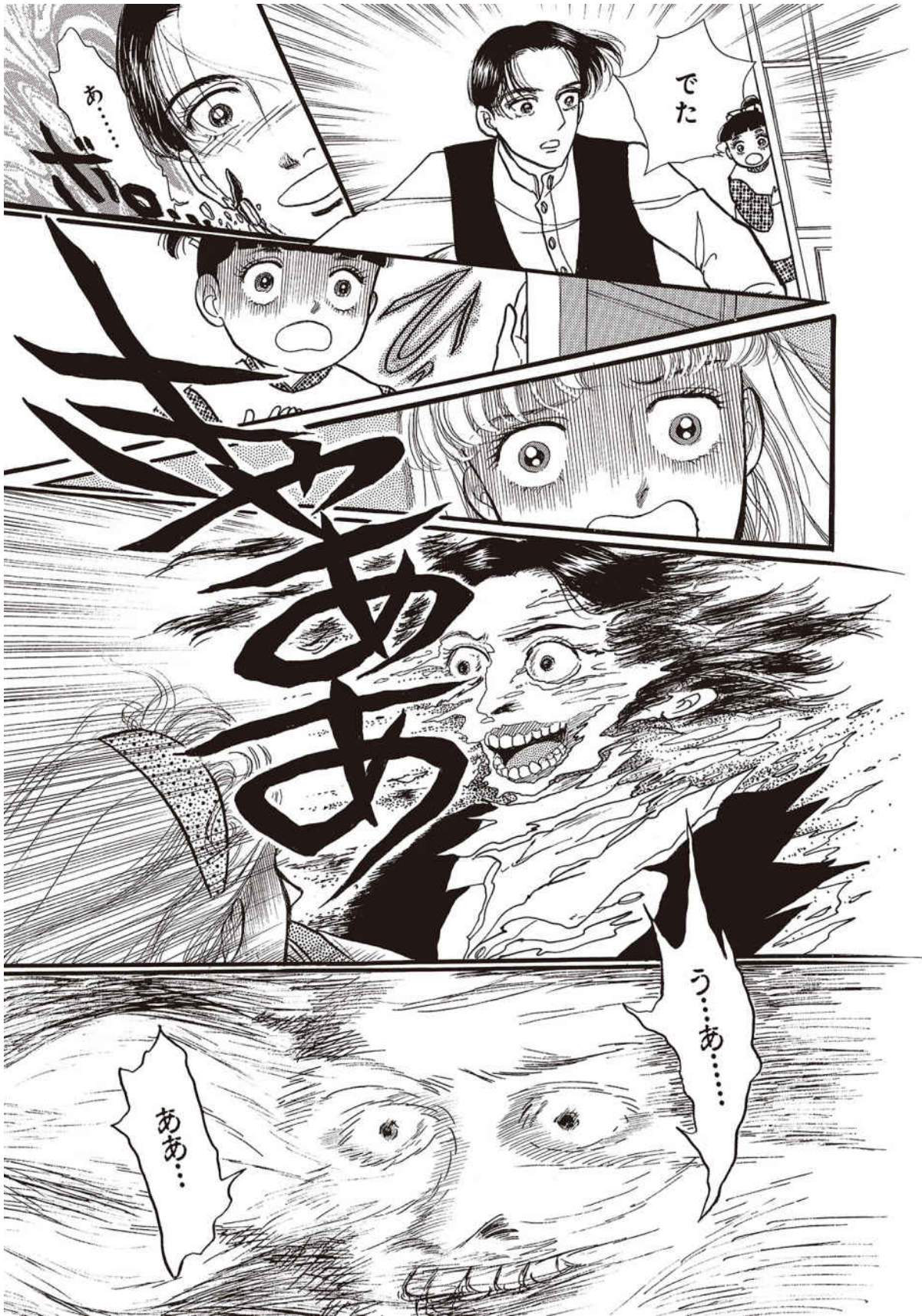
でたほうがいい
—きっと

はやくでないと

とりかえしが
つかないことに
なりそうなの

待って

いっしょに!!

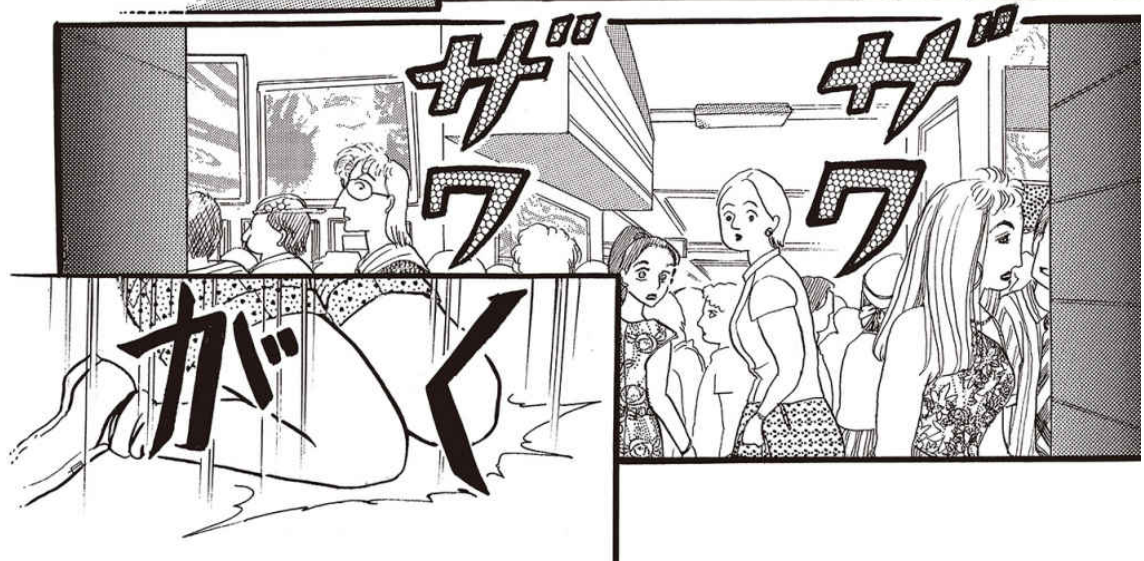
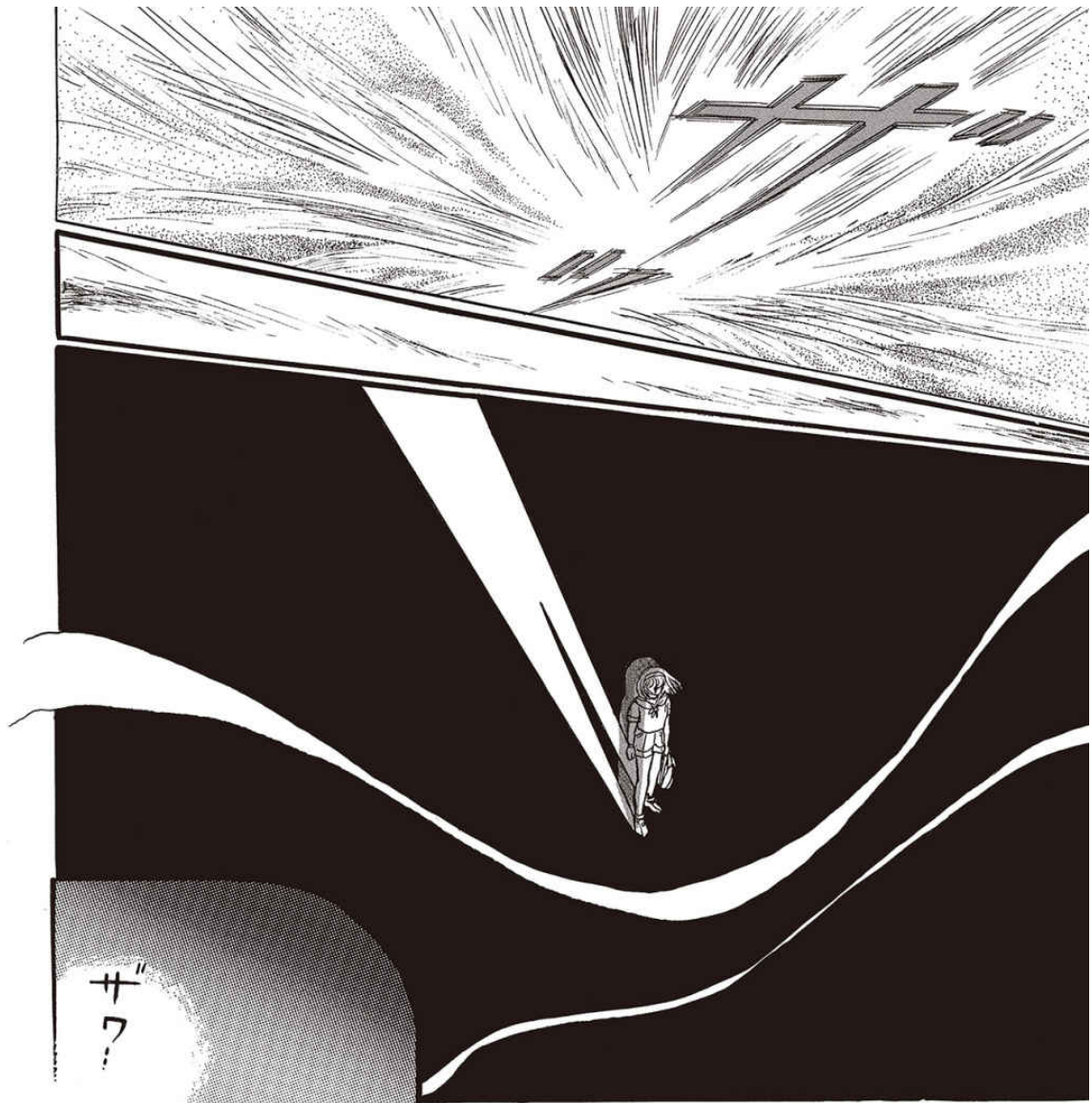


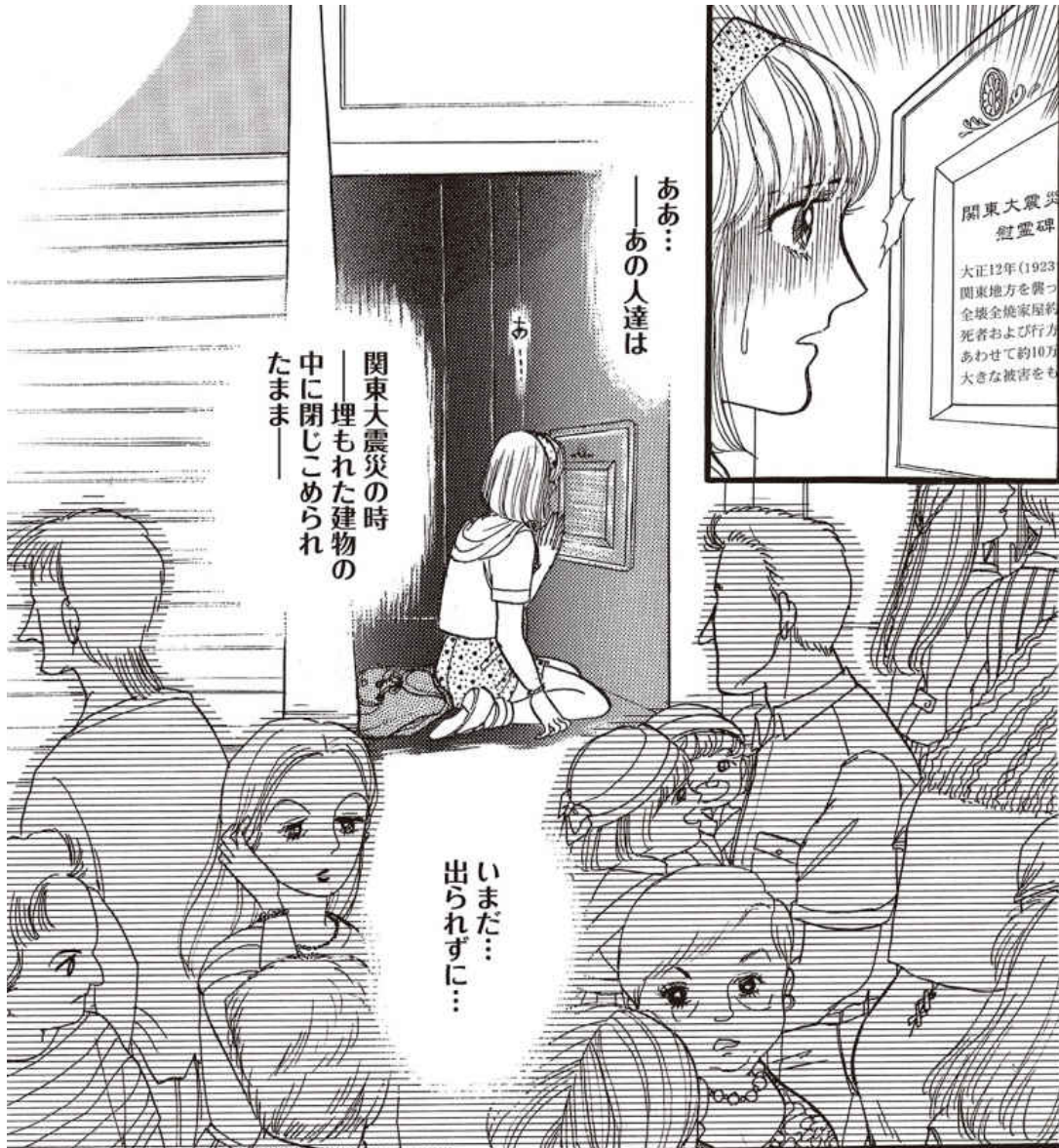
あ...

来た

ああ...

う...あ...





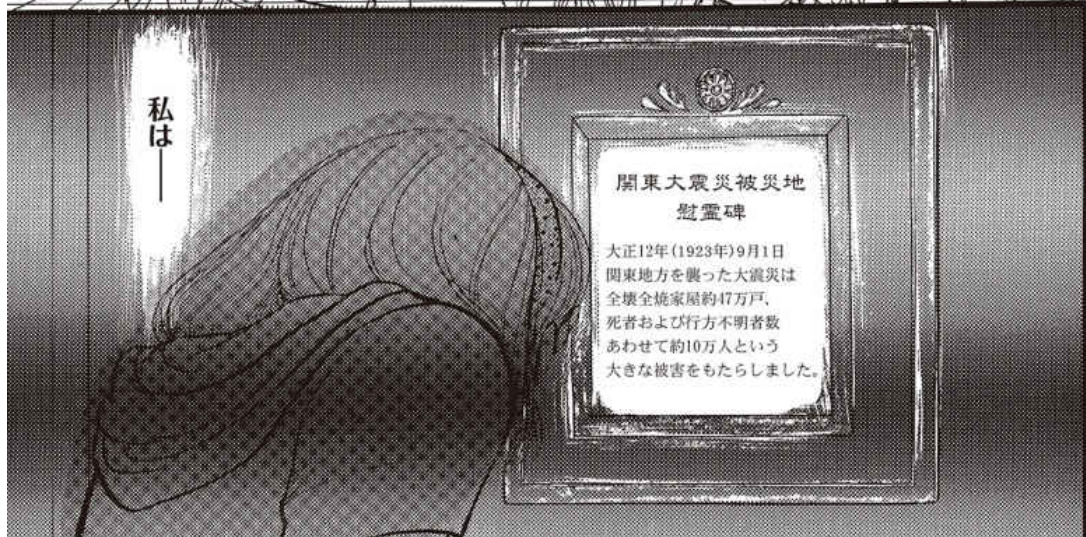
ああ……
あの人達は

関東大震災の時
埋もれた建物の
中に閉じこめられ
たまま――

いまだ……
出られずに……

関東大震災
慰霊碑

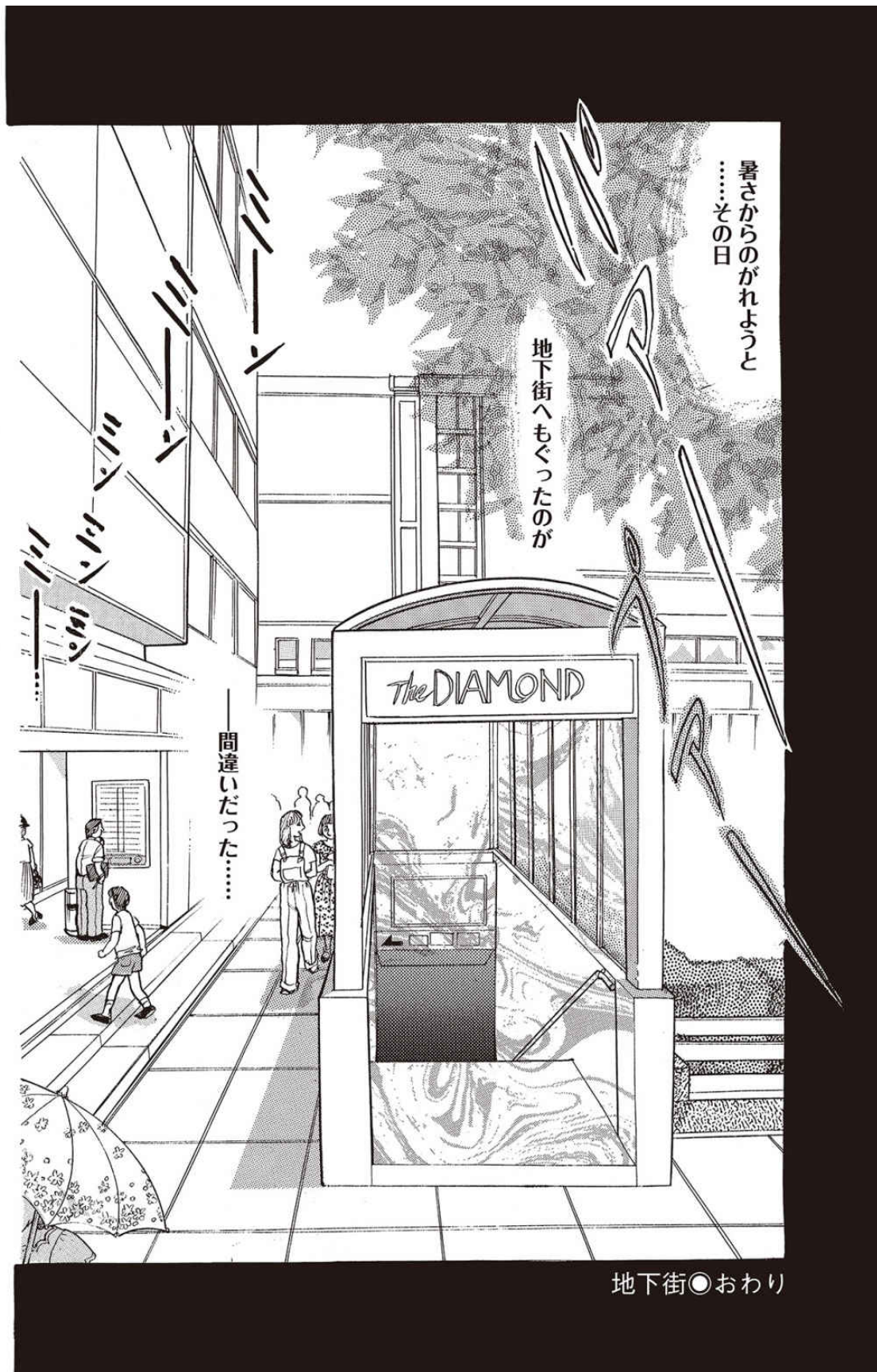
大正12年(1923)
関東地方を襲っ
全壊全焼家屋約
死者および行方
あわせて約10万
大きな被害をも



私は――

関東大震災被災地
慰霊碑

大正12年(1923年)9月1日
関東地方を襲った大震災は
全壊全焼家屋約47万戸、
死者および行方不明者数
あわせて約10万人という
大きな被害をもたらしました。



暑さからのがれようと
...その日

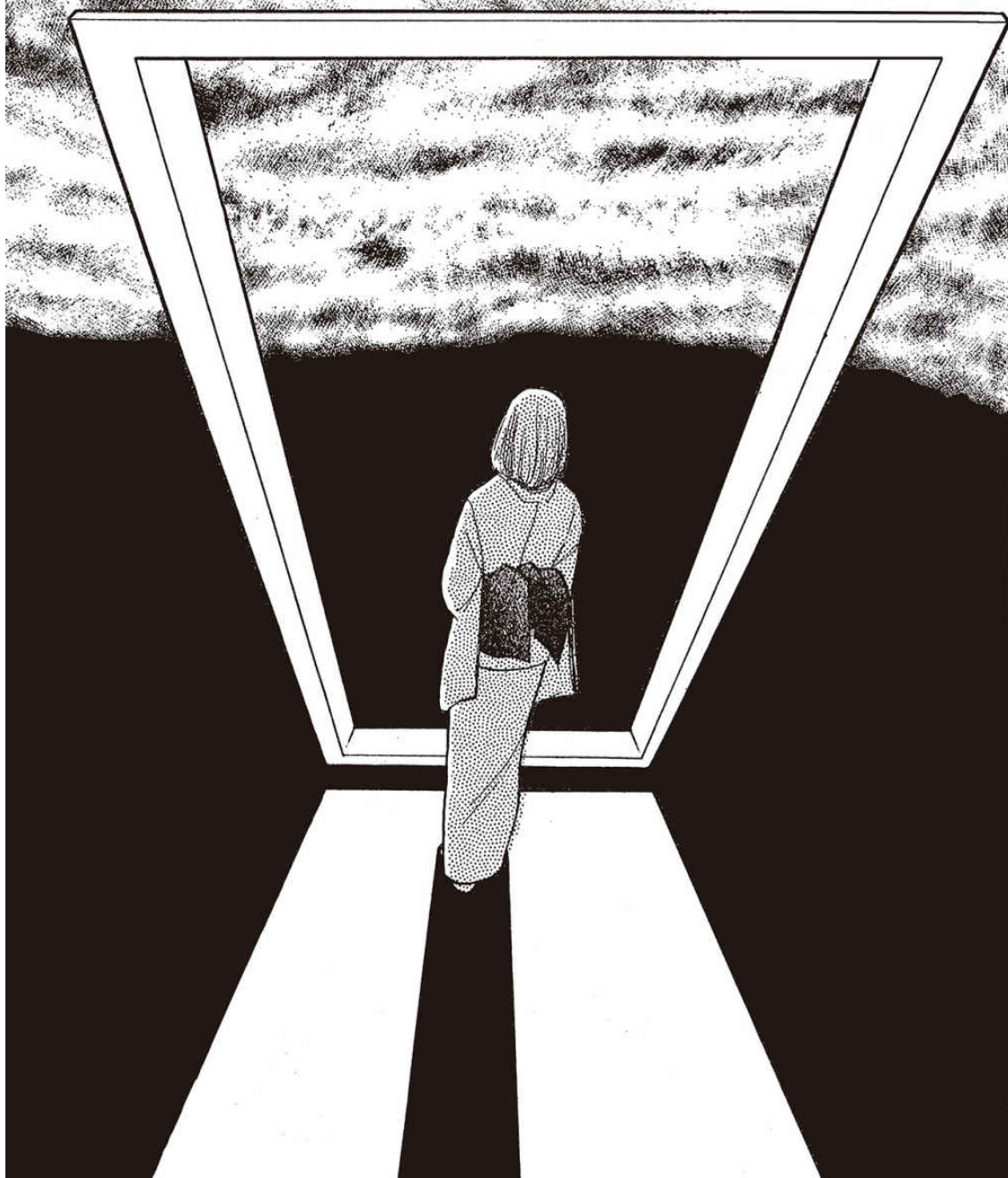
地下街へもぐったのが

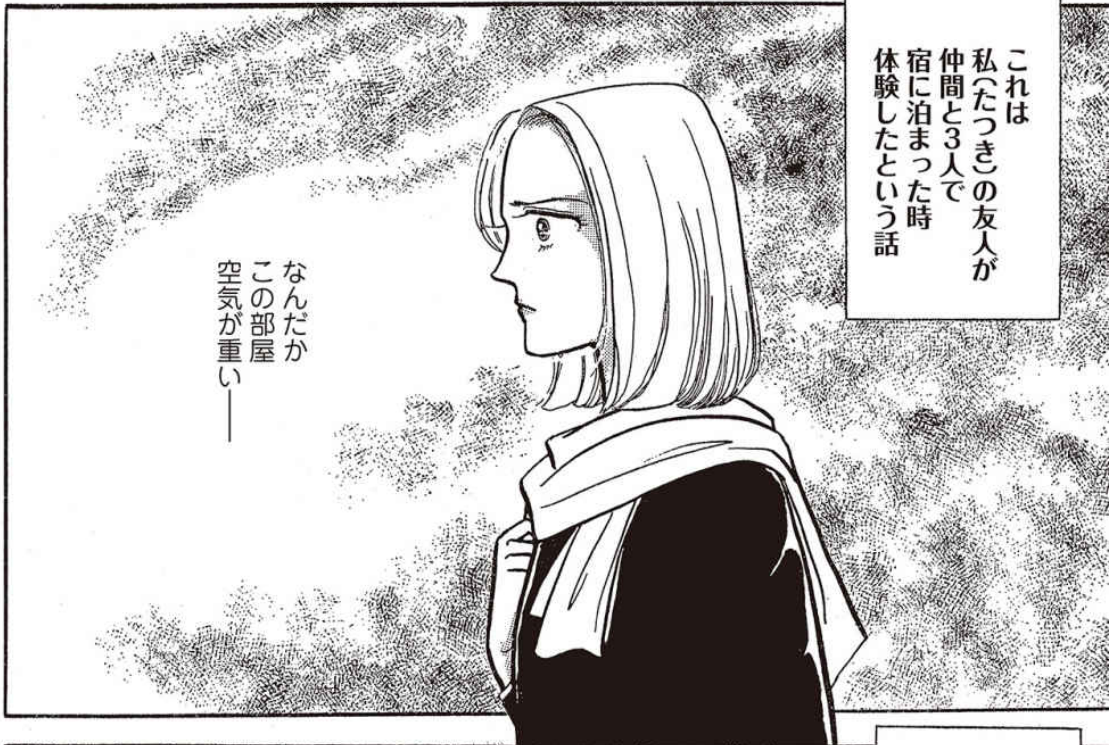
間違いだった...

地下街○おわり

めい かい かへ

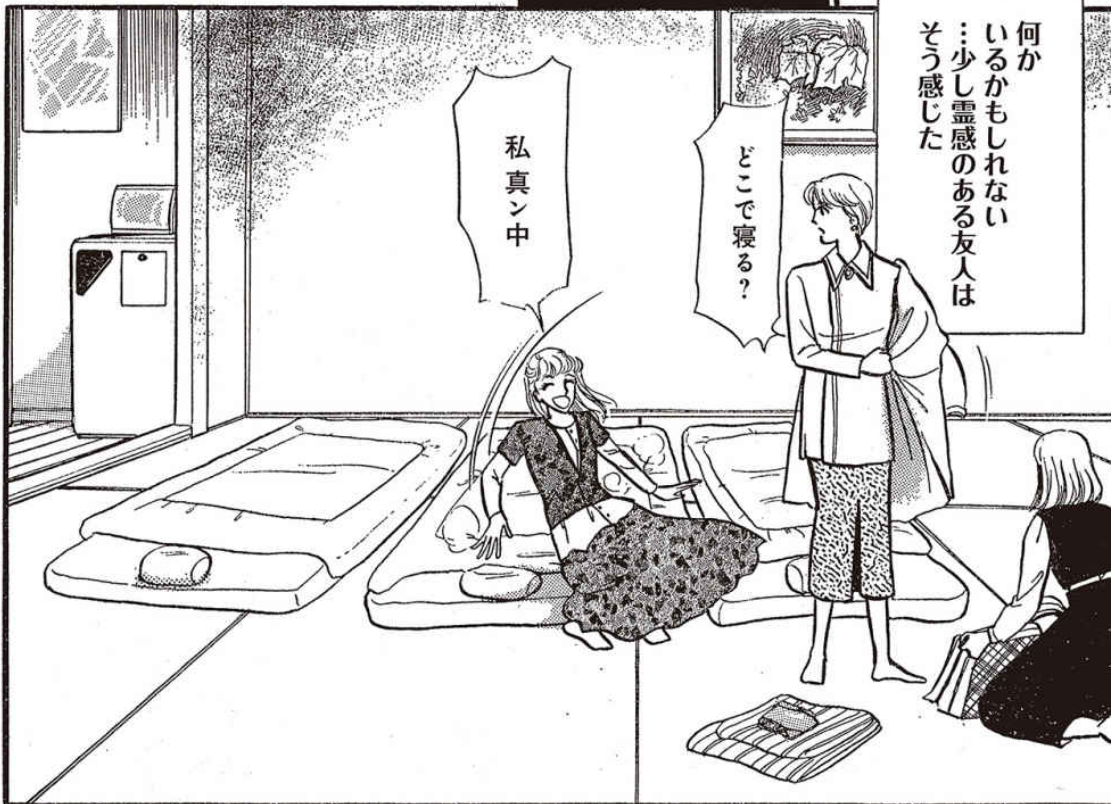
冥界の壁





これは
私(たつき)の友人が
仲間と3人で
宿に泊まった時
体験したという話

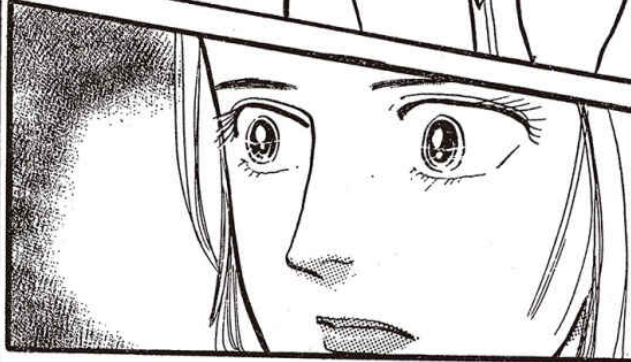
なんだか
この部屋
空気が重い――



何か
いるかもしれない
…少し靈感のある友人は
そう感じた

どこで寝る？

私真ん中





あ...う
くっ
くる...しい

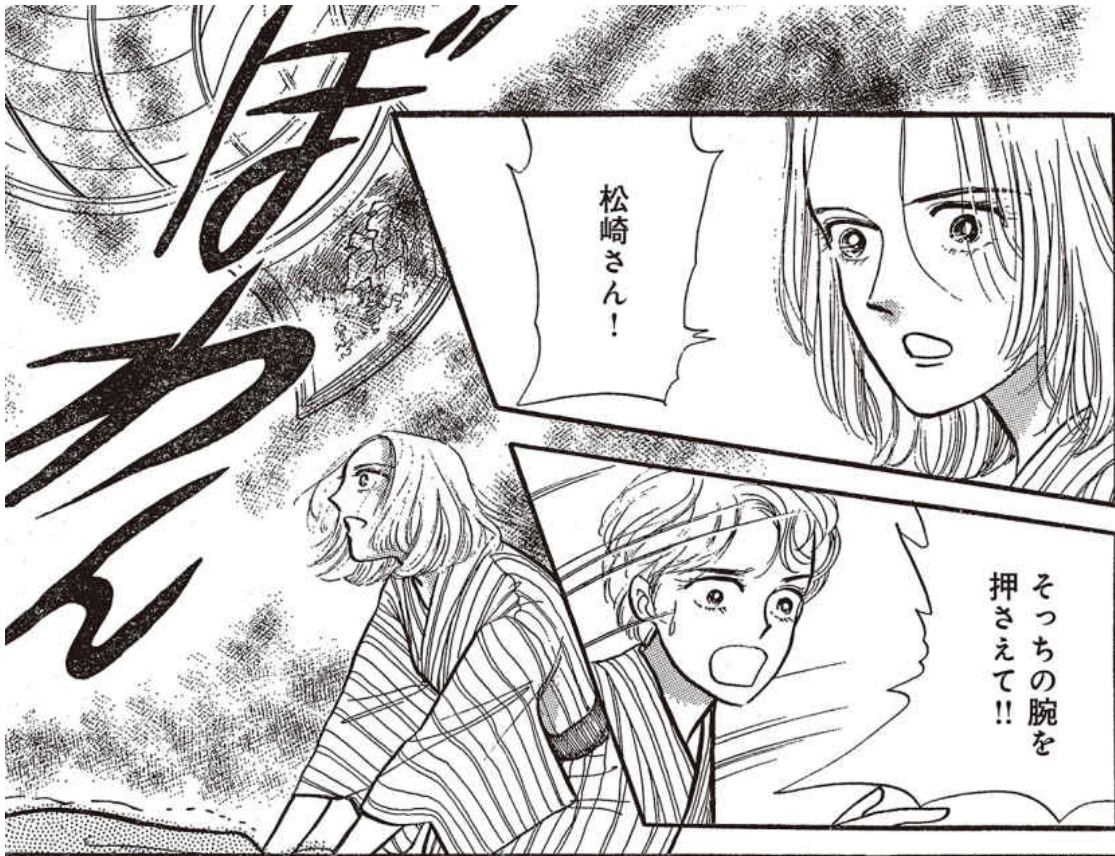


何か
感じた

う...
うう...
うう...

まっさき
松崎さん?

う...
う...
う...





何かいる

この子を
連れていっても
無駄よ

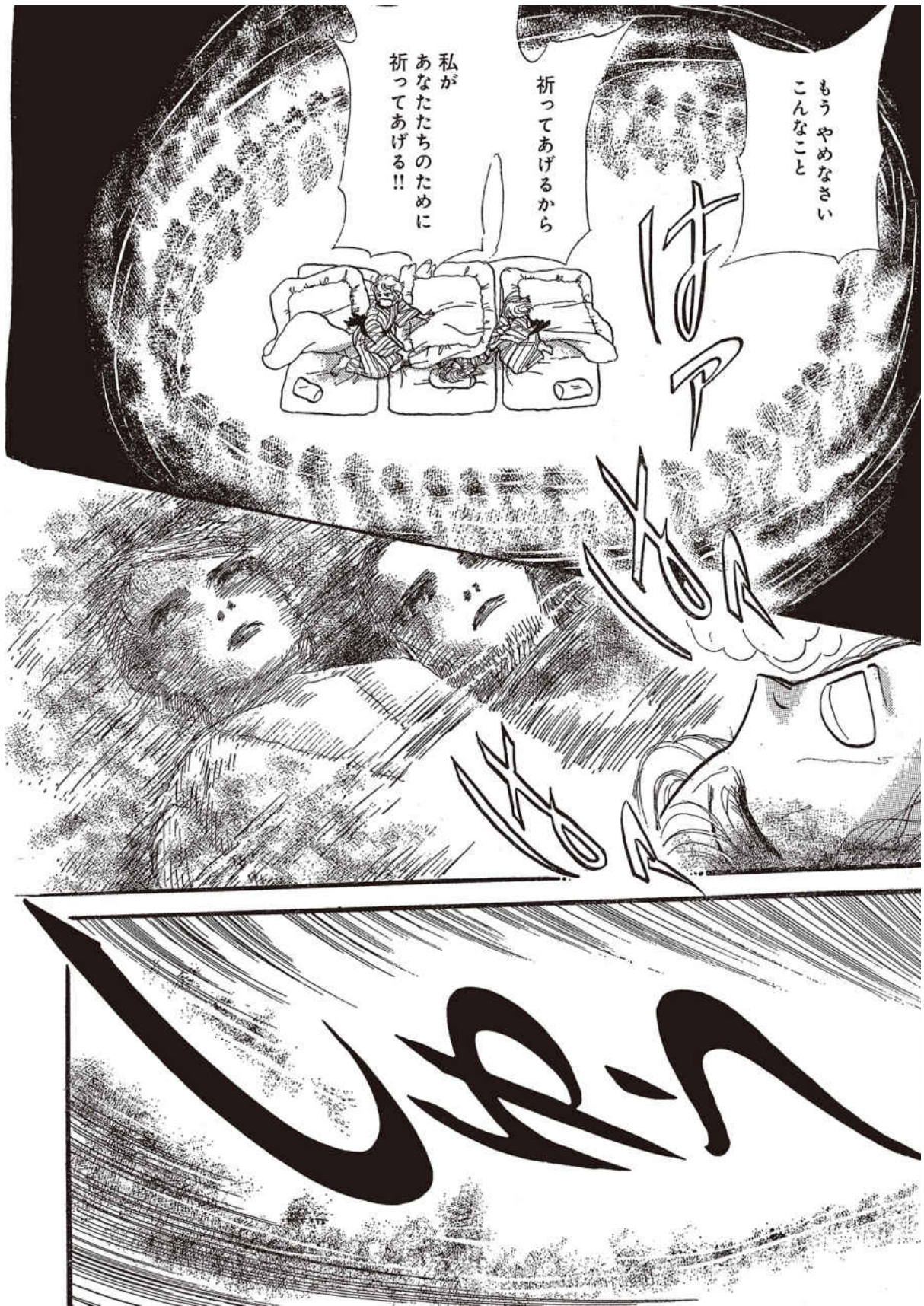
何が!?



あなたが成仏できないのは

生きようとする命を
勝手な意志の力で
絶ってしまった
からじゃない

他人を巻き込んでも
あなたたちの
助けにならないのよ



もうやめなさい
こんなこと

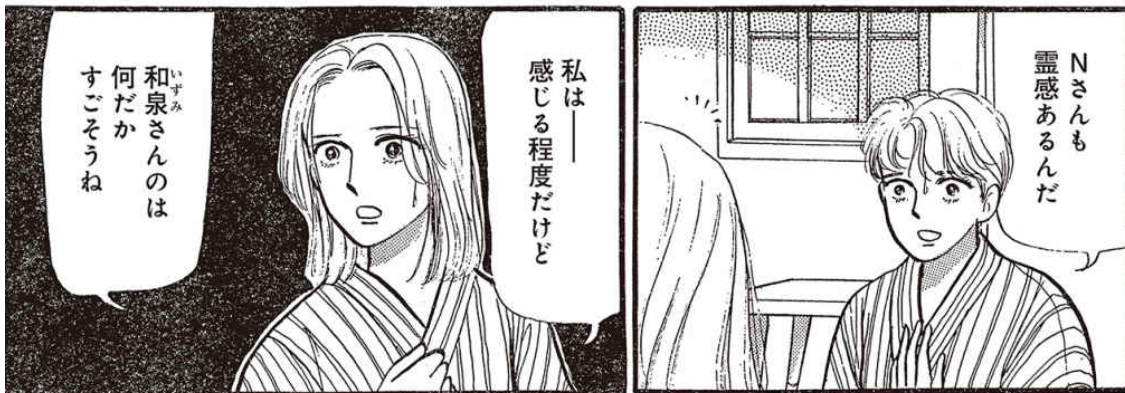
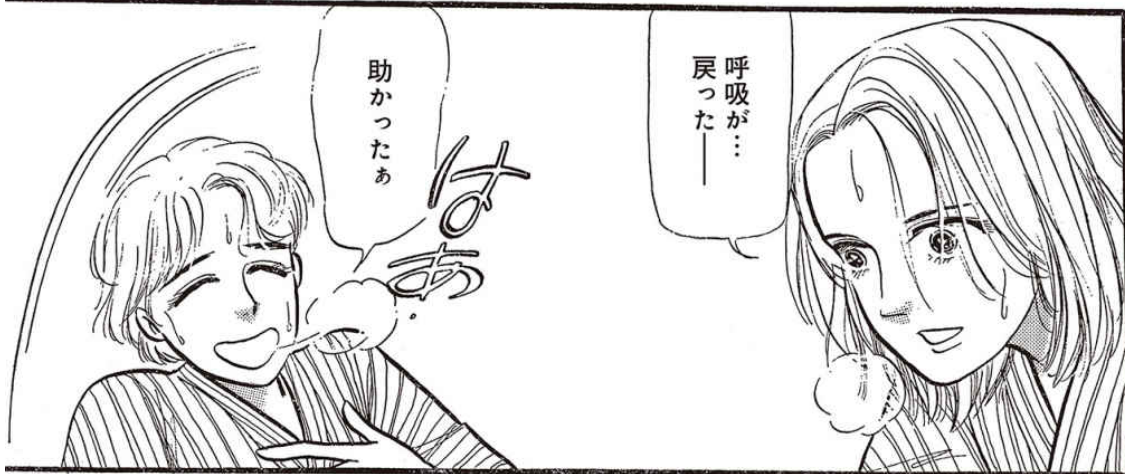
祈ってあげるから

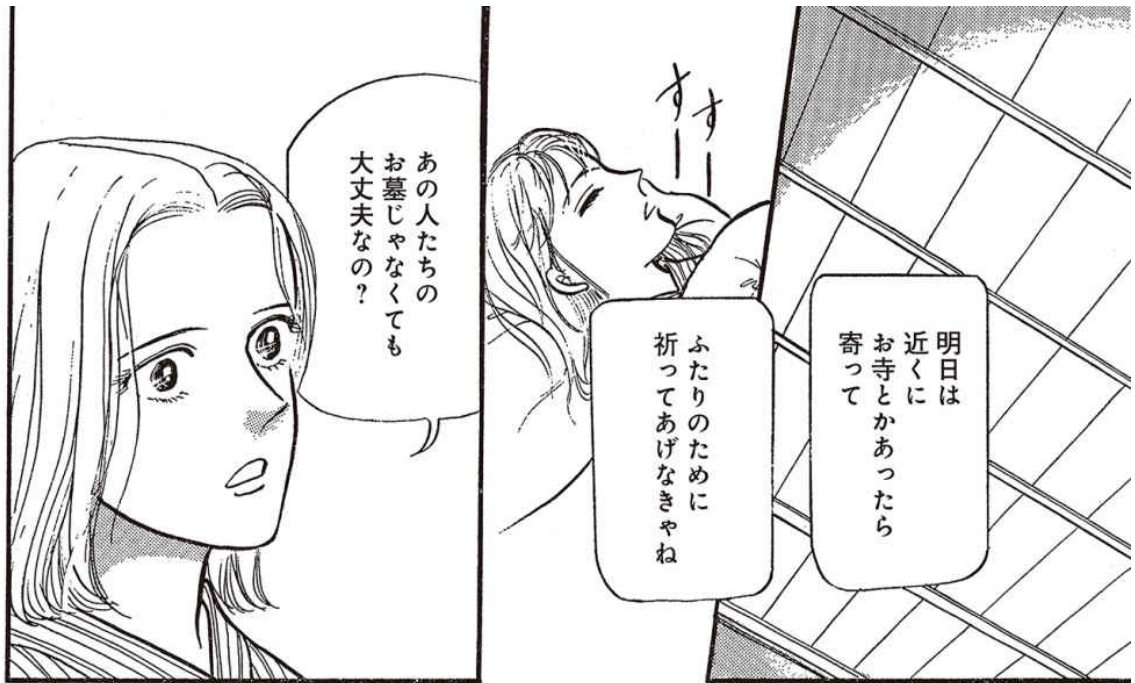
私が
あなたたちのために
祈ってあげる!!

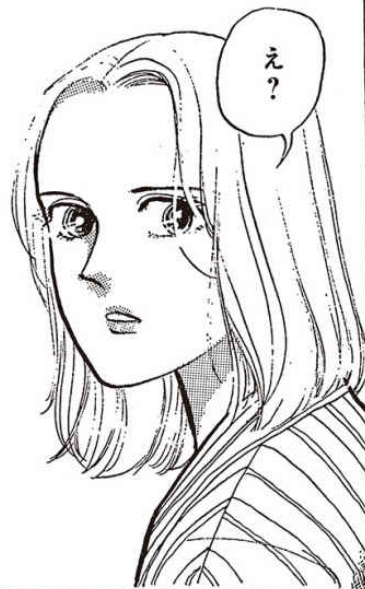
はア

アア

ん







え？

心の問題だから

——でも
自殺だと
霊界に行けて
ないんでしょ？

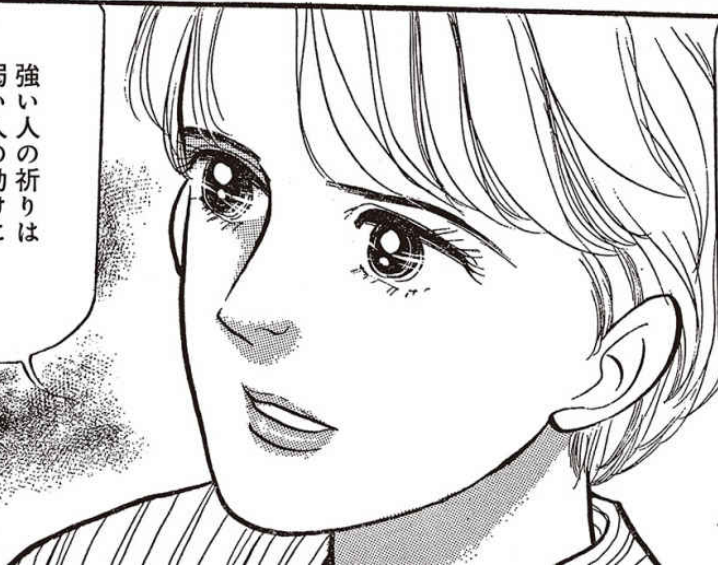
祈るだけで
いいの？

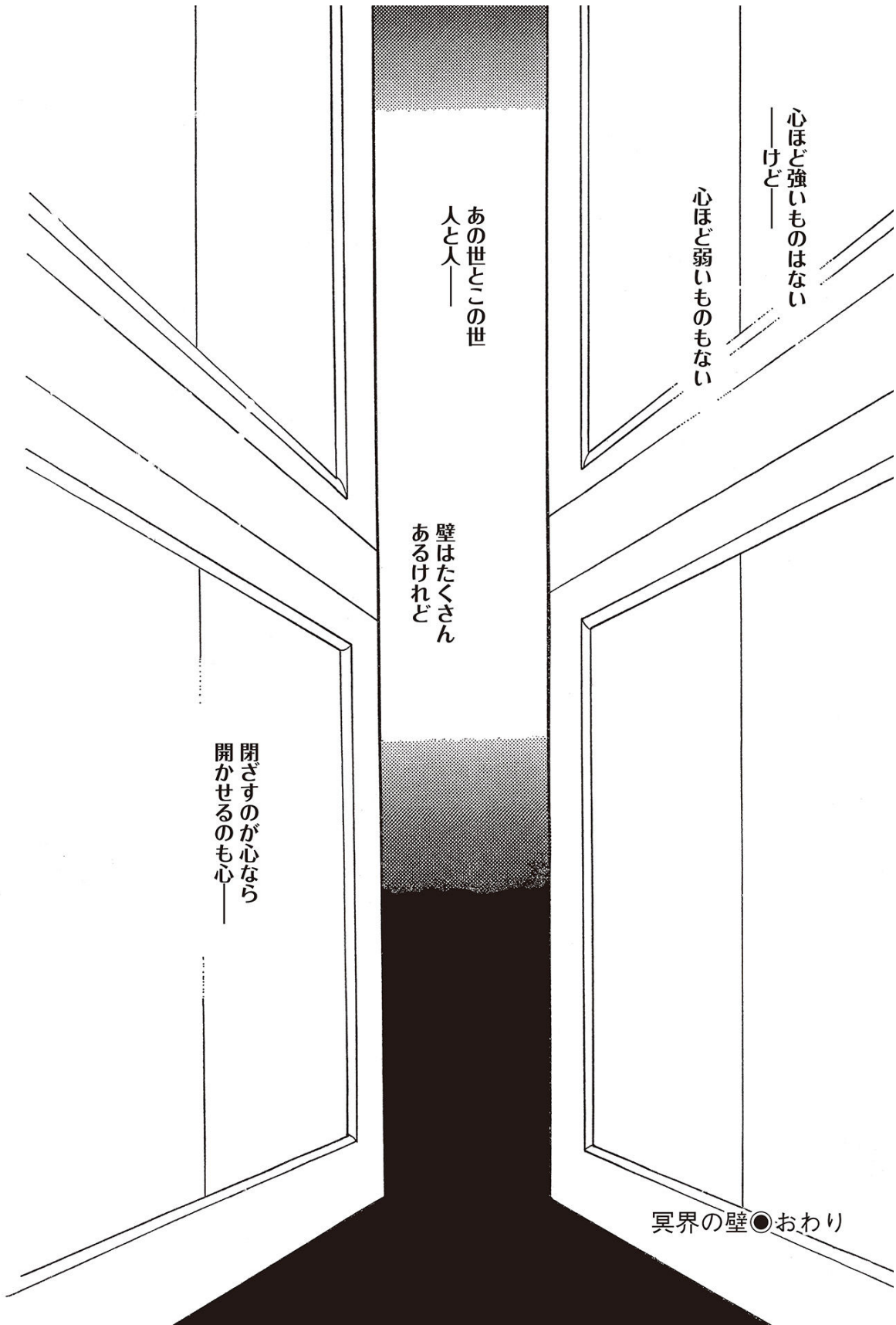
肉体を失った心が
重く——
成仏できずに
残って
しまってるから

祈ってあげること
心を和ませて
軽くしてあげれば
霊界に近づける
というわけ

体というエネルギーに
包まれた心のほうが
強いから

強い人の祈りは
弱い人の助けに
なることができるの





心ほど強いものはない
——けど——

心ほど弱いものもない

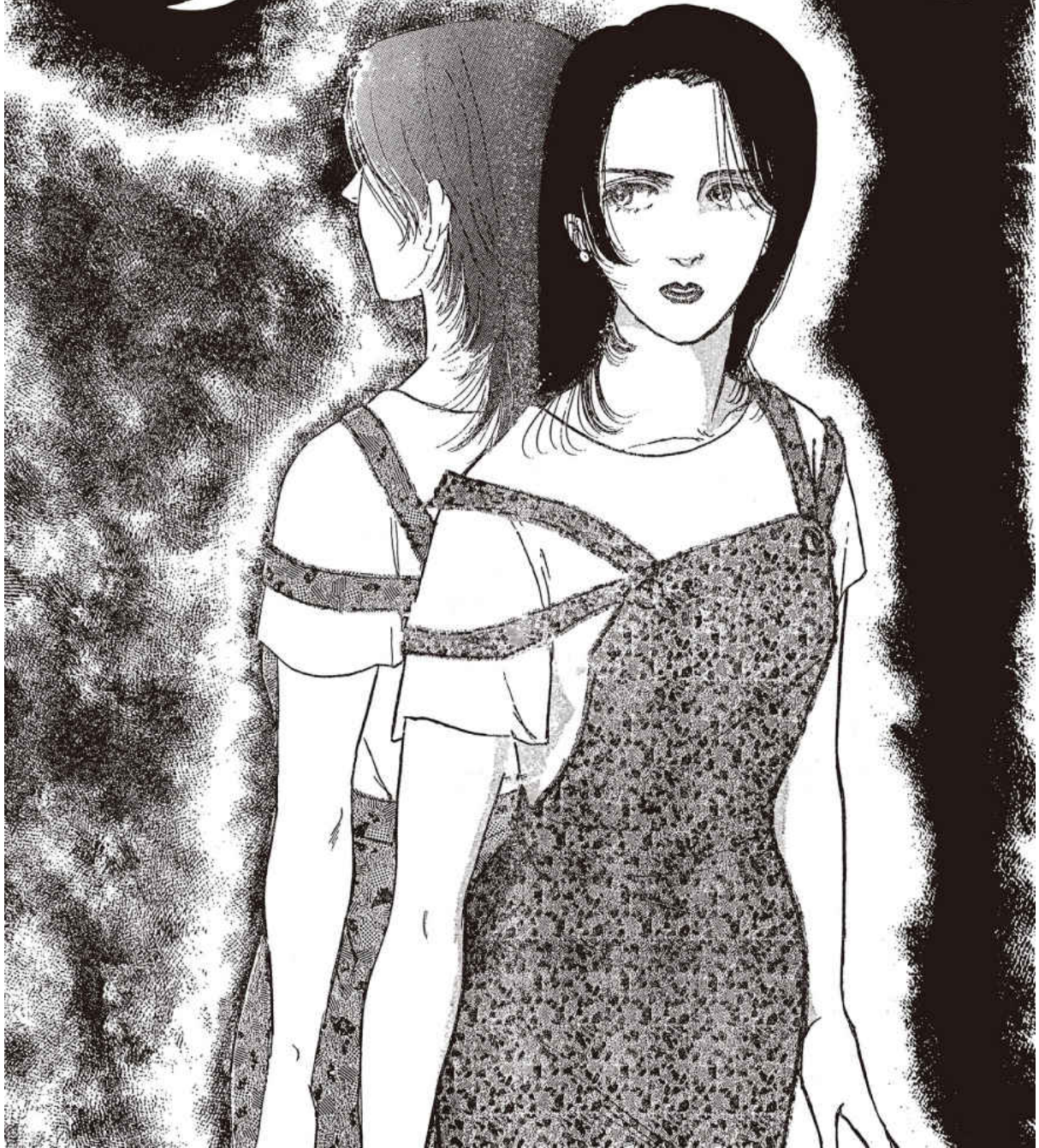
あの世とこの世
人と人——

壁はたくさん
あるけれど

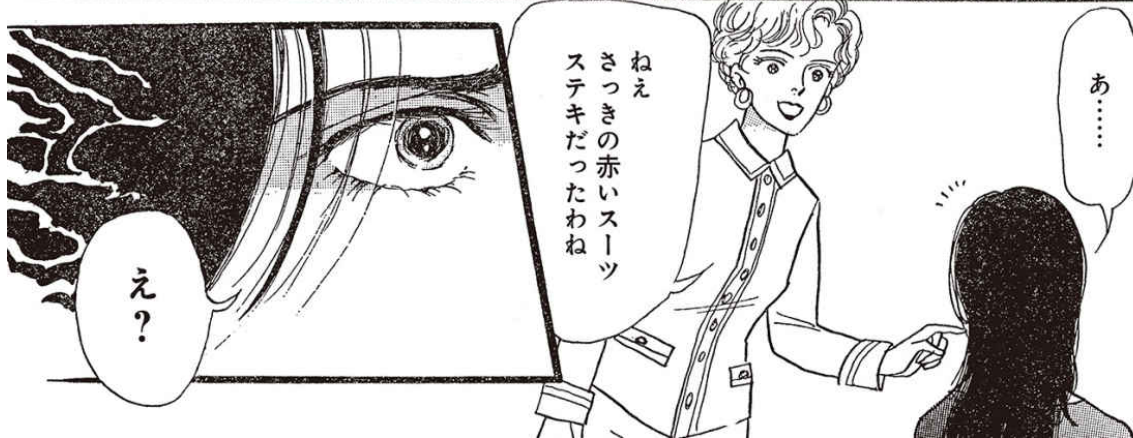
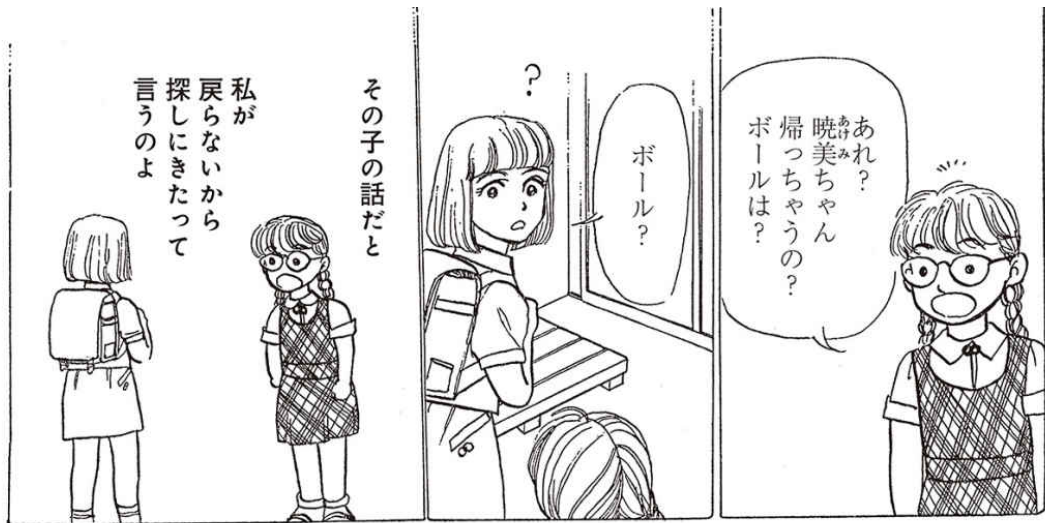
閉ざすのが心なら
開かせるのも心——

冥界の壁●おわり

もうひとりの自分



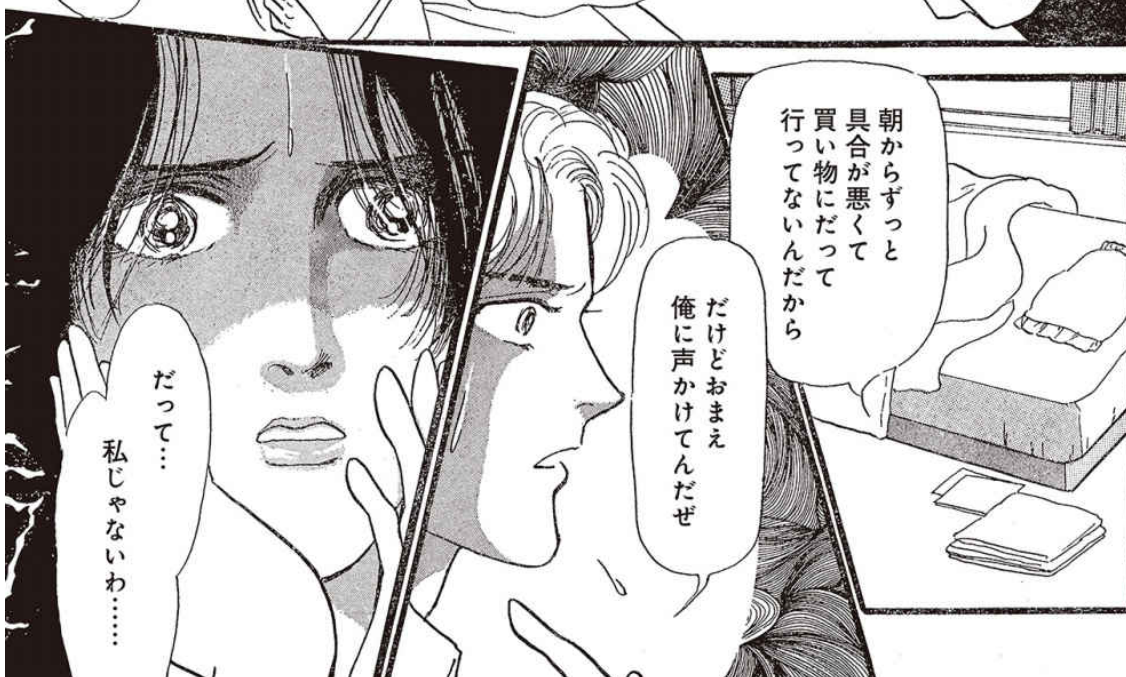




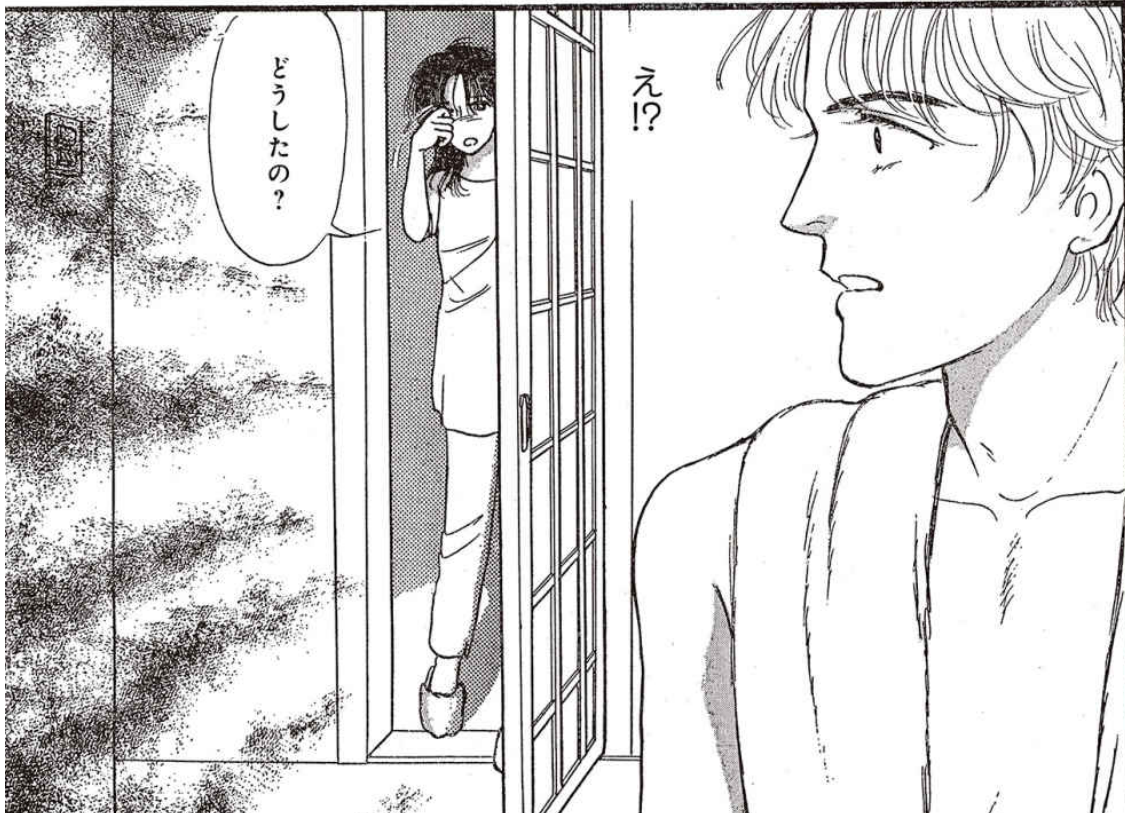
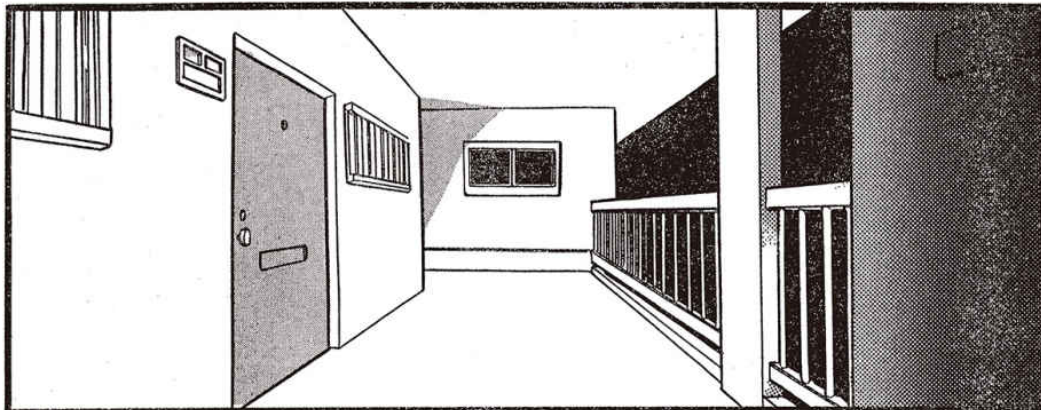


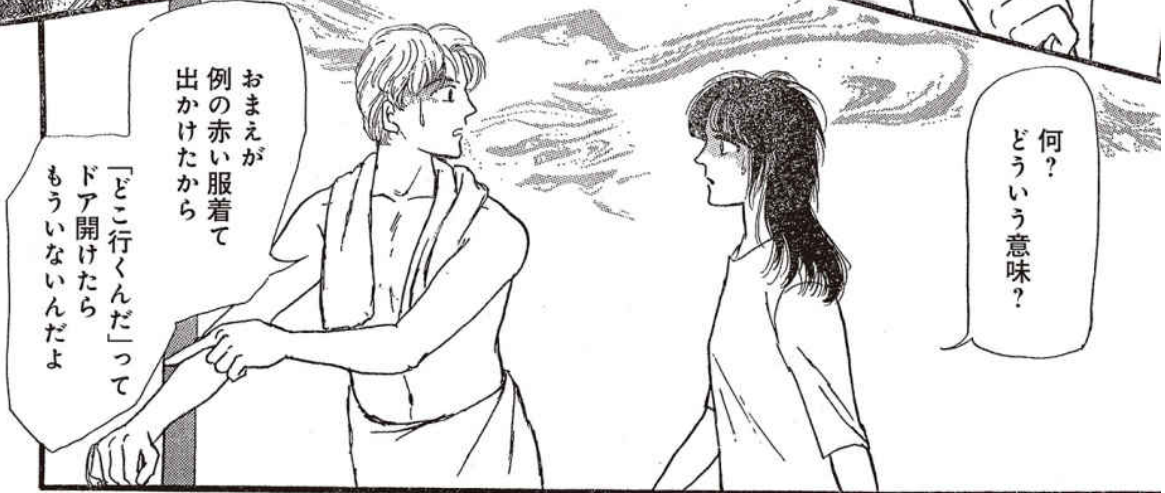
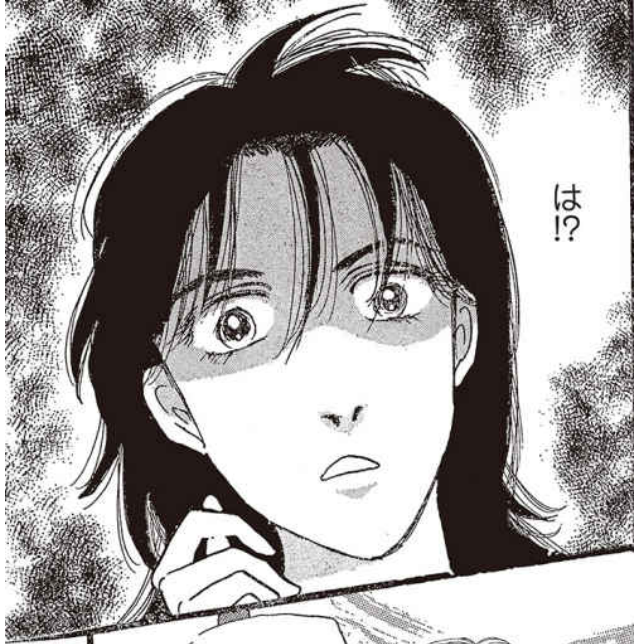


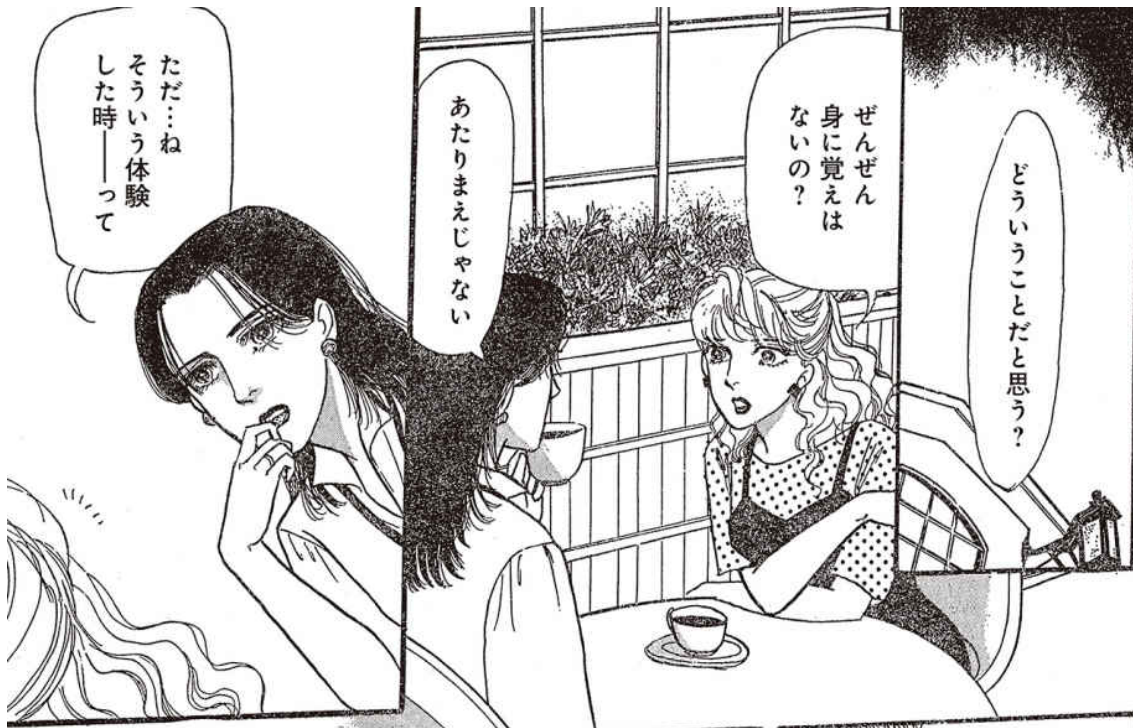










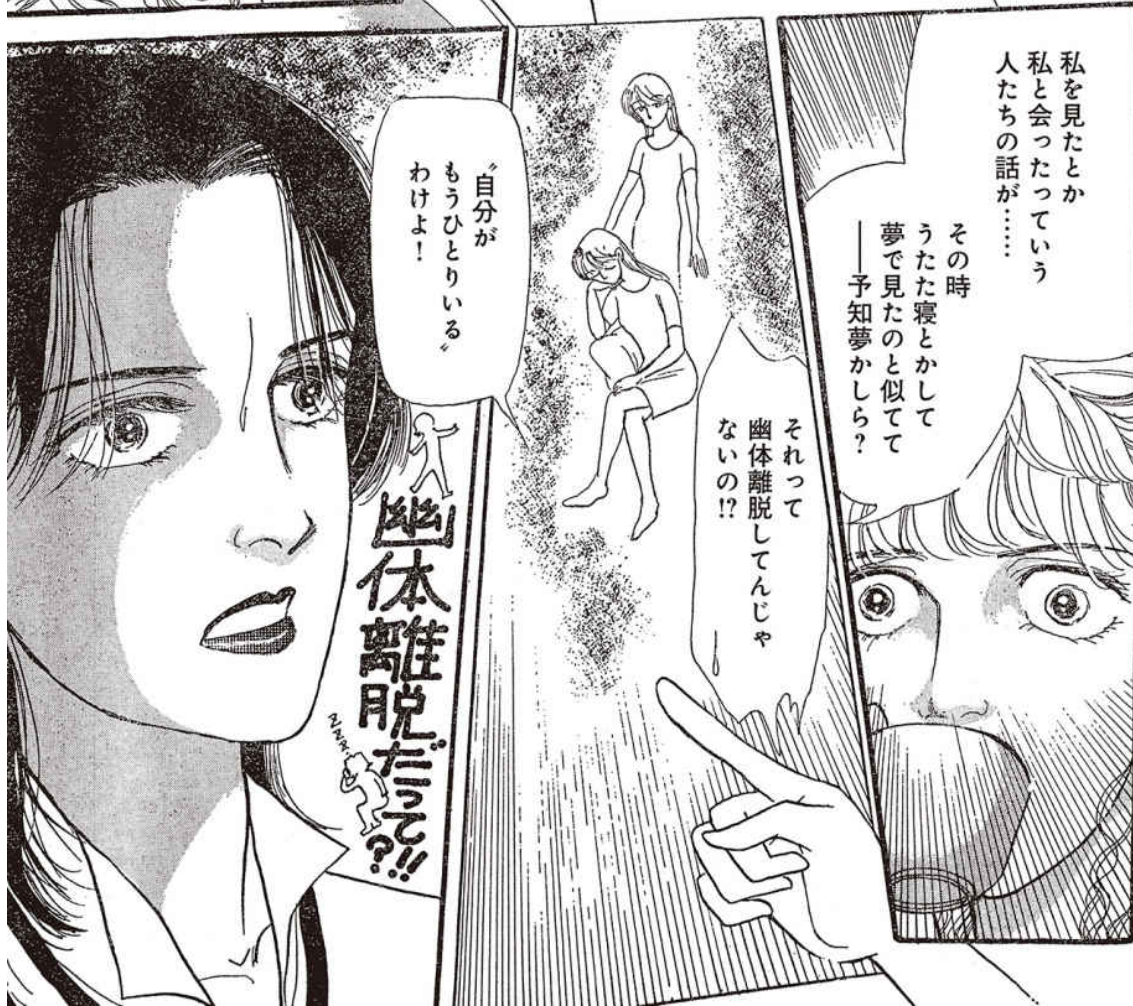


ただ…ね
そういう体験
した時——って

あたりまえじゃない

ぜんぜん
身に覚えは
ないの？

どういうことだと思う？



自分が
もうひとりいる
わけよ！

幽体離脱
たって??!

それって
幽体離脱してんじや
ないの!?

私を見たとか
私と会ったっていう
人たちの話が……
その時
うたた寝とかして
夢で見たのと似てて
——予知夢かしら？

その時
うたた寝とかして
夢で見たのと似てて
——予知夢かしら？



聞くところによると

幽体離脱して—
長い時間体から
離れすぎていると

その間に
死んじゃうってことも
あるんだって

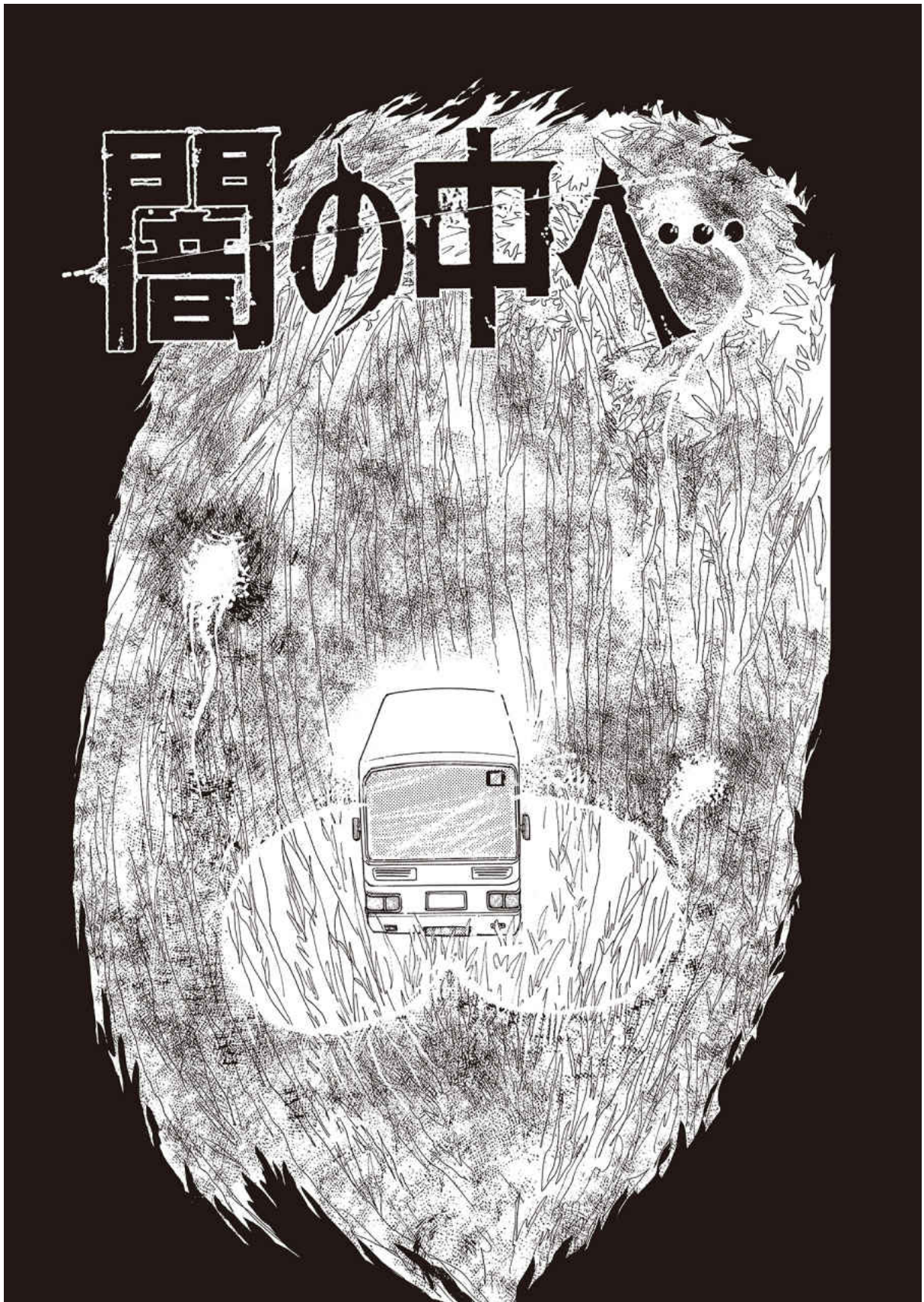
—ある朝
体に戻ろうとしたのに

体は冷たくなってて
戻れなくなってた
……

何てことに
ならないように
気をつけてよ

もうひとりの自分 ● おわり

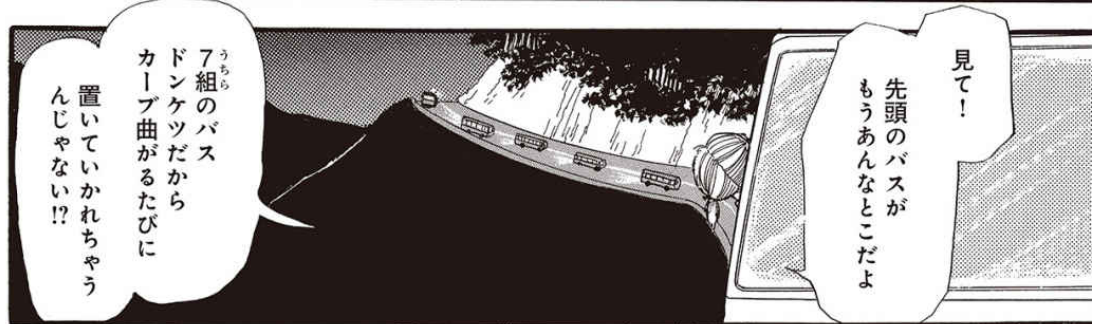
闇の中へ





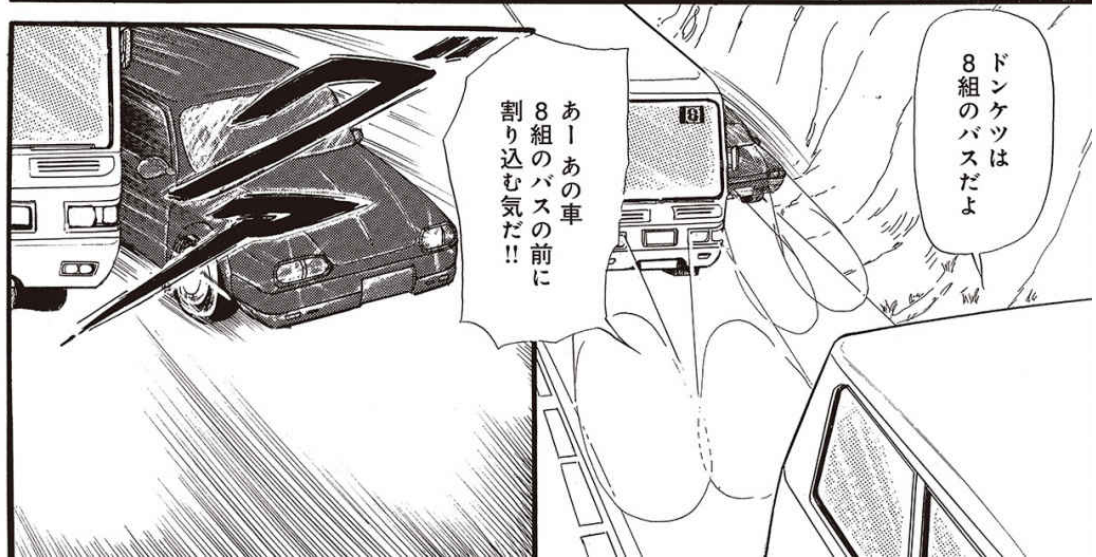
これは中学の
修学旅行の時に
起きたことです

1組のバスを先頭に
2組 3組 4組…
の順に
全部で8台



見て！
先頭のバスが
もうあんなとこだよ

うちの
7組のバス
ドンケツだから
カーブ曲がるたびに
置いていかれちゃう
んじゃない!?



ドンケツは
8組のバスだよ

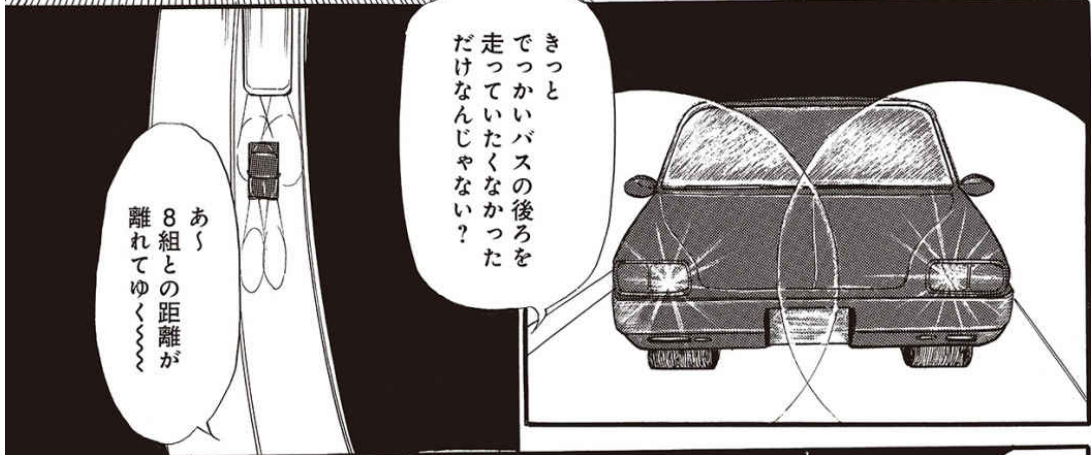
あーあの車
8組のバスの前に
割り込む気だ!!



あゝあ
すっかり
抜かれちゃったよ

なに!! そいで
あの乗用車
サイテーじゃん

バス抜いて
おきながら
あんなトロトロ
走ってんの!!



きつと
でっかいバスの後ろを
走っていたくなかった
だけなんじゃない?

あゝ
8組との距離が
離れてゆく〜



先生—

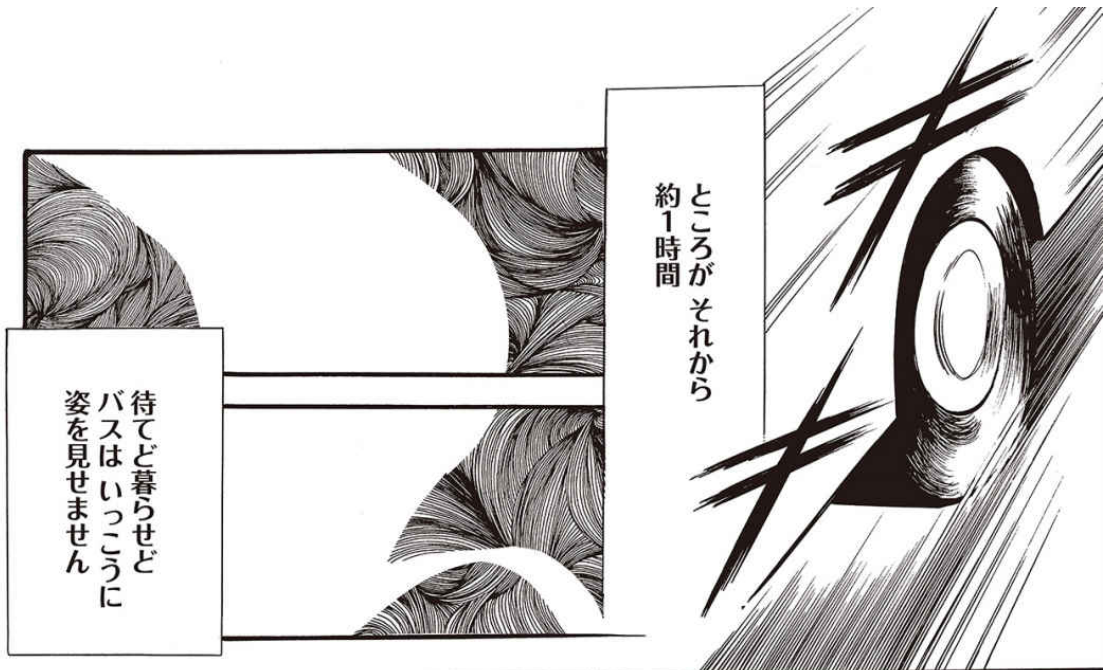
運転手さーん
8組のバスが
消えちゃいましたよお



カーブ多くて
危ないから
バスで乗用車は
抜けないだろうしね

あらあ?

バスが見えなく
なっちゃったよ?



約1時間
ところがそれから

待てど暮らせど
バスはいっこうに
姿を見せません



?おかしいなあ

どこかで間違えて
別の道行っちゃった
のかなあ……

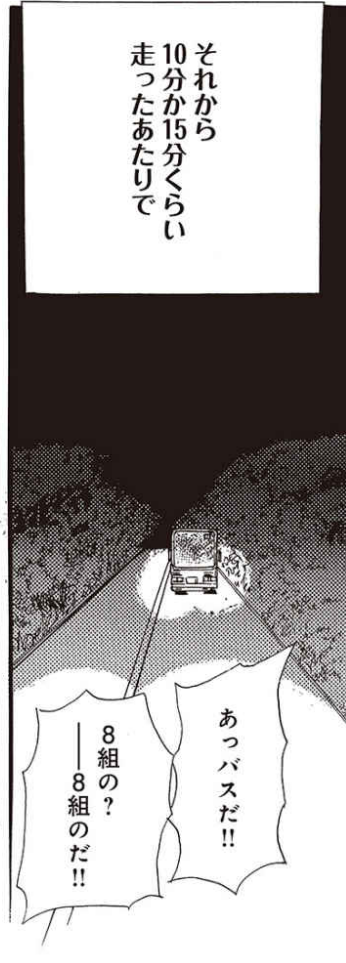
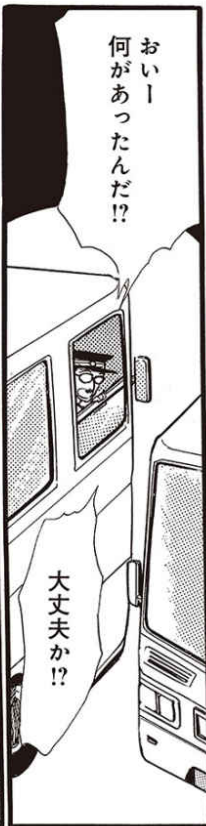
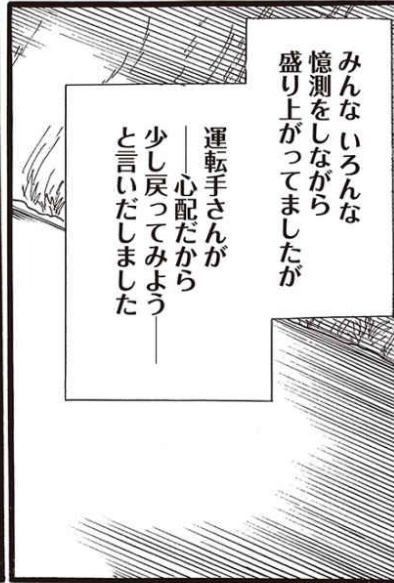
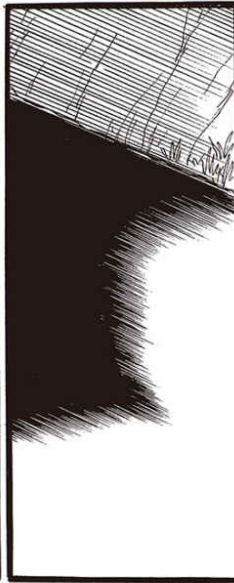


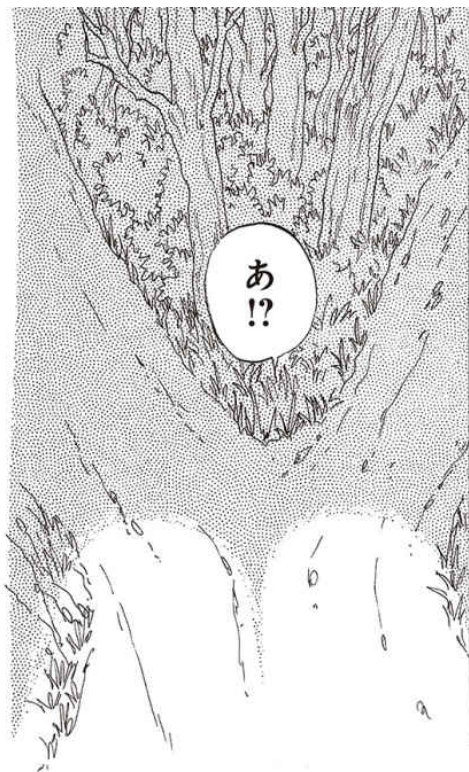
故障かなんかで
動けないんだっけして

キツネに
だまされ
たんじゃない?

異次元に
迷い込んだじゃった
とか——?

UFO
じゃねえか?
宇宙人に
連れてかれた
とかさ——





あ!?

街灯がなく
道が暗いせいもあって

そのまま乗用車に
ついて走っていたら…

8組のバスは
乗用車に割り込まれて
しまったから私達のバスを
見失ってしまったらしい
のですが



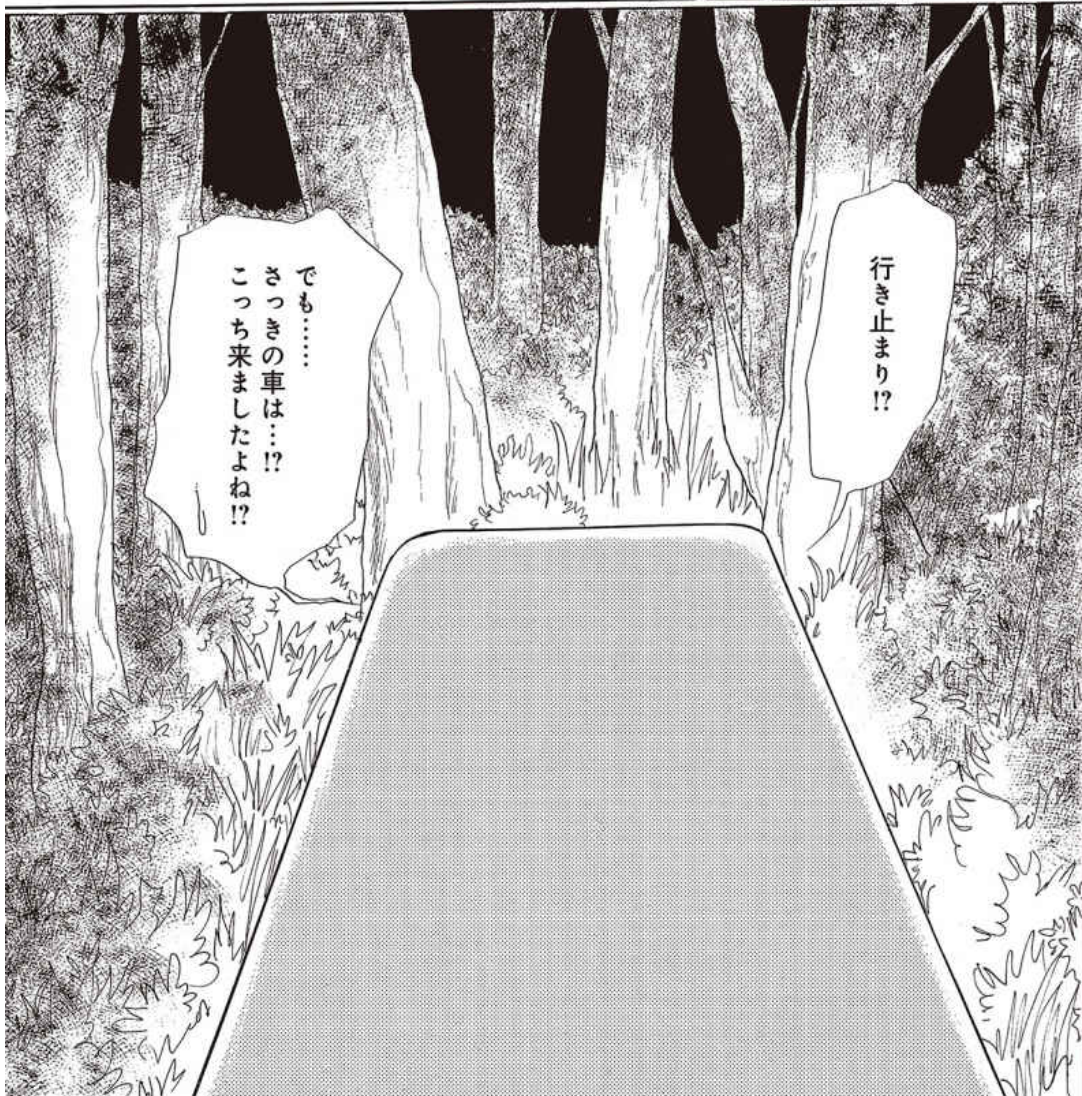
そうだな
じゃ右へ行ってみるか



こりやあ
困ったなあ

標識もないし…

さっきの乗用車に
ついていったほうが
無難かもしれませんよ





十
しゆ

道が……

先生——!!
道ありませんよお

あれ!?

うそ!!

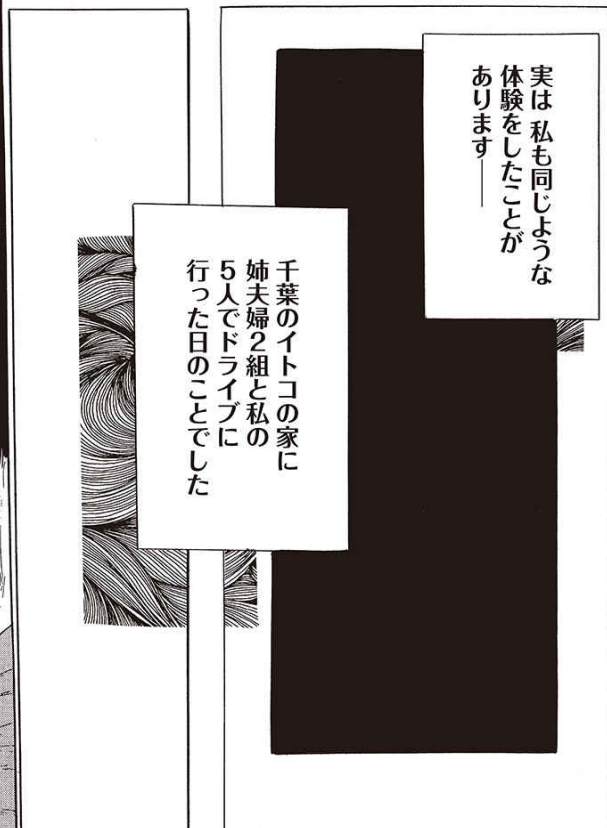
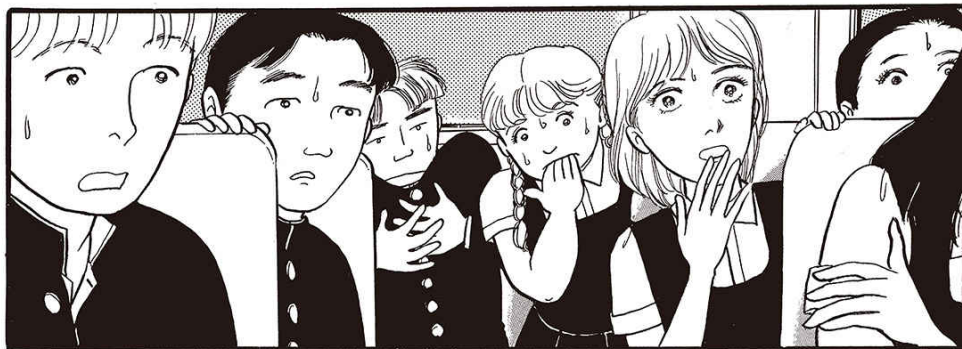
わ!!
ほんとだ!!

先生——
運転手さーん

今・来・た・道・が・
な・く・な・つ・て・る・う・
~~~~!!

とれ  
とれ  
とれ  
とれ

消えちやったあ!?







後になって

怖がらせ上手  
な姉が――

あの時は  
皆が怖がると  
いけないと思つて  
言わなかったんだけど

あの細い道に  
入った瞬間

体がぞわっと  
ものすごい寒気がして  
息が苦しくなつて

見たら

草の中に  
白っぽい着物を着た  
髪の長い女の人が立つて  
こっちを見てるのが  
見えたのよね

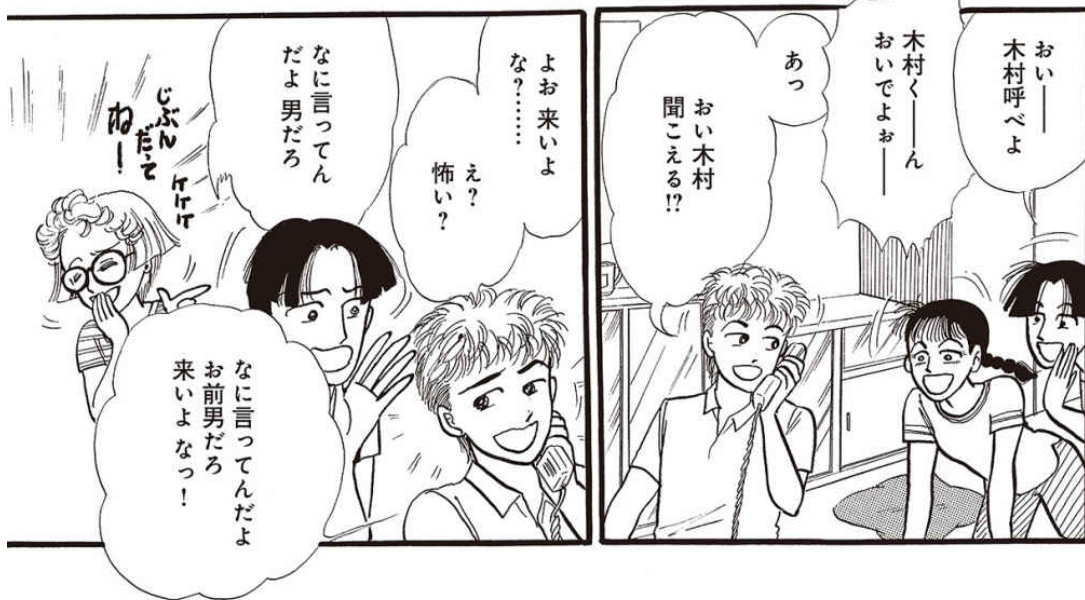
手招きしてたようにも  
見えた――と

姉は言っていました――

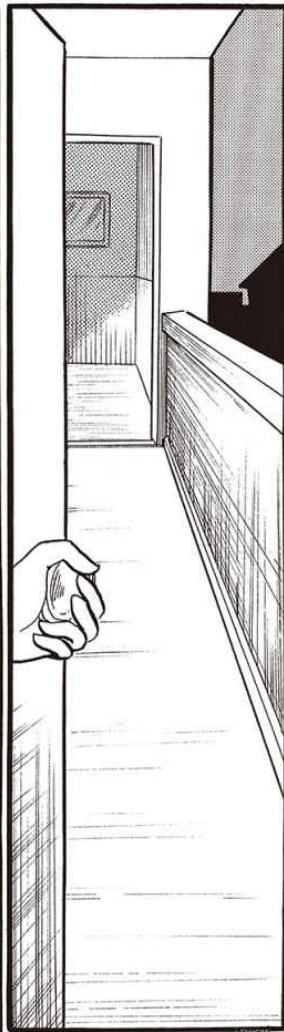
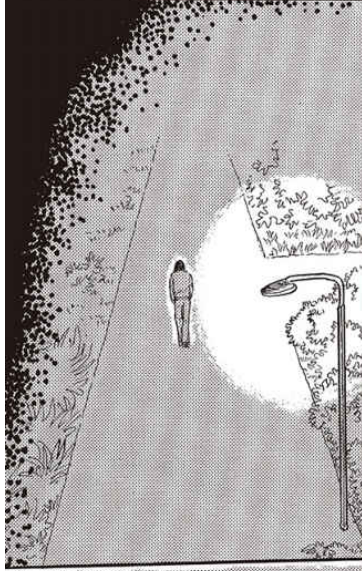
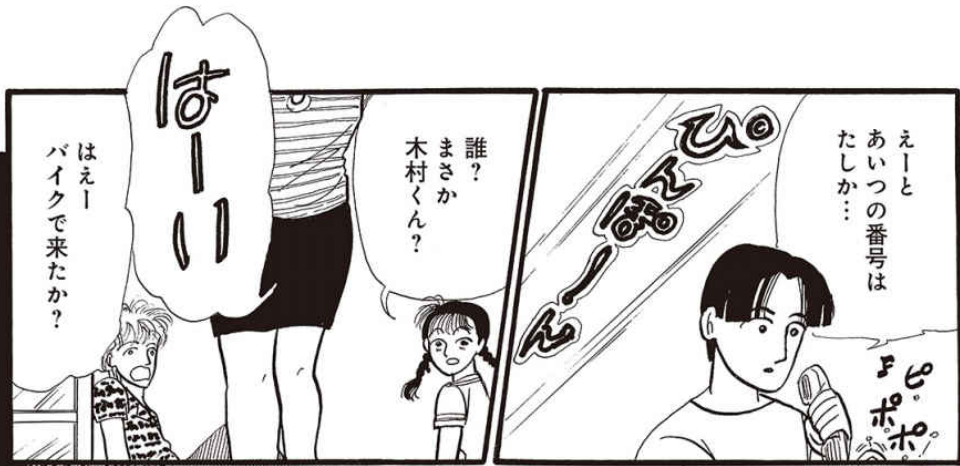
闇の中へ…○おわり



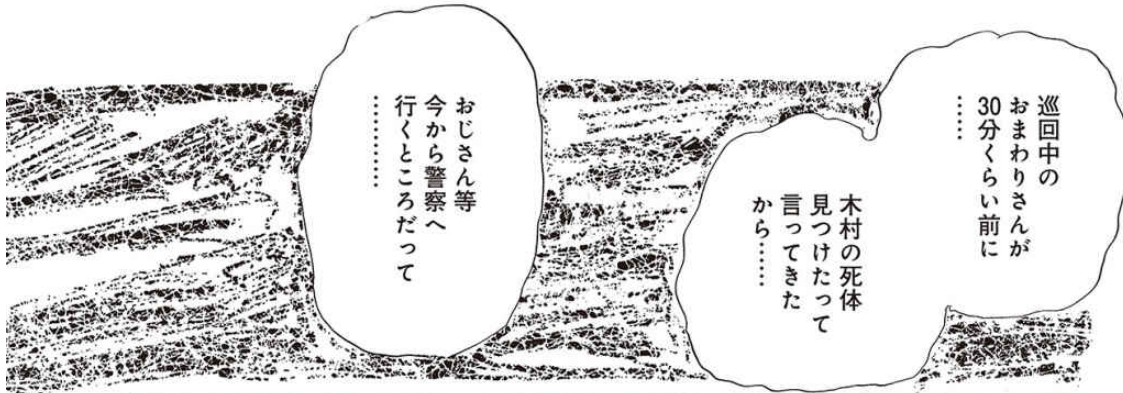


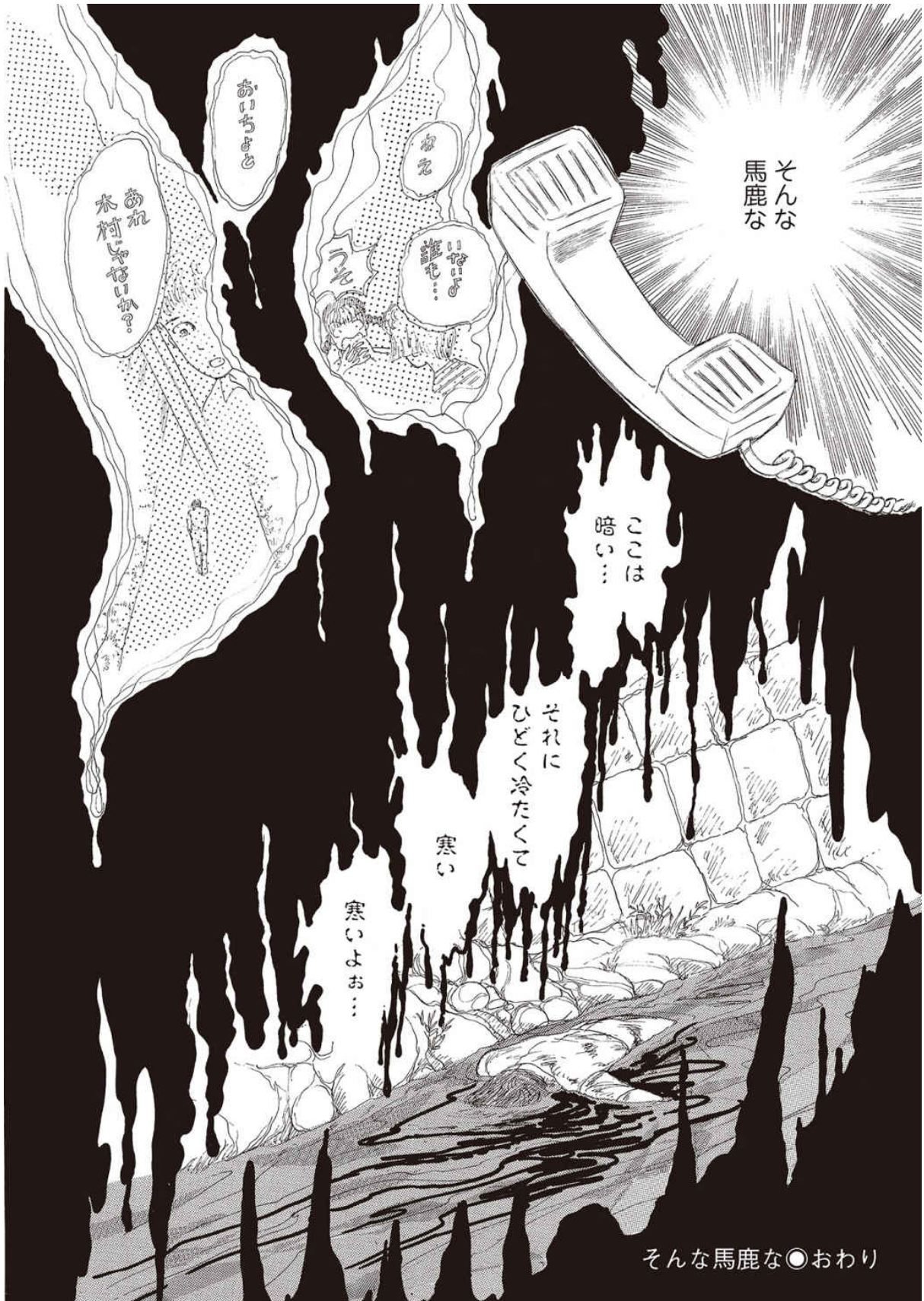












そんな  
馬鹿な

あれ  
木村じゃねいか？

おいちよと

おえ

誰か……

うそ

ここは  
暗い……

それに  
ひどく冷たくて

寒い

寒いよお……

そんな馬鹿な●おわり

この物語は  
—その昔



# 雨月物語

しばしば行きかう商人が  
聞き伝えて語ったという物語である

うげつものがたり

じっさま  
ばっさまの代から  
あんなにあった  
田畑をねえ

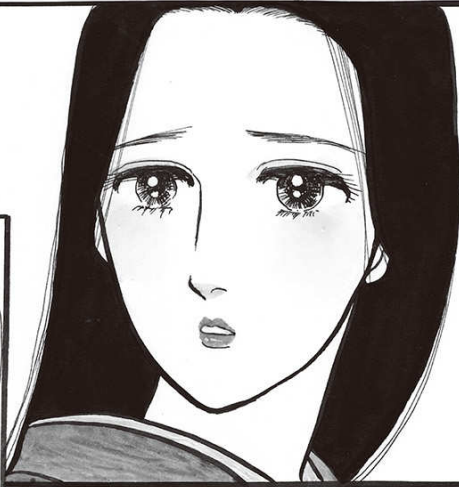
ぐうたら息子が  
みんな食いつぶ  
しちまってよオ

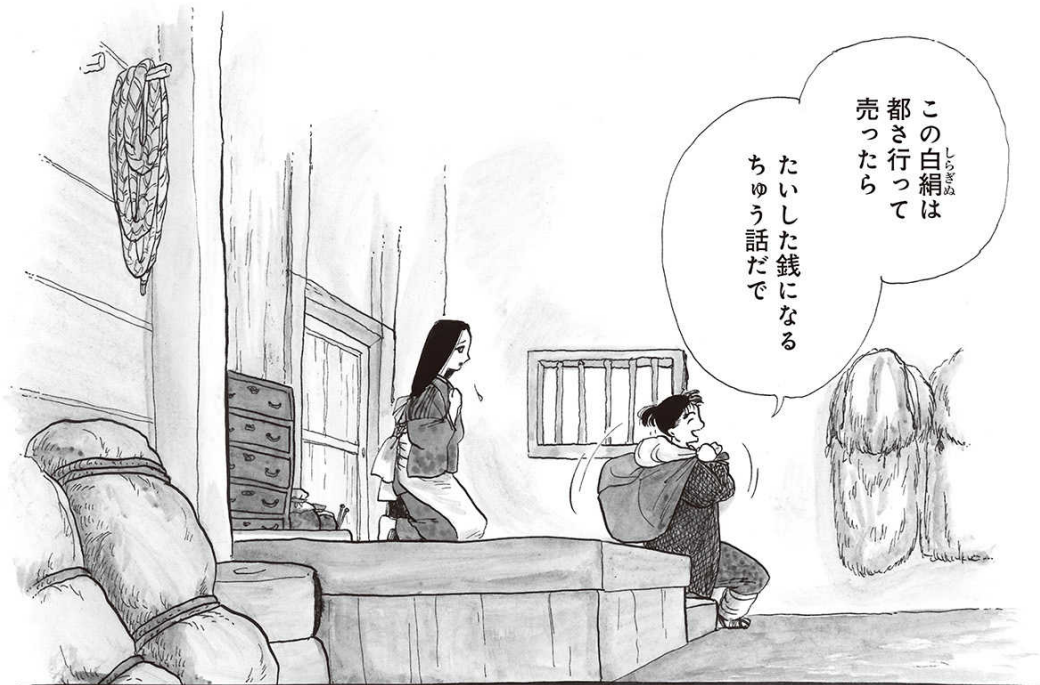
嫁さんが  
気の毒じゃねえ

最後の田畑も  
とうとう手離しち  
まったつうじゃないか

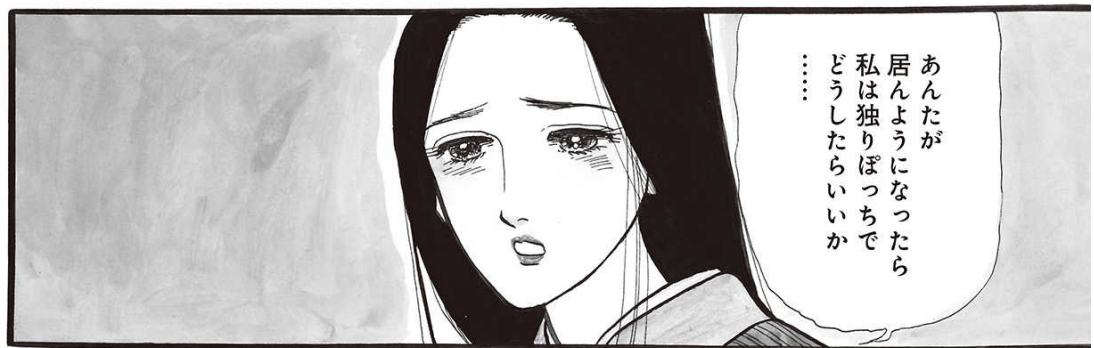
そげな物  
どうするだね

あんた

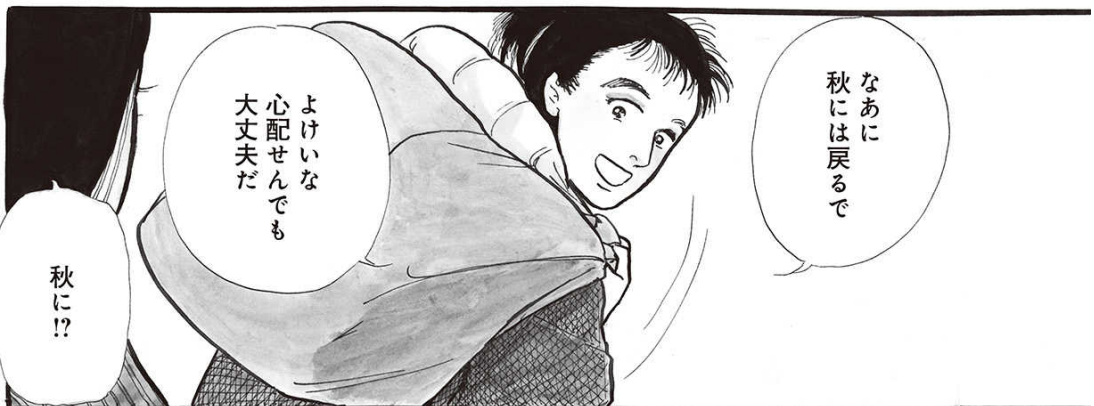




この白絹しろぎぬは  
都みやこさ行って  
売うったら  
たいした銭ぜにになる  
ちゆう話わだ



あんたが  
居いんようになつたら  
私わたしは独ひとりりぼっちで  
どうしたらいいか  
……



なあに  
秋あきには戻もるで

よけいな  
心配しんぱいせんでも  
大丈夫だいじゆうだ

秋あきに!?



あなたの他  
誰も頼る者としてない  
私の心――

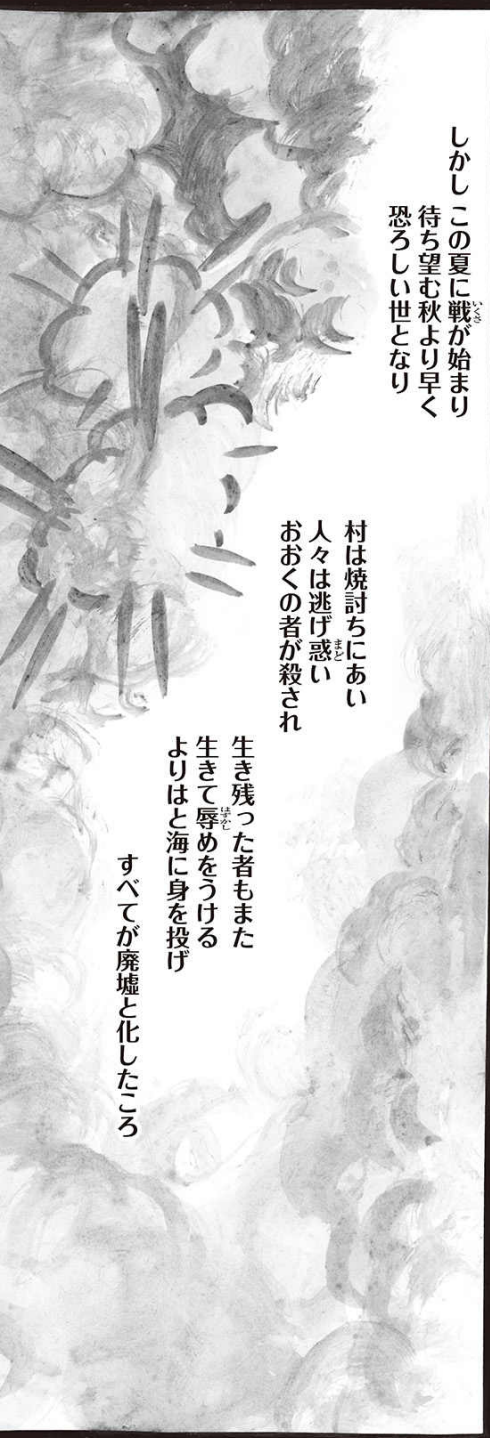
どうが  
お忘れになりませう  
早くお帰じくださう

しかしこの夏に戦が始まり  
待ち望む秋より早く  
恐ろしい世となり

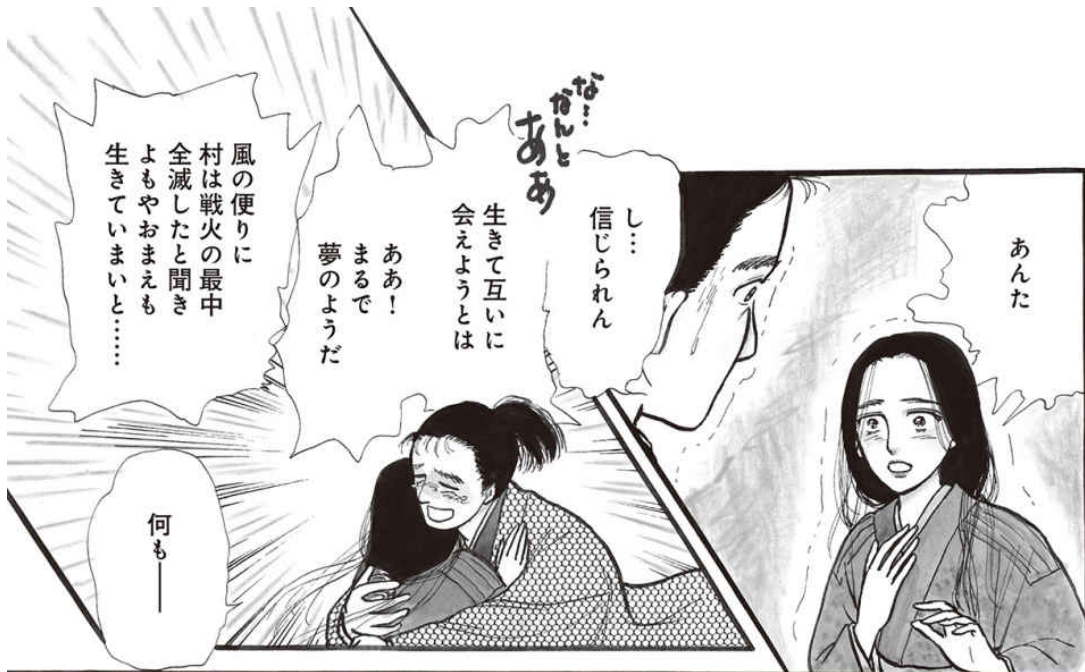
村は焼討ちにあい  
人々は逃げ惑い  
おおくの者が殺され

生き残った者もまた  
生きて辱めをうける  
よりはと海に身を投げ

すべてが廃墟と化したころ







あなた

し…  
信じられん

生きて互いに  
会えようとは

ああ！  
まるで  
夢のようだ

風の便りに  
村は戦火の最中  
全滅したと聞き  
よもやおまえも  
生きていますと……

何も——



何も  
言わんでも……

こうして  
お会いできた  
だけで……

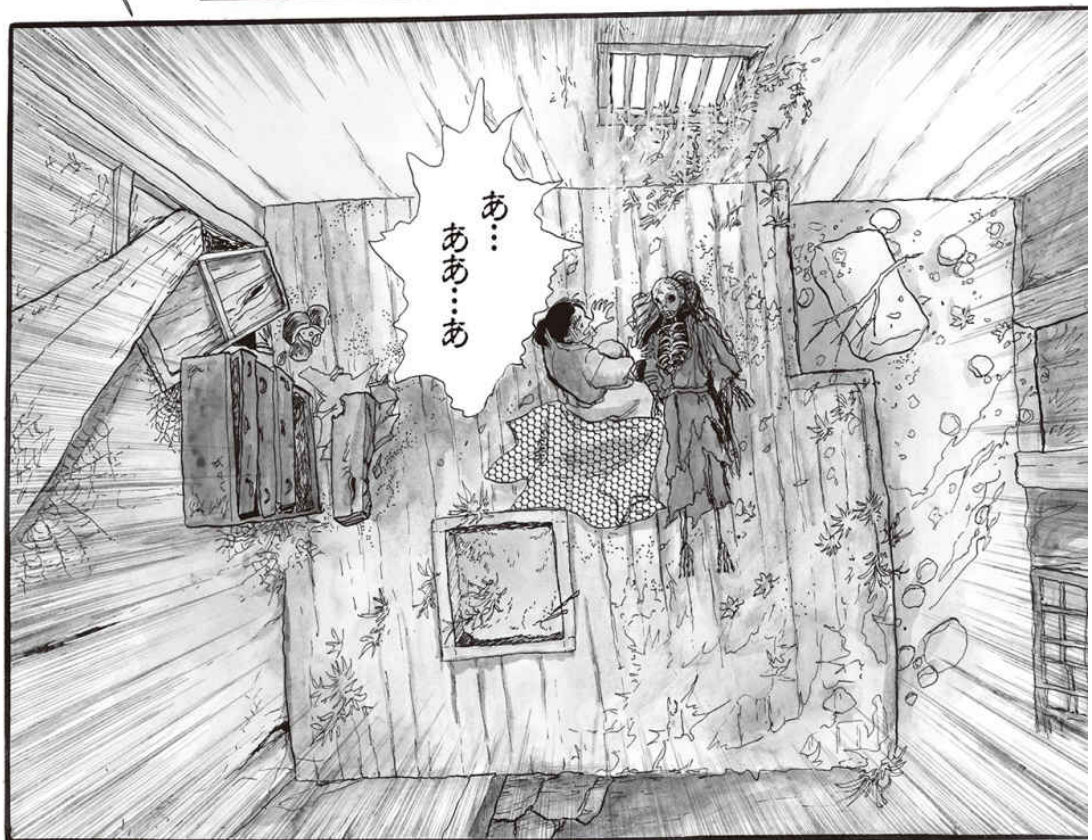
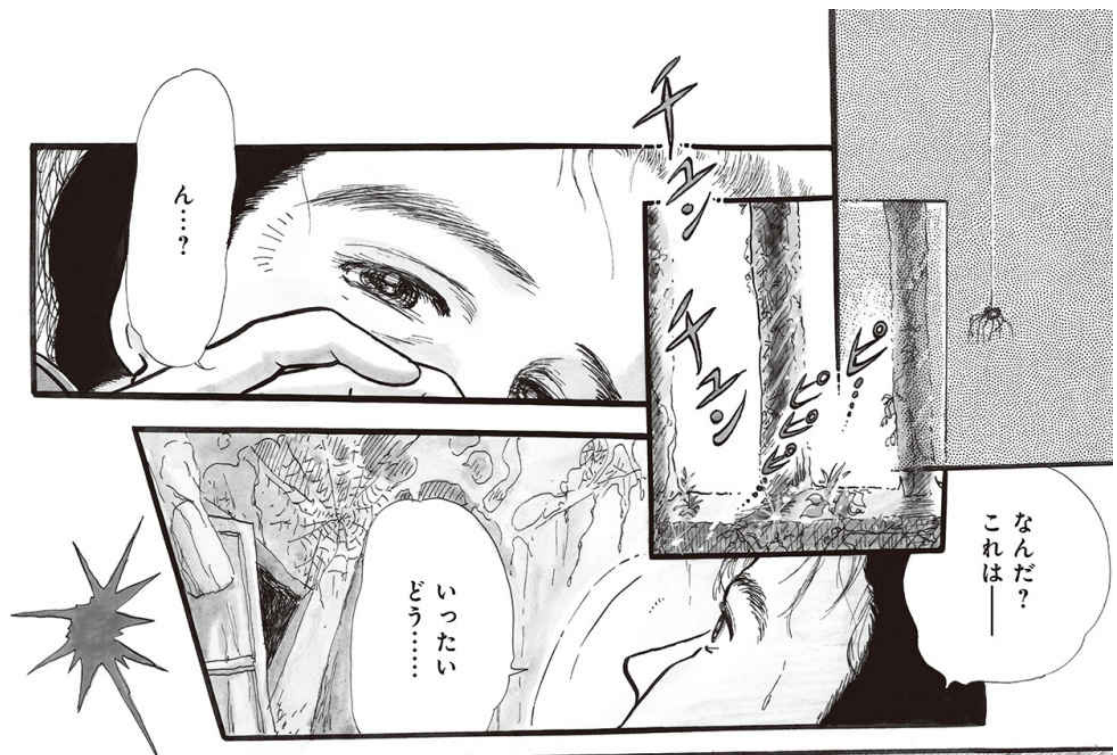
もう  
それだけで  
充分——  
幸せでござい  
ます——



こうしてまた  
あなたの腕に抱かれると  
夢見とりました  
もの……

もうほんに  
充分——

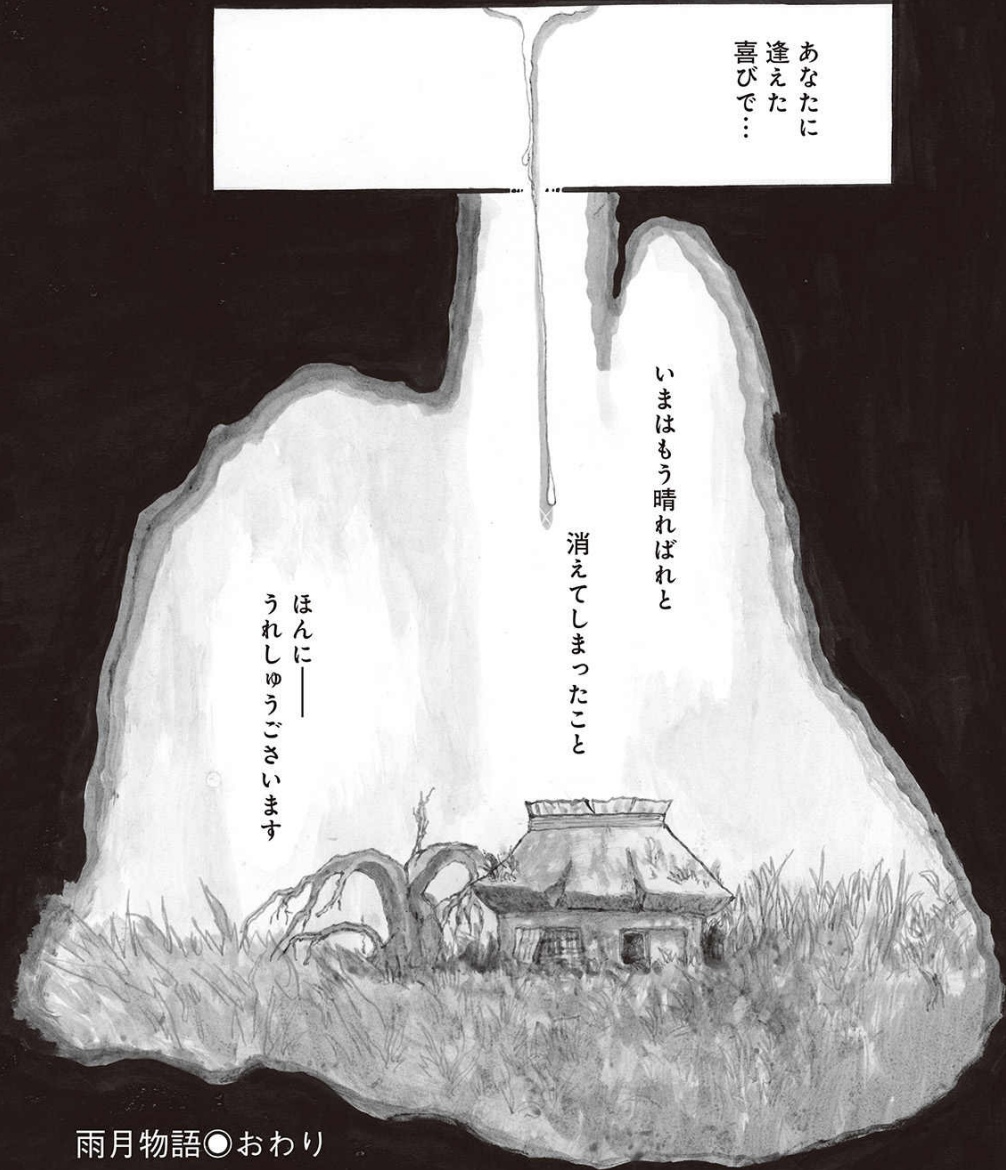
充分  
幸せで  
ございます





長い間の  
恨みも

あなたに  
逢えた  
喜びで…



いまはもう晴ればれと

消えてしまったこと

ほんに—  
うれしゅうございます

雨月物語◎おわり

## 作者あとがき

私はPCでイラストや日記を書いています。でもインターネットには繋いでいません。ケータイもガラケーです。

2020年にテレビで『私が見た未来』が紹介され話題になったことも、2021年春に私になりました人物が雑誌のインタビューに答えて話題になっていたことも知りませんでした。

甥っ子や姪っ子から話題になっていると聞かされて、ビックリ！  
知ってから、いままで以上に大人しく静かに生活していました。

\*

1996年当時、『ほんとにあった怖い話』編集部の「読者の体験談募集」宛には、「大津波の夢を見た」という投稿がたくさんあったそうです。

私と同じような予知夢を見た人は、実はたくさんいるのだと思います。

「予知」は「警告」です。「避けられる」から「見させられた」。

「災難を避ける」「災難を小規模にする」手段があるということだと思います。

作者あとがき

す。

夢を見た日が現実化する日ならば、次にくる大災難の日は「2025年7月5日」ということになります。

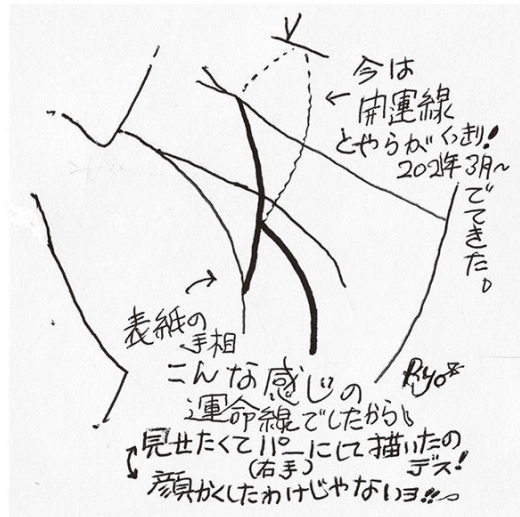
本書が、その心構えのきつかけになってくれることを祈っています。

\*

最後に。'99年『私が見た未来』の表紙イラストを描いた時期は、身体も心も何もかもが死ぬほどつらく……あんなイラスト（55ページ）になりました。今でも問題は山積みですが、解決に向っているのがわかったことが救いです。で、泣くのやめた。「明るい未来を夢見て」涙を消しました。

もうひとつ。表紙に描いた私の手相が変化。2021年3月に左掌（右）に開運線（運命線から中指へ伸びる線）が現れたので、「完全版」では表紙の手相も描き直しました。

2021年9月 たつき諒



## たつき諒 Tatsuki Ryo

1954年12月2日生まれ、神奈川県出身。横浜在住。1975年、『月刊プリンセス』（秋田書店）でデビュー。著書に『人形物語』『時の中の少女』『水色の航空書簡』『タージ・マハル廟のある町』ほか。『私が見た未来』は1994～98年に雑誌『ほんとにあった怖い話』および『恐怖体験』上に掲載された漫画をまとめたもので、99年に朝日ソノラマより単行本化。同99年、漫画家を引退している。『私が見た未来』の表紙に「大災害は2011年3月」と書かれていることから、東日本大震災を予言した漫画家として注目を集める。ペンネームは、漢字の場合は「竜樹諒」、ルビをふらない青年誌では「たつき諒」としている。

私が見た未来 完全版 電子版  
2021年10月8日 version1.0 発行

著者 たつき諒

発行者 大山邦興

発行所 株式会社 飛鳥新社  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-3 光文恒産ビル  
電話 03-3263-7770 (営業) 03-3263-7773 (編集)  
<http://www.asukashinsha.co.jp>

装幀 井上新八  
漫画 DTP オノ・エーワン  
本文デザイン・DTP 飛鳥新社デザイン室  
校正 麦秋アートセンター  
撮影 中村光博

制作 中央精版印刷株式会社

編集担当 杉山茂勲

©Ryo T atsuki 2021

本電子書籍は株式会社飛鳥新社『私が見た未来 完全版』（2021年10月20日 第2刷発行）に基づいて制作しました。

本書の無断複写、複製（コピー）は著作権法上での例外を除き禁じられています。